授業ガイド

School of Education
Waseda University

教 育 学 科 編　目　次

Ⅰ 科目登録の手引き

1. 科目登録の手引き …… 3

Ⅱ 卒業要件と履修方法

1. 卒業要件と履修方法 …… 18

■ 教育学専修

（2019 年度以降入学者）…… 20
（2011～2018 年度入学者）…… 22
【学士入学者】（2012 年度以降入学者）…… 24

■ 生涯教育学専修

（2020 年度以降入学者）…… 27
（2019 年度入学者）…… 29
（2012～2018 年度入学者）…… 31

■ 教育心理学専修

（2019 年度以降入学者）…… 35
（2011～2018 年度入学者）…… 37
【学士入学者】（2012 年度以降入学者）…… 39

■ 初等教育学専攻

（2022 年度以降入学者）…… 42
（2019 年度以降入学者）…… 44
（2014～2018 年度入学者）…… 46
【学士入学者】（2016 年度以降入学者）…… 48

2. 外国語科目の履修方法 …… 49

3. 他箇所・他機関の設置科目（オープン科目含む）の履修方法 …… 54
※オープン科目の詳細（科目概要等）は、グローバルエデュケーションセンター「全学オープン科目履修ガイド」で確認してください。

4. 総合科学プログラム …… 61

5. 教員免許状取得のための履修方法 …… 65

■ 教育学部内共通 …… 65
■ 教育学専修 …… 72
■ 生涯教育学専修 …… 78
■ 教育心理学専修 …… 85
■ 初等教育学専攻 …… 91

Ⅲ 授業時間割

1. 共通科目 …… 107
2. 外国語科目 …… 113
3. 専門教育科目 …… 126
4. 他学科他専修聴講可能科目 …… 155

Ⅳ 付 録

1. レポートの作成・提出について …… 172
2. 授業欠席の取り扱いについて …… 173

Ⅰ　科目登録の手引き

1. 科目登録基本情報

科目登録では、みなさん自身で履修希望の科目を申請し、みなさん自身の手で時間割を完成させることになります。１年次には外国語科目や共通科目を履修することをお薦めします。

１－１．本手引きについて

教育学部生の科目登録方法・ルール等を記載しています。また、科目登録に関する情報は、教育学部 HP にも掲載しています。本手引き、および教育学部 HP を参照の上、科目登録に臨んでください。

１－２．用語集

「科目」に関する基本用語

用語	説明
科目区分	科目のカリキュラム上の分類。科目区分には、共通科目、外国語科目、専門教育科目などがあり、科目区分ごとに卒業に必要な単位数が定められている。
配当年次	当該科目を履修可能な学年。**当該学年以上**の学年が履修可能。例えば配当年次２年の場合、２年生以上が履修可能となる。
科目名	科目に付いている数字（１・２・Ⅰ・Ⅱ等）までが科目名。また、副題（サブタイトル）が付いている場合もある。例）「英語上級コミュニケーション**1**」・「法学**Ⅰ**（自由とは何か）」
クラス	「科目名」のあとに続く、「A」や「B」などの英字。科目には複数クラス開講されているものがある。他のクラスを受講しても単位は修得できませんので、必ず登録決定となったクラスを受講してください。また、試験やレポートでは必ずクラス名記入してください。 例）「英語初級コンプリヘンション（文化）１**A**」「英語初級コンプリヘンション（文化）１**B**」は同一科目のため、重複して履修することはできません。
定員	授業の特性や教室の定員を考慮し定められた受講可能な人数。定員を超えた履修希望があった場合、抽選により履修者を決定する。
学期	年間を通して授業を行う科目は「通年」、春学期のみの半期科目は「春学期」、秋学期のみの科目は「秋学期」と表示される。その他、クォーター期間で開講される科目もある（春クォーター科目など）。担当教員欄に「春学期」「秋学期」の表示がある科目は、学期により担当教員が異なる。
必修科目	卒業するために必ず単位を修得しなければならない科目。
随意科目	卒業に必要な単位として扱わず、年間履修制限単位数にも含まない科目。主に他箇所・他機関設置科目（授業ガイド「3. 他箇所・他機関の設置科目（オープン科目含む）の履修方法」を参照）や、教職等の資格関連科目（授業ガイド「POINT5 教職課程科目・資格関連科目の取扱い」を参照）が該当する。
全学オープン科目	グローバルエデュケーションセンター、留学センター設置科目の他、各学部があらかじめ他学部生に対しても開放している科目。１次登録にて申請可能。詳細は「全学オープン科目履修ガイド」を参照のこと。
他学部提供科目	各学部において、２次登録の結果定員に余裕がある場合に、３次登録期間で他学部生に対して開放される科目。対象科目は各学部 HP を参照のこと。

「科目登録」に関する基本用語

用語	説明
履修学年	履修上の学年を指す。履修学年以下の学年に配当された科目を科目登録する。休学や私費留学の期間は、履修学年としてカウントしないので注意。在学留学の場合はカウントされる。
前提科目	特定の科目を履修する前に単位を修得しておかなければならない科目。
年間履修制限単位数	１年間に登録可能な単位数の上限。ただし、随意科目として履修する科目の単位は含めない。
抽選	履修希望者数が科目の定員を超えた場合に行われる。抽選に外れた科目は登録されない。
登録エラー	不正な科目申請の場合には、申請をしても登録が不許可となる。
余裕定員表	各科目の残り定員数の一覧表。各登録機会の結果発表に合わせて各学部 HP に公開。
再履修	過去に履修して不合格であった科目を再び履修すること。
聴講料	科目を履修するために別途聴講料必要になる場合がある。教育学部の対象科目は後述。その他、グローバルエデュケーションセンター等の科目でも必要となる場合がある。

１－３．入学前にやっておくこと

● Waseda ID の取得　**【取得期間：３月２７日 １０：００～】**

入学手続書類と併せて送付した「MyWaseda 利用者控」の初期ログイン ID と初期パスワードを用いてインターネットに接続されたパソコンから MyWaseda にログインし、Waseda ＩＤを取得します。

科目登録には Waseda ID が必要です。科目登録間際に慌てないよう、早めに取得してくださ

● 新入生行事への参加　**【開催日：４月上旬（詳細は入学手続き書類を確認してください）】**

学科専攻専修別ガイダンス等、各行事に参加してください。

● 新入生受講必須セミナー受験**【４月上旬】**

セミナー未受講もしくはテスト不合格である者に対して、学部より指導を行うことがあります。

１－４．科目登録で参照する冊子・サイト

● 入学から卒業まで利用する冊子・サイト

■　学部要項

入学から卒業までの学生生活に必要な情報を収録しています。カリキュラムや卒業要件は入学年度に応じて適用しますので､「授業ガイド」とあわせて参照してください。

■英語以外の外国語を学ぼう(選択のための手引き)

教育学部 HP に掲載しています。入学時に外国語を選択するにあたってのヒント、履修方法の詳細が掲載されています。

● 当該年度利用する冊子・サイト

■　授業ガイド

科目登録、卒業要件、時間割、履修上の注意点、教員免許状取得のための履修方法等を収録しています。**教育学部 HP の科目登録ページと合わせて参照してください。**

■　教職課程履修の手引き

教員免許状、各種資格を取得するための履修方法、教職課程科目の授業概要等が収録されています。

● 最新情報が UP されている Web サイト

■　教育学部 HP ＞ 在学生の方へ ＞ 科目登録

本手引きに記載していない、より詳細な科目登録情報を掲載しています。**「余裕定員表」**等の最新情報、**各冊子の変更情報**を掲載しますので、**科目登録時には必ず確認してください。**

［https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/］

■　早稲田大学 HP ＞ データ集 ＞ Web シラバス

各科目の授業概要や授業計画、教科書等はこちらで確認してください。また､授業実施教室もシラバスで確認してください。

［https://www.wsl.waseda.jp/syllabus/JAA101.pHP］

１－５．科目登録スケジュールについて

教育学部 HP ＞ 在学生の方へ ＞ 科目登録 ＞ 日程　に科目登録関連スケジュールを掲載しています。

● 科目登録期間中に科目登録ができない場合

やむを得ない事由により申請できない場合は、科目登録期間において代理人申請を認めています。

①委任状（所定用紙は教育学部 HP からダウンロード。教育学部事務所でも配布。）、②本人の学生証コピー、③代理人の身分証明書の３点を用意のうえ手続きを委任してください。

ただし、**代理人に起因する登録ミスが生じても、その訂正は認めません。**

１－６．科目登録のルール

本書に記載しているルール以外にも、履修にあたっての前提条件等のルールがあります。必ず教育学部HPの科目登録ページを確認してください。

● 年間履修制限単位数

「年間履修制限単位数」を超過した登録はできません。超過して申請した場合、教育学部設置科目→他箇所設置科目の順に**無作為に登録不可**となります。**超過して申請しないよう注意してください。**

> ⚠ 科目申請時には、制限単位数を超えた場合でもワーニング表示のみで申請が受け付けられますが、結果発表時には**超過した単位数分が無作為に登録不可となります**。必ず、年間履修制限単位数内で申請してください。年間履修制限単位には不合格科目の単位も含まれます。

学科専攻専修	年間履修制限単位数
教育学科（教育学/生涯教育学/教育心理学）、国語国文学科、英語英文学科、社会科、数学科、複合文化学科	４０単位 （学士入学者は４６単位）
教育学科（初等教育学専攻）、理学科	４４単位 （学士入学者は５０単位）

> ⚠ **年間登録単位数の上限の目安**
>
> 卒業所定単位に算入しない科目については、年間履修制限単位数を超えて登録することができますが、本学では、卒業必要単位に算入する科目のみならず、随意科目等、卒業必要単位に算入しない科目を含めて、1 年間に登録できる単位数の目安を 50 単位としています。ただし、本学部では、夏季・冬季・春季集中科目を除外して 1 年間の登録単位数を算出することとしています。

● 締切時間の厳守

PCやネットワーク機器等の不具合も含め、いかなる理由でも期間外の申請は一切認めません。

● 抽選とその優先順位

履修希望者が定員を超えた場合、抽選が実施されます。抽選の優先順位は、原則として下表のとおりです。ただし、一部科目では諸事情を勘案し、例外的な扱いをするものもあります。

■ 優先順位表（数字が小さいほど優先順位が高い）

学年	共通科目	外国語・専門必修科目	専門選択・教職課程科目
１年生	1	１：配当年次の学年 ２：上級学年 （例．２年配当科目の場合、２年生>延長生>４年生>３年生>1 年生の順に優先される）	5
２年生	2		4
３年生	5		3
４年生	4		2
延長生	3		1

登録エラー

下表に示すような申請をした場合、**登録エラーとなり、科目が登録されません**。登録に関する注意事項、特定の科目に関する注意事項を確認し、エラーが発生しないように注意してください。

エラー名称	エラーとなる事例	結果
登録制限単位数オーバーエラー	・年間履修制限単位数を超えて申請 ・教職課程「教職に関する科目」を 21 単位以上申請（2018 年度以前入学者） ・教職課程「教育の基礎的理解に関する科目」等、「各教科の指導法」を 21 単位以上申請（2019 年度以降入学者）	申請時にはワーニング表示のみで申請が受け付けられるが、発表時には制限単位数以下になるまで、**教育学部設置科目→他箇所設置科目の順**に無作為に登録不可となる
前提条件エラー	前提条件のある科目について、指定された条件を満たさず申請した場合	申請エラーとなる
曜日・時限重複エラー	申請科目の曜日・時限が他の申請科目（または自動登録科目）と重複した場合 ※フルオンデマンド科目は対象外です	いずれか１科目が無作為に登録され、それ以外はエラーとなる。
遠距離エラー	異なるキャンパス間の移動が時間的に不可能な場合。例えば１限に所沢キャンパス、２限に早稲田キャンパスの科目を申請した場合など ※キャンパス間の移動に必要な時間 早稲田⇔戸山、早稲田⇔西早稲田：9 分 早稲田⇔先端生命医科学センター：10 分 早稲田⇔東伏見、早稲田⇔上石神井：50 分 早稲田⇔所沢：90 分 ※フルオンデマンド科目、全回リアルタイム配信科目は対象外です	申請エラーとなる
既得済・登録済エラー	・既に単位修得済みの科目を申請した場合 ・すでに登録済みの科目を申請した場合	申請エラーとなる
配当年次エラー	例えば、１年生が２年生以上に配当された科目を申請した場合	申請エラーとなる

⚠「登録制限単位数オーバーエラー」に注意しましょう！

算入として登録可能なのは年間 40 or 44 単位、教職課程科目「教職に関する科目」(2018 年度以前入学者)・「教育の基礎的理解に関する科目」等/「各教科の指導法」(2019 年度以降入学者)は年間 20 単位までです。
※履修制限単位数はあくまで「年間」であることに注意してください。春学期登録の段階で制限単位数上限まで登録すると、秋学期登録では秋学期科目を全く登録できません。

⚠ **「教育の基礎的理解に関する科目」等**とは、
「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」を指します。

１－７．分からないことがあったら

問い合わせる前に教育学部 HP の科目登録ページを確認してください。本手引きに掲載していない詳細な情報を掲載している他、過去に問い合わせのあった実績に基づき FAQ のページも作成しています。

■ FAQ ページ： https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/faq/
右記の QR コードからもアクセス可能です。

科目登録について

MyWaseda「★成績照会・科目登録専用メニュー」上の「Web 科目登録の問い合わせ」フォームより問合せを行ってください。

Waseda ID について（パスワード再発行）

HP「Waseda IT Service Portal」で再発行申請や問い合わせをすることが可能です。

2. 科目登録のポイント

POINT1 自動登録

下表の科目は自動的に科目が登録されます。自動登録結果発表日以降、1 次登録期間までに各自で Web 履修申請画面にアクセスし、登録状況を確認してください。

対象科目	対象年次	注意点
専門必修科目	各科目の配当年次	以下の科目は予備登録を経て、登録クラスや指導教員を決定します。 ・３年演習（ゼミ）、４年演習（ゼミ）/卒業論文、卒業研究 ・地理歴史専修：「歴史学/地理学基礎演習」 ・複合文化学科：新２年次外国語専門科目 通常、予備登録は開講学期の前学期に実施します。Waseda メールや MyWaseda のお知らせをよく確認ください。 地球科学専修「＊＊基礎演習」（２単位）、複合文化学科「複合文化学演習Ⅱ」（２単位）は春学期に予備登録を行い、秋学期に自動登録します。年間履修制限単位数に注意してください。
外国語 A の基礎	1 年次	・外国学生は自動登録されません。日本語教育研究センターの日本語科目を各自で Web 申請してください。 ・朝鮮語は「朝鮮語（入門）」、「朝鮮語（初級）」が自動登録されます。
基礎充実英語 1	1 年次	入学時の WeTEC スコアが基礎充実レベルと判定された場合に自動登録されます。
地理学研究法 1,2,3,4	2 年次以上	前年度秋学期に行う予備登録の結果をもとに、自動登録されます。
再履修となった卒業論文、卒業研究、３ゼミ、４ゼミ		教育心理学専修、初等教育学専攻は自動登録されません。再履修を希望する場合、各自で Web 履修申請を行ってください
地域連携基礎演習	1 年次	地域探究・貢献入試合格者のみ自動登録されます（GEC 設置科目）。

※再履修等で Web 履修申請が必要な専門必修科目や外国語 A の基礎において、抽選の結果選外になり、時間割の都合上履修不可能な場合は、教育学部事務所に相談してください。

● 自動登録例外科目

以下にあてはまる場合には自動登録されませんので注意してください。

・複合文化学科：「複合文化学テーマ演習 I」、「複合文化学テーマ演習 II」 ・学士入学・再入学・転科転専修学生 ・再履修となった専門必修科目（卒業論文、卒業研究、３ゼミ、４ゼミを除く） ・休学・留学から復学する際の専門必修科目（復学手続の書類を参照のこと） ・「外国語Aの基礎」以外の外国語科目、2年次以降の「外国語Aの基礎」 ・外国学生の日本語科目	⇒	Web履修申請
・「歴史学演習Ⅰ・Ⅱ」「地理学演習Ⅰ・Ⅱ」を専門選択科目（主選択）として履修した場合の再履修希望者 ・前年に行われた「卒業論文」「演習（ゼミ）」予備登録に不参加	⇒	所属学科専攻専修の主任（または助手）に申し出てゼミを決定してください。その後、「科目登録変更願(所定用紙)」に許可印をもらい、教育学部事務所に提出してください。
・必修科目を登録するための前提条件を満たしていない	⇒	申請できません
・教育心理学専修：「教育心理学演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業論文」 ・初等教育学専攻：「初等教育学演習Ⅰ・Ⅱ」「卒業論文」	⇒	専門選択科目（主選択）のため、自動登録されません。Webから履修登録が必要です。予備登録で決定したクラスを登録してください。

● 自動登録された科目のクラス変更・取消しを認める場合

以下の場合はクラス変更や取消を認めますので、１次登録期間中に教育学部事務所で手続きください。

① 再履修の専門必修科目と自動登録された専門必修科目の曜日時限が重複している場合

※ただし、再履修科目のクラスが１つしかない場合に限る

② 最終学年時において、クラスを変更しないと在学中に資格取得に必要な単位を修得できない場合

POINT2　科目登録（Web 履修申請）

履修希望科目を決めるにあたっては、授業ガイドに加えて教育学部 HP の科目登録ページ※を参照してください。履修希望科目が決まったら、Web 科目登録手順（教育学部 HP に掲載）に従って Web 履修申請を行ってください。締切時間に注意し、余裕を持って申請を行ってください。

※教育学部 HP ＞ 在学生の方へ＞ 科目登録　(https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/)
を参照のこと。右記 QR コードからもアクセス可能です。

● 申請対象科目

登録機会によって申請対象科目が異なります。教育学部 HP 科目登録ページの日程を参照してください。

● 余裕定員表の確認

申請する前に、必ず教育学部 HP で「余裕定員表」で登録希望科目の残り定員を確認してください（1 次登録を除く）。余裕定員表は、次の登録機会開始までに公開します。

⚠ 募集を終了している科目は Web 履修申請画面で検索することができません

● 利用可能時間

システムの安定稼動のために、利用可能時間を指定します。

７：００～翌２：００	Web 履修システムが稼働しています。
２：００～７：００	メンテナンス時間のため利用することができません。

⚠ 申請時間締切直前はシステムが大変混雑しますので、余裕を持って申請を行ってください。
いかなる理由があっても、指定された期間外には受付できません。

● 希望順位登録

一部科目については、「希望順位登録」を行います。希望順位登録とは、抽選が行われる可能性が高い科目を同時に複数クラス申請できる登録方法です。

希望順位を選択できる科目群は、希望順位選択のプルダウンメニューが表示されます。希望順位を選択する場合は、必ず第１希望から順に選択してください。第1希望のみ、第1・第2希望のみの申請も可能です。

■　登録機会/教育学部設置科目での対象科目
１次登録 / 「教育実習演習」「介護体験実習講義」

⚠ ・希望順位登録に伴う科目登録の流れは以下のとおりとなりますので、申請時に**第１～３希望のクラスと他の科目クラスの曜日時限を重複させないことをお勧めします。**
①上記の対象科目が第１～３希望までの希望順位に従い、最優先で登録される
②その後、上記①以外の科目が登録される

● 登録結果

登録結果は結果発表日以降に MyWaseda の履修申請画面に表示されます。なお、聴講料未納の科目や決定科目取消・変更期間中に取り消した科目、科目履修の前提条件を満たしていない等で不可になった科目、選外になった科目は、一定期間を超過すると履修申請画面から表示が消えます。必ず、各登録機会の結果発表日に My Waseda の履修申請画面で結果を確認してください。

結果	説明
決定	登録が決定した科目
不可	登録エラーのため、登録されなかった科目
選外	抽選の結果、登録されなかった科目

⚠ 授業実施教室はWebシラバスおよび1次登録結果発表日以降のWeb履修申請画面で確認できます。ただし、諸般の都合で教室が変更になる可能性がありますので、常に教育学部ホームページやWebシラバスで最新情報を確認してください。

POINT3 科目区分変更

一部科目では規定の科目区分を変更することが可能です（「随意科目」から「自由選択科目」等）。科目区分変更は、Web 科目登録画面上から所定期間内に行う必要があります。

なお、「卒業に必要な単位」に算入される科目区分に変更した場合、**その単位数は年間履修制限単位数にも含まれます**ので、年間履修制限単位数を超過しないように申請してください。

■ 変更可能科目

・「申請中」となっている科目。

・一部の登録「決定」科目。**決定科目変更・取消期間**にのみ変更可能。対象科目は次表のとおり。

変更可能科目	算入可能な科目区分
他箇所設置科目	☞授業ガイド ＞ Ⅰ卒業要件と履修方法 ＞ 3.他箇所・他機関の設置科目（オープン科目含む）の履修方法
（2018 年度以前入学者） 教職課程科目のうち 「教職に関する科目」	教職課程科目「教職に関する科目」 ※「教科又は教職に関する科目」、「司書関連科目」、「学芸員関連科目」は、卒業所定単位へ算入できません。
（2019 年度以降入学者） 教職課程科目のうち 「教育の基礎的理解に関する科目」等、 「各教科の指導法」	教職課程科目 ※「大学が独自に設定する科目」、「司書関連科目」、「学芸員関連科目」は、卒業所定単位へ算入できません。

※教育学部設置の専門教育科目等の科目区分変更はできません。

※既に「決定」となっている科目の科目区分は、当該科目登録機会における決定科目取消・変更期間にのみ変更可能。**ただし、以前の登録機会で決定となった科目の区分変更はできません。**

例：既に春学期に「決定」となった科目の科目区分は、秋学期科目登録では変更できません。

■ MyWaseda 操作方法

教育学部 HP ＞ 在学生の方へ ＞ 科目登録 ＞ 申請方法 ＞ Web 科目登録利用手順を参照ください。

⚠ **・他箇所設置科目の変更可能な科目区分は、科目によって異なります。詳細は、授業ガイド「教育学部における単位取り扱いについて」を参照してください。**

POINT4 決定科目取消

当該学期の１次～２次登録で「決定」となった科目については、３次登録期間に限り、取消の申請を行うことができます。ただし、次に挙げる科目は取消できません。

・専門必修科目
・地球科学専修主管の専門選択科目
・外国語科目
・教職課程科目のうち、「介護体験実習講義」「教育実習演習」「教職実践演習」
・全学オープン科目等、他学部等が提供する科目のうち、一部の取消不可科目

・春学期登録機会は通年科目・春学期科目(夏季集中・春夏期科目を含む)、秋学期登録機会は秋学期科目（冬季・春季集中科目を含む）のみ取消可能です。春学期登録科目は秋学期に取り消しできません。
・取消内容は即時に反映されます。年間履修制限単位数の範囲内であれば、科目取消と同時に、取り消した科目の単位数分、別の科目を追加で申請可能です。

■ 取消可能な単位数の上限：上限はありません。

■ MyWaseda 操作方法：教育学部 HP の科目登録ページに掲載の Web 科目登録利用手順を参照のこと。

POINT5 教職課程科目・資格関連科目の取扱い

１．教員免許状

（１）単位の取扱い

教職課程履修の手引きに記載のある科目（授業ガイドに「専門必修科目」、「専門選択科目」または「専門教育科目（他学科・他専修）」として定められている科目を除く）は、「随意科目」として取り扱い、修得した単位は卒業所定単位に算入されません。また、年間履修制限単位数にも含まれません。

ただし、科目区分を変更することで、2018年度以前入学者は**「教職に関する科目（必修、選択）」を、**2019年度以降入学者は**「教育の基礎的理解に関する科目」等（必修、選択）/「各教科の指導法」(必修、選択)**を、**＜教職課程科目＞として卒業所定単位に算入できます。**この場合、年間履修制限単位数に含まれます。区分変更は、科目申請時または当該登録機会の決定科目変更期間でのみ可能です。

・年間履修制限単位数とは別に、卒業要件に算入できる上限単位数が設けられている学科専修もあります。上限単位数は、入学年度や各学科専攻専修により異なるため、授業ガイドの卒業要件を参照してください。
・2018年度以前入学者：各学科専攻専修における「教職に関する科目（必修、選択)」は、授業ガイドの「教員免許状取得のための履修方法」を参照してください。
・2019年度以降入学者：「教育の基礎的理解に関する科目」等（必修、選択)、「各教科の指導法」(必修、選択）は学部要項を参照してください。

（２）教職課程の年間履修制限単位数

・2018 年度以前入学者：「教職に関する科目（必修、選択)」
・2019 年度以降入学者：「教育の基礎的理解に関する科目」等（必修、選択）/「各教科の指導法」(必修、選択)

年間２０単位を超えて登録することはできません。２０単位を超えて申請した場合、**無作為に選ばれた科目が取り消されます。**なお、各学科専攻専修に配当されている専門教育科目で「教職に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目」等に充当される科目は、この制限の対象とはなりません。

（３）教職課程科目の履修条件

教職課程履修の手引きを参照してください。

（4）聴講料

☞ POINT 6 聴講料・実験実習料・実習費納入を参照ください。

2．図書館司書、学校図書館司書教諭、博物館学芸員

（1）単位の取扱い

教職課程履修の手引きに記載のある科目は、「随意科目」と取扱い、修得した単位は卒業所定単位に算入されません。また、年間履修制限単位数にも含まれません。但し、授業ガイドに「専門必修科目」、「専門選択科目」または「専門教育科目（他学科・他専修）」として定められている科目を除きます。Web 履修申請画面の「科目区分」を確認し、算入単位か非算入単位であるかを確認してください。

（2）各資格に関する科目の履修条件

教職課程履修の手引きを参照してください。

（3）聴講料

☞ POINT 6 聴講料・実験実習料・実習費納入を参照ください。

POINT6 聴講料・実験実習料・実習費納入

聴講料・実験実習料・実習費の納入が必要な科目の登録が決定した場合は、所定の方法で納入してください。**期限内に納入がなかった場合、当該科目の登録が取り消されます**。期間外の納入は一切できません。また、その後の科目登録において、抽選の優先順位が下がることがあります。

聴講料納入時は登録決定した対象科目の合計額を納入する必要があります。一部の科目についてのみ聴講料を納入し残りを未納とする、といった対応はできません。

■ 対象科目

対象者	聴講料が必要な科目	聴講料
当該科目履修者全員	基礎充実英語１/基礎充実英語２	¥7,160
	教職課程科目	※1
	図書館司書関連科目	¥7,000 ※2
	博物館実習	¥5,000
	地理学研究法3/4	¥500
	生物学通論実験Ⅰ/生物学通論実験II	¥2,500 ※3
	地学通論実験Ⅰ/地学通論実験II	¥2,500 ※4
	化学実験Ⅰ/ 化学実験II	¥2,500 ※5
	物理学実験Ⅰ/ 物理学実験II	¥2,500 ※5
	個人差と適応（心理学）	¥300
	公認心理師心理実習	¥30,000
	Preparation for TOEFL	¥1,300
	Advanced Preparation for TOEFL	¥1,300
	グローバルエデュケーションセンター等設置科目のうち実験実習料や実習費を納入する必要がある科目※6	科目により異なる
	初等教科専門生活	¥1,000 ※7
	初等理科教育法 初等生活科教育法 初等教科専門図画工作 初等教科専門家庭	１科目につき ¥2,000 ※7

※１．教職課程科目の聴講料は次のとおり。なお、対象科目については、☞「教職課程履修の手引き」を参照ください。

対象者	対象科目	聴講料	備考
2014年度以前入学者	教職課程科目 ・教職に関する科目（必修、選択） ・教科又は教職に関する科目	¥10,000	学生単位の聴講料 一度納入すれば在学中有効
2015年度～2018年度入学者	教職課程科目 ・教職に関する科目（必修、選択）	1単位につき ¥1,000	対象科目を登録する度毎に、登録単位数に応じた聴講料の納入が必要
2019年度以降入学者	教職課程科目 ・「教育の基礎的理解に関する科目」等（必修、選択） ・各教科の指導法（必修、選択）	1単位につき ¥1,000	対象科目を登録する度毎に、登録単位数に応じた聴講料の納入が必要

※２．図書館司書関連科目は一度納入すれば在学中有効となります。詳細は☞「教職課程履修の手引き」を参照してください。　なお、教育学科教育学専修および生涯教育学専修の学生が「図書館概論」のみ履修する場合、聴講料は不要です。また、「生涯学習」は聴講料対象科目ではありません。

※３．理学科地球科学専修の学生が履修する場合、聴講料は不要です。

※４．理学科生物学専修の学生が履修する場合、聴講料は不要です。

※５．理学科生物学専修および地球科学専修の学生が履修する場合、聴講料は不要です。

※６．英語英文学科1年次に自動登録される専門必修科目「Tutorial English」は聴講料不要です。

※７．初等教育学専攻の学生が履修する場合、聴講料は不要です。

■　納入方法

聴講料の納入が必要な学生に対し、**Wasedaメール宛に納入案内メールを送付**しますので、そちらから必要な手続きを取ってください。コンビニ支払、ペイジーまたはクレジットカードで納入可能です。

・Waseda メールを定期的に確認すること
・差出人：fee-payment@list.waseda.jp、件名：【重要】〇〇年度〇学期登録　聴講料・実験実習料の納入について という案内メールが送信されます。対象のメールが「迷惑メールフォルダ」に入ってしまう場合もありますのでよく確認してください。
・分納（一部の科目のみ納入）はできません。
・Web 履修申請画面で「登録結果通知メール」の中で「￥」の付いた科目が聴講料の必要な科目です

POINT7　秋学期科目登録

秋学期科目（冬季・春季集中科目を含む）は、秋学期に科目登録します。ただし、**自動登録科目は、春学期科目登録の時点で、全期間の科目（通年科目・春学期科目・秋学期科目）が登録されます**（一部例外あり）。

■対象科目

秋学期科目（冬季・春季集中科目を含む）

・　登録できるのは、年間履修制限単位数を超えない単位数分の科目のみです。
・　春学期に不合格の科目が秋学期（冬季・春期集中）に開講している場合、申請可能です。

POINT8　留学予定者の科目登録

留学中は早稲田大学の科目を履修できません。既に登録されている科目は、留学後に教育学部事務所にて取消を行います(6 月/12 月頃)。取消に関し必要な手続きはありません。

また、休・留学開始年度に履修していた通年科目を、復学後の秋学期から継続して履修できます（継続履修制度)。継続履修を希望する学生は、留学前に担当教員にその旨を伝えてください。その後、春学期から復学する場合は、秋学期科目登録までに継続履修について事務所に申し出てください。秋学期から復学する場合は、復学時の手続きで継続履修を申請してください。ただし 4 月から休・留学を開始する場合は、継続履修の対象ではありません。留学に関する詳細は「学部要項」および留学センター発行の「留学の手引き」を参照してください。

なお、他学部提供の一部の科目では、半期以下の留学でも継続履修を認めているものや、半期科目での継続履修を認めているもの、また学籍状態が”留学”であっても履修できる科目があります。詳細は、教育学部 HP の科目登録ページを参照してください。

■　春学期から留学する場合、秋学期から半期留学する場合の登録科目の取り扱い

留学前には科目登録をする必要ありません。既に登録されている科目は、成績がついている科目以外は通年科目を含め事務所にて取消します(6 月/12 月頃)。

■　秋学期から１年間留学する場合の登録科目の取り扱い

科目	留学前（春学期）	帰国後（秋学期）
通年科目	・試験やレポートは必ず受験・提出のこと。スケジュール上不可能な場合は、事前に担当教員に相談する ・春学期最終講義時に、担当教員に留学予定で、復学後に継続履修予定であることを伝える	・継続履修対象となるため、復学の手続き時に登録手続きを行う ・成績は留学前の春学期と復学後の秋学期の成績を通算して評価される
春学期科目	試験やレポートは必ず受験・提出する	—
秋学期科目	—	復学後、Web 科目登録で通常通り申請する
夏季集中科目	出発前に履修する。学部事務所による取消の対象外となるため、授業日が留学と重複し、履修できない場合でも、配慮・継続履修の対象にならない	**継続履修対象外**

※他大学提供科目、復学時に休講・廃止となった通年科目は**継続履修対象外**となります。

秋学期～春学期の１年間休留学した場合の年間履修制限単位数は、
留学前の半期の登録単位数＋復学後の半期の登録単位数で計算されます。

POINT9 科目登録上の注意点

● 新設・廃止・名称変更のあった科目の登録

新設・廃止・名称変更のあった科目は、「授業ガイド」>「Ⅱ授業時間割」の「注意事項」に記載の科目対応表から確認してください。

● 共通科目：情報処理関連科目

下表のGEC設置科目は、「コンピュータ入門」「コンピュータ初級」と同レベルの内容のため、いずれかを履修している場合は登録できません。

設置箇所	科目
教育学部	コンピュータ入門、コンピュータ初級
グローバルエデュケーションセンター（GEC）	早稲田大学情報環境の活用（アカデミックリテラシー）（～2013年度） PC・ネットワークを利用した情報表現（～2015年度） Webコンテンツ作成技術と実践（～2017年度） 情報表現の基礎（～2018年度） 情報表現の実践（～2020年度） プレゼンテーションスキル実践（～2019年度） Webデザイン実践 情報科学の基礎

● 共通科目：所属学科専攻専修により履修できない科目

所属学科専攻専修によっては履修できない科目がありますので、「授業ガイド」>「Ⅱ授業時間割」の時間割掲載ページ下の注※を参照してください。

● 「外国語演習」「ツールとしての外国語」

本科目の受講には前提となる科目の単位を修得済みである必要があります。詳細は（☞「授業ガイド」>「Ⅰ卒業要件と履修方法」>「２．外国語科目の履修方法」）を参照してください。

■ 複合文化学科の学生

科目	前提科目
外国語演習Ⅰ１、Ⅰ２	外国語の基礎
外国語演習Ⅱ１	外国語演習Ⅰ１
外国語演習Ⅱ２	外国語演習Ⅰ２
外国語演習Ⅲ	外国語演習Ⅱ１　または　Ⅱ２
外国語演習Ⅳ	外国語演習Ⅲ

科目	前提科目
ツールとしての外国語Ⅰ	外国語の基礎 および 外国語のコミュニケーションの基礎
ツールとしての外国語Ⅱ	ツールとしての外国語Ⅰ
ツールとしての外国語Ⅲ	ツールとしての外国語Ⅱ
ツールとしての外国語Ⅳ	ツールとしての外国語Ⅲ
ツールとしての外国語Ⅴ	ツールとしての外国語Ⅳ

■ 複合文化学科以外

科目	前提科目
外国語演習Ⅰ１、Ⅰ２、Ⅱ１、Ⅱ２、Ⅲ、Ⅳ	「外国語の基礎」
ツールとしての外国語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ	「外国語の基礎」および「外国語のコミュニケーションの基礎」

POINT10 その他科目登録・科目履修に関する情報

● 科目登録・科目履修に関する情報

より詳細な科目登録の情報・科目履修の情報を教育学部HPの科目登録ページに掲載しています。以下に挙げる項目について掲載しています。必要に応じて参照してください。

教育学部HP ＞ 在学生の方へ ＞ 科目登録 ＞ 科目登録情報

[https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other]

右記のQRコードからもアクセスできます。

	項目	概要
1	**外国語Ａの履修について**	外国語Ａとして選択していない言語の科目履修について等
2	**朝鮮語選択学生の優先登録**	外国語Ａとして朝鮮語を選択している学生に対するグローバルエデュケーションセンター朝鮮語科目の優先登録について
3	**英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合**	TOEFLやTOEIC等のスコアで英語要件を満たす場合の注意点等。なお、各学科専修専攻で必要なスコアは「授業ガイド」＞「I卒業要件と履修方法」＞「1.卒業要件と履修上の注意」を確認してください。
4	**他学科他専修聴講可能科目**	他学科他専修聴講可能科目を履修するにあたっての留意事項
5	**再履修**	当年度成績が不合格であった科目を翌年度以降に再度履修する場合の注意点等
6	**複合文化学科における注意点**	「外国語演習」「ツールとしての外国語」のWeb申請について
7	**地球科学専修における注意点**	科目登録に関する注意事項
8	**生物学専修における注意点**	実験科目の履修における時間割の制約について
9	**他箇所の科目履修**	科目登録時期や注意点、単位の取扱い
10	**大学院先取り履修**	4年次に教育学研究科・理工学研究科の一部科目を履修することができます。その制度の詳細な内容について。
11	**延長生における注意点**	延長生における夏季集中科目および他大学科目の登録について
12	**学士入学者における注意点**	学士入学者（2012年度以降入学のみ）のWeb履修申請について
13	**付録**	共通端末室の利用案内・Web科目登録利用案内

● 卒業・教員免許状取得見込判定

４年生以上の学生を対象に行う卒業・教員免許状取得見込判定に関し、見込証明書の発行基準やその他注意点を教育学部HPの科目登録ページに掲載しています。

教育学部HP ＞ 在学生の方へ ＞ 卒業と演習・卒業論文（研究） ＞ 卒業・教員免許状取得見込判定

[https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/graduate-exercises/#anc_18]

右記のQRコードからもアクセスできます。

Ⅱ　卒業要件と履修方法

1．卒業要件の見方

２０１１～２０１８年度入学者

【教育学科・教育学専修】
≪卒業要件≫

【科目区分・科目系列】
科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために必要となる単位数が定められています。

【所定単位数】
その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。これらを全て満たしていない場合、卒業必要単位数（124～134 単位）を修得しても卒業不可となります。

要件を満た
」を満たす
4単位を満た
こと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 内訳	所定単位数 計	上限単位数 ※1	履修方法
教育学部共通科目	人文系		4	6	12	―	◇人文系・会系・自位を修得
	社会系					―	
	自然系		2			―	◇所定単位２０単位
	数理情報系		―			―	
	総合系		―			―	**設置科目位までを**
	体育系		―――			2	
外国語科目	外国語Ａ	基礎	4		8	20	◇外国語Ａとして選択した外国語の「外国語の基礎」を４単位、「外国語演習ら２単位者に
		ｺﾐｭﾆ	2				
		語演習	2				
		ﾂｰﾙ					
	外国語Ｂ（英語）	基礎	（8）				**り要件を** ◇外国語Ａした単位単位数と
		初級					
		中級					
		上級					
	その他の外国語		―――				
専門教育科目（自専修）	専門必修科目	1年	12		52	―――	◇教育学専し、合計
		2年	14				
		3年	14				
		4年	12				
	専門選択科目	主選択	10	8	18	44	◇教育学専科目から ◇所定単位４単位ま
		副選択	―				

【上限単位数】
科目区分ごとの、卒業必要単位に算入できる上限単位数。この例では、「共通科目」は 20 単位まで卒業単位に算入されますので、仮に共通科目で 24 単位修得しても、4 単位分は算入されません。
体育系は 2 単位まで算入可能です。

【英語卒業要件】
卒業に必要な外国語Ｂの単位数。自身の英語レベル以上の科目を履修しなければなりません。
※中級レベルの者が初級科目を履修しても卒業要件を満たしません。

TOEIC 等の外部試験で基準点以上を取得することで、英語卒業要件を満たすことも可能です。その場合英語科目の履修は必要なくなりますが、卒業必要単位数（124～134 単位）は変わりませんので、この分を他の科目区分から修得しなければなりません。

グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合は申請方法に注意が必要です。（→「２．その他の注意事項」）

②《卒業所定単位数》	124	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計９０（９８）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語８単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

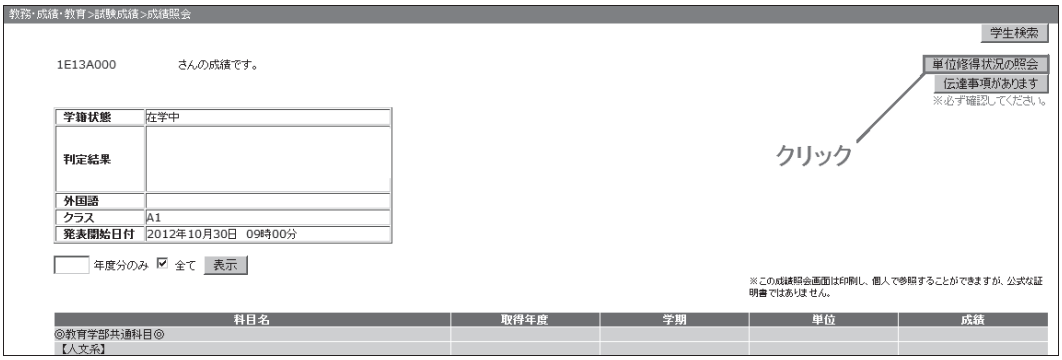
2．その他の注意事項

①グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合、Web科目申請時に科目区分を変更して申請する必要があります。その際、グローバルエデュケーションセンターが定めている英語レベルと、教育学部が定めている英語レベルが異なりますので、必ず**授業ガイドの「グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧」**を確認し、自身の英語レベル以上の科目を履修申請してください。

②2019年度以降入学者は、科目区分別の卒業算入上限単位数はありません。しかしながら、一部の科目区分の単位を偏って履修しないよう、体系的に学ぶよう心掛けてください。

3．成績照会画面の見方

MyWasedaの成績照会画面を開き「単位修得状況の照会」をクリックすると、これまでの単位の修得状況を確認することができます。



単位修得状況は科目登録、成績発表時には必ず確認してください。
授業ガイドより卒業要件を確認の上、卒業に必要な科目を履修してください。

【科目区分名】
科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために
必要となる単位数が定められています。

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

科目区分名		所定	既得	算入
教育学部共通科目	人文系・社会系	4	6	6
	自然系	2	2	2
	数理情報系		2	2
	総合系		0	0
	小計	12	10	10
	体育系		2	2
	小計		12	12
外国語科目	外国語A	8	6	6
	＜中国語(基礎)＞	4	4	4
	＜中国語(コミュ基礎)＞	2	0	0
	＜中国語(資習・ツール)＞	2	2	2
	外国語B		0	0
	外国語その他		0	0
	小計	8	6	6
	一年必修	12	12	12
	二年必修	14	6	6
	三年必修	14	0	0
	四年必修	12	0	0
	小計	52	18	18
	主・副選択	18	12	12
	自由選択科目		4	4
	教職課程科目		2	2
	小計		6	6
			4	4
	小計		4	4
			4	0
	小計		4	0
学術総合科目			2	0
	小計		2	0
	《上記以外の卒業要件》		0	0
	選択(主選択)	10	4	4
	英語試験		0	0
総合計		124	64	58

【《上記以外の卒業要件》】
学科専攻専修によって定められた卒業要件
2011 年度以降入学の教育学専修の場合、
以下の要件があります。
※入学年度により要件は異なります。

①専門選択科目のうち主選択から 10 単位修得
②英語卒業要件

【所定・既得・算入】
「所定」…その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。授業ガイドの「所定単位数」を意味します。
「既得」…科目区分・科目系列ごとの修得した総単位数。卒業所定単位に算入されない単位も含みます。
「算入」…科目区分・科目系列ごとの修得した卒業所定単位に算入される総単位数。随意科目は含みません。

よって、卒業要件を満たすには「所定単位数≦算入単位数」となるように単位を修得し、全体で卒業必要単位数（124～134 単位）を修得しなければなりません。その際、各科目区分の算入上限単位数にご注意ください。※

※科目登録の際は、各科目区分の単位修得状況と授業ガイドの卒業要件のページを確認してください。科目区分に上限単位数が設定されている場合、上限単位数以上に履修申請をしても、上限を超えた分の単位は卒業単位に算入されません。

２０１９年度以降入学者

【教育学科・教育学専修】

≪卒業要件≫

本専修を卒業するためには、以下の３つの要件を満たす必要があります。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124 単位を満たすこと。
③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳		所定単位数 計	履修方法
教育学部共通科目	人文系		4	6	１２	◇人文系・社会系から４単位、自然系から２単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から６単位の合計１２単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は､系列に係わらず卒業単位に算入される。
	社会系					
	自然系		2			
	数理情報系		－			
	総合系		－			
	体育系		―――			
外国語科目	外国語Ａ	基礎	4		8	◇外国語Ａとして選択した外国語の「外国語の基礎」４単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」２単位、「外国語演習Ⅰ～Ⅳ」または「ツールとしての外国語Ⅰ～Ⅴ」から２単位の合計８単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者は、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Ａとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語Ｂ(英語)は、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。**なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。** ◇所定単位数を超えて修得した単位は､系列に係わらず卒業単位に算入される。
		コミュニ	2			
		語演習	2			
		ツール				
	外国語Ｂ（英語）	基礎	（8）			
		初級				
		中級				
		上級				
	その他の外国語		―――			
専門教育科目（自専修）	専門必修科目	１年	１２		５２	◇教育学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計５２単位を修得すること。
		２年	１４			
		３年	１４			
		４年	１２			
	専門選択科目	主選択	１０	8	１８	◇教育学専修設置の主選択科目から１０単位、主選択・副選択科目から８単位の合計１８単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は､系列に係わらず卒業単位に算入される。
		副選択	―			
専門教育科目（他学科）（他専修）	専門選択科目		―――			◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目は、算入することができない。**
他箇所設置科目※	他学部科目		―――			
	他大学科目		―――			
	自由選択科目（全学部対象科目）		―――			◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部は、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。**
教職課程科目※			―――			◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計			９０（９８）			

②《卒業所定単位数》	１２４	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計９０（９８）単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語８単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分は、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

≪卒業要件・英語≫

《**卒業要件・英語**》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test（WeTEC）の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test（WeTEC）判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
０点　～　４２９点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計８単位
４３０点　～　５９９点	初　級	「初級」レベル以上の科目を計８単位
６００点　～　７１９点	中　級	「中級」レベル以上の科目を計８単位
７２０点　～１０００点	上　級	「上級」レベルの科目を計８単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことにならない。

②学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
（教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞科目登録情報
＞英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）

【学部で指定する期限】
３月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
９月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】下表のいずれかの基準を満たしていること。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEIC（Listening & Reading Test ）	690 点以上
TOEFL（iBT）	73 点以上
実用英語技能検定（英検）	１級

≪履修上の注意≫

◇１年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	８単位～１２単位
外国語科目	《外国語Ａ》４単位、《外国語Ｂ》４単位
専門教育科目	１年配当の《必修科目》１２単位及び《選択科目》から８単位
自由選択科目	０～４単位

◇ゼミ

「教育学演習Ⅰ」（３年必修）・「教育学演習Ⅱ」（４年必修）はいわゆるゼミにあたる科目であり、各クラス「教育学演習Ⅰ」と「教育学演習Ⅱ」との合併授業として２年連続で行われます。「教育学演習Ⅰ」のクラスは２年次の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「教育学演習Ⅱ」は「教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

なお、「教育学演習Ⅰ」は１～２年配当の専門必修科目１２単位以上の単位を未修得の場合は、履修を許可しません。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数１２４単位のうち８４単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60 単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

【教育学科・教育学専修】

≪卒業要件≫

本専修を卒業するためには、以下の３つの要件を満たす必要があります。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124 単位を満たすこと。
③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 計	上限単位数※1	履修方法
教育学部共通科目	人文系		4	6 / 12	—	◇人文系・社会系から４単位、自然系から２単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から６単位の合計１２単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて２０単位まで系列に係わらず卒業単位に算入される。 **但し、体育系はグローバルエデュケーションセンター設置の対象科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り２単位までを卒業単位に算入することができる。**
	社会系				—	
	自然系		2		—	
	数理情報系		—		—	
	総合系		—		—	
	体育系		―――		2	
外国語科目	外国語Ａ	基礎	4	8	２４	◇外国語Ａとして選択した外国語の「外国語の基礎」４単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」２単位、「外国語演習Ⅰ～Ⅳ」または「ツールとしての外国語Ⅰ～Ⅴ」から２単位の合計８単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者は、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Ａとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語Ｂ(英語)は、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。**なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。** ◇外国語Ａおよび外国語Ｂ（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、所定単位数と合わせて２４単位まで卒業単位に算入される。
		ｺﾐｭﾆ	2			
		語演習	2			
		ﾂｰﾙ				
	外国語Ｂ（英語）	基礎	（8）			
		初級				
		中級				
		上級				
	その他の外国語		―――			
専門教育科目（自専修）	専門必修科目	１年	１２	５２	―――	◇教育学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計５２単位を修得すること。
		２年	１４			
		３年	１４			
		４年	１２			
	専門選択科目	主選択	１０	８ / １８	４４	◇教育学専修設置の主選択科目から１０単位、主選択・副選択科目から８単位の合計１８単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて４４単位まで卒業単位に算入される。
		副選択	—			
専門教育科目（他学科）（他専修）	専門選択科目		―――		１６	◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は合計１６単位まで卒業単位に算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目は、算入することができない。**
他箇所設置科目※2	他学部科目		―――			
	他大学科目		―――			
	自由選択科目（全学部対象科目）		―――		１６	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、１６単位まで卒業単位に算入することができる。 **なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部は、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。**
教職課程科目※2			―――		２４	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、２４単位まで卒業単位に算入することができる。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計			９０（９８）			

②《卒業所定単位数》	１２４	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計９０（９８）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語８単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※１．卒業単位に算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。
※２．科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算

入可能な科目区分は、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

≪卒業要件・英語≫

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test（WeTEC）の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test（WeTEC）判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
０点　～　４２９点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計８単位
４３０点　～　５９９点	初　級	「初級」レベル以上の科目を計８単位
６００点　～　７１９点	中　級	「中級」レベル以上の科目を計８単位
７２０点　～１０００点	上　級	「上級」レベルの科目を計８単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことにならない。

②学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
（教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞科目登録情報
＞英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）

【学部で指定する期限】
３月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
９月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL（iBT）	73 点以上
TOEIC	690 点以上
実用英語技能検定（英検）	１級

≪履修上の注意≫

◇１年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	８単位～１２単位
外国語科目	《外国語Ａ》４単位、《外国語Ｂ》４単位
専門教育科目	１年配当の《必修科目》１２単位及び《選択科目》から８単位
自由選択科目	０～４単位

◇ゼミ

「教育学演習Ⅰ」（３年必修）・「教育学演習Ⅱ」（４年必修）はいわゆるゼミにあたる科目であり、各クラス「教育学演習Ⅰ」と「教育学演習Ⅱ」との合併授業として２年連続で行われます。「教育学演習Ⅰ」のクラスは２年次の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「教育学演習Ⅱ」は「教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

なお、「教育学演習Ⅰ」は１～２年配当の専門必修科目１２単位以上の単位を未修得の場合は、履修を許可しません。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数１２４単位のうち８４単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60 単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

【教育学科・教育学専修】

≪卒業要件≫

本専修を卒業するためには、以下の２つの要件を満たす必要があります。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」　６２単位を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 計	履　修　方　法
専門教育科目	専門必修科目	１年	８	４４	◇教育学専修設置の全必修科目を履修し、合計４４単位を修得すること。（４年配当科目は４年次に履修すること。） ◇専門必修科目のうち「教育学プレゼミⅠ～Ⅳ」は卒業要件としない。なお、当該科目を履修し、単位を修得した場合は、随意科目とする。
		２年	１０		
		３年	１４		
		４年	１２		
	専門選択科目	主選択	１０	１８	◇所定単位数を超えて修得した単位は､卒業単位に算入される。
		副選択	― ８		
《卒業所定単位数》			６２		

≪履修上の注意≫

◇年間履修制限単位数

・ 教育学専修学士入学者（2012年度以降入学者）の年間履修制限単位数は『 **４６単位** 』です。

◇卒業論文

・ 卒業論文は、卒業所定単位数６２単位のうち**１６単位以上**を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇ゼミ

・ 「教育学演習Ⅰ」（３年必修）・「教育学演習Ⅱ」（４年必修）はいわゆるゼミにあたる科目であり、各クラス「教育学演習Ⅰ」と「教育学演習Ⅱ」との合併授業として２年連続で行われます。「教育学演習Ⅱ」は「教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き同じ担当教員のクラスを履修することになります。

◇学士入学者への注意事項

・ 専門教育科目以外の科目を履修した場合、随意科目として取り扱い、卒業所定単位数、年間履修制限単位数に含まれません。
・ 学士入学者は外国語Ａ・外国語Ｂを履修する必要はありませんが、履修を希望する場合は教育学部事務所にて所定の手続きをしてください。外国語に設定されている各種前提条件は学士入学者に適用されませんので、どのレベルからも履修することが可能です。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60 単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

１．卒業要件の見方

２０１２～２０１８年度入学者

【教育学科・生涯教育学専修】

≪卒業要件≫

…の要件を満…
…数」を満た…
…24 単位を…
③別表…英語≫の要件を満たすこと。

【科目区分・科目系列】
科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために必要となる単位数が定められています。

【所定単位数】
その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。これらを全て満たしていない場合、卒業必要単位数（124～134 単位）を修得しても卒業不可となります。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳		所定単位数 計	上限単位数 ※１		履修方法
教育学部共通科目	人文系		４	４	１２	－	２０	◇人文系・社…会系・自然…位を修得す… ◇所定単位数…０単位まで… …一設置科目… **４単位まで…**
	社会系					－		
	自然系		４			－		
	数理情報系		－			－		
	総合系		－			－		
	体育系		―――			４		
外国語科目	外国語Ａ	基礎	４		６	２２		◇外国語Ａとして選択した外国語の「外国語の基礎」を４単位、「外国…６単位を修…本紙「外国… ◇外国語Ｂ（英…を満た…
		ｺﾐｭﾆ	２					
		語演習	―――					
		ﾂｰﾙ						
	外国語Ｂ（英語）	基礎	（８）					◇外国語Ａ…した単位、…単位数と合…
		初級						
		中級						
		上級						
	その他の外国語		―――					
専門教育科目（自専修）	専門必修科目	１年	１０		４４	―――		◇生涯教育学…修し、合計…
		２年	１０					
		３年	１２					
		４年	１２					
	専門選択科目		１４			５２		◇生涯教育学…こと。 ◇所定単位数…５２単位ま…

【上限単位数】
科目区分ごとの、卒業必要単位に算入できる上限単位数。この例では、「共通科目」は 20 単位まで卒業単位に算入されますので、仮に共通科目で 24 単位修得しても、4 単位分は算入されません。
体育系は 4 単位まで算入可能です。

【英語卒業要件】
卒業に必要な外国語Ｂの単位数。自身の英語レベル以上の科目を履修しなければなりません。
※中級レベルの者が初級科目を履修しても卒業要件を満たしません。

TOEIC 等の外部試験で基準点以上を取得することで、英語卒業要件を満たすことも可能です。その場合英語科目の履修は必要なくなりますが、卒業必要単位数（124～134 単位）は変わりませんので、この分を他の科目区分から修得しなければなりません。

グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合は申請方法に注意が必要です。（→「２．その他の注意事項」）

②《卒業所定単位数》	１２４	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計７６（８４）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語８単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

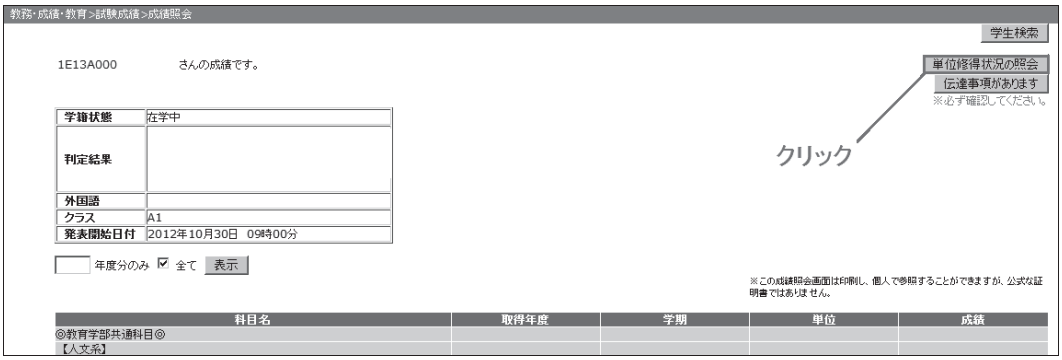
２．その他の注意事項

①グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合、Web科目申請時に科目区分を変更して申請する必要があります。その際、グローバルエデュケーションセンターが定めている英語レベルと、教育学部が定めている英語レベルが異なりますので、必ず**授業ガイドの「グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧」**を確認し、自身の英語レベル以上の科目を履修申請してください。

②2019年度以降入学者は、科目区分別の卒業算入上限単位数はありません。しかしながら、一部の科目区分の単位を偏って履修しないよう、体系的に学ぶよう心掛けてください。

3．成績照会画面の見方

MyWasedaの成績照会画面を開き「単位修得状況の照会」をクリックすると、これまでの単位の修得状況を確認することができます。



単位修得状況は科目登録、成績発表時には必ず確認してください。
授業ガイドより卒業要件を確認の上、卒業に必要な科目を履修してください。

【科目区分名】
科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために
必要となる単位数が定められています。

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

科目区分名		所定	既得	算入
教育学部共通科目	人文系・社会系	4	6	6
	自然系	4	4	4
	数理情報系		2	2
	総合系		0	0
	小計	12	12	12
	体育系		1	1
	小計		13	13
外国語科目	外国語A	6	6	6
	＜中国語(基礎)＞	4	4	4
	＜中国語(コミュ基礎)＞	2	2	2
	外国語B		8	8
	外国語その他		0	0
	小計	6	14	14
	一年必修	10	10	10
	二年必修	10	10	10
	三年必修	12	12	12
	四年必修	12	12	12
	小計	44	44	44
	専門教育科目(選択)	14	57	52
	自由選択科目		0	0
	教職課程科目		14	14
	小計		14	14
			0	0
	小計		0	0
			23	0
	小計		23	0
教職課程科目			20	0
	小計		20	0
	《上記以外の卒業要件》		0	0
	英語卒業要件(初級以上)	8	8	8
総合計		124	185	137

【《上記以外の卒業要件》】
学科専攻専修によって定められた卒業要件
2012 年度以降入学の生涯教育学専修の場合、
以下の要件があります。
※入学年度により要件は異なります。

①英語卒業要件

【所定・既得・算入】
「所定」…その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。授業ガイドの「所定単位数」を意味します。
「既得」…科目区分・科目系列ごとの修得した総単位数。卒業所定単位に算入されない単位も含みます。
「算入」…科目区分・科目系列ごとの修得した卒業所定単位に算入される総単位数。随意科目は含みません。

よって、卒業要件を満たすには「所定単位数≦算入単位数」となるように単位を修得し、全体で卒業必要単位数（124～134 単位）を修得しなければなりません。その際、各科目区分の算入上限単位数にご注意ください。※

※科目登録の際は、各科目区分の単位修得状況と授業ガイドの卒業要件のページを確認してください。科目区分に上限単位数が設定されている場合、上限単位数以上に履修申請をしても、上限を超えた分の単位は卒業単位に算入されません。

【教育学科・生涯教育学専修】

≪卒業要件≫

本専修を卒業するためには、以下の３つの要件を満たす必要があります。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124 単位を満たすこと。
③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 計	履修方法
教育学部共通科目	人文系		4	4	12	◇人文系・社会系から４単位、自然系から４単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から４単位の合計１２単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
	社会系					
	自然系		4			
	数理情報系		－			
	総合系		－			
	体育系		―――			
外国語科目	外国語Ａ	基礎	4	6		◇外国語Ａとして選択した外国語の「外国語の基礎」を４単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を２単位の合計６単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Ａとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語Ｂ(英語)については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 **なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。** ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
		コミュニ	2			
		語演習	―――			
		ツール				
	外国語Ｂ（英語）	基礎	（8）			
		初級				
		中級				
		上級				
	その他の外国語		―――			
専門教育科目（自専修）	専門必修科目	１年	１０	４０		◇生涯教育学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計４０単位を修得すること。
		２年	８			
		３年	１０			
		４年	１２			
	専門選択科目		１４			◇生涯教育学専修設置の専門選択科目から１４単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
専門教育科目（他学科）（他専修）	専門選択科目		―――			◇他学科他専修科目は全て卒業単位に算入される。
他箇所設置科目※	他学部科目		―――			◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **但し、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目については、算入することができない。**
	他大学科目		―――			◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。
	自由選択科目（全学部対象科目）		―――			◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。**
教職課程科目※			―――			◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計			７２（８０）			

②《卒業所定単位数》	１２４	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計７６（８４）単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語８単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

≪卒業要件・英語≫

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たすこと。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test（WeTEC）の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test（WeTEC）判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
０点　～　４２９点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計８単位
４３０点　～　５９９点	初　級	「初級」レベル以上の科目を計８単位
６００点　～　７１９点	中　級	「中級」レベル以上の科目を計８単位
７２０点　～１０００点	上　級	「上級」レベルの科目を計８単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことにならない。

②学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
（教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞科目登録情報
＞英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）

【学部で指定する期限】
３月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
９月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】下表のいずれかの基準を満たしていること。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEIC（Listening & Reading Test ）	690 点以上
TOEFL（iBT）	73 点以上
実用英語技能検定（英検）	１級

≪履修上の注意≫

◇１年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	１２単位～１４単位
外国語科目	《外国語Ａ》４単位、《外国語Ｂ》４単位
専門教育科目	１年配当の《必修科目》１０単位及び《選択科目》から４単位
自由選択科目	０～８単位

◇ゼミ

「社会教育演習Ⅰ-1/Ⅰ-2」（３年必修）・「社会教育演習Ⅱ-1/Ⅱ-2」（４年必修）はいわゆるゼミにあたる科目です。「社会教育演習Ⅰ-1/Ⅰ-2」のクラスは２年生の秋学期、「社会教育演習Ⅱ-1/Ⅱ-2」のクラスは３年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数１２４単位のうち８４単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇資格取得

教員志望者・生涯教育関係資格（社会教育主事、社会教育士、図書館司書、学芸員等）、社会福祉主事取得希望者は、できるだけ教育学科生涯教育学専修の専門選択科目を履修することを薦めます。

教員志望者・司法試験受験者・大学院進学希望者は、外国語科目の選択についても十分な留意をして下さい。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60 単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

【教育学科・生涯教育学専修】

≪卒業要件≫

本専修を卒業するためには、以下の３つの要件を満たす必要があります。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124 単位を満たすこと。
③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 計	履修方法
教育学部共通科目	人文系		4	4	12	◇人文系・社会系から４単位、自然系から４単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から４単位の合計１２単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
	社会系					
	自然系		4			
	数理情報系		－			
	総合系		－			
	体育系		―――			
外国語科目	外国語Ａ	基礎	4	6		◇外国語Ａとして選択した外国語の「外国語の基礎」を４単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を２単位の合計６単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Ａとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語Ｂ(英語)については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 **なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。** ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
		ｺﾐｭﾆ	2		
		語演習	―――		
		ﾂｰﾙ			
	外国語Ｂ（英語）	基礎	（8）		
		初級			
		中級			
		上級			
	その他の外国語		―――		
専門教育科目（自専修）	専門必修科目	１年	１０	４４	◇生涯教育学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計４４単位を修得すること。
		２年	１０		
		３年	１２		
		４年	１２		
	専門選択科目		１４		◇生涯教育学専修設置の専門選択科目から１４単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
専門教育科目（他学科）（他専修）	専門選択科目		―――		◇他学科他専修科目は全て卒業単位に算入される。
他箇所設置科目※	他学部科目		―――		◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **但し、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目については、算入することができない。**
	他大学科目		―――		◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。
	自由選択科目（全学部対象科目）		―――		◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。**
教職課程科目※			―――		◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計			７６（８４）		

②《卒業所定単位数》	１２４	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計７６（８４）単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語８単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

≪卒業要件・英語≫

《**卒業要件・英語**》下記①②のいずれか一つの要件を満たすこと。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test（WeTEC）の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test（WeTEC）判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
０点　～　４２９点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計８単位
４３０点　～　５９９点	初　級	「初級」レベル以上の科目を計８単位
６００点　～　７１９点	中　級	「中級」レベル以上の科目を計８単位
７２０点　～１０００点	上　級	「上級」レベルの科目を計８単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことにならない。

②学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
（教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞科目登録情報
＞英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）

【学部で指定する期限】
3月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
9月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】下表のいずれかの基準を満たしていること。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEIC（Listening & Reading Test ）	690 点以上
TOEFL（iBT）	73 点以上
実用英語技能検定（英検）	１級

≪履修上の注意≫

◇１年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	１２単位～１４単位
外国語科目	《外国語Ａ》４単位、《外国語Ｂ》４単位
専門教育科目	１年配当の《必修科目》１０単位及び《選択科目》から４単位
自由選択科目	０～８単位

◇ゼミ

「社会教育演習Ⅰ-1/Ⅰ-2」（３年必修）・「社会教育演習Ⅱ-1/Ⅱ-2」（４年必修）はいわゆるゼミにあたる科目です。「社会教育演習Ⅰ-1/Ⅰ-2」のクラスは２年生の秋学期、「社会教育演習Ⅱ-1/Ⅱ-2」のクラスは３年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数１２４単位のうち８４単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇資格取得

教員志望者・生涯教育関係資格（社会教育主事、社会教育士、図書館司書、学芸員等）、社会福祉主事取得希望者は、できるだけ教育学科生涯教育学専修の専門選択科目を履修することを薦めます。

教員志望者・司法試験受験者・大学院進学希望者は、外国語科目の選択についても十分な留意をしてください。

◇廃止された必修科目の代替について

- 「社会教育実習I／II」（1年必修）の単位を未修得の者は、「生涯教育基礎演習」を履修し、単位を修得してください。
- 「社会教育研究」（2年必修）の単位を未修得の者は、専門選択科目「社会教育課題研究I-1」または「社会教育課題研究II-1」のいずれか１科目を科目登録し、科目登録期間中に教育学部事務所にて科目区分変更（選択→必修）の手続きを行ってください。
- 「社会教育方法論」（3年必修）の単位を未修得の者は、専門選択科目「生涯学習支援論I」および「生涯学習支援論II」を科目登録し、科目登録期間中に教育学部事務所にて科目区分変更（選択→必修）の手続きを行ってください。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60 単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

【教育学科・生涯教育学専修】

≪卒業要件≫

本専修を卒業するためには、以下の３つの要件を満たす必要があります。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124 単位を満たすこと。
③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 計	上限単位数※1	履修方法
教育学部共通科目	人文系		4	4 / 12	― / 20	◇人文系・社会系から４単位、自然系から４単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から４単位の合計１２単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は､所定単位数と合わせて２０単位まで系列に係わらず卒業単位に算入される。 **但し、体育系はグローバルエデュケーションセンター設置の対象科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り４単位までを卒業単位に算入することができる。**
	社会系				―	
	自然系		4		―	
	数理情報系		―		―	
	総合系		―		―	
	体育系		―――		4	
外国語科目	外国語Ａ	基礎	4	6	２２	◇外国語Ａとして選択した外国語の「外国語の基礎」を４単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を２単位の合計６単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Ａとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語Ｂ(英語)については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 **なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。** ◇外国語Ａおよび外国語Ｂ（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、所定単位数と合わせて２２単位まで卒業単位に算入される。
		コミュニ	2			
		語演習	―――			
		ツール				
	外国語Ｂ（英語）	基礎	（8）			
		初級				
		中級				
		上級				
	その他の外国語		―――			
専門教育科目（自専修）	専門必修科目	１年	１０	４４	―――	◇生涯教育学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計４４単位を修得すること。
		２年	１０			
		３年	１２			
		４年	１２			
	専門選択科目		１４		５２	◇生涯教育学専修設置の専門選択科目から１４単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて５２単位まで卒業単位に算入される。
専門教育科目（他学科）（他専修）	専門選択科目		―――		―――	◇他学科他専修科目は全て卒業単位に算入される。
他箇所設置科目※2	他学部科目		―――		―――	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **但し、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目については、算入することができない。**
	他大学科目		―――		―――	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。
	自由選択科目（全学部対象科目）		―――		―――	◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。**なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。**
教職課程科目※2			―――		２０	◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、２０単位まで卒業単位に算入することができる。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計			７６（８４）			

②《卒業所定単位数》	１２４	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計７６（８４）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語８単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※１．卒業単位に算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。
※２．科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

≪卒業要件・英語≫

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たすこと。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test（WeTEC）の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test（WeTEC）判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
０点　～　４２９点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計８単位
４３０点　～　５９９点	初　級	「初級」レベル以上の科目を計８単位
６００点　～　７１９点	中　級	「中級」レベル以上の科目を計８単位
７２０点　～１０００点	上　級	「上級」レベルの科目を計８単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことにならない。

②学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
（教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞科目登録情報
＞英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）

【学部で指定する期限】
３月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
９月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL（iBT）	73 点以上
TOEIC	690 点以上
実用英語技能検定（英検）	１級

≪履修上の注意≫

◇１年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	１２単位～１４単位
外国語科目	《外国語Ａ》４単位、《外国語Ｂ》４単位
専門教育科目	１年配当の《必修科目》１０単位及び《選択科目》から４単位
自由選択科目	０～８単位

◇ゼミ

「社会教育演習Ⅰ-1/Ⅰ-2」（３年必修）・「社会教育演習Ⅱ-1/Ⅱ-2」（４年必修）はいわゆるゼミにあたる科目です。「社会教育演習Ⅰ-1/Ⅰ-2」のクラスは２年生の秋学期、「社会教育演習Ⅱ-1/Ⅱ-2」のクラスは３年生の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数１２４単位のうち８４単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇資格取得

教員志望者・生涯教育関係資格（社会教育主事、社会教育士、図書館司書、学芸員等）、社会福祉主事取得希望者は、できるだけ教育学科生涯教育学専修の専門選択科目を履修することを薦めます。

教員志望者・司法試験受験者・大学院進学希望者は、外国語科目の選択についても十分な留意をしてください。

◇廃止された必修科目の代替について

- 「社会教育実習Ⅰ／ⅠⅠ」（1年必修）の単位を未修得の者は、「生涯教育基礎演習」を履修し、単位を修得してください。
- 「社会教育研究」（2年必修）の単位を未修得の者は、専門選択科目「社会教育課題研究Ⅰ-1」または「社会教育課題研究ⅠⅠ-1」のいずれか１科目を科目登録し、科目登録期間中に教育学部事務所にて科目区分変更（選択→必修）の手続きを行ってください。
- 「社会教育方法論」（3年必修）の単位を未修得の者は、専門選択科目「生涯学習支援論Ⅰ」および「生涯学習支援論ⅠⅠ」を科目登録し、科目登録期間中に教育学部事務所にて科目区分変更（選択→必修）の手続きを行ってください。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60 単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

1．卒業要件の見方

２０１１～２０１８年度入学者

【教育学科・教育心理学専修】
≪卒業要件≫

【科目区分・科目系列】
科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために必要となる単位数が定められています。

【所定単位数】
その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。これらを全て満たしていない場合、卒業必要単位数（124～134 単位）を修得しても卒業不可となります。

要件を満た
」を満たし
4単位を満
こと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 計	上限単位数※1	履修方法
教育学部共通科目	人文系		4	4	12	—	◇人文系 会系・ 位を修
	社会系					—	
	自然系		4			—	◇所定単 ０単位
	数理情報系		—			—	
	総合系		—			—	
	体育系		———			2	**一設 2単位**
外国語科目	外国語Ａ	基礎	4	6	24		◇外国語Ａとして選択した外国語の「外国語の基礎」を４単位、「 ６単位 本紙「 ◇外国
		ｺﾐｭﾆ	2				
		語演習	———				
		ﾂｰﾙ					
	外国語Ｂ（英語）	基礎	（8）				
		初級					
		中級					
		上級					◇外国語 した単 単位数
	その他の外国語		———				
専門教育科目（自専修）	専門必修科目	1年	20	38	———		◇教育心理 修し、
		2年	18				
		3年	—				
		4年	—				
	専門選択科目	主選択	36		62		◇教育心理 と。 ◇所定単 ６２単
		副選択	———				

【上限単位数】
科目区分ごとの、卒業必要単位に算入できる上限単位数。この例では、「共通科目」は 20 単位まで卒業単位に算入されますので、仮に共通科目で 24 単位修得しても、4 単位分は算入されません。
体育系は 2 単位まで算入可能です。

【英語卒業要件】
卒業に必要な外国語Ｂの単位数。自身の英語レベル以上の科目を履修しなければなりません。
※中級レベルの者が初級科目を履修しても卒業要件を満たしません。

TOEIC 等の外部試験で基準点以上を取得することで、英語卒業要件を満たすことも可能です。その場合英語科目の履修は必要なくなりますが、卒業必要単位数（124～134 単位）は変わりませんので、この分を他の科目区分から修得しなければなりません。

グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合は申請方法に注意が必要です。（→「２．その他の注意事項」）

②《卒業所定単位数》	１２４	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計９２（１００）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語８単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

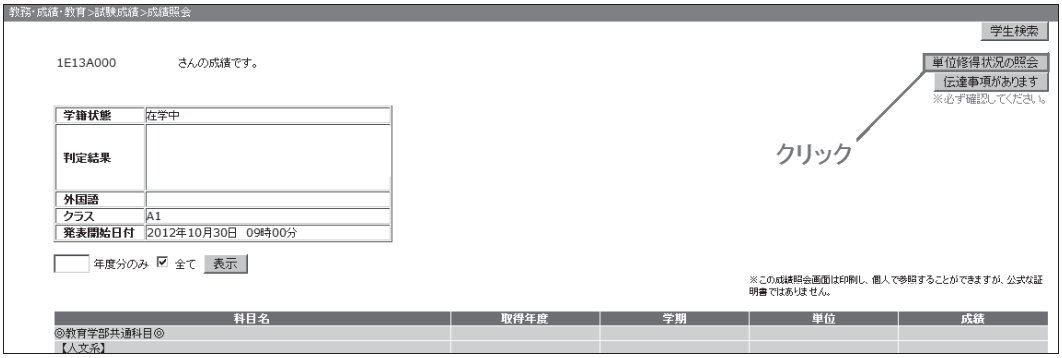
2．その他の注意事項

①グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合、Web科目申請時に科目区分を変更して申請する必要があります。その際、グローバルエデュケーションセンターが定めている英語レベルと、教育学部が定めている英語レベルが異なりますので、必ず**授業ガイドの「グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧」**を確認し、自身の英語レベル以上の科目を履修申請してください。

②2019年度以降入学者は、科目区分別の卒業算入上限単位数はありません。しかしながら、一部の科目区分の単位を偏って履修しないよう、体系的に学ぶよう心掛けてください。

3．成績照会画面の見方

MyWasedaの成績照会画面を開き「単位修得状況の照会」をクリックすると、これまでの単位の修得状況を確認することができます。



単位修得状況は科目登録、成績発表時には必ず確認してください。
授業ガイドより卒業要件を確認の上、卒業に必要な科目を履修してください。

【科目区分名】
科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために
必要となる単位数が定められています。

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

科目区分名		所定	既得	算入
教育学部共通科目	人文系・社会系	4	8	8
	自然系	4	4	4
	数理情報系		0	0
	総合系		0	0
	小計	12	12	12
	体育系		0	0
	小計		12	12
	外国語A	6	6	6
	＜中国語(基礎)＞	4	4	4
	＜中国語(コミュ基礎)＞	2	2	2
	外国語B		4	4
	外国語その他		0	0
	小計	6	10	10
	一年必修	20	20	20
	二年必修	18	0	0
	小計	38	20	20
	主・副選択		0	0
	自由選択科目		0	0
	教職課程科目		0	0
	小計		0	0
			0	0
	小計		0	0
			6	0
	小計		6	0
教職課程科目			8	0
	小計		8	0
	《上記以外の卒業要件》		0	0
	選択(主選択)	36	0	0
	英語卒業要件(初級以上)	8	4	4
総合計		124	56	42

【《上記以外の卒業要件》】
学科専攻専修によって定められた卒業要件
2011 年度以降入学の教育心理学専修の場合、
以下の要件があります。
※入学年度により要件は異なります。

①専門選択科目のうち主選択から 36 単位修得
（2010 年度以前入学者は 40 単位修得）
②英語卒業要件

【所定・既得・算入】
「所定」…その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。授業ガイドの「所定単位数」を意味します。
「既得」…科目区分・科目系列ごとの修得した総単位数。卒業所定単位に算入されない単位も含みます。
「算入」…科目区分・科目系列ごとの修得した卒業所定単位に算入される総単位数。随意科目は含みません。

よって、卒業要件を満たすには「所定単位数≦算入単位数」となるように単位を修得し、全体で卒業必要単位数（124～134 単位）を修得しなければなりません。その際、各科目区分の算入上限単位数にご注意ください。※

※科目登録の際は、各科目区分の単位修得状況と授業ガイドの卒業要件のページを確認してください。科目区分に上限単位数が設定されている場合、上限単位数以上に履修申請をしても、上限を超えた分の単位は卒業単位に算入されません。

【教育学科・教育心理学専修】

≪卒業要件≫

本専修を卒業するためには、以下の３つの要件を満たす必要があります。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124 単位を満たすこと。
③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 計	履修方法
教育学部共通科目	人文系		4	4	12	◇人文系・社会系から４単位、自然系から４単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から４単位の合計１２単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。 **但し、体育系については、グローバルエデュケーションセンター設置科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り卒業単位に算入することができる。**
	社会系					
	自然系		4			
	数理情報系		－			
	総合系		－			
	体育系		―――			
外国語科目	外国語Ａ	基礎	4	6		◇外国語Ａとして選択した外国語の「外国語の基礎」を４単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を２単位の合計６単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Ａとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語Ｂ(英語)については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 **なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。** ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
		ｺﾐｭﾆ	2			
		語演習	―――			
		ﾂｰﾙ				
	外国語Ｂ（英語）	基礎	（8）			
		初級				
		中級				
		上級				
	その他の外国語		―――			
専門教育科目（自専修）	専門必修科目	１年	２０	３８		◇教育心理学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計３８単位を修得すること。
		２年	１８			
		３年	―			
		４年	―			
	専門選択科目	主選択	３６			◇教育心理学専修設置の主選択科目から３６単位を修得すること。
		副選択	―――			◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
専門教育科目（他学科）（他専修）	専門選択科目		―――			◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は卒業単位に算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目については、算入することができない。**
他箇所設置科目※	他学部科目		―――			
	他大学科目		―――			
	自由選択科目（全学部対象科目）		―――			◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。**
教職課程科目※			―――			◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計			９２（１００）			

②《卒業所定単位数》	１２４	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計９２（１００）単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語８単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

≪卒業要件・英語≫

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たすこと。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test（WeTEC）の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test（WeTEC）判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
０点　～　４２９点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計８単位
４３０点　～　５９９点	初　級	「初級」レベル以上の科目を計８単位
６００点　～　７１９点	中　級	「中級」レベル以上の科目を計８単位
７２０点　～１０００点	上　級	「上級」レベルの科目を計８単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことにならない。

②学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
（教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞科目登録情報
＞英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）

【学部で指定する期限】
３月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
９月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】下表のいずれかの基準を満たしていること。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEIC（Listening & Reading Test ）	690 点以上
TOEFL（iBT）	73 点以上
実用英語技能検定（英検）	１級

≪履修上の注意≫

◇１年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	０～８単位
外国語科目	《外国語Ａ》４単位、《外国語Ｂ》４単位
専門教育科目	１年配当の《必修科目》２０単位及び《主選択・副選択科目》から０～４単位
自由選択科目	０～４単位

◇卒業論文

・卒業論文は、卒業所定単位数１２４単位のうち８４単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。
卒業論文の内容に近い実験演習，演習（ゼミ）を履修しておくことを勧めます。

◇進学

大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇資格取得

・認定心理士の資格取得を希望する者は「卒業論文」を履修してください。
・公認心理師の資格取得を希望する者は公認心理師法で定める２５科目を履修しなければなりません。履修科目・履修方法についてはガイダンス及び公認心理師コンソーシアムのホームページを参考にして下さい。この資格の取得には原則として大学院進学が必要となります。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60 単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

【教育学科・教育心理学専修】

≪卒業要件≫

本専修を卒業するためには、以下の３つの要件を満たす必要があります。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」124 単位を満たすこと。
③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 計	上限単位数※1	履修方法
教育学部共通科目	人文系		4	4	12	―	20	◇人文系・社会系から４単位、自然系から４単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から４単位の合計１２単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は､所定単位数と合わせて２０単位まで系列に係わらず卒業単位に算入される。 **但し、体育系はグローバルエデュケーションセンター設置の対象科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り２単位までを卒業単位に算入することができる。**
	社会系					―		
	自然系					―		
	数理情報系		―			―		
	総合系		―			―		
	体育系		―――			2		
外国語科目	外国語Ａ	基礎	4	6		２４		◇外国語Ａとして選択した外国語の「外国語の基礎」を４単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を２単位の合計６単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Ａとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語Ｂ(英語)については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 **なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。** ◇外国語Ａおよび外国語Ｂ（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、所定単位数と合わせて２４単位まで卒業単位に算入される。
		ｺﾐｭﾆ	2					
		語演習	―――					
		ﾂｰﾙ						
	外国語Ｂ（英語）	基礎	（8）					
		初級						
		中級						
		上級						
	その他の外国語		―――					
専門教育科目（自専修）	専門必修科目	１年	２０	３８		―――		◇教育心理学専修設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計３８単位を修得すること。
		２年	１８					
		３年	―					
		４年	―					
	専門選択科目	主選択	３６			６２		◇教育心理学専修設置の主選択科目から３６単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、所定単位数と合わせて６２単位まで卒業単位に算入される。
		副選択	―――					
専門教育科目（他学科）（他専修）	専門選択科目		―――			１６		◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は合計１６単位まで卒業単位に算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目については、算入することができない。**
他箇所設置科目※2	他学部科目		―――					
	他大学科目		―――					
	自由選択科目（全学部対象科目）		―――			１６		◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、１６単位まで卒業単位に算入することができる。 **なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。**
教職課程科目※２			―――			２０		◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、２０単位まで卒業単位に算入することができる。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計			９２（１００）					

②《卒業所定単位数》	１２４	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計９２（１００）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語８単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※1．卒業単位に算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。
※2．科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

≪卒業要件・英語≫

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たすこと。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test（WeTEC）の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test（WeTEC）判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
０点　～　４２９点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計８単位
４３０点　～　５９９点	初　級	「初級」レベル以上の科目を計８単位
６００点　～　７１９点	中　級	「中級」レベル以上の科目を計８単位
７２０点　～１０００点	上　級	「上級」レベルの科目を計８単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことにならない。

②学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
（教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞科目登録情報
＞英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）

【学部で指定する期限】
３月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
９月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL（iBT）	73 点以上
TOEIC	690 点以上
実用英語技能検定（英検）	１級

≪履修上の注意≫

◇１年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	０～８単位
外国語科目	《外国語Ａ》４単位、《外国語Ｂ》４単位
専門教育科目	１年配当の《必修科目》２０単位及び《主選択・副選択科目》から０～４単位
自由選択科目	０～４単位

◇卒業論文

・卒業論文は、卒業所定単位数１２４単位のうち８４単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。
卒業論文の内容に近い実験演習，演習（ゼミ）を履修しておくことを勧めます。

◇進学

大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇資格取得

・認定心理士の資格取得を希望する者は「卒業論文」を履修してください。
・公認心理師の資格取得を希望する者は公認心理師法で定める２５科目を履修しなければなりません。履修科目・履修方法についてはガイダンス及び公認心理師コンソーシアムのホームページを参考にして下さい。この資格の取得には原則として大学院進学が必要となります。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60 単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

【教育学科・教育心理学専修】

≪卒業要件≫

本専修を卒業するためには、以下の２つの要件を満たす必要があります。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」　７４単位を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 計	履　修　方　法
専門教育科目	専門必修科目	１年	２０	３８	◇教育心理学専修設置の全必修科目を履修し、合計３８単位を修得すること。（４年配当科目は４年次に履修すること。）
		２年	１８		
		３年	—		
		４年	—		
	専門選択科目	主選択	３６		◇所定単位数を超えて修得した単位は、卒業単位に算入される。
		副選択	——		
《卒業所定単位数》			７４		

≪履修上の注意≫

◇年間履修制限単位数

・ 教育心理学専修学士入学者（2012年度以降入学者）の年間履修制限単位数は『 **４６単位** 』です。

◇卒業論文

・ 卒業論文は、卒業所定単位数７４単位のうち**２８単位以上**を修得していなければ、科目登録をすることができません。
卒業論文の内容に近い実験演習，演習（ゼミ）を履修しておくことを勧めます。

◇進学

・ 大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇資格取得

・ 認定心理士の資格取得を希望する者は「卒業論文」を履修してください。
・ 公認心理師の資格取得を希望する者は公認心理師法で定める２５科目を履修しなければなりません。履修科目・履修方法についてはガイダンス及び公認心理師コンソーシアムのホームページを参考にして下さい。この資格の取得には原則として大学院進学が必要となります。

◇学士入学者への注意事項

・ 専門教育科目以外の科目を履修した場合、随意科目として取り扱い、卒業所定単位数、年間履修制限単位数に含まれません。
・ 学士入学者は外国語Ａ・外国語Ｂを履修する必要はありませんが履修を希望される場合は、教育学部事務所に所定の手続きが必要です。外国語に設定されている各種前提条件は学士入学者に適用されませんので、どのレベルからも履修することが可能です。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60 単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

1．卒業要件の見方

２０１４～２０１８年度入学者

【教育学科・初等教育学専攻】

卒業要件

【科目区分・科目系列】
科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために必要となる単位数が定められています。

【所定単位数】
その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。これらを全て満たしていない場合、卒業必要単位数（124～134 単位）を修得しても卒業不可となります。

要件を満た
を満たす
134 単位を
③別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 計	上限単位数 ※1	履修方法
教育学部共通科目	人文系		2	4	8	―	16	◇人文系・会系・自を修得す ◇所定単
	社会系					―		
	自然系		2			―		
	数理情報系		―			―		
	総合系		―			―		
	体育系		―――			2		**但し、体 一設置科目 2単位までを卒業単位に算入することができる。**
外国語科目	外国語A	基礎	4	6			18	◇外国語Aとして選択した外国語の「外国語の基礎」を4単位、「外 6単位を 本紙「外 ◇外国語
		ｺﾐｭﾆ	2					
		語演習	―――					
		ﾂｰﾙ						
	外国語B（英語）	基礎	（4）					◇外国語A した単位 単位数と
		初級						
		中級						
		上級						
	その他の外国語		―――					
専門教育科目（自専攻）	専門必修科目	1年	20	50		―――		◇初等教育 修し、合
		2年	20					
		3年	10					
		4年	―					
	専門選択科目	主選択	46	12	58	―――		◇初等教育 選択科目 ◇A群につ 単位以上 域を選択 こと。
		副選択	―					

【上限単位数】
科目区分ごとの、卒業必要単位に算入できる上限単位数。この例では、「共通科目」は16 単位まで卒業単位に算入されますので、仮に共通科目で 20 単位修得しても、4 単位分は算入されません。
体育系は 2 単位まで算入可能です。

【英語卒業要件】
卒業に必要な外国語Ｂの単位数。自身の英語レベル以上の科目を履修しなければなりません。
※中級レベルの者が初級科目を履修しても卒業要件を満たしません。

TOEIC 等の外部試験で基準点以上を取得することで、英語卒業要件を満たすことも可能です。その場合英語科目の履修は必要なくなりますが、卒業必要単位数（124～134 単位）は変わりませんので、この分を他の科目区分から修得しなければなりません。

グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合は申請方法に注意が必要です。（→「２．その他の注意事項」）

②《卒業所定単位数》	134	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計１２２（１２６）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語４単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

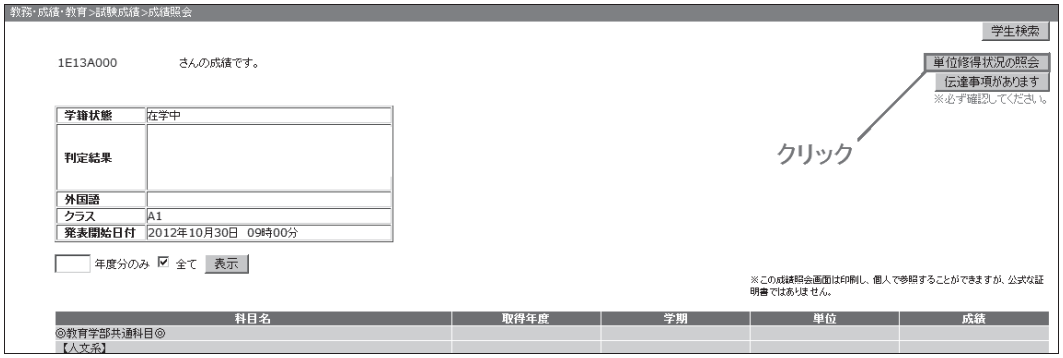
2．その他の注意事項

①グローバルエデュケーションセンター設置の英語科目で英語卒業要件を満たす場合、Web科目申請時に科目区分を変更して申請する必要があります。その際、グローバルエデュケーションセンターが定めている英語レベルと、教育学部が定めている英語レベルが異なりますので、必ず**授業ガイドの「グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧」**を確認し、自身の英語レベル以上の科目を履修申請してください。

②2019年度以降入学者は、科目区分別の卒業算入上限単位数はありません。しかしながら、一部の科目区分の単位を偏って履修しないよう、体系的に学ぶよう心掛けてください。

3．成績照会画面の見方

MyWasedaの成績照会画面を開き「単位修得状況の照会」をクリックすると、これまでの単位の修得状況を確認することができます。



単位修得状況は科目登録、成績発表時には必ず確認してください。
授業ガイドより卒業要件を確認の上、卒業に必要な科目を履修してください。

【科目区分名】
科目のカリキュラム上の分類
科目区分・科目系列ごとに卒業のために
必要となる単位数が定められています。

※この成績照会画面は印刷し、個人で参照することができますが、公式な証明書ではありません。

科目区分名		所定	既得	算入
教育学部共通科目	人文系・社会系	2	4	4
	自然系	2	2	2
	数理情報系		2	2
	総合系		0	0
	小計	8	8	8
	体育系		2	2
	小計		10	10
	外国語A	6	6	6
	＜仏語(基礎)＞	4	4	4
	＜仏語(コミュ基礎)＞	2	2	2
	外国語B		4	4
	外国語その他		0	0
	小計	6	10	10
	一年必修	20	20	20
	二年必修	20	20	20
	三年必修	14	14	14
	四年必修	12	12	12
	小計	66	66	66
	専門教育科目(選択)	42	52	50
	自由選択科目		0	0
	教職課程科目		7	7
	小計		7	7
			0	0
	小計		0	0
			0	0
	小計		0	0
教職課程科目			4	0
	小計		4	0
	《上記以外の卒業要件》		0	0
	選択(主選択)	30	46	46
	専門教育科目(主選択A群)	8	12	12
	教育学科初等教育学専攻B群5領域	4	22	22
	英語卒業要件(中級以上)	4	4	4
総合計		134	149	143

【《上記以外の卒業要件》】
学科専攻専修によって定められた卒業要件
2014～2018 年度入学の初等教育学専攻の場合、
以下の要件があります。
※入学年度により要件は異なります。

①専門選択科目のうち主選択から 46 単位修得
②専門選択科目Ａ群１～４領域から２領域以上
　にわたり８単位修得（１領域のみは不可）
③専門選択科目Ｂ群のうち、自身で選択した
　領域から４単位修得
（1 年終了時に領域を選択します。）
④英語卒業要件

【所定・既得・算入】
「所定」…その科目区分・科目系列で必ず修得しなければならない単位数。授業ガイドの「所定単位数」を意味します。
「既得」…科目区分・科目系列ごとの修得した総単位数。卒業所定単位に算入されない単位も含みます。
「算入」…科目区分・科目系列ごとの修得した卒業所定単位に算入される総単位数。随意科目は含みません。

よって、卒業要件を満たすには「所定単位数≦算入単位数」となるように単位を修得し、全体で卒業必要単位数（124～134 単位）を修得しなければなりません。その際、各科目区分の算入上限単位数にご注意ください。※

※科目登録の際は、各科目区分の単位修得状況と授業ガイドの卒業要件のページを確認してください。科目区分に上限単位数が設定されている場合、上限単位数以上に履修申請をしても、上限を超えた分の単位は卒業単位に算入されません。

２０２２年度以降入学者

【教育学科・初等教育学専攻】

≪卒業要件≫

本専攻を卒業するためには、以下の３つの要件を満たす必要があります。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」134 単位を満たすこと。
③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 計	履修方法
教育学部共通科目	人文系		2	4	8	◇人文系・社会系から２単位、自然系から２単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から４単位の合計８単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
	社会系					
	自然系		2			
	数理情報系		—			
	総合系		—			
	体育系		―――			
外国語科目	外国語Ａ	基礎	4	6		◇外国語Ａとして選択した外国語の「外国語の基礎」を４単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を２単位の合計６単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Ａとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語Ｂ(英語)については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 **なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。** ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
		ｺﾐｭﾆ	2			
		語演習	―――			
		ﾂｰﾙ				
	外国語Ｂ（英語）	基礎	（4）			
		初級				
		中級				
		上級				
	その他の外国語		―――			
専門教育科目（自専攻）	専門必修科目	１年	２０	５１		◇初等教育学専攻設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計５１単位を修得すること。
		２年	２１			
		３年	１０			
		４年	—			
	専門選択科目	主選択	４６	１２	５８	◇初等教育学専攻設置の主選択科目から４６単位、主選択・副選択科目から１２単位の合計５８単位を修得すること。 ◇Ａ群については１～４領域から２領域以上にわたり、合計８単位以上を修得すること。Ｂ群については１～５群から１領域を選択し、選択した領域について、４単位以上を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
		副選択	—			
専門教育科目（他学科）（他専修）	専門選択科目		―――			◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は卒業単位に算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目については、算入することができない。**
他箇所設置科目※	他学部科目		―――			
	他大学科目		―――			
	自由選択科目（全学部対象科目）		―――			◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。**
教職課程科目※			―――			◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計			１２３（１２７）			

②《卒業所定単位数》	１３４	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計１２２（１２６）単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語４単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

≪卒業要件・英語≫

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test（WeTEC）の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test（WeTEC）判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
０点　～　４２９点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計４単位
４３０点　～　５９９点	初　級	「初級」レベル以上の科目を計４単位
６００点　～　７１９点	中　級	「中級」レベル以上の科目を計４単位
７２０点　～１０００点	上　級	「上級」レベルの科目を計４単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことにならない。

②学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
（教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞科目登録情報
＞英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）

【学部で指定する期限】
３月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
９月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】下表のいずれかの基準を満たしていること。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEIC（Listening & Reading Test ）	690 点以上
TOEFL（iBT）	73 点以上
実用英語技能検定（英検）	１級

≪履修上の注意≫

◇１年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	４～８単位
外国語科目	《外国語Ａ》４単位、《外国語Ｂ》４単位
専門教育科目	１年配当の《必修科目》２０単位及び《主選択・副選択科目》から４～１０単位
自由選択科目	０～４単位

◇B群の選択

B群科目は教育学部の他学科他専修設置科目です。
B群の選択については1年次秋学期に選択し、2年次から履修を開始します。自分の専門性を踏まえて選択してください。

◇ゼミ

「初等教育学演習Ⅰ」（３年専門選択）・「初等教育学演習Ⅱ」（４年専門選択）はいわゆるゼミにあたる科目です。各クラスごとに「初等教育学演習Ⅰ」と「初等教育学演習Ⅱ」との合併授業として２年連続で行われます。「初等教育学演習Ⅰ」のクラスは２年次の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「初等教育学演習Ⅱ」は「初等教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き担当教員のクラスを履修することになります。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数１３４単位のうち９０単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇進学

大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60 単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

２０１９年度以降入学者

【教育学科・初等教育学専攻】

≪卒業要件≫

本専攻を卒業するためには、以下の３つの要件を満たす必要があります。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」134 単位を満たすこと。
③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 計	履修方法
教育学部共通科目	人文系		2	4	8	◇人文系・社会系から２単位、自然系から２単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から４単位の合計８単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
	社会系					
	自然系		2			
	数理情報系		—			
	総合系		—			
	体育系		―――			
外国語科目	外国語Ａ	基礎	4	6		◇外国語Ａとして選択した外国語の「外国語の基礎」を４単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を２単位の合計６単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Ａとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語Ｂ（英語）については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。 **なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。** ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
		ｺﾐｭﾆ	2			
		語演習	―――			
		ﾂｰﾙ				
	外国語Ｂ（英語）	基礎	（4）			
		初級				
		中級				
		上級				
	その他の外国語		―――			
専門教育科目（自専攻）	専門必修科目	１年	２０	５０		◇初等教育学専攻設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計５０単位を修得すること。
		２年	２０			
		３年	１０			
		４年	—			
	専門選択科目	主選択	４６	１２	５８	◇初等教育学専攻設置の主選択科目から４６単位、主選択・副選択科目から１２単位の合計５８単位を修得すること。 ◇Ａ群については１～４領域から２領域以上にわたり、合計８単位以上を修得すること。Ｂ群については１～５群から１領域を選択し、選択した領域について、４単位以上を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、系列に係わらず卒業単位に算入される。
		副選択	—			
専門教育科目（他学科）（他専修）	専門選択科目		―――			◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は卒業単位に算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目については、算入することができない。**
他箇所設置科目※	他学部科目		―――			
	他大学科目		―――			
	自由選択科目（全学部対象科目）		―――			◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。**
教職課程科目※			―――			◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計			１２２（１２６）			

②《卒業所定単位数》	１３４	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計１２２（１２６）単位に加えて、上記科目区分より単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語４単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

≪卒業要件・英語≫

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test（WeTEC）の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test（WeTEC）判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
０点　～　４２９点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計４単位
４３０点　～　５９９点	初　級	「初級」レベル以上の科目を計４単位
６００点　～　７１９点	中　級	「中級」レベル以上の科目を計４単位
７２０点　～１０００点	上　級	「上級」レベルの科目を計４単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことにならない。

②学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
（教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞科目登録情報
＞英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）

【学部で指定する期限】
３月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
９月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】下表のいずれかの基準を満たしていること。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEIC（Listening & Reading Test ）	690 点以上
TOEFL（iBT）	73 点以上
実用英語技能検定（英検）	１級

≪履修上の注意≫

◇１年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	４～８単位
外国語科目	《外国語Ａ》４単位、《外国語Ｂ》４単位
専門教育科目	１年配当の《必修科目》２０単位及び《主選択・副選択科目》から４～１０単位
自由選択科目	０～４単位

◇Ｂ群の選択

Ｂ群科目は教育学部の他学科他専修設置科目です。
Ｂ群の選択については１年次秋学期に選択し、２年次から履修を開始します。自分の専門性を踏まえて選択してください。

◇ゼミ

「初等教育学演習Ⅰ」（３年専門選択）・「初等教育学演習Ⅱ」（４年専門選択）はいわゆるゼミにあたる科目です。各クラスごとに「初等教育学演習Ⅰ」と「初等教育学演習Ⅱ」との合併授業として２年連続で行われます。「初等教育学演習Ⅰ」のクラスは２年次の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「初等教育学演習Ⅱ」は「初等教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き担当教員のクラスを履修することになります。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数１３４単位のうち９０単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇進学

大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60 単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

【教育学科・初等教育学専攻】

≪卒業要件≫

本専攻を卒業するためには、以下の３つの要件を満たす必要があります。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」134 単位を満たすこと。
③別表≪卒業要件・英語≫の要件を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳	所定単位数 計	上限単位数※1	履修方法
教育学部共通科目	人文系		2	4	8	—	16	◇人文系・社会系から２単位、自然系から２単位、人文系・社会系・自然系・数理情報系・総合系から４単位の合計８単位を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は､所定単位数と合わせて１６単位まで系列に係わらず卒業単位に算入される。 **但し、体育系はグローバルエデュケーションセンター設置の対象科目を科目登録し、所定の手続きを行った科目に限り２単位までを卒業単位に算入することができる。**
	社会系		2			—		
	自然系		2			—		
	数理情報系		—			—		
	総合系		—			—		
	体育系		―――			2		
外国語科目	外国語Ａ	基礎	4	6		18		◇外国語Ａとして選択した外国語の「外国語の基礎」を４単位、「外国語のコミュニケーションの基礎」を２単位の合計６単位を修得すること（日本語・朝鮮語選択者については、本紙「外国語履修方法」を参照）。 ◇外国語Ａとして選択した外国語以外の言語を履修した場合の単位は「その他の外国語」として単位算入される。 ◇外国語Ｂ(英語)については、別表《卒業要件・英語》の要件を満たすこと。**なお、（）内の数字は単位修得により要件を満たす場合の「所定単位数」を表わす（以下同様）。英語力判定試験により要件を満たす場合、当該単位の修得は不要となる。** ◇外国語Ａおよび外国語Ｂ（英語）の所定単位数を超えて修得した単位、また、その他の外国語から修得した単位は、所定単位数と合わせて１８単位まで卒業単位に算入される。
		コミュニ	2					
		語演習	―――					
		ツール						
	外国語Ｂ（英語）	基礎	（4）					
		初級						
		中級						
		上級						
	その他の外国語		―――					
専門教育科目（自専攻）	専門必修科目	１年	２０	５０		―――		◇初等教育学専攻設置の全必修科目を配当年次にしたがって履修し、合計５０単位を修得すること。
		２年	２０					
		３年	１０					
		４年	―					
	専門選択科目	主選択	４６	１２	５８	―――		◇初等教育学専攻設置の主選択科目から４６単位、主選択・副選択科目から１２単位の合計５８単位を修得すること。 ◇Ａ群については１～４領域から２領域以上にわたり、合計８単位以上を修得すること。Ｂ群については１～５群から１領域を選択し、選択した領域について、４単位以上を修得すること。
		副選択	―					
専門教育科目（他学科）（他専修）	専門選択科目		―――			12		◇他学科他専修科目、他学部科目、他大学科目は合計１２単位まで卒業単位に算入することができる。 ◇他学科他専修科目は自動的に卒業単位に算入されるが、他学部科目、他大学科目は、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、卒業単位に算入することができる。 **但し、他学部科目のうち、科目設置学部において卒業単位に算入されない科目については、算入することができない。**
他箇所設置科目※2	他学部科目		―――					
	他大学科目		―――					
	自由選択科目（全学部対象科目）		―――			12		◇グローバルエデュケーションセンター・日本語教育研究センター・留学センター設置科目の一部について、科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、１２単位まで卒業単位に算入することができる。 **なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の一部については、「教育学部共通科目」または「外国語科目」に算入することもできる。**
教職課程科目※2			―――			12		◇科目登録時に所定の手続きを行った科目に限り、１２単位まで卒業単位に算入することができる。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計			１２２（１２６）					

②《卒業所定単位数》	１３４	◇①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」の合計１２２（１２６）単位に加えて、上記科目区分より上限単位数を超えない範囲で単位を修得し、左記の《卒業所定単位数》を満たすこと。 ◇別表《卒業要件・英語》の要件を英語力判定試験により満たし、英語４単位の修得が不要になった場合も、左記《卒業所定単位数》の修得が必要となる。

※１．卒業単位に算入される単位数の上限です。科目区分ごとに設定された上限単位数を超えて科目を登録することは可能ですが、単位を修得しても、卒業単位には算入されません。また、その場合の単位数も年間履修制限単位数に含まれます。

※２．科目の登録方法および卒業単位への算入方法は、本紙「科目登録の手引き」を参照してください。また、他箇所設置科目の算入可能な科目区分については、本紙「教育学部での単位取り扱いについて」を参照してください。

≪卒業要件・英語≫

《卒業要件・英語》下記①②のいずれか一つの要件を満たしていること。

① 入学年度の科目登録前に受験する placement test（WeTEC）の結果に応じて下表のとおり指定されたレベルの教育学部設置英語科目、または指定されたレベルに相当するグローバルエデュケーションセンター設置英語科目の単位を修得すること。

placement test（WeTEC）判定結果	判定レベル	必要とされる科目レベルおよび単位数
０点　～　４２９点	基礎充実	「基礎充実」レベル以上の科目を計４単位
４３０点　～　５９９点	初　級	「初級」レベル以上の科目を計４単位
６００点　～　７１９点	中　級	「中級」レベル以上の科目を計４単位
７２０点　～１０００点	上　級	「上級」レベルの科目を計４単位

※グローバルエデュケーションセンター設置英語科目は英語としての区分に区分変更のうえ単位を修得すること。区分変更をしない場合には卒業所定単位非算入（随意科目）となり、上記要件を満たしたことにならない。

②学部で指定する期限までに、下表の英語力判定試験において学部で指定する基準に達していること。ただし、学部で指定する期限までに学部で指定する基準に達していない場合は、上記①にあたる科目の単位を修得すること。申請手続きの方法や手続き期間は、教育学部ホームページの案内を確認すること。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/other/#anc_18
（教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞科目登録情報
＞英語試験により卒業要件（英語）を満たす場合）

【学部で指定する期限】
３月卒業者：卒業年度の大学暦秋学期授業終了日まで
９月卒業者：卒業年度の大学暦春学期授業終了日まで

【学部で指定する基準】下表のいずれかの基準を満たしていること。取得年度は問わない。模擬試験(ITP・IP)も可。

英語力判定試験	学部で指定する基準
TOEFL（iBT）	73 点以上
TOEIC	690 点以上
実用英語技能検定（英検）	１級

≪履修上の注意≫

◇１年生に対する注意

科目登録の一例を示すと下表のようになりますが、各自の希望にあわせて、よく考えて履修してください。

科目区分系列	登録科目の単位数
教育学部共通科目	４～８単位
外国語科目	《外国語Ａ》４単位、《外国語Ｂ》４単位
専門教育科目	１年配当の《必修科目》２０単位及び《主選択・副選択科目》から４～１０単位
自由選択科目	０～４単位

◇Ｂ群の選択

Ｂ群科目は教育学部の他学科他専修設置科目です。
Ｂ群の選択については１年次秋学期に選択し、２年次から履修を開始します。自分の専門性を踏まえて選択してください。

◇ゼミ

「初等教育学演習Ⅰ」（３年専門選択）・「初等教育学演習Ⅱ」（４年専門選択）はいわゆるゼミにあたる科目です。各クラスごとに「初等教育学演習Ⅰ」と「初等教育学演習Ⅱ」との合併授業として２年連続で行われます。「初等教育学演習Ⅰ」のクラスは２年次の秋学期に実施する予備登録調査をもとに決定されます。「初等教育学演習Ⅱ」は「初等教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き担当教員のクラスを履修することになります。

◇卒業論文

卒業論文は、卒業所定単位数１３４単位のうち９０単位以上を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇進学

大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60 単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

【教育学科・初等教育学専攻】

≪卒業要件≫

本専攻を卒業するためには、以下の２つの要件を満たす必要があります。
①科目区分・科目系列ごとの「所定単位数」を満たすこと。
②卒業単位の合計で「卒業所定単位数」　８８単位を満たすこと。

科目区分	科目系列		所定単位数 内訳		所定単位数 計	履修方法
専門教育科目	専門必修科目	１年	１４		３８	◇初等教育学専攻設置の２０１４年度以降入学者の必修科目の内、指定された科目を履修し、合計３８単位を修得すること。 ◇専門必修科目のうち、「子ども理解と授業」「初等教育学基礎演習Ⅰ」「初等教育学基礎演習 Ⅱ」「子どもの生活と福祉」「初等教育学基礎演習Ⅲ」「初等教育学基礎演習Ⅳ」は卒業要件としない。なお、当該科目を履修し単位を修得した場合は、随意科目とする。
		２年	１４			
		３年	１０			
		４年	—			
	専門選択科目	主選択	３８	１２	５０	◇A群については１～４領域から２領域以上にわたり、合計８単位以上を修得すること。B群については１～５群から１領域を選択し、選択した領域について４単位以上を修得すること。 ◇所定単位数を超えて修得した単位は、卒業単位に算入される。
		副選択	—			
《卒業所定単位数》			８８			

≪履修上の注意≫

◇年間履修制限単位数

・ 初等教育学専攻学士入学者の年間履修制限単位数は『 **５０単位** 』です。

◇卒業論文

・ 卒業論文は、卒業所定単位数８８単位のうち**３８単位以上**を修得していなければ、科目登録をすることができません。

◇B群の選択

・ 入学時に選択します。B群の選択については自分の専門性を踏まえて選択してください。

◇ゼミ

・ 「初等教育学演習Ⅰ」（３年選択）・「初等教育学演習Ⅱ」（４年選択）はいわゆるゼミにあたる科目です。各クラスごとに「初等教育学演習Ⅰ」と「初等教育学演習Ⅱ」との合併授業として２年連続で行われます。「初等教育学演習Ⅱ」は「初等教育学演習Ⅰ」の単位を修得した学生に限り、引き続き担当教員のクラスを履修することになります。

◇進学

・ 大学院進学希望者は「卒業論文」を履修してください。

◇学士入学者への注意事項

・ 専門教育科目以外の科目を履修した場合、随意科目として取り扱い、卒業所定単位数、年間履修制限単位数に含まれません。
・ 学士入学者は外国語Ａ・外国語Ｂを履修する必要はありませんが履修を希望される場合は、教育学部事務所に所定の手続きが必要です。外国語に設定されている各種前提条件は学士入学者に適用されませんので、どのレベルからも履修することが可能です。

◇オンライン授業について

オンライン授業（全体の授業時数における対面での実施比率が半分未満であるもの）により修得した単位は、60 単位を超えて卒業所定単位に算入することはできません。

２．外国語科目の履修方法

２－１．設置科目と科目区分

本学部では、外国語として英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語（グローバルエデュケーションセンター設置科目）を設定しています。また、科目の区分として《外国語Ａ（英語以外の外国語）》と《外国語Ｂ（英語）》の２種類に分けています。

２－２．外国語Ａについて

(1) 外国語Ａの登録

入学手続時にドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語のうちいずれか一つを外国語Ａとして選択します。**登録した外国語の変更は原則認めません**。複合文化学科の学生は、朝鮮語を除く５つの言語のうちのいずれかを既修でなければ、朝鮮語を選択できません。

外国語Ａとして選択した外国語以外の教育学部設置外国語科目を履修した場合、「その他の外国語」区分になります。また、外国語Ａとして選択していないグローバルエデュケーションセンター設置外国語科目を履修した場合、随意科目として扱います。

(2)卒業するために必要な履修科目・単位数

「授業ガイド　＞　Ⅰ卒業要件と履修方法」を参照のこと。

(3)履修方法

「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「ロシア語」「スペイン語」

教育学部には、外国語Ａ科目として朝鮮語を除く５言語について、以下を設置しています。

- 「外国語の基礎」
- 「外国語のコミュニケーションの基礎」
- 「外国語演習（Ⅰ1・Ⅰ2・Ⅱ1・Ⅱ2・Ⅲ・Ⅳ)」
- 「ツールとしての外国語（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ)」

正式な科目名称は上記科目名の「外国語」がそれぞれ「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「ロシア語」「スペイン語」に置き換わります。なお、複合文化学科の学生は、上記「外国語演習」、「ツールとしての外国語」を専門科目として履修するため、これらの科目を外国語Ａ科目として履修することはできません。

①履修の順番

<table>
<tr><td>外国語の基礎</td><td>原則として初年度に履修します。１年次は自動登録します。</td></tr>
<tr><td>外国語のコミュニケーションの基礎</td><td>履修には「外国語の基礎」を修得済みであるか、または「外国語の基礎」と並行して履修する必要があります。自動登録の対象外のため、各自で科目登録が必要です。</td></tr>
<tr><td>外国語演習</td><td>［複合文化学科以外］
履修には「外国語の基礎」を修得済である必要があります。ローマ数字ⅠからⅣへと順次レベルが高くなります。各自の能力と興味に応じて科目を選択のこと。
［複合文化学科］
履修には「外国語の基礎」の単位を修得済である必要があります。履修はローマ数字の順（Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳ）にしてください。履修には下記の前提科目があります。
<table>
<tr><th>科目</th><th>左記科目履修のために単位の修得が必要な科目</th></tr>
<tr><td>外国語演習Ⅱ１</td><td>外国語演習Ⅰ１</td></tr>
<tr><td>外国語演習Ⅱ２</td><td>外国語演習Ⅰ２</td></tr>
<tr><td>外国語演習Ⅲ</td><td>外国語演習Ⅱ１または外国語演習Ⅱ２</td></tr>
<tr><td>外国語演習Ⅳ</td><td>外国語演習Ⅲ</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>ツールとしての外国語</td><td>［複合文化学科以外］
履修には「外国語の基礎」と「外国語のコミュニケーションの基礎」を修得済である必要があります。ローマ数字ⅠからⅤへと順次レベルが高くなります。各自の能力と興味に応じて選択してください。
［複合文化学科］
履修には「外国語の基礎」と「外国語のコミュニケーションの基礎」を修得済である必要があります。履修はローマ数字の順（Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳ→Ⅴ）にしてください。</td></tr>
</table>

②科目登録

初年度の「外国語の基礎」は、自動登録されます。その他の科目や、再履修の「外国語の基礎」は各自で履修するクラスを選択し科目登録してください。

③統一到達度テスト

「外国語の基礎」は年度末に統一到達度テストを実施します。未受験の場合「外国語の基礎」の単位を修得できません。

※朝鮮語は統一到達度テストを実施しません。

④既修者の履修方法

本制度は外国語科目の上位レベルからスタートするものであり、**単位を付与するものではありません**。既修者登録を希望する場合、「英語以外の外国語を学ぼう」に掲載されている「外国語A基礎科目履修免除」の申請をしてください。

［複合文化学科以外］

次のA・Bに該当する学生は「外国語演習（Ⅰ1・Ⅰ2・Ⅱ1・Ⅱ2・Ⅲ・Ⅳ)」、「ツールとしての外国語（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ)」(これらに相当するグローバルエデュケーションセンター設置科目を含む）から必要単位を履修してください。なお、基礎の免除が認められても、外国語Aの卒業必要単位数は変わりません。

A:ドイツ語・フランス語で受験した学生が、受験時と同一の外国語を履修する場合

B:外国語の既修者（「外国語 A 基礎科目履修免除」申請をして、承認された者

［複合文化学科］

ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語の既修者は、「外国語 A 基礎科目履修免除」を申請し、免除が認められた場合は、専門科目としての「外国語演習Ⅰ1」「外国語演習Ⅰ2」「ツールとしての外国語Ⅰ」からのスタートとなります。なお、基礎の免除が認められても卒業必要単位数は変わりません。履修を免除された6単位分については、他の科目で補う必要があります。

「朝鮮語」

「朝鮮語」（グローバルエデュケーションセンター設置科目）を外国語Aとして履修する場合は、授業ガイド「科目登録の手引き」、グローバルエデュケーションセンター発行の「全学オープン科目履修の手引き」を参照してください。

卒業するために必要な履修科目・単位数は下表の通りです。

外国語A所定単位数	卒業に必要な履修科目・単位数	
	～2010 年度配当科目	2011 年度～配当科目
4 単位 （外国語の基礎 4 単位）	「朝鮮語（初級)」 4 単位	「朝鮮語（入　門)」 2 単位 「朝鮮語（初　級)」 2 単位
6 単位 （外国語の基礎 4 単位、外国語のコミュニケーションの基礎 2 単位）	「朝鮮語（初級)」 4 単位 「朝鮮語（中級)」 2 単位	「朝鮮語（入　門)」 2 単位 「朝鮮語（初　級)」 2 単位 「朝鮮語（準中級)」 1 単位 「朝鮮語（中　級)」 1 単位
8 単位 （外国語の基礎 4 単位、外国語のコミュニケーションの基礎 2 単位、外国語演習またはツールとしての外国語から 2 単位）	「朝鮮語（初級)」 4 単位 「朝鮮語（中級)」 4 単位	「朝鮮語（入　門)」 2 単位 「朝鮮語（初　級)」 2 単位 「朝鮮語（準中級)」 2 単位 「朝鮮語（中　級)」 2 単位

入学時の「朝鮮語（入門)」及び「朝鮮語（初級)」については、受講曜日・時限・クラスが自動登録されますので、科目登録する必要はありません。また、朝鮮語を外国語Aとして選択しなかった学生は、随意科目として履修できます。その場合、卒業単位に算入できません。

２－３．外国語Ｂについて

(1)履修する英語レベルについて

新入生は全員、入学年度の科目登録前に placement test（WeTEC）を受験しなければなりません。その WeTEC スコアをもとに履修する英語レベルを判定します。WeTEC スコアと履修する英語レベルの対応表は授業ガイド「卒業要件と履修方法」＞ 《卒業条件・英語》を参照してください。

この判定レベルに応じて、教育学部設置の英語科目を以下のように履修してください。

「基礎充実」レベルと判定された場合

初年度に「基礎充実英語１」または「基礎充実英語２」（いずれも２単位）を履修してください。初級レベルの科目を履修するためには、「基礎充実英語１」または「基礎充実英語２」のいずれかの単位を修得している必要があります。

＊「基礎充実英語１」または「基礎充実英語２」の単位を修得した学生は、初級レベルの科目を履修してください。

＊初級レベルの科目を２単位以上修得した学生は中級レベルの科目を、中級レベルの科目を２単位以上修得した学生は上級レベルの科目を履修することをお勧めします。

「初級」レベルと判定された場合

初級レベルの科目を履修してください。中級レベルの科目を履修するためには初級レベルの科目を２単位以上修得している必要があります。更に、上級レベルの科目を履修するためには中級レベルの科目を２単位以上修得している必要があります。

＊初級レベルの科目を２単位以上修得した学生は中級レベルの科目を、中級レベルの科目を２単位以上修得した学生は上級レベルの科目を履修することをお勧めします。

＊初級レベルの科目を２単位以上修得した学生の中で、引き続き初級レベルの科目を履修する傾向が見受けられます。成績評価は各レベルにてバランスをとっているため、初級レベルは中・上級レベルに比べて成績評価が極めて低くなる可能性があります。適性レベルでの科目登録、受講を行うようにしてください。

「中級」レベルと判定された場合

中級レベルの科目を履修してください。上級レベルの科目を履修するためには中級レベルの科目を２単位以上修得している必要があります。

＊中級レベルの科目を２単位以上修得した学生は上級レベルの科目を履修することをお勧めします。

「上級」レベルと判定された場合

初年度も次年度以降も上級レベルの科目を履修してください。

判定されたレベルより下のレベルの科目は履修できません。あるレベルの科目を２単位以上修得すれば、次学期以降に１つ上のレベルの科目を履修できます。

(2)科目の内容について

英語科目として、初級・中級は「コンプリヘンション（文化）」「コンプリヘンション（時事）」「コンプリヘンション（サイエンス）」「TOEIC」「コミュニケーション」の５つの分野に分かれて科目が設定されています。また、上級はトピック別に複数の科目が設定されています。WeTEC 結果の判定レベルに応じて、各自の希望により履修する分野・トピックを選択してください。

※教員免許状の修得に必要な「外国語コミュニケーション」の履修方法については、授業ガイド「教員免許状取得のための履修方法」を確認してください。

(3)履修方法

①教育学科・国語国文学科・社会科・理学科・数学科(2013年度以降入学者)・複合文化学科

各学科専攻専修の「履修方法と卒業要件」に記載されている<<卒業要件・英語>>を満たさなければなりません。各学科専修の「履修方法と卒業要件」のページを参照してください。同じ学科専攻専修でも、入学年度により要件内容が異なりますので、注意してください。

③英語英文学科

・「履修方法と卒業要件」に記載されている≪卒業要件・英語≫を満たさなければなりません。

・≪卒業要件・英語≫を修得単位で満たす場合、判定されたレベル以上の教育学部設置英語科目、またはそのレベル以上に相当するTutorial Englishほか学内の英語関連科目を計12単位（2015年以前入学者は計10単位）修得してください。ただし**12単位（2015年以前入学者は計10単位）には「上級」が4単位以上含まれていなければなりません。**

・下表に推奨履修モデルを示します。

【2016年度以降入学者】

判定レベル	1年次	2年次	3年次	4年次	計
上級	上級４科目４単位	上級４科目４単位	上級４科目４単位	――	12
中級	中級４科目４単位	上級４科目４単位 中級２科目２単位 上級２科目２単位	上級４科目４単位	――	12
初級	初級４科目４単位	中級４科目４単位	上級４科目４単位	――	12
基礎充実	基充1科目２単位 初級２科目２単位	初級４科目４単位	中級４科目４単位	上級４科目４単位	16

【2015年度以前入学者】

判定レベル	1年次	2年次	3年次	4年次	計
上級	上級４科目４単位	上級４科目４単位	上級２科目２単位	――	10
中級	中級４科目４単位	上級４科目４単位 中級２科目２単位 上級２科目２単位	上級２科目２単位	――	10
初級	初級４科目４単位	中級４科目４単位	上級４科目４単位	――	12
基礎充実	基充1科目２単位 初級２科目２単位	初級４科目４単位	中級４科目４単位	上級４科目４単位	16

２－４．グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の振替

グローバルエデュケーションセンター設置の外国語科目のうち、教育学部が指定する科目を履修した場合は、科目登録申請時に科目区分を変更することで「外国語Ａ」「外国語Ｂ」へ振り替えることができます。詳細は授業ガイド「科目登録の手引き」および「教育学部における単位取り扱いについて」を参照してください。なお、全学オープン科目の外国語科目を履修する場合は、前述の「履修の順番」は適用されません。

２－５．３か国語目の外国語の履修

本学部に設置されている外国語を履修する場合、修得した単位については《その他の外国語区分》として、卒業所定単位に算入されます。算入単位数については、各学科の「履修方法と卒業要件」のページを参照してください。

なお、グローバルエデュケーションセンター設置科目の外国語科目は随意科目として扱います。

２－６．外国学生の履修

外国学生が履修する日本語教育研究センター設置の日本語科目は外国語Ａ区分として卒業所定単位に算入されます。修得しなければならない最低単位数は、各学科専攻専修で定められた外国語Ａ区分の最低単位数です。

３．他箇所・他機関の設置科目（オープン科目含む）の履修方法

１．全学オープン科目

早稲田大学には、学部・学年を問わず全学生が履修できる科目が数多くあります。これらの科目を総称して「全学オープン科目」と呼びます。全学オープン科目は、グローバルエデュケーションセンター（ＧＥＣ）、留学センターをはじめ、学部や研究科、協定を結んでいる他大学などから幅広い分野にわたって提供されています。

学生の皆さんは、所属学部独自のカリキュラムに加えて「全学オープン科目」を選択履修し、修得した単位を所属学部の規定にしたがって卒業単位に算入することができます。所属学部の授業と学部の垣根を越えた総合大学ならではのスケールで学ぶことのできる全学オープン科目を上手に組み合わせて、自分の世界を広げ、学ぶことの楽しさを実感してください。

全学オープン科目の提供箇所と履修方法について

項目 / 科目提供箇所	科目、講義内容、科目登録関連の参照先	授業・試験関連の参照先
学部・研究科	**・科目提供箇所の Web ページ** **・シラバスシステム(Web)** **・「全学オープン科目履修ガイド」(Web)**	**・科目提供箇所の Web ページ**
グローバルエデュケーション センター（ＧＥＣ）		
留学センター		
協定他大学 （2年生以上対象・一部1年生も可）	**・グローバルエデュケーションセンターWeb ページ** **・他大学交流システム(*1)**	**・科目を提供している大学の Web ページ(*2)**

※全学オープン科目の単位の取り扱いについては、所属学部が発行する「学部要項」および「科目登録の手引き」、マニュアル等で確認してください。

*1…協定他大学提供科目を検索、登録するためのサイトです。サイトへのアクセス方法は、グローバルエデュケーションセンター Web ページで確認できます。

*2…各大学 Web ページは、グローバルエデュケーションセンターWeb ページで確認できます。

２．学部・研究科以外の全学オープン科目提供箇所

2.1　グローバルエデュケーションセンター（ＧＥＣ）（ＵＲＬ：https://www.waseda.jp/inst/gec/）

ＧＥＣでは、全学部・全研究科の学生が、専門分野に限らず全く異なる分野も学習できる多種多様な科目を展開しています。

すべての学問の基礎となる大学生の必須スキルとして、アカデミック・ライティング科目（「学術的文章の作成」ほか）、数学科目（「数学基礎プラスα（金利編）」ほか）、データ科学科目（「統計リテラシーα」「データ科学入門α」ほか）、情報科目（「プログラミング初級」ほか）、英語科目（「Tutorial English」「Academic Writing and Discussion in English」ほか）を提供します。また、早稲田大学以外では学ぶ機会の少ない言語科目や、多数の特色あるスポーツ実習科目（「ラグビー」「弓道」ほか）、日本語教育科目（「日本語教育学入門」ほか）等も提供しています。

人間的力量と呼ばれる科目群には問題解決型・体験型の実践的な学びを多く取り入れています。

科目の提供に加えて、ＧＥＣでは「全学副専攻制度」を設けています。所属している学部で重点的に学ぶ「主専攻」のほかに、その他の学問分野を「副専攻」として体系的に学び、主専攻の補強、第二の強みの獲得、主専攻の応用領域の獲得などを目指します。全学副専攻の修了者には、卒業時に修了証明書が発行されます。

2.2　留学センター（ＵＲＬ：https://www.waseda.jp/inst/cie/）

留学センターは、海外からの留学生受入れや本学の学生の海外留学支援はもちろん、国際教育プログラムの実施拠点として、留学プログラムと連動して履修できる科目、外国語学習・テーマ研究・異文化体験を中心とした短期留学科目のほか、海外の学生とともに授業を本学で履修するサマーセッション科目、海外大学からの教員を招聘して実施する「International Japanese Studies」の科目など、独自の科目を学部生に提供しています。

2.3　協定他大学（ＵＲＬ：https://www.waseda.jp/inst/gec/undergraduate/other_univ/）

早稲田大学は協定を結んでいる他大学と互いに科目を提供しあっています。早稲田大学には設置されていない各大学特有の科目も多くラインナップされており、登録の選択肢も広がります。他大学からの提供科目も所属学部の規定に従い卒業単位に算入することが可能です。ただし、履修は２年生以上が対象（一部科目については、１年生も履修可能）です。

以　上

教育学部における単位取り扱いについて

他箇所・他機関設置科目（全学オープン科目含む）は原則として随意科目として取り扱います。
「卒業所定単位」に算入するには、**科目申請時または登録決定した科目登録機会における決定科目変更期間（３次登録）**に科目区分を変更する必要があります。
期間外の変更は一切できませんので、自身の履修状況を考慮の上、申請を行ってください。

		教育学部での単位取扱	卒業所定単位に算入した場合の単位取扱い		
			科目区分	年間履修制限単位数	卒業所定単位数※1
他学部（全学オープン科目を含む）		**随意科目**	他学部科目（一部、算入不可）※2	含む	含む
協定他大学 ※3		**随意科目**	他大学科目	含む	含む
グローバルエデュケーションセンター（GEC）	保健体育科目	**随意科目**	共通科目体育系（一部、算入不可）※4	含む	含む
	英語科目 外国語科目	**随意科目**	外国語AまたはB（一部、算入不可）※5	含む	含む
	アカデミック・ライティング科目	**随意科目**	自由選択科目 または共通科目人文系	含む	含む
	人文・社会科学科目	**随意科目**	一部、自由選択科目 または共通科目※6	含む	含む
	自然科学科目	**随意科目**			
	数学科目、データ科学科目、情報科目	**随意科目**			
	人間的力量科目	**随意科目**			
	日本語教育科目	**随意科目**	自由選択科目（一部、算入不可）※7	含む	含む
留学センター		**随意科目**	自由選択科目	含む	含む

※1. 入学年度や学科専攻専修によっては、算入上限単位数が定められている場合がありますのでご注意ください。

※2. 算入不可科目：設置学部で卒業所定単位に算入されない科目（例. 政治経済学部「発展科目」） に該当する科目

※3. 年間履修制限単位数が決められています。GEC 作成の「全学オープン科目履修ガイド」を参照してください。

※4. 対象科目は「グローバルエデュケーションセンター設置の外国語科目の単位取扱一覧」を参照してください。
また、外国語Aとして朝鮮語を選択した学生は、朝鮮語の申請方法を「科目登録の手引き」で確認してください。

※5. 対象科目は「グローバルエデュケーションセンター設置科目で共通科目に区分変更可能な科目一覧」を参照してください。

※6. 算入不可科目　2012 年度～2016 年度：「日本語教育学入門」、2017 年度以降「日本語教育学入門 1」「日本語教育学入門 2」

グローバルエデュケーションセンター設置外国語科目の単位取扱一覧

下記科目は随意科目として取り扱います。ただし、科目登録申請時または登録決定した学期における決定科目変更期間中に科目区分を変更することで、下表のとおり卒業所定単位に算入されます。

科目名	算入した場合の単位の取扱
Tutorial English (Basic)	英語「初級」
Tutorial English (Intermediate)	英語「中級」
Tutorial English (Upper Intermediate)	英語「上級」
Tutorial English (Advanced)	
Academic Writing and Discussion in English	英語「中級」
Academic Writing and Discussion in English: Undergraduate Thesis Proposal	英語「中級」
Listening and Reading (Essentials for Beginners) α	英語「初級」
Listening and Reading (Essentials for Beginners) β	英語「初級」
Listening and Reading (Academic skills for Intermediate learners) α	英語「中級」
Listening and Reading (Academic skills for Intermediate learners) β	英語「中級」
Listening and Reading (Critical thinking for Advanced learners) α	英語「上級」
Listening and Reading (Critical thinking for Advanced learners) β	英語「上級」
Writing Scientific Papers 1	英語「初級」
Writing Scientific Papers 2	英語「初級」
ドイツ語総合基礎A1-1	算入不可(随意科目)
ドイツ語総合基礎A1-2	
ドイツ語総合基礎A2-1	ドイツ語Ⅰレベル ※1
ドイツ語総合基礎A2-2	ドイツ語Ⅰ～Ⅱレベル ※1
ドイツ語文法(入門)	算入不可(随意科目)
ドイツ語文法(初級)	
ドイツ語コミュニケーション(基礎)	
ドイツ語コミュニケーション(続基礎)	
ドイツ語コミュニケーション(応用)	
ドイツ語コミュニケーション(上級)	
フランス語総合基礎A1-1	算入不可(随意科目)
フランス語総合基礎A1-2	
フランス語総合基礎A2-1	フランス語Ⅰレベル ※1
フランス語総合基礎A2-2	フランス語Ⅰ～Ⅱレベル ※1
フランス語総合上級	フランス語Ⅰ～Ⅳレベル ※1
中国語実践会話(中国を知る)	中国語Ⅰ～Ⅳレベル ※1
中国語ビジネス会話(上級)	中国語Ⅰ～Ⅳレベル ※1
中国語コミュニケーション 初中級	中国語Ⅰレベル ※1
中国語コミュニケーション 準中級	中国語Ⅰ～Ⅱレベル ※1
中国語コミュニケーション 中級	中国語Ⅰ～Ⅲレベル ※1
中国語コミュニケーション 中上級	中国語Ⅰ～Ⅳレベル ※1
中国語コミュニケーション 準上級	中国語Ⅰ～Ⅳレベル ※1
中国語コミュニケーション 上級	
広東語(入門)	自由選択科目
広東語(初級)	
朝鮮語(入門)	算入不可(随意科目)※2
朝鮮語(初級)	
朝鮮語(準中級)	
朝鮮語(中級)	
朝鮮語(上級)	
現代韓国を理解する朝鮮語読解(中上級)	
現代韓国を理解する朝鮮語会話(中上級)	
アイヌ語(中級)	自由選択科目
アイヌ語(入門会話)	
アイヌ語(初級会話)	
アイヌ語(準中級)	
アイヌ語＜口承文芸＞(入門)	
アイヌ語＜口承文芸＞(初級)	
アイヌ語＜言語文化＞(入門)	
アイヌ語＜言語文化＞(初級)	
アイルランド語(入門)	
アイルランド語(初級)	
アラビア語(ネイティブによるアラビア語)	
アラビア語(中級)	
アラビア語(入門)	
アラビア語(初級)	
アラビア語(準中級)	
イタリア語(上級) 理解	

科目名	算入した場合の単位の取扱
イタリア語(上級) 表現	自由選択科目
イタリア語(中級) 理解	
イタリア語(中級) 表現	
イタリア語(入門) 理解	
イタリア語(入門) 表現	
イタリア語(入門) ＜アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語＞	
イタリア語(入門) ＜英語で学ぶイタリア語＞	
イタリア語(初級) 理解	
イタリア語(初級) 表現	
イタリア語(初級) ＜アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語＞	
イタリア語(初級) ＜英語で学ぶイタリア語＞	
イタリア語(準上級) 理解	
イタリア語(準上級) 表現	
イタリア語(準中級) 理解	
イタリア語(準中級) 表現	
インドネシア語(中級)	
インドネシア語(入門)	
インドネシア語(初級)	
インドネシア語(準中級)	
スワヒリ語(入門)	
スワヒリ語(初級)	
タイ語(中級)	
タイ語(入門)	
タイ語(初級)	
タイ語(準中級)	
デンマーク語(中級)	
デンマーク語(入門)	
デンマーク語(初級)	
デンマーク語(準中級)	
バスク語(中級)	
バスク語(入門)	
バスク語(初級)	
バスク語(準中級)	
フィリピノ語	
ベトナム語(中級)	
ベトナム語(入門)	
ベトナム語(初級)	
ベトナム語(準中級)	
ペルシア語(入門)	
ペルシア語(初級)	
ポルトガル語(ブラジル)(中級)	
ポルトガル語(ブラジル)(入門)	
ポルトガル語(ブラジル)(初級)	
ポルトガル語(ブラジル)(準中級)	
ポルトガル語(ポルトガル)(中級)	
ポルトガル語(ポルトガル)(入門)	
ポルトガル語(ポルトガル)(初級)	
ポルトガル語(ポルトガル)(準中級)	
ポーランド語(中級)	
ポーランド語(入門)	
ポーランド語(初級)	
ポーランド語(準中級)	
マレー語(入門)	
マレー語(初級)	
モンゴル語(中級)	
モンゴル語(入門)	
モンゴル語(初級)	
モンゴル語(準中級)	
ルーマニア語(中級)	
ルーマニア語(入門)	
ルーマニア語(初級)	
ルーマニア語(準中級)	

◆ドイツ語・フランス語・中国語については、外国語Aとして選択した外国語に該当する場合のみ、算入可能となります。
(例)外国語A「中国語」選択者：中国語のみ算入対象となります。ドイツ語やフランス語などは算入できず随意科目となります(その他外国語としても算入不可)。

※1 外国語A(英語以外の外国語)のⅠレベル・Ⅱレベル・Ⅲレベル・Ⅳレベルとは、それぞれ下記の科目群に該当します。
- Ⅰレベル ＝ 演Ⅰ・ツールⅠ〔○○語演習Ⅰ1／○○語演習Ⅰ2／ツールとしての○○語Ⅰ〕の科目群
- Ⅱレベル ＝ 演Ⅱ・ツールⅡ〔○○語演習Ⅱ1／○○語演習Ⅱ2／ツールとしての○○語Ⅱ〕の科目群
- Ⅲレベル ＝ 演Ⅲ・ツールⅢ〔○○語演習Ⅲ／ツールとしての○○語Ⅲ〕の科目群
- Ⅳレベル ＝ 演Ⅳ・ツールⅣ〔○○語演習Ⅳ／ツールとしての○○語Ⅳ〕の科目群

【複合文化の学生、要注意】これらの科目の科目区分を変更した場合、「専門必修」ではなく、「外国語A」として取り扱います。

※2 外国語Aとして朝鮮語を選択した学生は、朝鮮語の申請方法を「科目登録の手引き」で確認してください。

■提供科目の情報は変更となることがあります。最新の提供科目情報・教室は、グローバルエデュケーションセンターのホームページで確認してください。

グローバルエデュケーションセンター設置科目で共通科目に区分変更可能な科目一覧
（あいうえお順）

下記科目は随意科目として取り扱います。ただし、科目登録申請時または登録決定した学期における定科目変更期間中に科目区分を変更することで、「自由選択科目」または下表の「共通科目」の区分に変更可能です。

科目名	算入時の科目区分
International Cooperation	人文系
International Interaction for Global Leadership（Common Issues Among Asian Countries）	人文系
International Interaction for Global Leadership（Local Issues）	人文系
「早稲田学」人物編α（「創設者」大隈重信の生涯）	人文系
「早稲田学」人物編β（建学者の思想と学生へのまなざし）	人文系
「早稲田学」通史編α（近代史のなかの早稲田大学）	人文系
「早稲田学」通史編β（現代史のなかの早稲田大学）	人文系
アイスランドの文化と言語（初歩）	人文系
アイスランドの文化と言語（入門）	人文系
映画監督と学ぶ映像表現	人文系
映画のすべて　マスターズ・オブ・シネマ　1	人文系
映画のすべて　マスターズ・オブ・シネマ　2	人文系
映像史（理論）	人文系
映像史（社会・歴史）	人文系
英米文学とジェンダー　1	人文系
英米文学とジェンダー　2	人文系
演劇の鑑賞と理解・演習（入門）	人文系
音楽をもっと知ろう（理論入門）	人文系
海外・在日コリアンを考える	人文系
会計監査入門	人文系
学習者言語の分析（応用）　1	人文系
学習者言語の分析（応用）　2	人文系
学習者言語の分析（基礎）　1	人文系
学習者言語の分析（基礎）　2	人文系
学術的文章の作成	人文系
学術・研究公正概論（人文・社会科学系）（学部生用）	人文系
教育データ分析入門　1	人文系
教育データ分析入門　2	人文系
キリスト教の世界	人文系
近現代朝鮮社会史　1	人文系
近現代朝鮮社会史　2	人文系
近現代朝鮮文化史　1	人文系
近現代朝鮮文化史　2	人文系
熊野の歴史と文化	人文系
グローバルリテラシー演習応用	人文系
グローバルリテラシー演習基礎	人文系
言語学（形式意味論入門）	人文系
言語学（形態論）	人文系
言語学（言語類型論）	人文系
言語学（語用論・応用）	人文系
言語学（語用論・基礎概念）	人文系
言語学（統語論の基礎的概念とその応用）	人文系
言語学（統語論・入門）	人文系
現代演劇と多文化主義（入門）（学部生用）	人文系
現代韓国・北朝鮮研究入門　1	人文系
現代韓国・北朝鮮研究入門　2	人文系
高野山の歴史と文化	人文系
こころとからだの健康　1	人文系
こころとからだの健康　2	人文系
ことばのリサーチ	人文系
シェイクスピアと映像　（学部生用）	人文系
視覚芸術と身体性	人文系
視覚文化研究のための写真入門　1	人文系
視覚文化研究のための写真入門　2	人文系
ジェンダーと教育　1	人文系
ジェンダーと教育　2	人文系
人工知能とビジネスモデル創出　α　（学部生用）	人文系
心理言語実験からみる比喩と思考 1	人文系
心理言語実験からみる比喩と思考 2	人文系
人類と言語の起源	人文系
制作プロジェクト研究	人文系
精神医学概論　1	人文系
精神医学概論　2	人文系
地中海世界に生きた人々（遺産編）	人文系
地中海世界に生きた人々（芸術編）	人文系
地中海世界に生きた人々（民族編）	人文系
地中海世界に生きた人々（歴史編）	人文系
中国語会話を学ぶ　基礎編	人文系
中国語会話を学ぶ　入門編	人文系
中国の文化　α	人文系
中国の文化　β	人文系
中国の歴史と社会　2	人文系
朝鮮古代の社会と文化（応用）　1	人文系
朝鮮古代の社会と文化（応用）　2	人文系

科目名	算入時の科目区分
朝鮮古代の社会と文化（入門）　1	人文系
朝鮮古代の社会と文化（入門）　2	人文系
ドイツ語テレビ会議（言語・文化）	人文系
ドイツ語テレビ会議（生活・社会）	人文系
ドイツ人の環境意識を探る	人文系
日本言語文化論　1	人文系
日本言語文化論　2	人文系
日本のことばと文学（応用）　1	人文系
日本のことばと文学（応用）　2	人文系
日本のことばと文学（基礎）　1	人文系
日本のことばと文学（基礎）　2	人文系
初めて学ぶ『言語と情報の脳科学』	人文系
初めて学ぶ『自然言語と人工知能』	人文系
比較文章論　1	人文系
比較文章論　2	人文系
Business Model Creation with AI Technologies　β（for undergraduates）	人文系
複数言語環境で成長する子どものリテラシー 1	人文系
複数言語環境で成長する子どものリテラシー 2	人文系
文化遺産と保全　1	人文系
文化遺産と保全　2	人文系
文法理論入門　1	人文系
文法理論入門　2	人文系
プロデュース概論	人文系
簿記・会計	人文系
早稲田を知る　1（早稲田大学校友会支援講座）	人文系
早稲田を知る　2（早稲田大学校友会支援講座）	人文系
映画創作学概論	人文系
CSRマネジメント実践　（学部生用）	社会系
EU科学技術政策	社会系
LGBTQ+をめぐる法と社会	社会系
アセット・マネジメント（資産運用）の世界	社会系
Advanced Course on Entrepreneurship D（学部生用）	社会系
アナウンス実践講座（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
アナウンス入門講座（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
イスラーム地域の歴史と社会応用（少数民族問題）　1	社会系
イスラーム地域の歴史と社会応用（少数民族問題）　2	社会系
イスラーム地域の歴史と社会入門（多民族共存）　1	社会系
イスラーム地域の歴史と社会入門（多民族共存）　2	社会系
イノベーションとテクノロジー実践　α：人工知能・先端ロボットテクノロジー実践　（学部生用）	社会系
Innovation and Technology Fundamentals　β（for undergraduates）	社会系
Innovation and Technology Practice　β（for undergraduates）	社会系
イノベーション概論　α：次世代イノベーターのためのエッセンシャルズ　（学部生用）	社会系
イノベーション概論　β：次世代イノベーターのためのエッセンシャルズ　（学部生用）	社会系
イノベーション人材になるためのコーチング研修（ベーシック）（学部生用）	社会系
イノベーション創出思考法　1　（学部生用）	社会系
イノベーション創出思考法　2　（学部生用）	社会系
イノベーションとテクノロジー基礎　α：人工知能・先端ロボットテクノロジーの基礎とスタートアップを学ぶ（学部生用）	社会系
医療×AI・ビッグデータ・IoT（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
医療×行政・法・倫理（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
医療×超高齢化社会・キャリアデザイン（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
医療×ビジネス・経済・経営（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
EU共通外交・安全保障・防衛政策と人間の安全保障	社会系
EUにおける人の移動と保健医療政策	社会系
ウーマン・キャリアクリエイト講座	社会系
映像・芸術表現	社会系
SDGsと社会貢献　1	社会系
SDGsと社会貢献　2	社会系
エネルギーと原子力を考える：サステナビリティとレジリエンス	社会系
AIビジネスクリエーション　α（学部生用）	社会系
AI Business Creation　β（for undergraduates）	社会系
カナダから見るグローバル市民学	社会系
環境イシューを再編集する	社会系
環境イシューを深く読み解く	社会系
環境問題と持続可能な社会	社会系
感性の科学α	社会系
感性の科学β	社会系
感性の科学的研究法α	社会系
感性の科学的研究法β	社会系
カーボンニュートラルと社会（学部生用）	社会系
企業経営・コンサルティング実務概論　（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
起業特論A：トップリーダーマネジメント（学部生用）	社会系
起業特論B：企業内新規事業開発（学部生用）	社会系
キャリアデザイン学	社会系

■提供科目の情報は変更となることがあります。最新の提供科目情報・教室は、グローバルエデュケーションセンターのホームページで確認してください。
■旧オープン教育センター、旧メディアネットワークセンター設置科目と同科目（または同等科目）の単位を修得済みの場合は、科目を履修することはできません。
■共通科目（体育系）は記載しておりません。

科目名	算入時の科目区分
教育システムとマネジメント 1	社会系
教育システムとマネジメント 2	社会系
協同組合論	社会系
行政書士による起業支援および企業法務実務概論 α（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
行政書士による起業支援および企業法務実務概論 β（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
グローバル社会貢献論	社会系
グローバルヘルス	社会系
経験の地平から学ぶ東日本大震災と社会貢献 1	社会系
経験の地平から学ぶ東日本大震災と社会貢献 2	社会系
現代教育の諸相 1	社会系
現代教育の諸相 2	社会系
国際政治学と平和 1	社会系
国際政治学と平和 2	社会系
Contextualizing Self in Society	社会系
再生可能エネルギーを地域から考える。	社会系
資源エネルギーと地球環境問題を考える	社会系
自然観の再構築とボランティア	社会系
司法書士と学ぶ家族・地域・企業をめぐる法律問題 α（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
司法書士と学ぶ家族・地域・企業をめぐる法律問題 β（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
社会生活のリーダーシップ開発	社会系
社会保険労務士と学ぶ働く前に知っておきたいワークルールと人事・労務コンサルティング α （早稲田大学校友会支援講座）	社会系
社会保険労務士と学ぶ働く前に知っておきたいワークルールと人事・労務コンサルティング β （早稲田大学校友会支援講座）	社会系
狩猟と獣害対策論1	社会系
狩猟と獣害対策論2	社会系
狩猟と地域おこしボランティア	社会系
手話言語学 ～日本手話の構造：手話の音と語の仕組み～	社会系
手話言語学 ～日本手話の文法・意味・語用～	社会系
手話の社会言語学 ～手話とろう者の社会～	社会系
手話の社会言語学 ～世界の手話と地域のろう社会～	社会系
震災後を考える	社会系
ジェンダーを考える 1	社会系
ジェンダーを考える 2	社会系
実践スポーツジャーナリズム演習 1（大久保建男スポーツジャーナリズム講座）	社会系
実践スポーツジャーナリズム演習 2（大久保建男スポーツジャーナリズム講座）	社会系
ジャーナリズム演習 ベーシック 1	社会系
ジャーナリズム演習 ベーシック 2	社会系
ジャーナリズムの現在（石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞記念講座）	社会系
スポーツジャーナリズム論 1（大久保建男スポーツジャーナリズム講座）	社会系
スポーツジャーナリズム論 2（大久保建男スポーツジャーナリズム講座）	社会系
スラムから学ぶコミュニティー支援論 α	社会系
スラムから学ぶコミュニティー支援論 β	社会系
税理士実務概論（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
体験の言語化—世界と自分	社会系
体験の言語化—ボランティア体験から	社会系
台湾政治研究 1	社会系
台湾政治研究 2	社会系
台湾通史（近現代） 1	社会系
台湾通史（近現代） 2	社会系
台湾通史（近世） 1	社会系
台湾通史（近世） 2	社会系
台湾を知る（入門）	社会系
台湾を知る（発展）	社会系
台湾をめぐる戦後東アジア国際関係史	社会系
他者のリーダーシップ開発 1（OD1）	社会系
他者のリーダーシップ開発 2（OD2）	社会系
大学における教育と学習 （学部生用）	社会系
ダイバーシティを学ぶ	社会系
地域、環境、エネルギーを考える	社会系
地域貢献論	社会系
地域資源活用論 1	社会系
地域資源活用論 2	社会系
地域連携学 1	社会系
地域連携学 2	社会系
地域連携基礎演習	社会系
地域連携ケーススタディ 1	社会系
地域連携ケーススタディ 2	社会系
地域連携実践論	社会系
中国総合講座（入門）	社会系
中国総合講座（発展）	社会系
朝鮮半島の文化と社会（入門）	社会系

科目名	算入時の科目区分
帝国思想と台湾 1	社会系
帝国思想と台湾 2	社会系
デザインシンキング（学部生用）	社会系
データビジネスクリエーション α（学部生用）	社会系
データビジネスクリエーション β（学部生用）	社会系
トップスポーツビジネス入門	社会系
トップスポーツビジネスの最前線（大久保建男スポーツジャーナリズム講座）	社会系
日本手話初級 1	社会系
日本手話初級 2	社会系
日本手話入門 1	社会系
日本手話入門 2	社会系
人間的力量学 1	社会系
人間的力量学 2	社会系
人間的力量ファンダメンタル	社会系
農山漁村地域システム論 1	社会系
農山漁村地域システム論 2	社会系
農山村体験実習	社会系
パブリック・リレーションズ概論 1	社会系
パブリック・リレーションズ概論 2	社会系
パブリック・リレーションズ特論 1	社会系
パブリック・リレーションズ特論 2	社会系
パラスポーツとボランティア	社会系
東日本大震災のフィールドワーク 1	社会系
東日本大震災のフィールドワーク 2	社会系
ビジネスアイディア創出法 （学部生用）	社会系
ビジネスモデル仮説検証（エッセンシャル）（学部生用）	社会系
ビジネスモデル仮説検証（プレミアム）（学部生用）	社会系
ファシリテーションとボランティア	社会系
フィールド・ワークと社会貢献 α	社会系
フィールド・ワークと社会貢献 β	社会系
不動産鑑定士による不動産学 1（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
不動産鑑定士による不動産学 2（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
平和構築入門	社会系
ボランティアから見る災害学入門	社会系
ボランティアから見る世界 1	社会系
ボランティアから見る世界 2	社会系
ボランティアとその価値	社会系
ボランティア入門 1	社会系
ボランティア入門 2	社会系
ボランティアの現場と社会学 α	社会系
ボランティアの現場と社会学 β	社会系
メンタルヘルスマネジメント概論	社会系
リーダーシップ開発授業設計実習 1	社会系
リーダーシップ開発授業設計実習 2	社会系
リーダーシップ開発と組織開発 1（LOD1）	社会系
リーダーシップ開発と組織開発 2（LOD2）	社会系
リーダーシップ開発：社会人へのトランジション	社会系
リーダーシップ開発：授業外への適用	社会系
リーダーシップ開発：問題解決プロジェクト	社会系
リーダーシップ開発：理論とスキル	社会系
リーダーシップの軌跡	社会系
早稲田スポーツを学ぶ 1（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
早稲田スポーツを学ぶ 2（早稲田大学校友会支援講座）	社会系
早稲田大学と近代中国	社会系
大学における教育と学習（応用）	社会系
学生による授業支援入門	社会系
持続可能な社会と市民の役割 1	社会系
持続可能な社会と市民の役割 2	社会系
株式会社日建設計寄附講座 建築・都市をつくるパブリックスペース	社会系
金融DX（デジタルトランスフォーメーション）時代の情報リテラシー基礎	社会系
金融DX（デジタルトランスフォーメーション）時代の情報リテラシー応用	社会系
宇宙を考える 1 ～自然科学、社会科学を結びつける宇宙への視点～	自然系
海への誘い α	自然系
海への誘い β	自然系
環境科学基礎講座 1	自然系
環境科学基礎講座 2	自然系
カーボンニュートラル技術概論 α（学部生用）	自然系
カーボンニュートラル技術概論 β（学部生用）	自然系
学術・研究公正概論（生命・理工系）（学部生用）	自然系

■提供科目の情報は変更となることがあります。最新の提供科目情報・教室は、グローバルエデュケーションセンターのホームページで確認してください。
■旧オープン教育センター、旧メディアネットワークセンター設置科目と同科目（または同等科目）の単位を修得済みの場合は、科目を履修することはできません。
■共通科目（体育系）は記載しておりません。

科目名	算入時の科目区分
生物と環境	自然系
生命科学概論	自然系
先端ロボティクスと医療	自然系
ディベートで学ぶ現代医療最前線と医療問題	自然系
身近な化学への招待（導入）	自然系
身近な化学への招待（発展）	自然系
身近な物理	自然系
身近な物理（入門）	自然系
アルゴリズムとデータ構造 α	数理情報系
アルゴリズムとデータ構造 β	数理情報系
Rによる統計解析	数理情報系
因果構造のデータ科学	数理情報系
Introduction to Programming	数理情報系
Introduction to Data Science α	数理情報系
Introduction to Data Science β	数理情報系
Webデザイン実践	数理情報系
オープン・ソース・ソフトウェア概論	数理情報系
回帰と分類のデータ科学	数理情報系
空間構造のデータ科学	数理情報系
クライアントサイドWebプログラミング初級	数理情報系
クライアントサイドWebプログラミング中級	数理情報系
コントラクトブリッジで学ぶ数理科学入門	数理情報系
サーバサイドWebプログラミング初級	数理情報系
サーバサイドWebプログラミング中級	数理情報系
サーバマネジメント α	数理情報系
サーバマネジメント β	数理情報系
視覚的に捉える群論入門	数理情報系
CGエンジニア入門	数理情報系
時系列構造のデータ科学	数理情報系
情報科学の基礎	数理情報系
情報セキュリティ技術	数理情報系
情報ネットワークセキュリティ	数理情報系
人工知能入門－探索による人工知能－	数理情報系
数学基礎プラス α（金利編）	数理情報系
数学基礎プラス α（最適化編）	数理情報系
数学基礎プラス γ（解析学編）	数理情報系
数学基礎プラス γ（線形代数学編）	数理情報系
数学基礎プラス β（金利編）	数理情報系
数学基礎プラス β（最適化編）	数理情報系
Statistics Literacy α	数理情報系
Statistics Literacy γ	数理情報系
Statistics Literacy δ	数理情報系
Statistics Literacy β	数理情報系

科目名	算入時の科目区分
潜在構造のデータ科学	数理情報系
素数の魅力と暗号理論	数理情報系
ソフトウェア開発技術 α	数理情報系
ソフトウェア開発技術 β	数理情報系
ソーシャルコミュニテラシーの基礎と実践	数理情報系
データ科学実践	数理情報系
データ科学入門 α	数理情報系
データ科学入門 γ	数理情報系
データ科学入門 δ	数理情報系
データ科学入門 β	数理情報系
データ科学入門1（統計学既習者用）	数理情報系
データ科学入門2（統計学既習者用）	数理情報系
データ科学のための数学	数理情報系
データ科学のためのモデリング	数理情報系
Data Science in Practice	数理情報系
データ分析の基礎	数理情報系
データベース（SQL入門）	数理情報系
データベース（管理と運用）	数理情報系
統計リテラシー α	数理情報系
統計リテラシー γ	数理情報系
統計リテラシー δ	数理情報系
統計リテラシー β	数理情報系
ネットワーク技術初級	数理情報系
ネットワーク技術準中級	数理情報系
Pythonによるデータ解析	数理情報系
プログラミング初級（C/C++）	数理情報系
プログラミング初級（Java）	数理情報系
プログラミング初級（Python）	数理情報系
プログラミング中級（C/C++）	数理情報系
プログラミング中級（Java）	数理情報系
プログラミング中級（Python）	数理情報系
プログラミング入門	数理情報系
マルチメディア初級（画像処理とアニメーション） α	数理情報系
マルチメディア初級（画像処理とアニメーション） β	数理情報系
マルチメディア中級（画像処理とアニメーション） α	数理情報系
マルチメディア中級（画像処理とアニメーション） β	数理情報系
ミュージック・プログラミング	数理情報系
未来社会を創るセキュリティ最前線（学部生用）	数理情報系
結び目で見る数学の世界　～トポロジーへの招待～	数理情報系
UNIX入門	数理情報系
Introduction to Data Science γ	数理情報系
Introduction to Data Science δ	数理情報系
データ科学総合演習	数理情報系

■提供科目の情報は変更となることがあります。最新の提供科目情報・教室は、グローバルエデュケーションセンターのホームページで確認してください。
■旧オープン教育センター、旧メディアネットワークセンター設置科目と同科目（または同等科目）の単位を修得済みの場合は、科目を履修することはできません。
■共通科目（体育系）は記載しておりません。

４．総合科学プログラム（Integrated Arts and Sciences Program）

Ⅰ.総合科学プログラムについて

1. 本プログラムについて

複数の多様な学科専修で構成されている教育学部の豊富なリソースを集中的・横断的に生かし、深く幅広い教養を身につけることを目的とした、2019 年度から運用を開始した副専攻制度です。

2. 対象

総合科学プログラムの対象は学部学生のみです。大学院進学後や科目等履修生として、修了を目指すことはできません。

3. 修了要件

コース毎に修了要件が異なりますので、Ⅱ．設置コースをご確認ください。また、修了には学部で卒業が認定されていることが必要です。

4. 履修開始および修了証の発行

履修開始に際して、申請等は必要ありません。各自で履修計画を立て、修了要件を満たすようにしてください。

また、要件を満たし「修了証」の発行を希望する場合には、卒業年度の秋学期（9 月卒業者の場合には、卒業年度の春学期）に、修了申請を行ってください。

要件を満たしていれば、卒業年度の卒業発表以降、学部より「修了証」を発行します。

※申請期間については、教育学部 HP をご確認ください。

5. 単位の取り扱いについて

本プログラムの修了単位と、教育学部における卒業単位への**「算入」・「非算入」は関係ありません。**卒業単位へ非算入とした場合でも、指定科目であれば本プログラムの修了単位として認められます。

指定科目として定められる以前に取得した単位も、修了所定単位に算入することができます。

また、指定科目が廃止となった場合、または指定から外れた場合でも、以前にその科目の単位を修得していれば、総合科学プログラムの修了所定単位に算入します。

6. 科目登録について

科目登録は、すべて学部やセンターで決められた方法で、所定の期間に行ってください。

総合科学プログラム用の特別な登録期間、登録方法はありません。

また、科目登録において、総合科学プログラム履修者が**優先的に登録されることは一切ありません。**

選外になることもありますので、余裕を持った履修計画を立てるようにしましょう。

7. 設置コース、対象科目について

次ページ以降を参照ください。

Ⅱ.設置コース

①地球システムコース

1. コース概要
地球システムと環境問題を、領域横断的に修学するためのコースです。

2. 対象
教育学部所属の正規生。ただし、生物学専修・地球科学専修の学生は対象外です。

3. 修了要件
【修了所定単位数】
指定科目を**16単位以上**修得すること。

4. その他の注意点
生物学専修・地球科学専修設置科目は、理系学生対象のレベルになっています。
Webシラバス等で授業内容を確認の上、履修申請を行ってください。
科目登録において、総合科学プログラム履修者が優先的に登録されることは一切ありません。
選外になることもありますので、余裕を持った履修計画を立てるようにしましょう。

指定科目一覧

共通科目

科目名	配当年次	単位数
地球の起源	1～4	2
地球システムと環境問題	1～4	2
地球生命史	1～4	2
太陽系の起源と地球のテクトニクス	1～4	2
環境の生物学	1～4	2
自然人類学I A	1～4	2
自然人類学I B	1～4	2
自然人類学II A	1～4	2
自然人類学II B	1～4	2
地理学III（自然環境と風土）	1～4	2
地理学IV（風景の科学）	1～4	2

地球科学専修

科目名	配当年次	単位数
地質学入門-地球の物質	1～4	2
地質学入門-地球の歴史	1～4	2
惑星地球の変動と進化	1～4	2
惑星地球科学入門	1～4	2
生物学通論II	1～4	2
生物学通論実験II ※4	2～4	1

複合文化学科

科目名	配当年次	単位数
複合文化学特論16	2～4	2

生物学専修

科目名	配当年次	単位数
生態学I	2～4	2
進化学	2～4	2
生命科学探索法 ※1	2～4	2
植物生理学I	3～4	2
生態学・実習 ※2	2～4	2
地学通論I	1～4	2
地学通論II	1～4	2
地学通論実験I ※3	2～4	1
地学通論実験II ※3	2～4	1

他箇所設置科目【グローバルエデュケーションセンター（GEC）】

科目名	配当年次	単位数
環境科学基礎講座1	1～4	1
環境科学基礎講座2	1～4	1
環境問題と持続可能な社会	1～4	2
再生可能エネルギーを地域から考える	1～4	2
地域、環境、エネルギーを考える	1～4	2
資源エネルギーと地球環境問題を考える1	1～4	2
資源エネルギーと地球環境問題を考える2	1～4	2
環境イシューを深く読み解く	1～4	2

※1 副専攻履修者が履修する場合には、生物学通論Ⅱを履修済みであるか科目登録していること。
※2 副専攻履修者が履修する場合には、生態学Ⅰを履修済みであるか科目登録していること。
※3 理学科生物学専修以外の学生が履修する場合、聴講料・実験実習料・実習費が必要な科目です。
※4 理学科地球科学専修以外の学生が履修する場合、聴講料・実験実習料・実習費が必要な科目です。

②外国語A発展履修コース

1. コース概要

「外国語の基礎」「外国語のコミュニケーションの基礎」を履修したのち、選択外国語の学習をさらに深めるためのコースです。

2. 対象

教育学部所属の正規生。ただし、複合文化学科の学生は対象外です。

3. 修了要件

【前提】

「外国語の基礎」「外国語のコミュニケーションの基礎」が履修済であることが前提です。

・「外国語演習」は、“外国語の基礎”を履修済である必要があります。

・「ツールとしての外国語」は、“外国語の基礎”“外国語のコミュニケーションの基礎”を履修済である必要があります。

【修了所定単位数】

同一言語の指定科目を**16単位以上**修得すること。レベルごとの所定単位数は以下の表を参照してください。

	所定単位数	
	内訳	計
レベルIII～レベルIV	4	16
レベルI～レベルII	4 ※1	

※1「レベルI～レベルII」については、教育学部設置科目である、以下の科目から4単位以上履修すること。

外国語演習I1/外国語演習I2/外国語演習Ⅱ1/外国語演習Ⅱ2/ツールとしての外国語I/ツールとしての外国語Ⅱ
（すべて1科目2単位）

4. その他の注意点

授業の理解度を深めるためにも、レベル順（I→IV）に履修するようにしてください。
科目登録において、総合科学プログラム履修者が優先的に登録されることは一切ありません。
選外になることもありますので、余裕を持った履修計画を立てるようにしましょう。

指定科目一覧

教育学部設置科目

科目名	配当年次	単位数	レベル
ドイツ語演習I1（文化の諸相）	2～4	2	I
ドイツ語演習I2（文学テクストを読む）	2～4	2	I
ドイツ語演習II1（文化の諸相）	2～4	2	II
ドイツ語演習II2（文化の諸相）	2～4	2	II
フランス語演習I1（文化の諸相）	2～4	2	I
フランス語演習I2（文学テクストを読む）	2～4	2	I
フランス語演習II1（文化の諸相）	2～4	2	II
フランス語演習II2（文学テクストを読む）	2～4	2	II
中国語演習I1（言語を知る）	2～4	2	I
中国語演習I2（文学テクストを読む）	2～4	2	I
中国語演習II1（言語を知る）	2～4	2	II
中国語演習II2（文学テクストを読む）	2～4	2	II
ロシア語演習I1（文化の諸相）	2～4	2	I
ロシア語演習I2（言語を知る）	2～4	2	I
ロシア語演習II1（文化の諸相）	2～4	2	II
ロシア語演習II2（文化の諸相）	2～4	2	II
スペイン語演習I1（文化の諸相）	2～4	2	I
スペイン語演習I2（言語を知る）	2～4	2	I
スペイン語演習II1（文化の諸相）	2～4	2	II
スペイン語演習II2（言語を知る）	2～4	2	II
ドイツ語演習III（言語を知る）	3～4	2	III
ドイツ語演習IV（文化の諸相）	3～4	2	IV
フランス語演習III（文化の諸相）	3～4	2	III
フランス語演習IV（言語を知る）	3～4	2	IV
中国語演習III（文化の諸相）	3～4	2	III
中国語演習IV（文化の諸相）	3～4	2	IV
ロシア語演習III（文化の諸相）	3～4	2	III
ロシア語演習IV（文学テクストを読む）	3～4	2	IV
スペイン語演習III（文学テクストを読む）	3～4	2	III
スペイン語演習IV（文学テクストを読む）	3～4	2	IV
ツールとしてのドイツ語I	2～4	2	I
ツールとしてのドイツ語II	2～4	2	II
ツールとしてのフランス語I	2～4	2	I

科目名	配当年次	単位数	レベル
ツールとしてのフランス語II	2～4	2	II
ツールとしての中国語I	2～4	2	I
ツールとしての中国語II	2～4	2	II
ツールとしてのロシア語I	2～4	2	I
ツールとしてのロシア語II	2～4	2	II
ツールとしてのスペイン語I	2～4	2	I
ツールとしてのスペイン語II	2～4	2	II
ツールとしてのドイツ語V	4	2	IV
ツールとしてのフランス語V	4	2	IV
ツールとしての中国語V	4	2	IV
ツールとしてのロシア語V	4	2	IV
ツールとしてのスペイン語V	4	2	IV
ツールとしてのドイツ語III	3～4	2	III
ツールとしてのフランス語III	3～4	2	III
ツールとしての中国語III	3～4	2	III
ツールとしてのロシア語III	3～4	2	III
ツールとしてのスペイン語III	3～4	2	III
ツールとしてのドイツ語IV	3～4	2	IV
ツールとしてのフランス語IV	3～4	2	IV
ツールとしての中国語IV	3～4	2	IV
ツールとしてのロシア語IV	3～4	2	IV
ツールとしてのスペイン語IV	3～4	2	IV
海外でのドイツ語研修I	2～4	2	I～II
海外でのドイツ語研修II	2～4	2	I～II
海外でのフランス語研修I	2～4	2	I～II
海外でのフランス語研修II	2～4	2	I～II
海外での中国語研修I	2～4	2	I～II
海外での中国語研修II	2～4	2	I～II
海外でのロシア語研修I	2～4	2	I～II
海外でのロシア語研修II	2～4	2	I～II
海外でのスペイン語研修I	2～4	2	I～II
海外でのスペイン語研修II	2～4	2	I～II

指定科目一覧

他箇所設置科目

他箇所設置科目にも、対象科目があります。全学オープン科目履修ガイドに記載されている、「全学オープン科目マップ」をご確認ください。
ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語のマップに記載されている科目はすべて対象科目になります。
修得した際に、副専攻の修了単位と算入されるレベルについては、下記の対応表をご確認ください。
※複数にまたがる科目は、上位レベルを当該科目のレベルとします。

＜全学オープン科目マップとのレベル対応表＞

	ドイツ語	フランス語	中国語	スペイン語	ロシア語
レベルIV レベルIII	「A2→B1」～「C1」	「B-1」～「B-2」	「中上級」～「上級」	「上級1・2」	「中・上級」
レベルII レベルI	「A1-1」～「A2」	「A-1」～「A-2」	「初級」～「中級」	「初級」～「中級」	「初級」～「中級」

５．教育職員免許状取得のための履修方法

※2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

『学部要項』に掲載した教育職員免許状取得のための履修方法：
科目の新設、廃止、名称変更、単位数変更等は以下の通りです。

『学部要項』の教職課程に関する 訂正/変更事項一覧

学部要項年度	該当ページ	変更事項	変更前	変更後
2019 年度	80 ページ	科目名称の誤記載	「アメリカ文学史」	**「アメリカ文化史」**
2020 年度	79 ページ	科目名称の誤記載	「アメリカ文学史」	**「アメリカ文化史」**
2019 年度	112 ページ	情報社会・情報倫理【複合文化学科】の単位数の誤記載	4 単位	**2 単位**
2020 年度	111 ページ	情報社会・情報倫理【複合文化学科】の単位数の誤記載	4 単位	**2 単位**
2019 年度	75 ページ	科目区分の記号の誤記載（専門必修科目→専門選択科目）	「●特別支援教育原論」	**「○特別支援教育原論」**
2020 年度	75 ページ	科目区分の記号の誤記載（専門必修科目→専門選択科目）	「●特別支援教育原論」	**「○特別支援教育原論」**
2019 年度	112 ページ	科目名称の変更	キャリアと情報（情報マネジメントの実際）	**IT とビジネス**
2020 年度	111 ページ	科目名称の変更	キャリアと情報（情報マネジメントの実際）	**IT とビジネス**
2019 年度	48,51,54,57,60,63,66,69,72,76,79,82,85,88,91,94,97,100,104,108,111,114,117,120,123,126 ページ	科目名称の変更	学校経営インターンシップ	**学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）**
			人間理解基盤講座	**人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）**
2020 年度	47,50,53,56,59,62,65,68,71,75,78,81,84,87,90,93,96,99,103,107,110,113,116,119,122,125 ページ	科目名称の変更	学校経営インターンシップ	**学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）**
			人間理解基盤講座	**人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）**
2019 年度	73 ページ	科目名称の変更	発達障害者教育	**発達障害者教育(障害者・障害児心理学)**
2020 年度	72 ページ	科目名称の変更	発達障害者教育	**発達障害者教育(障害者・障害児心理学)**
2019 年度	112 ページ	教育職員免許法施行規則に規定された科目の区分名称の誤り	情報社会および情報倫理	**情報社会・情報倫理**
2020 年度	111 ページ	教育職員免許法施行規則に規定された科目の区分名称の誤り	情報社会および情報倫理	**情報社会・情報倫理**
2019 年度	112 ページ	教育職員免許法施行規則に規定された科目の区分名称の誤り	コンピュータ及び情報処理（実習を含む）	**コンピュータ・情報処理（実習を含む。）**
2020 年度	111 ページ	教育職員免許法施行規則に規定された科目の区分名称の誤り	コンピュータ及び情報処理（実習を含む）	**コンピュータ・情報処理（実習を含む。）**
2019 年度	112 ページ	教育職員免許法施行規則に規定された科目の区分名称の誤り	マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	**マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）**
2020 年度	111 ページ	教育職員免許法施行規則に規定された科目の区分名称の誤り	マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	**マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）**
2020、2021 年度	111 ページ	科目名の変更	キャリアと情報（情報マネジメントの実際）	**IT とビジネス**
2020、2021 年度	105 ページ	科目名の訂正	地球科学演習	**地球科学実習**
2019、2020、2021 年度	2019 年度：P.73 2020、2021 年度：P.72	科目名の訂正	知的障害者教育論Ⅰ、Ⅱ	**知的障害教育論Ⅰ、Ⅱ**
2019、2020、2021 年度	2019 年度：P.70 2020、2021 年度：P.69	科目区分の記号の誤記載（専門必修科目→専門選択科目）	●臨床心理学特論Ⅰ（精神疾患とその治療）	**○臨床心理学特論Ⅰ（精神疾患とその治療）**

2019、2020、2021 年度	2019 年度：P.71 2020、2021 年度：P.70	科目区分の記号の誤記載（専門必修科目→専門選択科目）	●教育学概論Ⅰ ●教育制度概論	**○教育学概論Ⅰ** **○教育制度概論**
2019、2020、2021 年度	2019 年度：P.65 2020、2021 年度：P.64	科目区分の記号の誤記載（専門必修科目→専門選択科目）	●教育学概論Ⅰ ●教育制度概論	**○教育学概論Ⅰ** **○教育制度概論**
2019、2020、2021 年度	2019 年度：P.68 2020、2021 年度：P.67	科目区分の記号の誤記載（専門必修科目→専門選択科目）	●教育学概論Ⅰ ●教育制度概論	**○教育学概論Ⅰ** **○教育制度概論**
2019 年度	84、87、90、93、96、99	科目名の訂正	特別支援教育	**特別支援教育（中・高）**
2019 年度	47、50、53、56、59、62、65、68、71、78、81、84、87、90、93、96、99、103、107、110、113、116、119、122、125	科目名の訂正	生徒理論と教育相談	**生徒理解と教育相談**
2020、2021 年度	46、49、52、55、58、61、64、67、70、77、80、83、86、89、92、95、98、102、106、109、112、115、118、121、124	科目名の訂正	生徒理論と教育相談	**生徒理解と教育相談**
2019 年度	84、87、90、93、96、99	科目名の訂正	特別支援教育	**特別支援教育（中・高）**
2020 年度	83、86、89、92、95、98	科目名の訂正	特別支援教育	**特別支援教育（中・高）**
2019、2020、2021 年度	2019 年度：P.77 2020、2021 年度：P.76	科目名の訂正	東アジアの思想と文化Ⅰ（近代）	**東アジアの思想と文化Ⅰ（古代）**
2019、2020、2021 年度	2019 年度：P.109 2020、2021 年度：P.108	科目名の訂正	線形代数Ⅰ 代数Ⅰ	**線形代数1** **代数1**
2022 年度	113	「コンピュータ中級」の単位数の誤記載	2 単位	**4 単位**
2022 年度	116	科目の削除	時事ドイツ語 A1【商学部】	**削除**
2019、2020、2021 年度	2019 年度：P.73、2020、2021 年度：P.72	教育学科・教育学専攻…免許教科　特別支援学校教諭1種の＜特別支援教育に関する科目＞の表の差し替え	2019～2021 年度版に掲載の＜特別支援教育に関する科目＞の表の一部に誤りがあるため、右記に掲載の表を参照してください。	https://waseda.box.com/s/dqy355wh37098nfvlo4icxfcj0v8fwxe
2019、2020、2021 年度	2019 年度：P.80、2020、2021 年度：P.79	教科に関する専門的事項「英語学」の「②選択科目」に科目を追加	—	**Advanced Communicative Grammer of English**
2022 年度	2022 年度：P.81	科目名の訂正	Advanced Communication Grammer of English	**Advanced Communicative Grammer of English**
2023 年度	p.55	「臨床心理学特論Ⅰ（精神疾患とその治療）」の単位数の誤記載	2 単位	**4 単位**

◎教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定められた教育職員免許状取得に必要な科目：「日本国憲法」「体育（実技）」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作※」の履修について

「日本国憲法」「体育（実技）」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作※」について、それぞれ２単位以上を修得する必要があります。

※2022 年度より対象科目区分が追加されました。詳細は４．「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」を確認してください。

１.「日本国憲法」

《教育学部共通科目・社会系》「憲法」で充当されます。

※社会科・社会科学専修、公共市民学専修設置の「法学概論Ⅰ」「法学概論Ⅱ」の両方の単位を修得した場合でも充当されます。なお、「法学概論Ⅰ」「法学概論Ⅱ」は同時に中学社会および高校公民の 2018 年度以前入学者:「教科に関する科目」、2019 年度以降入学者:「教科に関する専門的事項に関する科目」にも充当されます。

※社会科・地理歴史専修、社会科学専修、公共市民学専修設置の「憲法概論」でも充当されます。

※共通科目社会系の「法学Ⅰ」「法学Ⅱ」は、該当しませんのでご注意ください。

２.「体育（実技）」

《体育系》

グローバルエデュケーションセンター設置の「スポーツ実習Ⅰ」、「スポーツ実習Ⅰ（体育各部）」、「スポーツ実習Ⅱ」「スポーツ実習Ⅱ(体育各部)」から、2 単位以上を修得してください。

また、教員免許状取得のために「スポーツ実習」の単位修得が必要で、身体虚弱または慢性的な疾病および身体に障がいがある等の理由で、在学中を通じてスポーツ実習の履修が困難であると思われる方は、春学期 1 次登録前にグローバルエデュケーションセンターにご相談ください。

３.「外国語コミュニケーション」

以下の科目で充当されます。

設置箇所	開設科目名	廃止科目名
教育学部	英語初級コミュニケーション１，２ （旧：英語初級コミュニケーション） 英語中級コミュニケーション１，２ （旧：英語中級コミュニケーション） 英語上級コミュニケーション※NNα，β （旧：英語上級コミュニケーション） ドイツ語の基礎 ドイツ語のコミュニケーションの基礎 フランス語の基礎 フランス語のコミュニケーションの基礎 中国語の基礎 中国語のコミュニケーションの基礎 ロシア語の基礎 ロシア語のコミュニケーションの基礎 スペイン語の基礎 スペイン語のコミュニケーションの基礎	

※NN は数字

設置箇所	開設科目名	廃止科目名
グローバルエデュケーションセンター（GEC）	イタリア語（入門）　理解 イタリア語（入門）　表現 イタリア語（入門）　＜アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語＞ イタリア語（入門）　＜英語で学ぶイタリア語＞ イタリア語（初級）　理解 イタリア語（初級）　表現 イタリア語（初級）　＜アクティブ・ラーニングで学ぶイタリア語＞ イタリア語（初級）　＜英語で学ぶイタリア語＞ イタリア語（準中級）　理解 イタリア語（準中級）　表現 イタリア語（中級）　理解 イタリア語（中級）　表現 朝鮮語（入門） 朝鮮語（初級） 朝鮮語（準中級） 朝鮮語（中級） 朝鮮語（上級） Tutorial English (Beginners) A Tutorial English (Beginners) B Tutorial English (Basic) A Tutorial English (Basic) B Tutorial English (Basic) C Tutorial English (Basic) D Tutorial English (Intermediate) A Tutorial English (Intermediate) B Tutorial English (Intermediate) C Tutorial English (Intermediate) D Tutorial English (Upper Intermediate) A Tutorial English (Upper Intermediate) B Tutorial English (Upper Intermediate) C Tutorial English (Upper Intermediate) D Tutorial English (Advanced) A Tutorial English (Advanced) B	（2017年度廃止） Tutorial English Training Camp イタリア語（入門） イタリア語（初級） イタリア語（準中級） イタリア語（中級） Business Tutorial English（アデレード大学）（超上級） Cross-cultural Distance Learning(CCDL) (International Career Path) チュートリアル中国語 初中級 チュートリアル中国語 準中級 チュートリアル中国語 中級 チュートリアル中国語 中上級 チュートリアル中国語　準上級 チュートリアル中国語　上級 （2018年度廃止） イタリア語（準中級）　理解・表現 イタリア語（中級）　理解・表現 Business Tutorial English （ビジネス実践編）（中級） Business Tutorial English （ビジネス実践編）（上級） Cross-cultural Distance Learning(CCDL)(Media) Cross-cultural Distance Learning(CCDL)(Social and Global Issues) （2019年度廃止） チュートリアル中国語 初中級　α チュートリアル中国語 初中級　β チュートリアル中国語 準中級　α チュートリアル中国語 準中級　β チュートリアル中国語 中級　α チュートリアル中国語 中級　β チュートリアル中国語 中上級　α チュートリアル中国語 中上級　β チュートリアル中国語 準上級　α チュートリアル中国語 準上級　β チュートリアル中国語 上級　α チュートリアル中国語 上級　β （2021年度廃止） General Tutorial English （初級）　α General Tutorial English （初級）　β General Tutorial English （準中級）　α General Tutorial English （準中級）　β General Tutorial English （中級）　α General Tutorial English （中級）　β General Tutorial English （準上級）　α General Tutorial English （準上級）　β General Tutorial English （上級）　α General Tutorial English （上級）　β General Tutorial English （上級プラス）　α General Tutorial English （上級プラス）　β General Tutorial English （初級） General Tutorial English （準中級） General Tutorial English （中級） General Tutorial English （準上級） General Tutorial English （上級） General Tutorial English （上級プラス） (2022年度廃止) イタリア語（入門）理解・表現 イタリア語（初級）理解・表現 (2023年度廃止) Tutorial English (Beginners) A & B Intensive Tutorial English (Basic) A & B Intensive Tutorial English (Basic) C & D Intensive Tutorial English (Intermediate) A & B Intensive Tutorial English (Intermediate) C & D Intensive Tutorial English (Upper Intermediate) A & B Intensive Tutorial English (Upper Intermediate) C & D Intensive Tutorial English (Advanced) A & B Intensive

※廃止科目：廃止年度の前年度までに修得した科目の単位は教員免許状の単位として使用できます。

4.「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」

以下の科目で充当されます。

2022 年度より「情報機器の操作」の領域に「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」が追加されました。2022 年度以降に開講される対象科目を履修した場合は第 66 条の 6 に定める科目として使用できます。

2 単位の履修方法については必ず「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」2 単位、もしくは「情報機器の操作」2 単位のいずれかを選択してください。「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」1 単位と「情報機器の操作」1 単位の組み合わせでは要件を満たせませんので、十分に注意してください。

［数理、データ活用及び人工知能に関する科目］（2019 年度以降入学者）

設置箇所	開設科目名	廃止科目名
グローバルエデュケーションセンター（GEC）	統計リテラシーα 統計リテラシーβ データ科学入門α データ科学入門β Statistics Literacyα Statistics Literacyβ Introduction to Data Scienceα Introduction to Data Scienceβ	なし

［情報機器の操作］（2019 年度以降入学者、2018 年度以前入学者）

設置箇所	開設科目名	廃止科目名
グローバルエデュケーションセンター（GEC）	プログラミング入門（2018 年度開設） プログラミング初級（Python） プログラミング初級（C/C++） プログラミング初級（Java） プログラミング中級（Python） プログラミング中級（C/C++） プログラミング中級(Java) アルゴリズムとデータ構造α（2016～2021 年度、2024 年度開設） アルゴリズムとデータ構造β（2016～2021 年度、2024 年度開設） ソフトウェア開発技術α ソフトウェア開発技術β 情報セキュリティ技術 Web デザイン実践 サーバサイド Web プログラミング初級 クライアントサイド Web プログラミング初級 サーバサイド Web プログラミング中級 クライアントサイド Web プログラミング中級 データベース（SQL 入門） データベース（管理と運用） マルチメディア初級（画像処理とアニメーション）α マルチメディア初級（画像処理とアニメーション）β マルチメディア中級（画像処理とアニメーション）α マルチメディア中級（画像処理とアニメーション）β ミュージック・プログラミング CG エンジニア入門	（2017 年度廃止） データベースα データベースβ マルチメディア入門(映像）α マルチメディア入門(映像）β マルチメディア中級(映像）α マルチメディア中級(映像）β （2018 年度廃止） 情報表現の基礎α 情報表現の基礎β （2019 年度廃止） プレゼンテーションスキル実践 （2020 年度廃止） 情報表現の実践 プログラミング初級（Visual Basic） プログラミング中級（Visual basic） プログラミング初級（Ruby） プログラミング中級（Ruby）※ マルチメディア入門（デジタルサウンド）

※プログラミング中級（Ruby）は 2018・2019 年度修得に限ります。2016・2017 年度に修得した場合、教員免許状の単位として使用できませんのでご注意ください。

※アルゴリズムとデータ構造α、アルゴリズムとデータ構造βは、2016～2021 年度、2024 年度以降修得に限ります。2022・2023 年度に修得した場合、教員免許状の単位として使用できませんのでご注意ください。

※廃止科目：廃止年度の前年度までに修得した科目の単位は教員免許状の単位として使用できます。

設置箇所	開設科目名	廃止科目名
教育学部	《教育学部共通科目》 コンピュータ入門 コンピュータ初級 コンピュータ中級 《複合文化学科設置科目》 ツールとしてのＩＣＴ１	《複合文化学科設置科目》 ツールとしての情報通信ネットワークⅠ（情報化アカデミックリテラシー）

※廃止科目：廃止年度の前年度までに修得した科目の単位は教員免許状の単位として使用できます。

●「日本国憲法」「体育（実技）」「外国語コミュニケーション」「データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」に該当する科目は、1 年次から計画的に履修を開始してください。

2007 年度以降入学者

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科（教育学専修・生涯教育学専修・教育心理学専修）
初等教育学専攻：課程認定は受けていませんが、該当科目を履修することで要件を満たせます。

……免許教科　　特別支援学校教諭１種

2007 年度より養護学校教諭免許が、特別支援学校免許へと変わりました。新しい制度では、5 つの教育領域（視覚障害者に関する教育、聴覚障害者に関する教育、知的障害者に関する教育、肢体不自由者に関する教育、病弱者に関する教育）が設定されており、領域ごとに必要な単位を修得した領域のみ有効になります。早稲田大学では、「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の 3 領域について修得することが可能です。それ以外の領域については、免許授与後、認定講習などで単位を修得することにより、追加が可能になります。（詳細については、次ページを参照のこと）

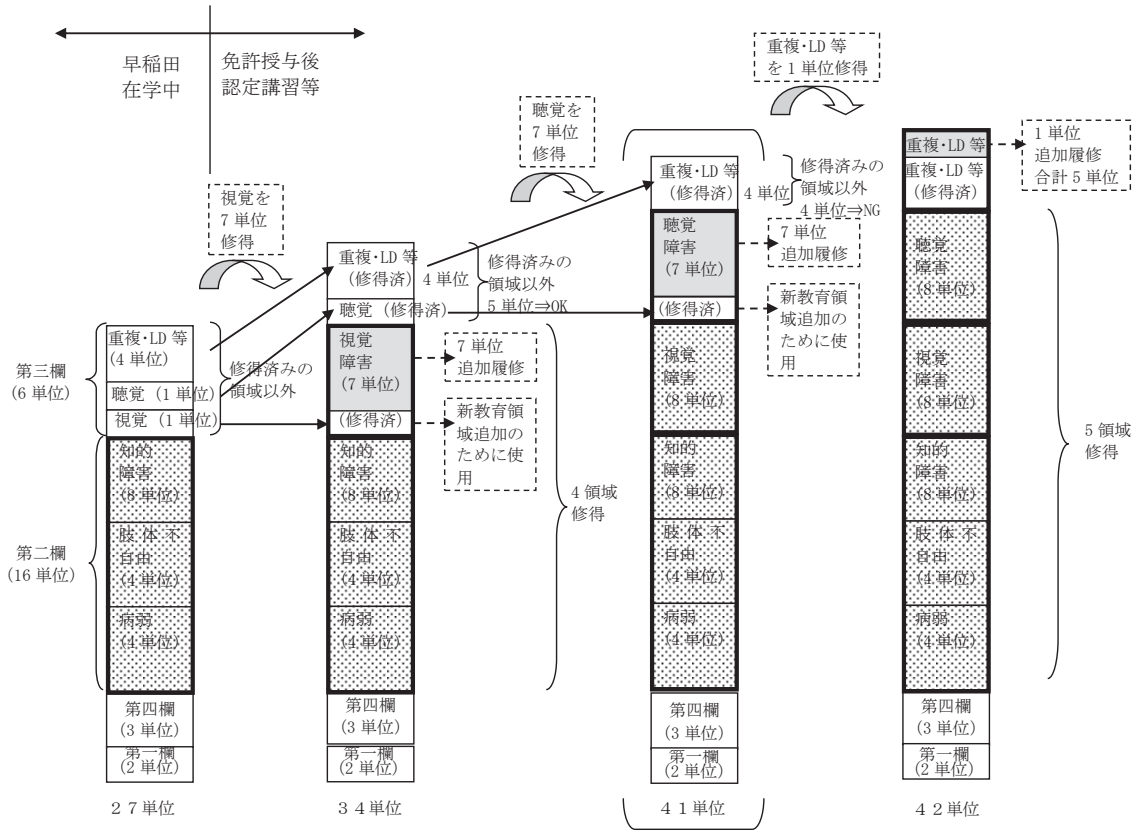
基礎資格として、小学校、中学校、高等学校または幼稚園の教諭の普通免許を持っていること。
○は専門選択科目、◇は教職課程科目

免許法施行規則に規定された科目			［①必 修 科 目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	領　域
特別支援教育に関する科目	第一欄：特別支援教育の基礎理論に関する科目		○障害者教育原論（障害者・障害児心理学）	2	必修	
	第二欄：特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	○知的障害者の心理・生理・病理（障害者・障害児心理学）【旧：発達障害者の心理・生理・病理（障害者・障害児心理学）】	2	必修	知的障害者
			○肢体不自由者の心理・生理・病理Ⅰ ※2024 年度廃止	2	1 科目選択必修	肢体不自由者
			○肢体不自由者の心理・生理・病理Ⅱ	2		肢体不自由者
			○病弱者の心理・生理・病理	2		病弱者
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	○知的障害者教育（障害者・障害児心理学）【旧：発達障害者教育（障害者・障害児心理学）】、【旧：発達障害者教育】	2		知的障害者
			○肢体不自由者教育	2		肢体不自由者
			○病弱者教育	2		病弱者
		・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	○知的障害教育論Ⅰ	2		知的障害者
		・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	○知的障害教育論Ⅱ	2		知的障害者
	第三欄：免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	○特別支援教育総論Ⅱ（旧：障害児教育総論Ⅱ）	1 (1)	全科目必修	視覚障害者
			○特別支援教育総論Ⅲ（旧：障害児教育総論Ⅲ）	1 (1)		聴覚障害者
		・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	○重複障害・LD 等教育総論	2		重複・LD 等領域
			○特別支援教育総論Ⅰ（旧：障害児教育総論Ⅰ）	2 (2)		重複・LD 等領域
	第四欄：心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		○特別支援学校実習※	3		
			［①必修科目］合計単位数　27 単位			

「◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）」は、2018 年度で廃止されましたが、それ以前に単位を修得している場合は、選択科目として合計単位数に加算されます。
※「特別支援学校実習」は特別支援学校での教育実習（2 週間）となります。実習先は大学から東京都教育委員会に受け入れ申請することで決定します。
特別支援学校での教育実習実施希望者は、教育実習前年度の 7 月初旬～8 月中旬の期間に教育実習事前登録をしてください。URL にアクセスできない場合は 8 月初旬までに https://www.waseda.jp/fedu/edu/contact/ よりご連絡ください。なお、実習先は 12 月中旬に MyWaseda で通知する予定です。

【特別支援学校免許状　他領域（視覚障害、聴覚障害領域）の修得方法について】

早稲田大学では、「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の 3 領域について修得することが可能です。それ以外の「視覚障害」「聴覚障害」の領域については、免許授与後、認定講習などを利用して、各領域の単位数を 8 単位にする（7 単位追加）ことにより、その他教育領域を修得できます。ただし、修得済の領域以外の単位については、最低 5 単位を修得する必要があります。



早稲田大学では、カリキュラムに従って科目を履修すると、知的障害、肢体不自由、病弱の 3 領域について修得が可能です。

視覚（聴覚）障害の領域についても修得を希望する場合、他大学で行われる認定講習などで不足分の 7 単位を履修します。その際、修得済みの領域以外の部分で最低 5 単位が必要です（今回、重複・LD 等領域と聴覚（視覚）領域を合わせると 5 単位のため、条件をクリアしています）

さらに、聴覚（視覚）障害の領域についても修得を希望する場合、同様に他大学で行われる認定講習などで不足分の 7 単位を履修します。その際、修得済みの領域以外の部分で最低 5 単位が必要ですので、不足する 1 単位を重複・LD 等領域から履修する必要があります。（既に履修し終わった 4 領域の科目を新たに履修しても、その領域の単位に加算されることになり、「修得した領域以外で 5 単位が必要」との条件は満たしません）

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科・教育学専修……免許教科　　中学 1 種「社会」

※●：専門必修科目　　○：専門選択科目　　◇：教職課程科目　▽：教育学部共通科目
□：教育学専修　専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修　専門選択科目（選択）

＜教科に関する科目＞

免許法施行規則に規定された科目		[①必　修　科　目]（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	[②選　択　科　目]	単位数
教科に関する科目	日本史及び外国史	■日本史Ⅰ ■日本史Ⅱ ■外国史Ⅰ ■外国史Ⅱ	2 2 2 2	全科目必　修	●日本教育史Ⅱ ●西洋教育史Ⅱ ○日本教育史研究Ⅰ ○日本教育史研究Ⅱ ■外国史Ⅲ	2 2 2 2 2
	地理学（地誌を含む。）	■地理Ⅰ ■地理Ⅱ ■地誌Ⅰ	2 2 2		■地理Ⅲ ■地誌Ⅱ	2 2
	「法律学、政治学」	□法律学 □政治学Ⅰ □政治学Ⅱ	2 2 2	1 科目必　修		
	「社会学、経済学」	□社会学(教職) □経済学Ⅰ □経済学Ⅱ	2 2 2	1 科目必　修	●教育社会学 ○教育社会学テーマ研究 ○学校教育活動論 ○社会教育課題研究Ⅰ-1 ○社会教育課題研究Ⅰ-2	2 2 2 2 2
	「哲学、倫理学、宗教学」	A ○哲学研究 B ○倫理学概論 C ○宗教研究Ⅰ ○宗教研究Ⅱ	4 4 2 2	Ａ～Ｃ群から1 科目群必修	●教育哲学 ○教育哲学研究 1 ○教育哲学研究 2 ○教育思想研究 1 （旧：教育思想研究） ○教育思想研究 2	2 2 2 2 (2) 2
		[①必修科目] 合計単位数　22 単位				

＜教職に関する科目（必修）＞

免許法施行規則に規定された科目			[③必　修　科　目]（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法
教職に関する科目（必修）	第二欄	教育の意義等に関する科目	◇教職概論（中・高）	2	全科目必　修 ※1～6 を合わせて参照すること。
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	●教育学概論Ⅰ　※1 ●教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）　※1 ●教育心理学概説Ⅰ※2 ●教育心理学概説Ⅱ※2	2 2 2 2	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	●教育課程論　※3 ◇社会科教育法 1 ◇社会科教育法 2 ◇社会科教育法 3 ◇道徳教育論（中・高） ◇特別活動論（中・高）2019 年度以降修得※4 （◇特別活動論（中・高））2018 年度以前修得※4 ●教育方法学　※5	2 2 2 2 2 1 (2) 2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	◇生徒理解と教育相談（中・高） ◇生徒指導・進路指導論（中・高）	2 2	
	第五欄	教育実習	◇教育実習演習（３週間）※6	5	
	第六欄	教職実践演習	◇教職実践演習（中・高）	2	
			[③必修科目] 合計単位数　34 単位又は 35 単位		

※1「教育学概論Ⅰ」「教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論 1」「教育制度総論（旧：教育基礎総論 2）」の履修は不要です。
※2「教育心理学概説Ⅰ」「教育心理学概説Ⅱ」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。
※3　2014 年度より「教育課程論」が教員免許状取得の要件として「教育課程編成論」と同等に扱われることになりました。

2014 年度以降に「教育課程論」の単位を修得した場合、教職課程科目「教育課程編成論」の履修は不要です。
※4　特別活動論（中・高）は 2019 年度より、単位数が 2 単位から 1 単位に変更になりました。
※5「教育方法学」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育方法・技術論（旧：教育方法研究）」の履修は不要です。
※6　3 週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（3 週間）」を、2 週間実習を行う場合は、「教育実習演習（2 週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（3 週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に 2 単位加算されます。）

＜教職に関する科目（選択）＞

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

免許法施行規則に規定された科目			［④選　択　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	単位数
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022 年度廃止	各 2 単位
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（社会変動と教育） 【旧：教職研究Ⅴ（学校外教育）】 ◇教職研究Ⅸ（教育経営）	各 2 単位
			◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	各 1 単位
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	◇特別支援教育（中・高）※	1 単位
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	◇社会科教育法 4	2 単位
		特別活動の指導法	◇総合的な学習・探究論（中・高）※	1 単位
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	◇授業技術演習 ◇教育における ICT 活用（中・高）	2 単位 1 単位

※　教育職員免許法改正による新設科目

＜教科又は教職に関する科目＞

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

免許法施行規則に規定された科目	［⑤必　修　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	履修方法	単位数	［⑥選　択　科　目］	単位数
教科又は教職に関する科目	◇介護体験実習講義	中学校の免許取得には必修	2	◇教職研究Ⅵ（生涯教育）	2
				◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018 年度廃止	(2)
				◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究）	2
				◇教職特講Ⅲ（部活動論）	1
				◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座）	2
				◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ）	4
				◇特別支援教育インターンシップ	4
				◇インクルーシブ教育インターンシップ	4
				◇初等教育インターンシップ	4
	中学校免許：［⑤必修科目］合計単位数 2 単位				

［必修科目］①・③・⑤　及び　［選択科目］②・④・⑥　合計で 59 単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科・教育学専修……免許教科　　高校１種「地理歴史」

※●：専門必修科目　　○：専門選択科目　　◇：教職課程科目　▽：教育学部共通科目
□：教育学専修　専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修　専門選択科目（選択）　△：社会科設置科目

＜教科に関する科目＞

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	日本史	■日本史Ⅰ	2	全科目必修	●日本教育史Ⅰ	2
		■日本史Ⅱ	2		●日本教育史Ⅱ	2
					○日本教育史研究Ⅰ	2
					○日本教育史研究Ⅱ	2
					○青少年教育論	2
	外国史	■外国史Ⅰ	2		●西洋教育史Ⅰ	2
		■外国史Ⅱ	2		●西洋教育史Ⅱ	2
		■外国史Ⅲ	2		○科学思想史Ⅰ	2
					○科学思想史Ⅱ	2
					△東洋史研究（中世）Ⅰ	2
					△東洋史研究（中世）Ⅱ	2
					△東洋史研究（近代）Ⅰ	2
					△東洋史研究（近代）Ⅱ	2
	人文地理学及び自然地理学	■地理Ⅰ	2		○文化人類学研究Ⅰ	2
		■地理Ⅱ	2		○文化人類学研究Ⅱ	2
		■地理Ⅲ	2		（旧：文化人類学）	(4)
	地誌	■地誌Ⅰ	2			
		■地誌Ⅱ	2			
		［①必修科目］合計単位数 20 単位				

＜教職に関する科目（必修）＞

免許法施行規則に規定された科目			［③必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法
教職に関する科目（必修）	第二欄	教職の意義等に関する科目	◇教職概論（中・高）	2	全科目必修 ※1～6 を合わせて参照すること。
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	●教育学概論Ⅰ　※1	2	
			●教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）　※1	2	
			●教育心理学概説Ⅰ※2	2	
			●教育心理学概説Ⅱ※2	2	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	●教育課程論　※3	2	
			◇地理歴史科教育法１	2	
			◇地理歴史科教育法２	2	
			◇特別活動論（中・高）2019 年度以降修得※4	1	
			（◇特別活動論（中・高））2018 年度以前修得※4	(2)	
			●教育方法学　※5	2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	◇生徒理解と教育相談（中・高）	2	
			◇生徒指導・進路指導論（中・高）	2	
	第五欄	教育実習	◇教育実習演習（２週間）　※6	3	
	第六欄	教職実践演習	◇教職実践演習（中・高）	2	
			［③必修科目］合計単位数　28 単位又は 29 単位		

※1「教育学概論Ⅰ」「教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論１」「教育制度総論（旧：教育基礎総論２）の履修は不要です。

※2「教育心理学概説Ⅰ」「教育心理学概説Ⅱ」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。

※3　2014 年度より「教育課程論」が教員免許状取得の要件として「教育課程編成論」と同等に扱われることになりました。2014 年度以降に「教育課程論」の単位を修得した場合、教職課程科目「教育課程編成論」の履修は不要です。

※4　特別活動論（中・高）は 2019 年度より、単位数が２単位から１単位に変更になりました。

※5「教育方法学」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育方法・技術論（旧：教育方法研究）」の履修は不要です。

※6　3週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（3週間）」を、2週間実習を行う場合は、「教育実習演習（2週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（3週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に2単位加算されます。）

＜教職に関する科目（選択）＞

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

免許法施行規則に規定された科目			［④選　択　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	単位数
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022年度廃止	各2単位
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（社会変動と教育） 【旧：教職研究Ⅴ（学校外教育）】 ◇教職研究Ⅸ（教育経営）	各2単位
			◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	各1単位
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	◇特別支援教育（中・高）※1	1単位
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	◇社会科教育法3※2：2018年度以前修得 ◇社会科教育法4※2：2018年度以前修得	各2単位
		特別活動の指導法	◇総合的な学習・探究論（中・高）※1	1単位
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	◇授業技術演習 ◇教育におけるICT活用（中・高）	2単位 1単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	道徳の指導法	◇道徳教育論（中・高）	2単位

※1　教育職員免許法改正による新設科目

※2　2018年度までの単位修得に限り、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019年度以降の修得単位は文部科学省の指導により、高校1種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

＜教科又は教職に関する科目＞

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

免許法施行規則に規定された科目	［⑤必　修　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	履修方法	単位数	［⑥選　択　科　目］	単位数
教科又は教職に関する科目				◇教職研究Ⅵ（生涯教育） ◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018年度廃止 ◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究） ◇教職特講Ⅲ（部活動論） ◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座） ◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ） ◇介護体験実習講義 ◇特別支援教育インターンシップ ◇インクルーシブ教育インターンシップ ◇初等教育インターンシップ	2 (2) 2 1 2 4 2 4 4 4

［必修科目］①・③・⑤　及び　［選択科目］②・④・⑥　合計で59単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科・教育学専修……免許教科　　高校 1 種「公民」

※●：専門必修科目　　○：専門選択科目　　◇：教職課程科目　▽：教育学部共通科目
□：教育学専修　専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修　専門選択科目（選択）

＜教科に関する科目＞

免許法施行規則に規定された科目		[①必　修　科　目]（左に対応する本学部設置科目）		単位数	履修方法	[②選　択　科　目]	単位数
教科に関する科目	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	A	□法律学	2	A～B群から1科目群必修	○教育法研究	2
		B	□政治学Ⅰ	2			
			□政治学Ⅱ	2			
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	A	□社会学（教職）	2	A～B群から1科目群必修	●教育社会学	2
		B	□経済学Ⅰ	2		○教育社会学テーマ研究	2
			□経済学Ⅱ	2		○学校教育活動論	2
						○社会教育課題研究Ⅰ-1	2
						○社会教育課題研究Ⅰ-2	2
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	A	○哲学研究	4	A～C群から1科目群必修	●教育哲学	2
		B	○倫理学概論	4		○教育哲学研究１	2
		C	○宗教研究Ⅰ	2		○教育哲学研究２	2
			○宗教研究Ⅱ	2		○教育思想研究１	2
						（旧：教育思想研究）	(2)
						○教育思想研究２	2
						○社会心理学特論Ⅰ（産業・組織心理学）　※	(4)
						（旧：社会心理学特論Ⅰ）	
						○臨床心理学特論Ⅰ（精神疾患とその治療）	4
						（旧：臨床心理学特論Ⅰ）	
		［①必修科目］合計単位数 8～12 単位					
		［①必修科目］と［②選択科目］合計で 20 単位以上					

※　「社会心理学特論Ⅰ（産業・組織心理学）」は、**２０１８年度までの修得に限ります。**２０１９年度以降に修得した単位は、教員免許の単位として使用できません。

＜教職に関する科目（必修）＞

免許法施行規則に規定された科目			[③必　修　科　目]（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法
教職に関する科目（必修）	第二欄	教職の意義等に関する科目	◇教職概論（中・高）	2	全科目必修 ※1～6 を合わせて参照すること。
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	●教育学概論Ⅰ　※1	2	
			●教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）　※1	2	
			●教育心理学概説Ⅰ※2	2	
			●教育心理学概説Ⅱ※2	2	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	●教育課程論　※3	2	
			◇公民科教育法１	2	
			◇公民科教育法２	2	
			◇特別活動論（中・高）2019 年度以降修得※4	1	
			（◇特別活動論（中・高））2018 年度以前修得※4	(2)	
			●教育方法学　※5	2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	◇生徒理解と教育相談（中・高）	2	
			◇生徒指導・進路指導論（中・高）	2	
	第五欄	教育実習	◇教育実習演習（２週間）　※6	3	
	第六欄	教職実践演習	◇教職実践演習（中・高）	2	
			［③必修科目］合計単位数　28 単位又は 29 単位		

※1「教育学概論Ⅰ」「教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論１」「教育制度総論（旧：教育基礎総論２）」の履修は不要です。

※2「教育心理学概説Ⅰ」「教育心理学概説Ⅱ」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。

※3　2014 年度より「教育課程論」が教員免許状取得の要件として「教育課程編成論」と同等に扱われることになりました。2014 年度以降に「教育課程論」の単位を修得した場合、教職課程科目「教育課程編成論」の履修は不要です。

※4　特別活動論（中・高）は 2019 年度より、単位数が２単位から１単位に変更になりました。

※5「教育方法学」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育方法・技術論（旧：教育方法研究）」の履修は不要です。

※6　３週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（３週間）」を、２週間実習を行う場合は、「教育実習演習（２週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（３週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に２単位加算されます。）

＜教職に関する科目（選択）＞

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

免許法施行規則に規定された科目			[④選　択　科　目] （左に対応する本学部設置科目）	単位数
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022 年度廃止	各２単位
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（社会変動と教育） 【旧：教職研究Ⅴ（学校外教育）】 ◇教職研究Ⅸ（教育経営）	
			◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	各１単位
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	◇特別支援教育（中・高）※1	１単位
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	◇社会科教育法３　※2：2018 年度以前修得 ◇社会科教育法４　※2：2018 年度以前修得	各２単位
		特別活動の指導法	◇総合的な学習・探究論（中・高）※1	１単位
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	◇授業技術演習 ◇教育における ICT 活用（中・高）	２単位 １単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	道徳の指導法	◇道徳教育論（中・高）	２単位

※1　教育職員免許法改正による新設科目

※2　2018 年度までの単位修得に限り、高校１種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019 年度以降の修得単位は文部科学省の指導により、高校１種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

＜教科又は教職に関する科目＞

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

免許法施行規則に規定された科目	[⑤必　修　科　目] （左に対応する本学部設置科目）	履修方法	単位数	[⑥選　択　科　目]	単位数
教科又は教職に関する科目				◇教職研究Ⅵ（生涯教育）	2
				◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018 年度廃止	(2)
				◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究）	2
				◇教職特講Ⅲ（部活動論）	1
				◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座）	2
				◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ）	4
				◇介護体験実習講義	2
				◇特別支援教育インターンシップ	4
				◇インクルーシブ教育インターンシップ	4
				◇初等教育インターンシップ	4

［必修科目］①・③・⑤　及び　［選択科目］②・④・⑥　合計で 59 単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科・生涯教育学専修……免許教科　　中学１種「社会」

※●：専門必修科目　　○：専門選択科目　　◇：教職課程科目　▽：教育学部共通科目
□：教育学専修　専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修　専門選択科目（選択）

＜教科に関する科目＞

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	日本史及び外国史	■日本史Ⅰ ■日本史Ⅱ ■外国史Ⅰ ■外国史Ⅱ	2 2 2 2	全科目必　修	●社会教育史Ⅰ（旧：社会教育史） ●社会教育史Ⅱ（旧：社会教育史） ■外国史Ⅲ	2 2 2
	地理学（地誌を含む。）	■地理Ⅰ ■地理Ⅱ ■地誌Ⅰ	2 2 2		■地理Ⅲ ■地誌Ⅱ	2 2
	「法律学、政治学」	□法律学 □政治学Ⅰ □政治学Ⅱ	2 2 2	1科目必　修		
	「社会学、経済学」	□社会学（教職） □経済学Ⅰ □経済学Ⅱ	2 2 2	1科目必　修	●教育社会学 ○社会教育課題研究Ⅰ-1 ○社会教育課題研究Ⅰ-2	2 2 2
	「哲学、倫理学、宗教学」	A　○哲学研究 B　○倫理学概論 C　○宗教研究Ⅰ ○宗教研究Ⅱ （旧：宗教研究）	4 4 2 2 (4)	A～C群から1科群必修	○教育思想研究１ （旧：教育思想研究） ○教育思想研究２	2 (2) 2
［①必修科目］合計単位数 22 単位						

＜教職に関する科目（必修）＞

免許法施行規則に規定された科目			［③必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法
教職に関する科目（必修）	第二欄	教職の意義等に関する科目	◇教職概論（中・高）	2	全科目必　修 ※1～5 を合わせて参照すること。
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	●教育学概論Ⅰ　※1 ●教育の制度と経営（旧：教育学概論Ⅱ）　※1 ○教育心理学概説Ⅰ　※2 ○教育心理学概説Ⅱ　※2	2 2 2 2	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	◇教育課程編成論（中・高） ◇社会科教育法１ ◇社会科教育法２ ◇社会科教育法３ ○道徳教育の理論と実践（旧：道徳教育研究）※3 ◇特別活動論（中・高）2019 年度以降修得※4 （◇特別活動論（中・高））2018 年度以前修得※4 ◇教育方法・技術論（中・高） （旧：教育方法研究（中・高））	1 2 2 2 2 1 (2) 2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	◇生徒理解と教育相談（中・高） ◇生徒指導・進路指導論（中・高）	2 2	
	第五欄	教育実習	◇教育実習演習（３週間）※5	5	
	第六欄	教職実践演習	◇教職実践演習（中・高）	2	
［③必修科目］合計単位数　33 単位又は 34 単位					

※1 「教育学概論Ⅰ」「教育の制度と経営（旧：教育学概論Ⅱ）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論１」「教育制度総論（旧：教育基礎総論２）」の履修は不要です。
※2 「教育心理学概説Ⅰ」「教育心理学概説Ⅱ」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。

※3 「道徳教育の理論と実践（旧：道徳教育研究）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「道徳教育論」の履修は不要です。
※4 特別活動論（中・高）は2019年度より、単位数が2単位から1単位に変更になりました。
※5 3週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（3週間）」を、2週間実習を行う場合は、「教育実習演習（2週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（3週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に2単位加算されます。）

＜教職に関する科目（選択）＞

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

免許法施行規則に規定された科目			［④選　択　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	単位数
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022年度廃止	各2単位
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（社会変動と教育） 【旧：教職研究Ⅴ（学校外教育）】 ◇教職研究Ⅸ（教育経営）	各2単位
			◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	各1単位
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	◇特別支援教育（中・高）※	1単位
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	◇社会科教育法4	2単位
		特別活動の指導法	◇総合的な学習・探究論（中・高）※	1単位
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	◇授業技術演習 ◇教育におけるICT活用（中・高）	2単位 1単位

※　教育職員免許法改正による新設科目

＜教科又は教職に関する科目＞

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

免許法施行規則に規定された科目	［⑤必　修　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	履修方法	単位数	［⑥選　択　科　目］	単位数
教科又は教職に関する科目	◇介護体験実習講義	中学校の免許取得には必修	2	◇教職研究Ⅵ（生涯教育） ◇教職研究Ⅷ（特別支援教育）※2018年度廃止 ◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究） ◇教職特講Ⅲ（部活動論） ◇人間理解基盤講座(心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座） ◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ） ◇特別支援教育インターンシップ ◇インクルーシブ教育インターンシップ ◇初等教育インターンシップ	2 (2) 2 1 2 4 4 4 4
	中学校免許：［⑤必修科目］合計単位数 2単位				

［必修科目］①・③・⑤　及び　［選択科目］②・④・⑥　合計で59単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科・生涯教育学専修……免許教科　　高校 1 種「地理歴史」

※●：専門必修科目　　○：専門選択科目　　◇：教職課程科目　▽：教育学部共通科目
□：教育学専修　専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修　専門選択科目（選択）　△：社会科設置科目

＜教科に関する科目＞

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	日本史	■日本史Ⅰ ■日本史Ⅱ	2 2	全科目必修	●社会教育史Ⅰ（旧：社会教育史） ●社会教育史Ⅱ（旧：社会教育史） ○女性史 ○青少年教育論	2 2 2 2
	外国史	■外国史Ⅰ ■外国史Ⅱ ■外国史Ⅲ	2 2 2		○科学思想史Ⅰ ○科学思想史Ⅱ △東洋史研究（中世）Ⅰ △東洋史研究（中世）Ⅱ △東洋史研究（近代）Ⅰ △東洋史研究（近代）Ⅱ	2 2 2 2 2 2
	人文地理学及び自然地理学	■地理Ⅰ ■地理Ⅱ ■地理Ⅲ	2 2 2		○文化人類学研究Ⅰ ○文化人類学研究Ⅱ （旧：文化人類学）	2 2 (4)
	地誌	■地誌Ⅰ ■地誌Ⅱ	2 2			
		［①必修科目］合計単位数 20 単位				

＜教職に関する科目（必修）＞

免許法施行規則に規定された科目			［③必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法
教職に関する科目（必修）	第二欄	教職の意義等に関する科目	◇教職概論（中・高）	2	全科目必修 ※1～4 を合わせて参照すること。
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	●教育学概論Ⅰ　※1 ●教育の制度と経営（旧：教育学概論Ⅱ）　※1 ○教育心理学概説Ⅰ　※2 ○教育心理学概説Ⅱ　※2	2 2 2 2	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	◇教育課程編成論（中・高） ◇地理歴史科教育法１ ◇地理歴史科教育法２ ◇特別活動論（中・高）2019 年度以降修得※3 （◇特別活動論（中・高））2018 年度以前修得※3 ◇教育方法・技術論（中・高） （旧：教育方法研究（中・高））	1 2 2 1 (2) 2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	◇生徒理解と教育相談（中・高） ◇生徒指導・進路指導論（中・高）	2 2	
	第五欄	教育実習	◇教育実習演習（２週間）　※4	3	
	第六欄	教職実践演習	◇教職実践演習（中・高）	2	
			［③必修科目］合計単位数　27 単位又は 28 単位		

※1 「教育学概論Ⅰ」「教育の制度と経営（旧：教育学概論Ⅱ）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論１」「教育制度総論（旧：教育基礎総論２）」の履修は不要です。
※2「教育心理学概説Ⅰ」「教育心理学概説Ⅱ」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。
※3　特別活動論（中・高）は 2019 年度より、単位数が２単位から１単位に変更になりました。
※4　３週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（３週間）」を、２週間実習を行う場合は、「教育実習演習（２週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（３週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に２単位加算されます。）

＜教職に関する科目（選択）＞

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

免許法施行規則に規定された科目			［④選　択　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	単位数
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022 年度廃止	各 2 単位
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（社会変動と教育） 【旧：教職研究Ⅴ（学校外教育）】 ◇教職研究Ⅸ（教育経営）	
			◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	各 1 単位
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	◇特別支援教育（中・高）※1	1 単位
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	◇社会科教育法３　※2：2018 年度以前修得 ◇社会科教育法４　※2：2018 年度以前修得	各 2 単位
		特別活動の指導法	◇総合的な学習・探究論（中・高）※1	1 単位
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	◇授業技術演習 ◇教育における ICT 活用（中・高）	2 単位 1 単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	道徳の指導法	○道徳教育の理論と実践（旧：道徳教育研究）	2 単位

※1　教育職員免許法改正による新設科目

※2　2018 年度までの単位修得に限り、高校 1 種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。　なお、2019 年度以降の修得単位は文部科学省の指導により、高校 1 種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

＜教科又は教職に関する科目＞

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

免許法施行規則に規定された科目	［⑤必　修　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	履修方法	単位数	［⑥選　択　科　目］	単位数
教科又は教職に関する科目				◇教職研究Ⅵ（生涯教育）	2
				◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018 年度廃止	(2)
				◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究）	2
				◇教職特講Ⅲ（部活動論）	1
				◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座）	2
				◇介護体験実習講義	2
				◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ）	4
				◇特別支援教育インターンシップ	4
				◇インクルーシブ教育インターンシップ	4
				◇初等教育インターンシップ	4

［必修科目］①・③・⑤　及び　［選択科目］②・④・⑥　合計で 59 単位以上

2019 年度入学者：変更点

2019 年度入学者は『学部要項』と併せて確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科・生涯教育学専修……免許教科　　高校１種「公民」

※●：専門必修科目　　○：専門選択科目　　◇：教職課程科目　▽：教育学部共通科目
□：教育学専修　専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修　専門選択科目（選択）

＜教科に関する専門的事項＞

免許法施行規則に規定された科目		［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	○現代社会と行政 （旧：行政学Ⅰ） ○行政活動と行政改革 （旧：行政学Ⅱ） ○社会教育行財政Ⅱ ※2020 年度より廃止 ○社会教育行財政Ⅰ ※2021 年度より廃止	2 (2) 2 (2) (2) (2)

2018 年度以前入学者

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科・生涯教育学専修……免許教科　　高校１種「公民」

※●：専門必修科目　　○：専門選択科目　　◇：教職課程科目　▽：教育学部共通科目
□：教育学専修　専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修　専門選択科目（選択）

＜教科に関する科目＞

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）		単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	A	□法律学	2	Ａ～Ｂ群から１科目群必修	○現代社会と行政 （旧：行政学Ⅰ） ○行政活動と行政改革 （旧：行政学Ⅱ） ○社会教育行財政Ⅰ ※2021 年度より廃止 ○社会教育行財政Ⅱ ※2020 年度より廃止	2 (2) 2 (2) (2) (2)
		B	□政治学Ⅰ	2			
			□政治学Ⅱ	2			
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	A	□社会学（教職）	2	Ａ～Ｂ群から１科目群必修	●教育社会学 ○社会教育課題研究Ⅰ-1 ○社会教育課題研究Ⅰ-2	2 2 2
		B	□経済学Ⅰ	2			
			□経済学Ⅱ	2			
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	A	○哲学研究	4	Ａ～Ｃ群から１科目群必修	○教育思想研究１ （旧：教育思想研究） ○教育思想研究２ ○臨床心理学特論Ⅰ（精神疾患とその治療） （旧：臨床心理学特論Ⅰ）	2 (2) 2 4 (4)
		B	○倫理学概論	4			
		C	○宗教研究Ⅰ	2			
			○宗教研究Ⅱ	2			
			（旧：宗教研究）	(4)			
［①必修科目］合計単位数 8～12 単位							
［①必修科目］と［②選択科目］合計で 20 単位以上							

＜教職に関する科目（必修）＞

免許法施行規則に規定された科目			［③必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法
教職に関する科目（必修）	第二欄	教職の意義等に関する科目	◇教職概論（中・高）	2	全科目必　修 ※1～4 を合わせて参照すること。
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	●教育学概論Ⅰ　※1	2	
			●教育の制度と経営（旧：教育学概論Ⅱ）　※1	2	
			○教育心理学概説Ⅰ　※2	2	
			○教育心理学概説Ⅱ　※2	2	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	◇教育課程編成論（中・高）	1	
			◇公民科教育法１	2	
			◇公民科教育法２	2	
			◇特別活動論（中・高）2019 年度以降修得※3	1	
			（◇特別活動論（中・高））2018 年度以前修得※3	(2)	
			◇教育方法・技術論（中・高）（旧：教育方法研究（中・高））	2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	◇生徒理解と教育相談（中・高）	2	
			◇生徒指導・進路指導論（中・高）	2	
	第五欄	教育実習	◇教育実習演習（２週間）　※4	3	
	第六欄	教職実践演習	◇教職実践演習（中・高）	2	
			［③必修科目］合計単位数　27 単位又は 28 単位		

※1 「教育学概論Ⅰ」「教育の制度と経営（旧：教育学概論Ⅱ）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論１」「教育制度総論（旧：教育基礎総論２）」の履修は不要です。

※2「教育心理学概説Ⅰ」「教育心理学概説Ⅱ」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。

※3　特別活動論（中・高）は 2019 年度より、単位数が２単位から１単位に変更になりました。

※4　3 週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（３週間）」を、2 週間実習を行う場合は、「教育実習演習（２週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（３週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に 2 単位加算されます。）

＜教職に関する科目（選択）＞

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

免許法施行規則に規定された科目			［④選　択　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022 年度廃止	各 2 単位
			◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022 年度廃止	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022 年度廃止	
			◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022 年度廃止	
			◇教職研究Ⅴ（社会変動と教育）【旧：教職研究Ⅴ（学校外教育）】	
			◇教職研究Ⅸ（教育経営）	
			◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究）	各 1 単位
			◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究）	
			◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	◇特別支援教育（中・高）※1	1 単位
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	◇社会科教育法３　※2：2018 年度以前修得	各 2 単位
			◇社会科教育法４　※2：2018 年度以前修得	
		特別活動の指導法	◇総合的な学習・探究論（中・高）※1	1 単位
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	◇授業技術演習	2 単位
			◇教育における ICT 活用（中・高）	1 単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	道徳の指導法	○道徳教育の理論と実践（旧：道徳教育研究）	2 単位

※1　教育職員免許法改正による新設科目

※2　2018 年度までの単位修得に限り、高校 1 種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。　なお、2019 年度以降の修得単位は文部科学省の指導により、高校 1 種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

＜教科又は教職に関する科目＞

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

免許法施行規則に規定された科目	［⑤必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	履修方法	単位数	［⑥選　択　科　目］	単位数
教科又は教職に関する科目				◇教職研究Ⅵ（生涯教育）	2
				◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018 年度廃止	(2)
				◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究）	2
				◇教職特講Ⅲ（部活動論）	1
				◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座）	2
				◇介護体験実習講義	2
				◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ）	4
				◇特別支援教育インターンシップ	4
				◇インクルーシブ教育インターンシップ	4
				◇初等教育インターンシップ	4

［必修科目］①・③・⑤　及び　［選択科目］②・④・⑥　合計で 59 単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科・教育心理学専修……免許教科　　中学１種「社会」

※●：専門必修科目　　○：専門選択科目　　◇：教職課程科目　▽：教育学部共通科目
□：教育心理学専修　専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修　専門選択科目（選択）

＜教科に関する科目＞

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	日本史及び外国史	■日本史Ⅰ	2	全科目必　修	■外国史Ⅲ	2
		■日本史Ⅱ	2			
		■外国史Ⅰ	2			
		■外国史Ⅱ	2			
	地理学（地誌を含む。）	■地理Ⅰ	2		■地理Ⅲ	2
		■地理Ⅱ	2		■地誌Ⅱ	2
		■地誌Ⅰ	2			
	「法律学、政治学」	□法律学	2	1科目必　修		
		□政治学Ⅰ	2			
		□政治学Ⅱ	2			
	「社会学、経済学」	□社会学（教職）	2	1科目必　修	●社会心理学概論（社会・集団・家族心理学）※	4
		□経済学Ⅰ	2			
		□経済学Ⅱ	2			
	「哲学、倫理学、宗教学」	A ○哲学研究	4	A～C群から1科目群必修		
		B ○倫理学概論	4			
		C ○宗教研究Ⅰ	2			
		○宗教研究Ⅱ	2			
		（旧：宗教研究）	(4)			
		［①必修科目］合計単位数　22 単位				

※　「社会心理学概論（社会・集団・家族心理学）」は、**２０１９年度以降の単位修得に限ります。**
２０１８年度以前に修得した単位は、教員免許の単位として使用できません。

＜教職に関する科目（必修）＞　**※1～5 を合わせて参照すること。**

免許法施行規則に規定された科目			［③必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）		単位数	履修方法
教職に関する科目（必修）	第二欄	教職の意義等に関する科目	◇教職概論（中・高）		2	全科目必　修
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	○教育学概論Ⅰ　※1		2	
			○教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）　※1		2	
			●教育心理学概論　※2		4	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	◇教育課程編成論（中・高）		1	
			◇社会科教育法１		2	
			◇社会科教育法２		2	
			◇社会科教育法３		2	
			◇道徳教育論（中・高）		2	
			◇特別活動論（中・高）2019 年度以降修得※3		1	
			（◇特別活動論（中・高））2018 年度以前修得※3		(2)	
			◇教育方法・技術論（中・高）（旧：教育方法研究（中・高））		2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目　※4	A	●学校心理学（教育相談・生徒指導・進路指導の理論と方法）※2014 年度～2017 年度修得に限る。	(4)	A～C群から1科目必修
			B	●教育・学校心理学 ※2018 年度修得に限る。	(4)	
			C	●教育相談及び生徒・進路指導論（教育・学校心理学）	4	
	第五欄	教育実習	◇教育実習演習（３週間）※5		5	全科目必　修
	第六欄	教職実践演習	◇教職実践演習（中・高）		2	
			［③必修科目］合計単位数　33 単位又は 34 単位			

※1「教育学概論Ⅰ」「教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論１」「教育制度総論（旧：教育基礎総論２）」の履修は不要です。
※2「教育心理学概論」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。
※3　特別活動論（中・高）は2019年度より、単位数が２単位から１単位に変更になりました。
※4 Ａ～Ｃのいずれかの単位を修得済みの場合、教職課程科目「生徒指導・進路指導論」および「生徒理解と教育相談」の履修は不要です。
※5 3週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（３週間）」を、2週間実習を行う場合は、「教育実習演習（２週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（３週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に2単位加算されます。）

＜教職に関する科目（選択）＞

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

免許法施行規則に規定された科目			［④選　択　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	単位数
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022年度廃止	各2単位
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（社会変動と教育） 【旧：教職研究Ⅴ（学校外教育）】 ◇教職研究Ⅸ（教育経営）	
			◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	各1単位
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	◇特別支援教育（中・高）※	1単位
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	◇社会科教育法４	2単位
		特別活動の指導法	◇総合的な学習・探究論（中・高）※	1単位
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	◇授業技術演習 ◇教育における ICT 活用（中・高）	2単位 1単位

※　教育職員免許法改正による新設科目

＜教科又は教職に関する科目＞

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

免許法施行規則に規定された科目	［⑤必　修　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	履修方法	単位数	［⑥選　択　科　目］	単位数
教科又は教職に関する科目	◇介護体験実習講義	中学校の免許取得には必修	2	◇教職研究Ⅵ（生涯教育）	2
				◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018年度廃止	(2)
				◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究）	2
				◇教職特講Ⅲ（部活動論）	1
				◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座）	2
				◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ）	4
				◇特別支援教育インターンシップ	4
				◇インクルーシブ教育インターンシップ	4
				◇初等教育インターンシップ	4
	中学校免許：［⑤必修科目］合計単位数 2単位				

［必修科目］①・③・⑤　及び　［選択科目］②・④・⑥　合計で59単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科・教育心理学専修……免許教科　　高校１種「地理歴史」

※●：専門必修科目　　○：専門選択科目　　◇：教職課程科目　▽：教育学部共通科目
□：教育心理学専修　専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修　専門選択科目（選択）　△：社会科設置科目

＜教科に関する科目＞

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	日本史	■日本史Ⅰ	2	全科目必修		
		■日本史Ⅱ	2			
	外国史	■外国史Ⅰ	2		△東洋史研究（中世）Ⅰ	2
		■外国史Ⅱ	2		△東洋史研究（中世）Ⅱ	2
		■外国史Ⅲ	2		△東洋史研究（近代）Ⅰ	2
					△東洋史研究（近代）Ⅱ	2
	人文地理学及び自然地理学	■地理Ⅰ	2			
		■地理Ⅱ	2			
		■地理Ⅲ	2			
	地誌	■地誌Ⅰ	2			
		■地誌Ⅱ	2			
		［①必修科目］合計単位数　20 単位				

＜教職に関する科目（必修）＞　**※1～5 を合わせて参照すること。**

免許法施行規則に規定された科目			［③必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）		単位数	履修方法
教職に関する科目（必修）	第二欄	教職の意義等に関する科目	◇教職概論（中・高）		2	全科目必修
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	○教育学概論Ⅰ　※1		2	
			○教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）　※1		2	
			●教育心理学概論　※2		4	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	◇教育課程編成論（中・高）		1	
			◇地理歴史科教育法１		2	
			◇地理歴史科教育法２		2	
			◇特別活動論（中・高）2019 年度以降修得※3		1	
			（◇特別活動論（中・高））2018 年度以前修得※3		(2)	
			◇教育方法・技術論（中・高）（旧：教育方法研究（中・高））		2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目　※4	A	●学校心理学（教育相談・生徒指導・進路指導の理論と方法）※2014 年度～2017 年度修得に限る。	(4)	Ａ～Ｃ群から１科目必修
			B	●教育・学校心理学 ※2018 年度修得に限る。	(4)	
			C	●教育相談及び生徒・進路指導論（教育・学校心理学）	4	
	第五欄	教育実習	◇教育実習演習（２週間）※5		3	全科目必修
	第六欄	教職実践演習	◇教職実践演習（中・高）		2	
			［③必修科目］合計単位数　27 単位又は 28 単位			

※1「教育学概論Ⅰ」「教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論１」「教育制度総論（旧：教育基礎総論２）」の履修は不要です。
※2「教育心理学概論」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。
※3　特別活動論（中・高）は 2019 年度より、単位数が２単位から１単位に変更になりました。
※4 Ａ～Ｃのいずれかの単位を修得済みの場合、教職課程科目「生徒指導・進路指導論」および「生徒理解と教育相談」の履修は不要です。
※5 3 週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（３週間）」を、2 週間実習を行う場合は、「教育実習演習（２週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（３週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に 2 単位加算されます。）

＜教職に関する科目（選択）＞

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

免許法施行規則に規定 された科目			［④選　択　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	単位数
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022 年度廃止	各 2 単位
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（社会変動と教育） 【旧：教職研究Ⅴ（学校外教育）】 ◇教職研究Ⅸ（教育経営）	
			◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	各 1 単位
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	◇特別支援教育（中・高）※1	1 単位
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	◇社会科教育法３　※2：2018 年度以前修得 ◇社会科教育法４　※2：2018 年度以前修得	各 2 単位
		特別活動の指導法	◇総合的な学習・探究論（中・高）※1	1 単位
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	◇授業技術演習 ◇教育における ICT 活用（中・高）	2 単位 1 単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	道徳の指導法	◇道徳教育論（中・高）	2 単位

※1　教育職員免許法改正による新設科目

※2　2018 年度までの単位修得に限り、高校 1 種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019 年度以降の修得単位は文部科学省の指導により、高校 1 種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

＜教科又は教職に関する科目＞

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

免許法施行規則に規定された科目	［⑤必　修　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	履修方法	単位数	［⑥選　択　科　目］	単位数
教科又は教職に関する科目				◇教職研究Ⅵ（生涯教育）	2
				◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018 年度廃止	(2)
				◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究）	2
				◇教職特講Ⅲ（部活動論）	1
				◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座）	2
				◇介護体験実習講義	2
				◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ）	4
				◇特別支援教育インターンシップ	4
				◇インクルーシブ教育インターンシップ	4
				◇初等教育インターンシップ	4

［必修科目］①・③・⑤　及び　［選択科目］②・④・⑥　合計で 59 単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科・教育心理学専修……免許教科　　高校１種「公民」

※●：専門必修科目　　○：専門選択科目　　◇：教職課程科目　▽：教育学部共通科目
□：教育心理学専修　専門選択科目（副選択）
■：生涯教育学専修　専門選択科目（選択）

＜教科に関する科目＞

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	A □法律学	2	A～B群から１科目群必修		
		B □政治学Ⅰ	2			
		□政治学Ⅱ	2			
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	A □社会学（教職）	2	A～B群から１科目群必修。	●社会心理学概論（社会・集団・家族心理学）（旧：社会心理学概論）	4
		B □経済学Ⅰ	2			
		□経済学Ⅱ	2			
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	A ○哲学研究	4	A～C群から１科目群必修	○社会心理学特論Ⅰ（産業・組織心理学）　※1（旧：社会心理学特論Ⅰ）	(4)
		B ○倫理学概論	4		○心理学概論Ⅰ※2	4
		C ○宗教研究Ⅰ	2		○心理学概論Ⅱ（感情・人格心理学）※2	4
		○宗教研究Ⅱ	2		○臨床心理学特論Ⅰ（精神疾患とその治療）（旧：臨床心理学特論Ⅰ）	4
		（旧：宗教研究）	(4)			
［①必修科目］合計単位数　8～12 単位						
［①必修科目］と［②選択科目］合計で 20 単位以上						

※1　「社会心理学特論Ⅰ（産業・組織心理学）」は、**２０１８年度までの単位修得に限ります。**２０１９年度以降に修得した単位は、教員免許の単位として使用できません。
※2　「心理学概論Ⅰ」「心理学概論Ⅱ（感情・人格心理学）」は、**２０１９年度以降の単位修得に限ります。**２０１８年度以前に修得した単位は、教員免許の単位として使用できません。

＜教職に関する科目（必修）＞　**※1～5 を合わせて参照すること。**

免許法施行規則に規定された科目			［③必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）		単位数	履修方法
教職に関する科目（必修）	第二欄	教職の意義等に関する科目	◇教職概論（中・高）		2	全科目必　修
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	○教育学概論Ⅰ　※1		2	
			○教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）　※1		2	
			●教育心理学概論　※2		4	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	◇教育課程編成論（中・高）		1	
			◇公民科教育法１		2	
			◇公民科教育法２		2	
			◇特別活動論（中・高）2019 年度以降修得※3		1	
			（◇特別活動論（中・高））2018 年度以前修得※3		(2)	
			◇教育方法・技術論（中・高）（旧：教育方法研究（中・高））		2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目　※4	A	●学校心理学（教育相談・生徒指導・進路指導の理論と方法）※2014 年度～2017 年度修得に限る。	(4)	A～C群から１科目必修
			B	●教育・学校心理学 ※2018 年度修得に限る。	(4)	
			C	●教育相談及び生徒・進路指導論（教育・学校心理学）	4	
	第五欄	教育実習	◇教育実習演習（２週間）※5		3	全科目必　修
	第六欄	教職実践演習	◇教職実践演習（中・高）		2	
［③必修科目］合計単位数　27 単位又は 28 単位						

※1「教育学概論Ⅰ」「教育制度概論（旧：教育学概論Ⅱ）」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育基礎総論１」「教育制度総論（旧：教育基礎総論２）」の履修は不要です。
※2「教育心理学概論」の単位を修得済みの場合、教職課程科目「教育心理学」の履修は不要です。
※3　特別活動論（中・高）は 2019 年度より、単位数が２単位から１単位に変更になりました。
※4　A～Cのいずれかの単位を修得済みの場合、教職課程科目「生徒指導・進路指導論」および「生徒理解と教育相談」の履修は不要です。
※5　3 週間実習を行う場合は、必ず「教育実習演習（３週間）」を、2 週間実習を行う場合は、「教育実習演習（２週間）」を登録してください。また、中学のみ、または中・高両免許状の取得希望者は、「教育実習演習（３週間）」のみを登録（履修）してください。（この場合、高校免許[③必修科目]の合計単位数に 2 単位加算されます。）

＜教職に関する科目（選択）＞

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

免許法施行規則に規定された科目			[④選　択　科　目] （左に対応する本学部設置科目）	単位数
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022 年度廃止	各 2 単位
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（社会変動と教育） 【旧：教職研究Ⅴ（学校外教育）】 ◇教職研究Ⅸ（教育経営）	各 2 単位
			◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	各 1 単位
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	◇特別支援教育（中・高）※1	1 単位
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	◇社会科教育法３　※2：2018 年度以前修得 ◇社会科教育法４　※2：2018 年度以前修得	各 2 単位
		特別活動の指導法	◇総合的な学習・探究論（中・高）※1	1 単位
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	◇授業技術演習 ◇教育における ICT 活用（中・高）	2 単位 1 単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	道徳の指導法	◇道徳教育論（中・高）	2 単位

※1　教育職員免許法改正による新設科目

※2　2018 年度までの単位修得に限り、高校１種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。　なお、2019 年度以降の修得単位は文部科学省の指導により、高校１種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

＜教科又は教職に関する科目＞

「教科又は教職に関する科目」には、「教科に関する科目」「教職に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位も含まれます。

免許法施行規則に規定された科目	[⑤必　修　科　目] （左に対応する本学部設置科目）	履修方法	単位数	[⑥選　択　科　目]	単位数
教科又は教職に関する科目				◇教職研究Ⅵ（生涯教育）	2
				◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018 年度廃止	(2)
				◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究）	2
				◇教職特講Ⅲ（部活動論）	1
				◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座）	2
				◇介護体験実習講義	2
				◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ）	4
				◇特別支援教育インターンシップ	4
				◇インクルーシブ教育インターンシップ	4
				◇初等教育インターンシップ	4

［必修科目］①・③・⑤　及び　［選択科目］②・④・⑥　合計で 59 単位以上

2019 年度以降入学者は『学部要項』を確認してください。

教育職員免許状取得のための履修方法
教育学科・初等教育学専攻……免許教科　　小学校 1 種

※●：専門必修科目　　○：専門選択科目　　◇：教職課程科目　▽：教育学部共通科目

＜教科に関する科目＞

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選　択　科　目］
教科に関する科目	国語（書写を含む。）	○初等教科専門国語（書写を含む）	2	4 科目 8 単位を選択必修	
	社会	○初等教科専門社会	2		
	算数	○初等教科専門算数	2		
	理科	○初等教科専門理科	2		
	生活	○初等教科専門生活	2		
	音楽	○初等教科専門音楽	2		
	図画工作	○初等教科専門図画工作	2		
	家庭	○初等教科専門家庭	2		
	体育	○初等教科専門体育	2		
		［①必修科目］合計単位数　8 単位			

※文科系受験者は算数、理科を含み、理科系受験者は国語、社会を含んで選択することが望ましい。

＜教職に関する科目（必修）＞

免許法施行規則に規定された科目			［②　必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法
教職に関する科目（必修）	第二欄	教職の意義等に関する科目	●教職原論	2	全科目必　修
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	●初等教育学概論Ⅰ	2	
			●教育の制度と経営（小）（旧：初等教育学概論Ⅱ）	2	
			●教育心理学原論	2	
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	○教育課程編成原論	1	
			●初等国語科教育法	2	
			●初等社会科教育法	2	
			●初等算数科教育法	2	
			●初等理科教育法	2	
			●初等生活科教育法	2	
			●初等音楽科教育法	2	
			●初等図画工作科教育法	2	
			●初等体育科教育法	2	
			●初等家庭科教育法	2	
			●道徳教育原論	2	
			●特別活動原論	2	
			●教育方法原論	2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	●教育相談原論	2	
			●生徒指導・進路指導原論	2	
	第五欄	教育実習	○教育実習演習（小）	5	
	第六欄	教職実践演習	○教職実践演習（小）	2	
			小学校免許：［③必修科目］合計単位数 44 単位		

＜教職に関する科目（選択）＞

以下の科目は、「教職に関する科目」の選択科目です。修得した単位は「教科又は教職に関する科目」として取り扱われます。

免許法施行規則に規定された科目			［③　択　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	単位数
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	○特別支援教育原論※	2 単位
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	○初等英語科教育法※	2 単位
		特別活動の指導法	○総合的な学習研究原論※	2 単位
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）	○教育における ICT 活用（小）	1 単位

※　教育職員免許法改正による新設科目

＜教科又は教職に関する科目＞

免許法施行規則に規定された科目	［⑤必　修　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	履修方法	単位数	［⑥選　択　科　目］	単位数	備考
教科又は教職に関する科目	◇介護体験実習講義※	必修	2	○生活科・総合的学習特論	2	
				（旧：生活科・総合的学習特論Ⅰ）	(2)	
				○初等自然科学教育フィールドワーク	2	
				○初等自然科学教育教材実習（2016 年度から廃止）	(2)	
				○初等英語教育（2019 年度から廃止）	(2)	
				○児童文学Ⅰ（なりたち）	2	
				○児童文学Ⅱ（展開）	2	
				（旧：児童文学）	(4)	
				○国語教育史	2	
				◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）　（旧：学級経営インターンシップ）※	4	
				◇特別支援教育インターンシップ※	4	
				◇インクルーシブ教育インターンシップ※	4	
				◇初等教育インターンシップ※	4	
				◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座）※	2	
	［④必修科目］合計単位数　2 単位					

［必修科目］①・③・⑤　及び　［選択科目］④・⑥　合計で 59 単位以上

※ 中学・高校の免許状取得における「教科又は教職に関する科目」としても使用可。

＜教育職員免許法改正による新設科目等について＞

旧課程適用者（2018 年度以前入学者）においては、専門教育科目（主選択）のうち、「初等教科専門英語」は、小学校一種免許状の単位として使用できません。誤って総単位に数えないようご注意ください。（2018 年度までに修得した「初等英語教育」は、総単位数に積算できます。）

なお、2019 年度以降に修得する「特別支援教育原論」、「初等英語科教育法」および「総合的な学習研究原論」については、旧課程適用者においても「教職に関する科目」の選択科目として総単位数に積算されます。

【介護等体験の前提条件について】

介護等体験を行うには、「介護等体験実習講義」の科目登録が必要です。「介護等体験実習講義」の履修を希望する場合、以下の条件について履修前年度までに満たす必要があります。

■2018 年度以前入学者

①履修前年度の「介護等体験事前登録」を期限内に完了していること。
②体験実施前年度の「介護等体験費納入手続き」を期限内に完了していること。
③履修前年度までに「教職原論」（同等科目可）の単位を修得済みであること。
　また、「教育心理学原論」の単位を修得済みであることが望ましい。

■2019 年度以降入学者

①履修前年度の「介護等体験事前登録」を期限内に完了していること。
②体験実施前年度の「介護等体験費納入手続き」を期限内に完了していること。
③履修前年度までに次の科目の単位を修得済みであること。（いずれも同等科目可。）
　●教職原論
　●特別支援教育原論
　また、「教育心理学原論」の単位を修得済みであることが望ましい。

【小学校での教育実習の実施前提条件について】

初等教育学専攻の学生は、原則、小学校での教育実習を３年次に行います。

この教育実習に行くためには、一定の条件を満たしていなければなりません。この「条件」を、「教育実習実施前提条件」といい、3 年次に教育実習に行くためには、2 年次に、この「教育実習実施前提条件」を満たさなければならないことになります。

ただし、初等教育学専攻の場合、教育実習実施前提条件の多くは必修科目と重なっており、必修を履修して単位を修得しておけば、条件の大部分を満たすことができます。しかし、自分で登録して修得しなければならない科目、手続きもありますので注意してください。

以下の条件を満たす必要があります。

① 実習実施前年度の教育実習ガイダンスに出席すること。
② 実習実施前年度の教育実習事前登録を期限内に完了していること。
③ 実習実施前年度までに、次の科目の単位を修得済みであること。

■2018 年度以前入学者

- 「教科に関する科目」を 3 科目以上修得済みであること。
- 「教職原論」「初等教育学概論Ⅰ」「教育の制度と経営（小）（旧：初等教育学概論Ⅱ）」「教育方法原論」「教育心理学原論」「教育課程編成原論」の 6 科目を修得済みであること。
- 「教科教育法」を 4 科目以上修得済みであること。
- 「特別活動原論」「道徳教育原論」「教育相談原論」「生徒指導・進路指導原論」のうち、3 科目以上を修得済みであること。
- 「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち、2 領域以上（領域ごとに 2 単位以上）を修得済みであること。
- 2015 年度以降入学者（学士入学者および科目等履修生は除く）については、「初等教育学基礎演習Ⅰ」、「初等教育学基礎演習Ⅱ」、「初等教育学基礎演習Ⅲ」、「初等教育学基礎演習Ⅳ」の 4 科目を修得済みであること。

■2019 年度以降入学者

- 「教科に関する専門的事項」を 3 科目以上修得済みであること。
- 「教職原論」「初等教育学概論Ⅰ」「教育の制度と経営（小）」「教育方法原論」「教育心理学原論」「特別支援教育原論」「教育課程編成原論」の 7 科目を修得済みであること。
- 「教科教育法」を 4 科目以上修得済みであること。
- 「特別活動原論」「道徳教育原論」「教育相談原論」「生徒指導・進路指導原論」のうち、3 科目以上を修得済みであること。
- 「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」のうち、2 領域以上（領域ごとに 2 単位以上）を修得済みであること。
- 「初等教育学基礎演習Ⅰ」、「初等教育学基礎演習Ⅱ」、「初等教育学基礎演習Ⅲ」、「初等教育学基礎演習Ⅳ」の 4 科目を修得済みであること。

【教育実習演習（小）の科目登録について】

教育実習の実施時期によって登録する履修クラスが異なります。

以下を参照の上、科目登録を実施してください。なお、「実習時期」が科目登録時に「未定」の場合は、「春学期」開講クラスを登録してください。その後、実習時期が「8 月～1 月」に決定した場合は、至急、教育・総合科学学術院事務所まで連絡をしてください。なお、実習校の都合により、「実習時期」が科目登録後に「変更」になった場合（「4 月～7 月」→「8 月～1 月」・「8 月～1 月」→「4 月～7 月」）は、至急、教育・総合科学学術院事務所に連絡をしてください。

教育実習の時期	履修クラス	実習先	取得可能免許状	科目登録時期
4 月～7 月の場合	春学期開講クラス（A もしくは B）※	小学校	小学校	春学期
8 月～1 月の場合	夏秋期開講クラス（C）			

※春学期開講クラスを履修する場合、早稲田実業学校初等部で実習をする学生は、「A」クラスを履修してください。母校で実習をする学生は「B」クラスを履修してください。

【教職実践演習（小）の科目登録について】

教職実践演習は、自動登録ではなく、学生自身での登録が必要です。以下の区分に従い、4 年次秋学期に科目登録を行ってください。

2025 年度より 1 クラスのみの編成となります。

初等教育学専攻の学生の他学科聴講による他校種教科の履修方法について

初等教育学専攻の学生は、下記の科目を履修することで、中学・高校一種免を取得することが可能です。
（高校一種免のみの取得は不可）

A　教科に関する科目　下記の表をもとに、教免上の必修科目を修得

初等教育学専攻の学生が中学、高校の免許状の取得を希望する場合、その希望する教科に応じて、B群の領域を指定し、免許状に必要な必修科目を履修する必要があります。ただし、各領域には定員が設けられており、定員を超えた希望者が出た場合、選考が行われます。（B群の科目については、授業ガイドの学科目の一覧を参照してください）

希望する免許教科	B群での領域	定員（名）
国語	B－1	15 名程度
社会、地歴、公民 （ただし、高校の免許である地歴、公民のみの希望は不可）	B－2	制限無し （ただし、科目登録の際に抽選に外れる可能性あり）
数学	B－3	5 名程度
理科	B－4	10 名程度
英語	B－5	15 名程度

（注意事項）

・1 年生終了の時点で、希望する他校種教科に対応するB群の領域（1〜5）を申請してください（第 2 希望まで申請可）。その際、文系、理系それぞれに対する専門性を踏まえて選択してください。（高校時代に各免許教科を履修していることが望ましいです）
・他校種教科の取得を希望しない学生についても、領域を指定する必要があります。
・一度領域を指定したらその領域を変えることはできません。
・希望する学生数が各領域の定員を超えた場合、選考が行われます。その際、他校種教科免許の取得を希望する学生を優先します。
・指定した領域以外でも、個人の興味に従い他領域の科目を履修することが可能です。ただし、その場合、本属（科目設置学科）における選択科目のみ履修することが可能です。
※複数の免許教科を修得することは不可能ではありませんが、指定したB群の領域以外の教職科目については、必ずしもすべて履修できるとは限らないので注意してください。
※中学校教諭免許状取得希望者は、各教科専門科目の履修方法に従って選択することが望ましいです（配当年次に注意し、配当年次の低い科目から履修してください）。

国　語

教育職員免許状取得のための履修方法
免許教科　　中学１種「国語」、高校１種「国語」

◇：教職課程科目

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	日本語学 国語表現論	4 4	全科目必　修		
	国文学（国文学史を含む。）	日本文学史Ⅰ（古代） 日本文学史Ⅱ（中世） 日本文学史Ⅲ（近世） 日本文学史Ⅳ（近代）	2 2 2 2		◇新国語教育講座	2
	漢文学	中国文学基礎講読 （旧：中国文学演習Ⅰ） 中国文学基礎演習Ⅰ （旧：中国文学演習Ⅱ）	4 (4) 2 (2)			
	書道（書写を中心とする。）	書道（書写）	4	中学校の免許取得には必修※１		
		中学校免許：［①必修科目］合計単位数 26 単位				
		高校免許：［①必修科目］合計単位数 22 単位				

※１　高校免許取得の単位には積算されない。

社　会

教育職員免許状取得のための履修方法
免許教科　　中学１種「社会」

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	日本史及び外国史	日本史Ⅰ 日本史Ⅱ 外国史Ⅰ 外国史Ⅱ	2 2 2 2	全科目必　修	日本教育史Ⅱ 西洋教育史Ⅱ 外国史Ⅲ	2 2 2
	地理学（地誌を含む。）	地理Ⅰ 地理Ⅱ 地誌Ⅰ	2 2 2	全科目必　修	地誌Ⅱ 地理Ⅲ	2 2
	「法律学、政治学」	法律学 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ	2 2 2	１科目必　修		
	「社会学、経済学」	社会学（教職） 経済学Ⅰ 経済学Ⅱ	2 2 2	１科目必　修	教育社会学	2
	「哲学、倫理学、宗教学」	A 哲学研究 B 倫理学概論 C 宗教研究Ⅰ 宗教研究Ⅱ （旧：宗教研究）	4 4 2 2 (4)	Ａ～Ｃ群から１科目群必修	教育哲学	2
［①必修科目］合計単位数　22 単位						

地理歴史

教育職員免許状取得のための履修方法
免許教科　　高校１種「地理歴史」

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	日本史	日本史Ⅰ 日本史Ⅱ	2 2	全科目必　修	日本教育史Ⅰ 日本教育史Ⅱ	2 2
	外国史	外国史Ⅰ 外国史Ⅱ 外国史Ⅲ	2 2 2		西洋教育史Ⅰ 西洋教育史Ⅱ	2 2
	人文地理学及び自然地理学	地理Ⅰ 地理Ⅱ 地理Ⅲ	2 2 2			
	地誌	地誌Ⅰ 地誌Ⅱ	2 2			
［①必修科目］合計単位数　20 単位						

公　民

教育職員免許状取得のための履修方法
免許教科　　高校１種「公民」

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）		単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	「法律学（国際法を含む。）」、政治学（国際政治を含む。）」	A	法律学	2	Ａ～Ｂ群から１科目群必修	教育法研究	2
		B	政治学Ⅰ	2			
			政治学Ⅱ	2			
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	A	社会学（教職）	2	Ａ～Ｂ群から１科目群必修	教育社会学	2
		B	経済学Ⅰ	2			
			経済学Ⅱ	2			
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	A	哲学研究	4	Ａ～Ｃ群から１科目群必修	臨床心理学特論Ⅰ（精神疾患とその治療）（旧：臨床心理学特論Ⅰ）	4
		B	倫理学概論	4			
		C	宗教研究Ⅰ	2		教育哲学	2
			宗教研究Ⅱ	2			
			（旧：宗教研究）	(4)			
［①必修科目］合計単位数　8～12 単位							
［①必修科目］と［②選択科目］合計で 20 単位以上							

数　学

教育職員免許状取得のための履修方法
免許教科　　中学１種「数学」、高校１種「数学」

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）		単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	代数学	A	線形代数１	4	Ａ～Ｂ群から１科目群必修		
		B	代数１－１	2			
			代数１－２	2			
			（旧：代数１）	(4)			
	幾何学	C	幾何１	2	Ｃ～Ｄ群から１科目群必修		
			幾何２	2			
		D	幾何３	2			
			幾何４	2			
	解析学	E	微積分１	4	E～G 群から１科目群必修		
		F	解析学１－１	2			
			解析学１－２	2			
			（旧：解析学１）	(4)			
		G	複素解析１－１	2			
			複素解析１－２	2			
			（旧：複素解析１）	(4)			
	「確率論･統計学」	H	統計入門	2	Ｈ～Ｉ群から１科目群必修		
			統計数学	2			
		I	確率論１	2			
			確率論２	2			
	コンピュータ	J	情報数学１	2	Ｊ～Ｋ群から１科目群必修		
			情報数学２	2			
		K	情報数学３	2			
			情報数学４	2			
［①必修科目］合計単位数　20 単位							

理　科

教育職員免許状取得のための履修方法
免許教科　　中学１種「理科」

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	物理学	物理学Ⅰ-1 物理学Ⅰ-2	2 2	全科目必修	物理学Ⅱ（電磁気学）	2
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ	2 2			
	化学	化学Ⅰ	4		化学Ⅱ	4
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	化学実験Ⅰ 化学実験Ⅱ	2 2			
	生物学	生物学通論Ⅰ 生物学通論Ⅱ	2 2			
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	生物学通論実験Ⅰ 生物学通論実験Ⅱ	1 1			
	地学	地学通論Ⅰ 地学通論Ⅱ	2 2			
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	地学通論実験Ⅰ 地学通論実験Ⅱ	1 1			
		［①必修科目］合計単位数　28 単位				

教育職員免許状取得のための履修方法
免許教科　　高校１種「理科」

免許法施行規則に規定された科目			［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選　択　科　目］	単位数
教科に関する科目	物理学		物理学Ⅰ-1 物理学Ⅰ-2	2 2	全科目必修	物理学Ⅱ（電磁気学）	2
	化学		化学Ⅰ	4		化学Ⅱ	4
	生物学		生物学通論Ⅰ 生物学通論Ⅱ	2 2			
	地学		地学通論Ⅰ 地学通論Ⅱ	2 2			
	「物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験、（それぞれコンピュータ活用を含む。）」	E	物理学実験Ⅰ 物理学実験Ⅱ	2 2	E～H群から1科目群必修		
		F	化学実験Ⅰ 化学実験Ⅱ	2 2			
		G	生物学通論実験Ⅰ 生物学通論実験Ⅱ	1 1			
		H	地学通論実験Ⅰ 地学通論実験Ⅱ	1 1			
			［①必修科目］合計単位数　18～20 単位				
			［①必修科目］と［②選択科目］合計で 20 単位以上				

英　語

教育職員免許状取得のための履修方法　【2016 年度以降入学者】
免許教科　　中学１種「英語」、高校１種「英語」

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選択科目］	単位数
教科に関する科目	英語学	英語音声学Ⅰ	2	全科目必　修		
		言語学入門	2			
		応用言語学入門	2			
		Introduction to Second Language Acquisition	2			
	英米文学	英文学史Ⅰ	2			
		英文学史Ⅱ	2			
		米文学史Ⅰ	2			
		米文学史Ⅱ	2			
	英語コミュニケーション	Communicative English Ⅰ	2			
		（旧：Oral and Written Communication Ⅰ）	(2)			
		Communicative English Ⅱ	2			
		（旧：Oral and Written Communication Ⅱ）	(2)			
	異文化理解	British Cultural History	2	3 科目から2 科目選択必修		
		（旧：イギリス文化史）	(2)			
		アメリカ文化史	2			
		Intercultural Communication	2			
		［①必修科目］合計単位数　24 単位				

教育職員免許状取得のための履修方法　【2011～2015 年度入学者】
免許教科　　中学１種「英語」、高校１種「英語」

免許法施行規則に規定された科目		［①必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法	［②選択科目］	単位数
教科に関する科目	英語学	英語音声学Ⅰ	2	全科目必　修		
		英語音声学Ⅱ	2			
		言語学入門	2			
		（旧：英語学Ⅰ）	(2)			
		応用言語学入門	2			
		（旧：英語学Ⅱ）	(2)			
	英米文学	英文学史Ⅰ	2			
		英文学史Ⅱ	2			
		米文学史Ⅰ	2			
		米文学史Ⅱ	2			
	英語コミュニケーション	Communicative English Ⅰ	2			
		（旧：Oral and Written Communication Ⅰ）	(2)			
		Communicative English Ⅱ	2			
		（旧：Oral and Written Communication Ⅱ）	(2)			
	異文化理解	British Cultural History	2			
		（旧：イギリス文化史）	(2)			
		アメリカ文化史	2			
		［①必修科目］合計単位数 22 または 24 単位				

B　教職に関する科目／教科又は教職に関する科目

（１）教職に関する科目の「単位の流用」について

「小学校」の教員免許状取得のための教職に関する科目は、原則として「小学校」の免許状申請にしか使用できません。ただし、小学校の免許状取得を条件に小学校免許の一部の科目を中高免許状に流用する「単位の流用」制度により、一部負担を軽減することができます。

※ 単位の流用とは

・単位の流用とは、「教育職員免許法施行規則第 6 条第 1 項備考第 12・13」（旧法適用者）に規定されているもので、小学校の免許取得済みまたは取得要件を満たし、中高免許と同時に申請する場合、その単位の一部を中高免許の所定項目の単位として流用できることをいいます。

・これにより、履修する科目数が減り、効率的に中高免許をとれるようになりますが、単位の流用は小学校免許状の取得が前提です。（小学校免許を取得しない場合、単位を中高免許に流用することができません）

（２）対象者

初等教育学専攻の学生で、中高免許を取得する学生全員（全学年に適用します）。

（３）法改正による中学校・高等学校免許の新設科目について（2018 年度以降）

2019 年度より、改正教育職員免許法および同法施行規則が施行されました。

同法の適用は 2019 年度以降の入学者が対象となりますが、改正の趣旨に鑑み、旧課程適用（2018 年度以前入学）者が中学校・高等学校免許を他学科聴講により取得する場合についても、以下の科目を履修することが望まれます。**2017 年度以前入学者は可能な限り履修し、2018 年度入学者は必ず履修してください。**

修得した単位は、「教科又は教職に関する科目」として、中学校・高等学校免許取得のための総単位数に積算されます。ただし、「教科教育法」のうち、**「社会科教育法４」については、2018 年度までの修得単位に限り、高校 1 種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効**です。2019 年度からは文部科学省の指導により、高校 1 種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

免許法施行規則に規定された科目			（左に対応する本学部設置科目）	単位数
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	◇特別支援教育（中・高）※	1 単位
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	◇教科教育法４	2 単位
		特別活動の指導法	◇総合的な学習・探究論（中・高）※	1 単位

※1　教育職員免許法改正による新設科目

（Ｂ－１）　教職に関する科目／教科又は教職に関する科目（中学校１種）

教職に関する科目（必修）

◇教職課程科目　●専門必修科目　○専門選択科目

免許法施行規則に規定された科目			［必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法
教職に関する科目	第二欄	教職の意義等に関する科目	2014 年度以降履修する初等の「教職原論」の単位を**流用**	2	**初等の単位を流用可能**
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	2014 年度以降履修する以下の科目の単位を**流用** 「初等教育学概論Ⅰ」※1 「教育の制度と経営（小）」（旧：初等教育学概論Ⅱ）※1 「教育心理学原論」	6	**初等の単位を流用可能**
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	◇教育課程編成論（中・高）	1	**必修**
			◇教科教育法１ ◇教科教育法２ ◇教科教育法３※2	2 2 2	
			◇道徳教育論（中・高）	2	
			◇特別活動論（中・高）2019 年度以降修得※3 （◇特別活動論（中・高））2018 年度以前修得※3	1 (2)	
			◇教育方法・技術論（中・高） （旧：教育方法研究（中・高））	2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目※1	◇生徒理解と教育相談（中・高）	2	**1 科目選択必修**（「教育相談原論」もしくは「生徒指導・進路指導原論」の**いずれか１科目（2 単位）流用**
			◇生徒指導･進路指導論（中・高）	2	
	第五欄	教育実習	◇教育実習演習（３週間）	5	**必修**
			小学校の「教育実習演習（小）」の単位を 3 単位**流用**　※4	3	
	第六欄	教職実践演習	2014 年度以降履修する「教職実践演習（小）」を**流用**	2	**初等の単位を流用可能**
			中学校免許：［必修科目］合計単位数 19 単位又は 20 単位（流用単位を除く） +流用単位数 15 単位		

※1　旧「初等教育学概論」（１科目４単位）を修得した場合でも、流用可能です。

※2　「社会科教育法 3」については、2018 年度までの修得単位に限り、高校１種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019 年度からは文部科学省の指導により、高校１種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

※3　特別活動論（中・高）は 2019 年度より、単位数が２単位から１単位に変更になりました。

※4　この場合、「教育実習演習（３週間）」の履修を免除する目的ではなく免許取得要件の合計単位数に組み入れるために単位を流用します。

教職に関する科目（選択）

免許法施行規則に規定された科目			［選　択　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022 年度廃止	各 2 単位
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（社会変動と教育） 【旧：教職研究Ⅴ（学校外教育）】 ◇教職研究Ⅸ（教育経営）	各 2 単位
			◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	各 1 単位
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	◇特別支援教育（中・高）※1	1 単位
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	◇教科教育法４※2	2 単位
		特別活動の指導法	◇総合的な学習・探究論（中・高）※1	1 単位
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	◇授業技術演習 ◇教育における ICT 活用（中・高）	2 単位 1 単位

※1　教育職員免許法改正による新設科目

※2　「社会科教育法 4」については、2018 年度までの修得単位に限り、高校１種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019 年度からは文部科学省の指導により、高校１種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に規定された科目	［必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	履修方法	単位数	［選　択　科　目］	単位数
教科又は教職に関する科目	◇介護体験実習講義	中学校の免許取得には必修	2	◇教職研究Ⅵ（生涯教育） ◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）※2018 年度廃止 ◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究） ◇教職特講Ⅲ（部活動論） ◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座） ◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）（旧：学級経営インターンシップ） ◇特別支援教育インターンシップ ◇インクルーシブ教育インターンシップ ◇初等教育インターンシップ ◇中等国語科インターンシップ※ ◇国語科授業技術演習※	2 (2) 2 1 2 4 4 4 4 4 2
	中学校免許：［必修科目］合計単位数 2 単位				

※2014 年度以降は国語の免許にしか使えません。2013 年度以前に修得した科目は、全教科に使えます。

教科に関する科目、教職に関する科目（必修）、教職に関する科目（選択）、教科又は教職に関する科目の合計で 59 単位以上

（Ｂ－２）　教職に関する科目／教科又は教職に関する科目（高等学校１種）

教職に関する科目（必修）

◇教職課程科目　●専門必修科目　○専門選択科目

免許法施行規則に規定された科目			［必　修　科　目］（左に対応する本学部設置科目）	単位数	履修方法
教職に関する科目	第二欄	教職の意義等に関する科目	2014 年度以降履修する初等の「教職原論」の単位を**流用**	2	**初等の単位を流用可能**
	第三欄	教育の基礎理論に関する科目	2014 年度以降履修する以下の科目の単位を**流用** 「初等教育学概論Ⅰ」※1 「教育の制度と経営（小）」（旧：初等教育学概論Ⅱ）※1 「教育心理学原論」	6	**初等の単位を流用可能**
	第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	◇教育課程編成論（中・高）	1	必修
			◇教科教育法１ ◇教科教育法２	2 2	
			◇特別活動論（中・高）2019 年度以降修得※2 （◇特別活動論（中・高））2018 年度以前修得※2	1 (2)	
			◇教育方法・技術論（中・高） （旧：教育方法研究（中・高））	2	
		生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目※1	◇生徒理解と教育相談（中・高）	2	**1 科目選択必修**（「教育相談原論」もしくは「生徒指導・進路指導原論」の**いずれか 1 科目（2 単位）流用**
			◇生徒指導･進路指導論（中・高）	2	
	第五欄	教育実習	◇教育実習演習（２週間）※3	3	必修
			小学校の「教育実習演習（小）」の単位を**２**単位**流用** ※4	**2**	
	第六欄	教職実践演習	2014 年度以降履修する「教職実践演習（小）」を**流用**	2	**初等の単位を流用可能**
			高校免許：［必修科目］合計単位数 13 単位又は 14 単位（流用単位を除く） +流用単位数 14 単位		

※1　旧「初等教育学概論」（１科目４単位）を修得した場合でも、流用可能です。
※2　特別活動論（中・高）は 2019 年度より、単位数が２単位から１単位に変更になりました。
※3　高校の要件としては「３単位」となるが、「教育実習演習（３週間）・５単位」を履修する場合、５単位修得したうちの余剰の２単位は、高校の総単位として積算される。
※4　この場合、「教育実習演習（２週間）」の履修を免除する目的ではなく免許取得要件の合計単位数に組み入れるために単位を流用する。

教職に関する科目（選択）

免許法施行規則に規定された科目			［選　択　科　目］ （左に対応する本学部設置科目）	単位数
第三欄	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	◇教職研究Ⅲ（日本教育史）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅳ（西洋教育史）※2022 年度廃止	各 2 単位
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	◇教職研究Ⅰ（学校教育法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅱ（教育行政法規）※2022 年度廃止 ◇教職研究Ⅴ（社会変動と教育） 【旧：教職研究Ⅴ（学校外教育）】 ◇教職研究Ⅸ（教育経営）	
			◇教職特講Ⅰ（教育法規・理論研究） ◇教職特講Ⅱ（教育法規・事例研究） ◇教職特講Ⅳ（スクール・ソーシャルワーク）	各 1 単位
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）	◇特別支援教育（中・高）※1	1 単位
第四欄	教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法	◇教科教育法３　※2 ◇教科教育法４　※2	各 2 単位
		特別活動の指導法	◇総合的な学習・探究論（中・高）※1	1 単位
		教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	◇授業技術演習 ◇教育における ICT 活用（中・高）	2 単位 1 単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	道徳の指導法	◇道徳教育論（中・高）	2 単位

※1　教育職員免許法改正による新設科目

※2　「社会科教育法３」および「社会科教育法４」については、2018 年度までの修得単位に限り、高校 1 種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として有効。なお、2019 年度からは文部科学省の指導により、高校 1 種「地理歴史」および「公民」の教員免許状の単位として使用できませんので、ご注意ください。

教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に規定された科目	［選　択　科　目］	単位数
教科又は教職に関する科目	◇介護体験実習講義	2
	◇教職研究Ⅵ（生涯教育）	2
	◇教職研究Ⅶ（特別支援教育）（旧：教職研究Ⅶ（障害児教育））	2
	◇教職研究Ⅷ（総合学習の研究）	2
	◇教職特講Ⅲ（部活動論）	1
	◇人間理解基盤講座（心の健康教育に関する理論と実践）（旧：人間理解基盤講座）	(4)
	◇教育インターンシップ（2014 年度から廃止）	4
	◇学級経営インターンシップ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）　（旧：学級経営インターンシップ）	4
	◇特別支援教育インターンシップ	4
	◇インクルーシブ教育インターンシップ	4
	◇初等教育インターンシップ	4
	◇中等国語科インターンシップ※	2
	◇国語科授業技術演習※	

※2014 年度以降は国語の免許にしか使えません。2013 年度以前に修得した科目は、全教科に使えます。

教科に関する科目、教職に関する科目（必修）、教職に関する科目（選択）、
教科又は教職に関する科目の合計で 59 単位以上

教育実習の前提条件について

教育実習は小学校での 3 週間の実習に加えて、中高でも 3 週間以上の実習を行う必要があります。教育実習については、以下の点を留意してください。

- **教育実習に行く場合、以下の①～⑤について実習実施前年度までに満たす必要があります。**
  - ① 実習実施前年度の教育実習ガイダンスに出席すること。
  - ② 実習実施前年度の教育実習事前登録を期限内に完了していること。
  - ③ 実習実施年度中に教員免許状取得に必要なすべての科目の単位を修得済み、または修得見込であること。
  - ④ 実習実施年度に 4 年生以上で、実習実施前年度までに、卒業単位を 90 単位以上修得済みであること。
  - ⑤ 実習実施前年度までに、以下の科目の単位を修得済みであること。

・「教科に関する科目」について 3 科目以上を修得済みであること。

・以下の科目を修得済みであること。

1．**「教職原論」**
2．**「初等教育学概論Ⅰ」**
3．**「教育の制度と経営（小）」**
（旧：初等教育学概論Ⅱ）
4．**「教育心理学原論」**

履修科目に変更はありませんが、
1～4の初等科目の単位を流用するという扱いになります。

5．「教育課程編成論（中・高）」
6・「教科教育法１」
7．「教科教育法２」
8．「教育方法研究（中・高）」

・「日本国憲法」「体育」「外国語コミュニケーション」「情報機器の操作」のうち、2 領域以上（各領域 2 単位以上）を修得済みであること。

・「教科に関する科目」（必修および選択）のうち 16 単位以上

- 教育実習期間中、他の科目の授業を受けられず、単位を修得できない可能性もあります。授業の欠席願いを各科目担当教員に提出することはできますが、欠席の最終的な取り扱いは、欠席した科目の担当教員の判断になります。

単位の流用制度を利用する場合、小学校免許をとらないと、中高免許もとれません。必ず小学校免許をとること！

（例 1）
単位の流用制度を使って中高免許取得を目指している初等の学生 A 君が、小学校免許に必要な単位が 1 単位不足して卒業となりました。
A 君「小学校免許はとれないけど、中高免許は小学校の単位を流用するから、中高免許は取れるはず。」
→とれません！小学校免許を元に単位の流用を行うため、このケースだと小学校免許も中高免許も取得できません。

（例 2）
学生「今回単位の流用をしないで、中高の科目を全て履修して中高免許をとるつもりだけど、それでも小学校免許をとらないと自動的に中高免許もとれなくなりますか？」
→法令上は、中高免許だけの取得は可能です。しかし、大学として、他学科聴講による中学校・高等学校免許の取得は小学校免許とセットで取得することを条件としていますので、両方の免許取得を目指してください。

Ⅲ　授業時間割

時間割の変更情報について

担当教員の都合等で時間割が変更される場合があります。
科目登録申請の際には、教育学部ホームページに掲載される「正誤表」を併せて確認してください。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/
（早稲田大学教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞科目登録の手引き・授業ガイド）

教育学部共通科目
授業時間割

［注意事項］

1．新設となった科目

	（新）科目	単位	新設年度
社会系	経済学Ⅰ（現代社会と経済学）	2	2020年度
	社会心理学　※１	2	2013年度
	現代社会とストレス	2	
自然系	鉱物の世界−地球からの贈り物への誘い−　※２	2	2016年度
総合系	オリンピックの社会科学的・人文科学的検討	2	2016年度

※１：「社会心理学Ⅰ（社会の中の個人）」または「社会心理学Ⅱ（集団過程）」の単位を修得済の方は、履修できません。

※２：　理学科地球科学専修の方は履修出来ません。

2．廃止となった科目

「経済学Ⅱ（実践的国際金融論）」（2025年度より）
「経済学Ⅰ（教育の経済学）」（2020年度より）
「廃棄物処理と化学」「自然科学の見取図」（2016年度より）
「宇宙の物理学Ⅱ（相対理論と宇宙の構造）」、「地球と宇宙の科学」（2015年度より）
「人権への視座Ⅰ」、「人権への視座Ⅱ」、「英語でまなぶ自然科学　Ⅰ」、「資源と廃棄物」（2014年度より）
「社会心理学Ⅰ（社会の中の個人）」、「社会心理学Ⅱ（集団過程）」（2013年度より）

3．科目名が変更になっている科目（旧科目を履修済みの方は、新科目を履修できません。）

	（新）科目	←　（旧）科目	変更年度
人文系	倫理学Ⅰ	倫理学Ⅰ（生命倫理・ホスピス倫理）	2021年度
	倫理学Ⅱ	倫理学Ⅱ（倫理学マップ）	
	現代小説の楽しみ	現代小説の楽しみ（村上春樹を読む）	2019年度
	文学の近代	文学の近代（文学にとって近代とは何か）	
社会系	経済学II（国際経済の基礎知識）	経済学IV（国際経済の基礎知識）	2025年度
	法学Ⅰ（公共圏の法）	法学Ⅰ（自由とは何か）	2024年度
	法学II（生活世界の法）	法学II（正義は輸出できるか）	2024年度
	経済学Ⅱ（実践的国際金融論）	経済学Ⅱ（人的資本理論）	2015年度
自然系	岩石から読み解く地球の活動	鉱物の世界−地球からの贈り物への誘い−	2025年度
	動物の機能II（生態、行動）	動物の機能II（ホルモンによる調節）	2021年度
	太陽系の起源と地球のテクトニクス	宇宙と惑星の起源と地球のテクトニクス	2019年度
	生活の化学	反応の化学	2016年度
	宇宙の物理学　※	宇宙の物理学Ⅰ	
総合計	外部環境の変化と企業動態	オリンピックの社会科学的・人文科学的検討	2022年度

※：理学科生物学専修、地球科学専修の方は履修出来ません。

教育学部共通科目

人文系

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	現代小説の楽しみ	2		春学期	疋田　雅昭	春学期	火	2時限	1040	1220
	文学の近代	2		秋学期	石原　千秋	秋学期	水	2時限	1040	1220
	中国の文化（漢字と権力）	2		【休講】						
	中国の文人論（現代中国知識人のモデル）	2		秋学期	谷口　高志	秋学期	金	3時限	1310	1450
	ヨーロッパの文化（近代システム誕生の地）	2		春学期	秋野　有紀	春学期	月	2時限	1040	1220
	アメリカの文化（るつぼからサラダボウルへ）	2		秋学期	藤永　康政	秋学期	火	2時限	1040	1220
	アフリカ・イスラムの文化（民族・言語・宗教・社会・風俗）	2		春学期	森口　岳	春学期	火	4時限	1505	1645
	ラテンアメリカの文化（民族・言語・宗教・社会・風俗）	2		【休講】						
	ジェンダー・スタディーズI（身近なことを視座にして）	2		春学期	金井　景子	春学期	金	4時限	1505	1645
	ジェンダー・スタディーズII（文学を視座にして）	2		秋学期	金井　景子	秋学期	金	4時限	1505	1645
	史学I（日本史における国家と社会）	2		春学期	長谷川　裕子	春学期	金	3時限	1310	1450
	史学II（日本史における生活と文化）	2		秋学期	児玉　憲治	秋学期	火	3時限	1310	1450
	史学III（イスラムと民族）	2		春学期	小松　香織	春学期	火	1時限	0850	1030
	史学IV（イスラムと帝国）	2		秋学期	小松　香織	秋学期	火	1時限	0850	1030
	地理学I（グローバル化と地域）	2		春学期	小林　正夫	春学期	金	2時限	1040	1220
	地理学II（地域研究最前線）	2		秋学期	小林　正夫	秋学期	金	2時限	1040	1220
	地理学III（自然環境と風土）	2		春学期	藁谷　哲也	春学期	月	2時限	1040	1220
	地理学IV（風景の科学）	2		秋学期	藁谷　哲也	秋学期	月	2時限	1040	1220
	倫理学I	2		春学期	坂倉　裕治	春学期	木	3時限	1310	1450
	倫理学II	2		秋学期	大賀　祐樹	秋学期	木	2時限	1040	1220
	哲学I（現代思想の地平）	2		春学期	新田　章	春学期	金	4時限	1505	1645
	哲学II（西洋哲学マップ）	2		秋学期	小口　裕史	秋学期	月	3時限	1310	1450
	東洋思想と宗教（儒教・仏教・日本思想）	2		秋学期	西沢　史仁	秋学期	月	4時限	1505	1645
	西欧社会と宗教（宗教史マップ・現代宗教構図）	2		春学期	佐藤　香寿実	春学期	木	1時限	0850	1030
	音楽（Jポップスとは何か）	2		【休講】						
	音楽史（聴衆と音楽の政治学）	2		【休講】						
	美術（芸術を鑑賞すること）	2		秋学期	木水　千里	秋学期	火	2時限	1040	1220
	日本文化の現在（2.5次元文化論）	2		春学期	中本　千晶	春学期	月	4時限	1505	1645
	日本文化史（「古典」は作られる）	2		【休講】						

※ 他箇所設置科目の共通科目への振り替えについては、本紙「3. 他箇所・他機関の設置科目（オープン科目含む）の履修方法」を参照してください。

教育学部共通科目

社会系

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	憲法	2	A	春学期	玉蟲　由樹	春学期	水	5時限	1700	1840
			B	秋学期	土屋　彰久	秋学期	土	3時限	1310	1450
			C	春学期	土屋　彰久	春学期	土	3時限	1310	1450
	法学I（公共圏の法）	2		春学期	村山　貴子	春学期	水	1時限	0850	1030
	法学II（生活世界の法）	2		秋学期	村山　貴子	秋学期	水	1時限	0850	1030
	経済学I（現代社会と経済学）	2		春学期	宮永　径	春学期	火	5時限	1700	1840
	経済学II（国際経済の基礎知識）	2		秋学期	飯田　幸裕	秋学期	木	1時限	0850	1030
	経済学III（知的財産権とは何か）	2		【休講】						
	社会学I（日常性の誕生）	2		春学期	石井　幸夫	春学期	金	5時限	1700	1840
	社会学II（セクシャリティと近代）	2		秋学期	石井　幸夫	秋学期	金	5時限	1700	1840
	社会学III（自己と物語）	2		春学期	鈴木　無二	春学期	月	3時限	1310	1450
	社会学IV（知と社会の構成）	2		秋学期	鈴木　無二	秋学期	月	3時限	1310	1450
	政治学I（国民国家とグローバリゼーション）	2		春学期	芝崎　祐典	春学期	金	4時限	1505	1645
	政治学II（国際政治のキーワード）	2		秋学期	池宮城　陽子	秋学期	月	3時限	1310	1450
	政治学III（日本政治と市民）	2		春学期	白鳥　浩	春学期	水	3時限	1310	1450
	政治学IV（欧州統合と市民）	2		秋学期	白鳥　浩	秋学期	水	3時限	1310	1450
	知るということ（心理学）	2		秋学期	阪脇　孝子	秋学期	水	3時限	1310	1450
	個人差と適応（心理学）	2		春学期	島津　直実	春学期	水	2時限	1040	1220
	教育学I（チャレンジ教育学）	2		春学期	澤田　稔	春学期	月	4時限	1505	1645
	教育学II（トピック・アプローチ）	2		秋学期	山本　剛	秋学期	水	4時限	1505	1645
	文化人類学I（生活を読み解く技法）	2		春学期	嶋内　博愛	春学期	水	4時限	1505	1645
	文化人類学II（フィールドワークの知）	2		秋学期	嶋内　博愛	秋学期	金	4時限	1505	1645
	社会心理学	2		春学期	坂田　成輝	春学期	月	4時限	1505	1645
	現代社会とストレス	2		秋学期	宇佐美　尋子	秋学期	木	1時限	0850	1030

※ 他箇所設置科目の共通科目への振り替えについては、本紙「3. 他箇所・他機関の設置科目（オープン科目含む）の履修方法」を参照してください。

教育学部共通科目

自然系

年次	科　　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	地球の起源	2		春学期	澤口　隆	春学期	火	2時限	1040	1220
	地球システムと環境問題	2		秋学期	澤口　隆	秋学期	火	2時限	1040	1220
	地球生命史	2		春学期	川辺　文久	春学期	土	2時限	1040	1220
	化石の科学	2		秋学期	川辺　文久	秋学期	土	2時限	1040	1220
	動物の機能I（神経系、循環系）	2		春学期	黒川　信	春学期	月	2時限	1040	1220
	動物の機能II（生態、行動）	2		秋学期	細　将貴	秋学期	水	3時限	1310	1450
	環境の生物学	2		秋学期	町田　郁子	秋学期	月	3時限	1310	1450
	細胞機能の生物学	2		秋学期	植村　知博	秋学期	月	2時限	1040	1220
	宇宙の物理学	2		秋学期	喜古　正士	秋学期	火	4時限	1505	1645
	生活の化学	2		秋学期	井出　裕介	秋学期	月	4時限	1505	1645
	自然人類学I	2	A	春学期	樋泉　岳二	春学期	火	2時限	1040	1220
			B	春学期	近藤　恵	春学期	金	2時限	1040	1220
	自然人類学II	2	A	秋学期	樋泉　岳二	秋学期	火	2時限	1040	1220
			B	秋学期	近藤　恵	秋学期	金	2時限	1040	1220
	岩石から読み解く地球の活動	2		春学期	曽田　祐介	春学期	火	4時限	1505	1645
	英語でまなぶ自然科学	2		【休講】						
	太陽系の起源と地球のテクトニクス	2		春学期	阿部　信太郎	春学期	木	2時限	1040	1220
					太田　亨	春学期	木	2時限	1040	1220
					洪　鵬	春学期	木	2時限	1040	1220
					小松　睦美	春学期	木	2時限	1040	1220

※ 他箇所設置科目の共通科目への振り替えについては、本紙「3. 他箇所・他機関の設置科目（オープン科目含む）の履修方法」を参照してください。

※ 生物学専修の方は以下の科目を履修できません。

「動物の機能Ⅰ（神経系、循環系）」「動物の機能II（生態、行動）」「環境の生物学」「細胞機能の生物学」
「宇宙の物理学」「生活の化学」

※ 地球科学専修の方は以下の科目を履修できません。

「地球の起源」「地球システムと環境問題」「地球生命史」「化石の科学」「宇宙の物理学Ⅰ」「生活の化学」
「鉱物の世界−地球からの贈り物への誘い−」

※「生活の化学」は、以下のグローバルエデュケーションセンター設置科目と内容が同じレベルの科目のため、「生活の化学」を履修済みまたは履修中の場合には以下の科目は履修できません。また、以下の科目を履修済みまたは履修中の場合は、「生活の化学」を履修できません。

「身近な化学への招待（導入）α・β」「身近な化学への招待（発展）α・β　01」「身近な化学への招待（発展）α・β　02」

教育学部共通科目

数理情報系

年次	科　　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	コンピュータ入門	2	A	春学期	上田　卓司	春学期	木	2時限	1040	1220
			B	秋学期	上田　卓司	秋学期	木	2時限	1040	1220
			C	春学期	多田　武丸	春学期	水	1時限	0850	1030
			D	秋学期	多田　武丸	秋学期	水	1時限	0850	1030
	コンピュータ初級	4	A	通年	原　正雄	通年	金	2時限	1040	1220
			B	通年	大池　浩一	通年	月	1時限	0850	1030
			C	通年	原　正雄	通年	水	3時限	1310	1450
			D	通年	原　正雄	通年	水	4時限	1505	1645
	コンピュータ中級	4		通年	内藏　理史	通年	月	4時限	1505	1645
	線型代数入門（数理の窓から眺める線形構造と変換の世界）	2		春学期	神藏　正	春学期	木	3時限	1310	1450
	微積分入門（数理の窓から眺める現象のモデリングの世界）	2		秋学期	神藏　正	秋学期	木	3時限	1310	1450
	確率入門（偶然に潜む数理の世界）	2		春学期	中村　好宏	春学期	火	4時限	1505	1645
	統計入門（データが語る数理の世界）	2		秋学期	中村　好宏	秋学期	火	4時限	1505	1645

※ 他箇所設置科目の共通科目への振り替えについては、本紙「3. 他箇所・他機関の設置科目（オープン科目含む）の履修方法」を参照してください。

※「コンピュータ入門」「コンピュータ初級」は、在学中に履修できるのはどちらか1科目のみです。また、次のグローバルエデュケーションセンター設置科目は、「コンピュータ入門」「コンピュータ初級」と同レベルの内容のため、いずれかを履修している場合は登録できません。

> 「情報科学の基礎」「情報表現の実践」「プレゼンテーションスキル実践」「Webデザイン実践」（2018～）、
> 「Webコンテンツ作成技術と実践」（～2017）、「PC・ネットワークを利用した情報表現」（～2015）、
> 早稲田大学情報環境の活用（アカデミックリテラシー）（～2013）

※「コンピュータ入門」「コンピュータ初級」「コンピュータ中級」

・ 2006年度以前入学者の方が履修した場合、[文系学科]の方は＜自然系＞、[理学科]の方は＜社会系＞になります（2007年度以降入学者の方は＜数理情報系＞）。

※ 生物学専修・地球科学専修の方は、「線型代数入門」「微積分入門」を履修できません。

※ 数学科の方は「線型代数入門」「微積分入門」「確率入門」「統計入門」を履修できません。

教育学部共通科目

総合系

年次	科　　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	複合文化学の建築物I	2		春学期	秋野　有紀	春学期	月	3時限	1310	1450
					上村　敏郎	春学期	月	3時限	1310	1450
					福田　育弘	春学期	月	3時限	1310	1450
	複合文化学の建築物II	2		春学期	髙原　太一	春学期	木	3時限	1310	1450
					野澤　丈二	春学期	木	3時限	1310	1450
					村上　公一	春学期	木	3時限	1310	1450
	複合文化学の建築物III	2		秋学期	後藤　雄介	秋学期	月	3時限	1310	1450
					丸川　誠司	秋学期	月	3時限	1310	1450
					村上　公一	秋学期	月	3時限	1310	1450
	複合文化学の建築物IV	2		秋学期	清水　賢一郎	秋学期	木	3時限	1310	1450
					福田　育弘	秋学期	木	3時限	1310	1450
					吉川　成美	秋学期	木	3時限	1310	1450
	舞台芸術入門I	2		春学期	新井　潤美	春学期	金	4時限	1505	1645
					児玉　竜一	春学期	金	4時限	1505	1645
					関根　裕子	春学期	金	4時限	1505	1645
	舞台芸術入門II	2		秋学期	児玉　竜一	秋学期	金	4時限	1505	1645
					中本　千晶	秋学期	金	4時限	1505	1645
					安冨　順	秋学期	金	4時限	1505	1645
	外部環境の変化と企業動態	2		【休講】						

※ 他箇所設置科目の共通科目への振り替えについては、本紙「3. 他箇所・他機関の設置科目（オープン科目含む）の履修方法」を参照してください。

外　国　語　科　目
授業時間割

英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・スペイン語
＊朝鮮語履修希望者は、グローバルエデュケーションセンターの
『全学オープン科目履修ガイド』を参照してください。

1．廃止・新設となった科目（旧科目を履修済でも、新科目を履修することができます）

（新）科目	←　（旧）科目	変更年度
「英語上級コミュニケーション＊＊α」 「英語上級コミュニケーション＊＊β」	「英語上級コミュニケーション＊＊」	2018年度
「英語中級コンプリヘンション（文化）１」 「英語中級コンプリヘンション（文化）２」	「英語中級コンプリヘンション（文化）」	
「英語中級コンプリヘンション（時事）１」 「英語中級コンプリヘンション（時事）２」	「英語中級コンプリヘンション（時事）」	
「英語中級コンプリヘンション（ｻｲｴﾝｽ）１」 「英語中級コンプリヘンション（ｻｲｴﾝｽ）２」	「英語中級コンプリヘンション（ｻｲｴﾝｽ）」	
「英語中級コミュニケーション１」 「英語中級コミュニケーション２」	「英語中級コミュニケーション」	
「英語中級（ＴＯＥＩＣ）１」 「英語中級（ＴＯＥＩＣ）２」	「英語中級（ＴＯＥＩＣ）」	
「英語初級コンプリヘンション（文化）１」 「英語初級コンプリヘンション（文化）２」	「英語初級コンプリヘンション（文化）」	
「英語初級コンプリヘンション（時事）１」 「英語初級コンプリヘンション（時事）２」	「英語初級コンプリヘンション（時事）」	
「英語初級コンプリヘンション（ｻｲｴﾝｽ）１」 「英語初級コンプリヘンション（ｻｲｴﾝｽ）２」	「英語初級コンプリヘンション（ｻｲｴﾝｽ）」	
「英語初級コミュニケーション１」 「英語初級コミュニケーション２」	「英語初級コミュニケーション」	
「英語初級（ＴＯＥＩＣ）１」 「英語初級（ＴＯＥＩＣ）２」	「英語初級（ＴＯＥＩＣ）」	

2．廃止・新設となった科目（旧科目を履修済の方は、新科目を履修できません）

（新）科目	←　（旧）科目	変更年度
「基礎充実英語１」 「基礎充実英語２」	「基礎充実英語」	2019年度

英 語

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	基礎充実英語 1	2		春学期	新川 清治	春学期	土	2時限	1040	1220
	基礎充実英語 2	2		秋学期	新川 清治	秋学期	土	2時限	1040	1220
	英語初級コンプリヘンション（文化） 1	1	A	春学期	伊藤 尽	春学期	金	5時限	1700	1840
			B	春学期	藤田 由季美	春学期	金	1時限	0850	1030
			C	【休講】						
			D	春学期	須永 美奈子	春学期	火	4時限	1505	1645
			E	【休講】						
			F	春学期	中野 葉子	春学期	火	1時限	0850	1030
			G	春学期	齊藤 貴子	春学期	金	4時限	1505	1645
	英語初級コンプリヘンション（文化） 2	1	A	秋学期	伊藤 尽	秋学期	金	5時限	1700	1840
			B	秋学期	藤田 由季美	秋学期	金	1時限	0850	1030
			C	【休講】						
			D	秋学期	須永 美奈子	秋学期	火	4時限	1505	1645
			E	【休講】						
			F	秋学期	中野 葉子	秋学期	火	1時限	0850	1030
			G	秋学期	齊藤 貴子	秋学期	金	4時限	1505	1645
	英語初級コンプリヘンション（時事） 1	1	A	【休講】						
			B	春学期	桑子 利男	春学期	火	1時限	0850	1030
			C	春学期	土屋 佳雅里	春学期	金	3時限	1310	1450
			D	春学期	土屋 佳雅里	春学期	金	4時限	1505	1645
			E	【休講】						
			F	【休講】						
			G	春学期	藤原 雅子	春学期	木	1時限	0850	1030
			H	春学期	五島 一美	春学期	月	1時限	0850	1030
			I	【休講】						
			J	春学期	藤田 由季美	春学期	金	2時限	1040	1220
	英語初級コンプリヘンション（時事） 2	1	A	【休講】						
			B	秋学期	桑子 利男	秋学期	火	1時限	0850	1030
			C	秋学期	土屋 佳雅里	秋学期	金	3時限	1310	1450
			D	秋学期	土屋 佳雅里	秋学期	金	4時限	1505	1645
			E	【休講】						
			F	【休講】						
			G	秋学期	藤原 雅子	秋学期	木	1時限	0850	1030
			H	秋学期	五島 一美	秋学期	月	1時限	0850	1030
			I	【休講】						
			J	秋学期	藤田 由季美	秋学期	金	2時限	1040	1220
	英語初級コンプリヘンション（サイエンス） 1	1	A	春学期	五島 一美	春学期	月	2時限	1040	1220
			B	春学期	小林 ゆきの	春学期	木	2時限	1040	1220
			C	春学期	中垣 恒太郎	春学期	月	1時限	0850	1030
			D	【休講】						
			E	春学期	小宮山 貴教	春学期	火	1時限	0850	1030
	英語初級コンプリヘンション（サイエンス） 2	1	A	秋学期	五島 一美	秋学期	月	2時限	1040	1220
			B	秋学期	小林 ゆきの	秋学期	木	2時限	1040	1220
			C	秋学期	中垣 恒太郎	秋学期	月	1時限	0850	1030
			D	【休講】						
			E	秋学期	小宮山 貴教	秋学期	火	1時限	0850	1030
	英語初級コミュニケーション 1	1	A	春学期	オオガ・ボールドウィン ウィリアム	春学期	火	1時限	0850	1030
			B	春学期	宮崎 瑞之	春学期	土	3時限	1310	1450
			C	春学期	中島 康雄	春学期	月	3時限	1310	1450
			D	春学期	鈴木 政浩	春学期	月	2時限	1040	1220
			E	春学期	新井 巧磨	春学期	金	4時限	1505	1645
			F	【休講】						
			G	春学期	谷 佐保子	春学期	木	2時限	1040	1220
			H	春学期	河内山 有佐	春学期	月	2時限	1040	1220
			I	春学期	河内山 有佐	春学期	月	3時限	1310	1450
			J	春学期	澁谷 和郎	春学期	火	2時限	1040	1220
			K	春学期	上田 倫史	春学期	金	2時限	1040	1220
			L	春学期	谷 佐保子	春学期	木	3時限	1310	1450

※2019年度より基礎充実英語が半期化されました。基礎充実英語1、2いずれか1科目の単位を修得すれば次学期より初級レベルの科目を履修することができます。

英 語

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	英語初級コミュニケーション 2	1	A	秋学期	オオガ・ボールドウィン ウィリアム	秋学期	火	1時限	0850	1030
			B	秋学期	宮﨑 瑞之	秋学期	土	3時限	1310	1450
			C	秋学期	中島 康雄	秋学期	月	3時限	1310	1450
			D	秋学期	鈴木 政浩	秋学期	月	2時限	1040	1220
			E	秋学期	新井 巧磨	秋学期	金	4時限	1505	1645
			F	【休講】						
			G	秋学期	谷 佐保子	秋学期	木	2時限	1040	1220
			H	秋学期	河内山 有佐	秋学期	月	2時限	1040	1220
			I	秋学期	河内山 有佐	秋学期	月	3時限	1310	1450
			J	秋学期	澁谷 和郎	秋学期	火	2時限	1040	1220
			K	秋学期	上田 倫史	秋学期	金	2時限	1040	1220
			L	秋学期	谷 佐保子	秋学期	木	3時限	1310	1450
	英語初級（TOEIC） 1	1	A	【休講】						
			B	春学期	鈴木 政浩	春学期	月	3時限	1310	1450
			C	春学期	沼屋 希夫	春学期	木	3時限	1310	1450
			D	【休講】						
			E	春学期	金澤 良子	春学期	土	3時限	1310	1450
			F	春学期	沼屋 希夫	春学期	木	4時限	1505	1645
			G	【休講】						
	英語初級（TOEIC） 2	1	A	【休講】						
			B	秋学期	鈴木 政浩	秋学期	月	3時限	1310	1450
			C	秋学期	沼屋 希夫	秋学期	木	3時限	1310	1450
			D	【休講】						
			E	秋学期	金澤 良子	秋学期	土	3時限	1310	1450
			F	秋学期	沼屋 希夫	秋学期	木	4時限	1505	1645
			G	【休講】						
	英語中級コンプリヘンション（文化） 1	1	A	春学期	藤田 由季美	春学期	金	3時限	1310	1450
			B	春学期	芦部 美和子	春学期	月	3時限	1310	1450
			C	春学期	藤原 雅子	春学期	月	1時限	0850	1030
			D	春学期	芦部 美和子	春学期	月	4時限	1505	1645
			E	春学期	齊藤 貴子	春学期	金	3時限	1310	1450
			F	春学期	小林 英美	春学期	金	2時限	1040	1220
			G	春学期	岡島 慶	春学期	火	1時限	0850	1030
			H	春学期	中垣 恒太郎	春学期	月	4時限	1505	1645
			I	春学期	藤原 雅子	春学期	月	2時限	1040	1220
			J	春学期	岩本 浩樹	春学期	金	3時限	1310	1450
			K	春学期	岡島 慶	春学期	火	2時限	1040	1220
			L	春学期	吉田 雅之	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
			M	春学期	中垣 恒太郎	春学期	月	5時限	1700	1840
			N	春学期	五島 一美	春学期	月	4時限	1505	1645
			O	春学期	小川 喜正	春学期	月	4時限	1505	1645
			P	春学期	小林 英美	春学期	金	4時限	1505	1645
			Q	春学期	田村 亮	春学期	水	2時限	1040	1220
			R	春学期	筒井 瑞貴	春学期	水	2時限	1040	1220
			S	春学期	渡邉 俊	春学期	木	4時限	1505	1645
			T	春学期	渡邉 俊	春学期	木	5時限	1700	1840
	英語中級コンプリヘンション（文化） 2	1	A	秋学期	藤田 由季美	秋学期	金	3時限	1310	1450
			B	秋学期	芦部 美和子	秋学期	月	3時限	1310	1450
			C	秋学期	藤原 雅子	秋学期	月	1時限	0850	1030
			D	秋学期	芦部 美和子	秋学期	月	4時限	1505	1645
			E	秋学期	齊藤 貴子	秋学期	金	3時限	1310	1450
			F	秋学期	小林 英美	秋学期	金	2時限	1040	1220
			G	秋学期	岡島 慶	秋学期	火	1時限	0850	1030
			H	秋学期	中垣 恒太郎	秋学期	月	4時限	1505	1645
			I	秋学期	藤原 雅子	秋学期	月	2時限	1040	1220
			J	秋学期	岩本 浩樹	秋学期	金	3時限	1310	1450
			K	秋学期	岡島 慶	秋学期	火	2時限	1040	1220
			L	【休講】						
			M	秋学期	中垣 恒太郎	秋学期	月	5時限	1700	1840
			N	秋学期	五島 一美	秋学期	月	4時限	1505	1645
			O	秋学期	小川 喜正	秋学期	月	4時限	1505	1645
			P	秋学期	小林 英美	秋学期	金	4時限	1505	1645
			Q	秋学期	田村 亮	秋学期	水	2時限	1040	1220
			R	秋学期	筒井 瑞貴	秋学期	水	2時限	1040	1220
			S	秋学期	渡邉 俊	秋学期	木	4時限	1505	1645
			T	秋学期	渡邉 俊	秋学期	木	5時限	1700	1840

英 語

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	英語中級コンプリヘンション（時事） 1	1	A	春学期	長田　宣子	春学期	水	2時限	1040	1220
			B	春学期	守屋　亮	春学期	月	3時限	1310	1450
			C	春学期	相原　雅子	春学期	水	4時限	1505	1645
			D	春学期	中島　康雄	春学期	月	2時限	1040	1220
			E	春学期	須永　美奈子	春学期	火	2時限	1040	1220
			F	春学期	矢野　磯乃	春学期	火	2時限	1040	1220
			G	春学期	須永　美奈子	春学期	火	1時限	0850	1030
			H	春学期	岩本　浩樹	春学期	金	4時限	1505	1645
			I	春学期	澁谷　和郎	春学期	水	3時限	1310	1450
			J	【休講】						
			K	春学期	長田　哲男	春学期	火	1時限	0850	1030
			L	春学期	長田　宣子	春学期	水	3時限	1310	1450
			M	春学期	小林　英美	春学期	金	3時限	1310	1450
			N	【休講】						
	英語中級コンプリヘンション（時事） 2	1	A	秋学期	長田　宣子	秋学期	水	2時限	1040	1220
			B	秋学期	守屋　亮	秋学期	金	4時限	1505	1645
			C	秋学期	相原　雅子	秋学期	水	4時限	1505	1645
			D	秋学期	中島　康雄	秋学期	月	2時限	1040	1220
			E	秋学期	須永　美奈子	秋学期	火	2時限	1040	1220
			F	秋学期	矢野　磯乃	秋学期	火	2時限	1040	1220
			G	秋学期	須永　美奈子	秋学期	火	1時限	0850	1030
			H	秋学期	岩本　浩樹	秋学期	金	4時限	1505	1645
			I	秋学期	澁谷　和郎	秋学期	水	3時限	1310	1450
			J	【休講】						
			K	秋学期	長田　哲男	秋学期	火	1時限	0850	1030
			L	秋学期	長田　宣子	秋学期	水	3時限	1310	1450
			M	秋学期	小林　英美	秋学期	金	3時限	1310	1450
			N	【休講】						
	英語中級コンプリヘンション（サイエンス） 1	1	A	春学期	陳　奕廷	春学期	火	3時限	1310	1450
			B	春学期	田中　由香	春学期	金	2時限	1040	1220
			C	春学期	陳　奕廷	春学期	火	4時限	1505	1645
			D	春学期	田中　由香	春学期	金	3時限	1310	1450
			E	春学期	金澤　良子	春学期	土	2時限	1040	1220
			F	春学期	五島　一美	春学期	月	3時限	1310	1450
			G	春学期	ポッペ・クレメンス	春学期	水	1時限	0850	1030
			H	春学期	矢野　磯乃	春学期	火	1時限	0850	1030
	英語中級コンプリヘンション（サイエンス） 2	1	A	秋学期	陳　奕廷	秋学期	火	3時限	1310	1450
			B	秋学期	田中　由香	秋学期	金	2時限	1040	1220
			C	秋学期	陳　奕廷	秋学期	火	4時限	1505	1645
			D	秋学期	田中　由香	秋学期	金	3時限	1310	1450
			E	秋学期	金澤　良子	秋学期	土	2時限	1040	1220
			F	秋学期	五島　一美	秋学期	月	3時限	1310	1450
			G	秋学期	ポッペ・クレメンス	秋学期	水	1時限	0850	1030
			H	秋学期	矢野　磯乃	秋学期	火	1時限	0850	1030
	英語中級コミュニケーション 1	1	A	春学期	相原　雅子	春学期	水	2時限	1040	1220
			B	春学期	小宮山　貴教	春学期	火	2時限	1040	1220
			C	春学期	宮﨑　瑞之	春学期	木	5時限	1700	1840
			D	【休講】						
			E	春学期	フェアバンクス　香織	春学期	月	3時限	1310	1450
			F	春学期	澁谷　和郎	春学期	火	5時限	1700	1840
			G	春学期	矢野　磯乃	春学期	火	3時限	1310	1450
			H	春学期	木村　大輔	春学期	火	1時限	0850	1030
			I	【休講】						
			J	春学期	飯島　優雅	春学期	木	5時限	1700	1840
			K	春学期	相原　雅子	春学期	水	3時限	1310	1450
			L	春学期	肥田　和樹	春学期	木	3時限	1310	1450
			M	春学期	戸田　博之	春学期	金	4時限	1505	1645
			N	春学期	金森　強	春学期	金	3時限	1310	1450
			O	春学期	谷　佐保子	春学期	木	4時限	1505	1645
			P	春学期	中野　葉子	春学期	火	2時限	1040	1220
			Q	春学期	金森　強	春学期	金	2時限	1040	1220
			R	【休講】						
			S	【休講】						
			T	【休講】						
			U	春学期	戸田　博之	春学期	金	3時限	1310	1450
			V	春学期	上田　倫史	春学期	金	3時限	1310	1450
			W	春学期	新井　巧磨	春学期	月	4時限	1505	1645

英 語

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	英語中級コミュニケーション 2	1	A	秋学期	相原 雅子	秋学期	水	2時限	1040	1220
			B	秋学期	小宮山 貴教	秋学期	火	2時限	1040	1220
			C	秋学期	宮﨑 瑞之	秋学期	木	5時限	1700	1840
			D	秋学期	戸田 博之	秋学期	金	1時限	0850	1030
			E	秋学期	フェアバンクス 香織	秋学期	月	3時限	1310	1450
			F	秋学期	澁谷 和郎	秋学期	火	5時限	1700	1840
			G	秋学期	矢野 磯乃	秋学期	火	3時限	1310	1450
			H	秋学期	木村 大輔	秋学期	火	1時限	0850	1030
			I	秋学期	木村 大輔	秋学期	水	1時限	0850	1030
			J	秋学期	飯島 優雅	秋学期	木	5時限	1700	1840
			K	秋学期	相原 雅子	秋学期	水	3時限	1310	1450
			L	秋学期	肥田 和樹	秋学期	木	3時限	1310	1450
			M	秋学期	戸田 博之	秋学期	金	4時限	1505	1645
			N	秋学期	金森 強	秋学期	金	3時限	1310	1450
			O	秋学期	谷 佐保子	秋学期	木	4時限	1505	1645
			P	秋学期	中野 葉子	秋学期	火	2時限	1040	1220
			Q	秋学期	金森 強	秋学期	金	2時限	1040	1220
			R	【休講】						
			S	【休講】						
			T	秋学期	小中原 麻友	秋学期	火	4時限	1505	1645
			U	秋学期	戸田 博之	秋学期	金	3時限	1310	1450
			V	秋学期	上田 倫史	秋学期	金	3時限	1310	1450
			W	秋学期	新井 巧磨	秋学期	月	4時限	1505	1645
	英語中級（TOEIC） 1	1	A	春学期	小宮山 貴教	春学期	金	3時限	1310	1450
			B	【休講】						
			C	【休講】						
			D	春学期	湯舟 英一	春学期	火	3時限	1310	1450
			E	春学期	森田 信也	春学期	火	1時限	0850	1030
			F	春学期	大矢 政徳	春学期	水	2時限	1040	1220
			G	春学期	澁谷 和郎	春学期	火	4時限	1505	1645
			H	【休講】						
			I	春学期	須永 美奈子	春学期	火	3時限	1310	1450
			J	春学期	田村 亮	春学期	水	1時限	0850	1030
			K	春学期	新井 巧磨	春学期	火	2時限	1040	1220
			L	春学期	森田 信也	春学期	水	1時限	0850	1030
			M	春学期	加藤 万紀子	春学期	月	3時限	1310	1450
			N	春学期	森田 信也	春学期	水	2時限	1040	1220
			O	春学期	大矢 政徳	春学期	水	3時限	1310	1450
			P	春学期	東後 昌弘	春学期	木	3時限	1310	1450
			Q	春学期	東後 昌弘	春学期	木	2時限	1040	1220
			R	春学期	宮﨑 瑞之	春学期	木	4時限	1505	1645
			S	【休講】						
			T	春学期	澁谷 和郎	春学期	水	2時限	1040	1220
			U	春学期	田村 亮	春学期	水	3時限	1310	1450
			V	春学期	田村 亮	春学期	水	4時限	1505	1645
			W	【休講】						
			X	春学期	加藤 万紀子	春学期	月	4時限	1505	1645

英 語

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	英語中級（TOEIC） 2	1	A	秋学期	小宮山　貴教	秋学期	金	3時限	1310	1450
			B	【休講】						
			C	【休講】						
			D	秋学期	湯舟　英一	秋学期	火	3時限	1310	1450
			E	秋学期	森田　信也	秋学期	火	1時限	0850	1030
			F	秋学期	大矢　政徳	秋学期	水	2時限	1040	1220
			G	秋学期	澁谷　和郎	秋学期	火	4時限	1505	1645
			H	【休講】						
			I	秋学期	須永　美奈子	秋学期	火	3時限	1310	1450
			J	秋学期	田村　亮	秋学期	水	1時限	0850	1030
			K	秋学期	新井　巧磨	秋学期	火	2時限	1040	1220
			L	秋学期	森田　信也	秋学期	水	1時限	0850	1030
			M	秋学期	加藤　万紀子	秋学期	月	3時限	1310	1450
			N	秋学期	森田　信也	秋学期	水	2時限	1040	1220
			O	秋学期	大矢　政徳	秋学期	水	3時限	1310	1450
			P	秋学期	東後　昌弘	秋学期	木	3時限	1310	1450
			Q	秋学期	東後　昌弘	秋学期	木	2時限	1040	1220
			R	秋学期	宮崎　瑞之	秋学期	木	4時限	1505	1645
			S	【休講】						
			T	秋学期	澁谷　和郎	秋学期	水	2時限	1040	1220
			U	秋学期	田村　亮	秋学期	水	3時限	1310	1450
			V	秋学期	田村　亮	秋学期	水	4時限	1505	1645
			W	【休講】						
			X	秋学期	加藤　万紀子	秋学期	月	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 1　α	1		【休講】						
	英語上級コミュニケーション 2　α	1		春学期	オオガ・ボールドウィン　ウィリアム	春学期	水	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 3　α	1		春学期	志野　文乃	春学期	木	2時限	1040	1220
	英語上級コミュニケーション 4　α	1		春学期	伊藤　尽	春学期	金	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 5　α	1		【休講】						
	英語上級コミュニケーション 6　α	1		春学期	守屋　亮	春学期	月	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 8　α	1		春学期	相原　雅子	春学期	水	1時限	850	1030
	英語上級コミュニケーション 9　α	1		春学期	宮崎　瑞之	春学期	土	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 10　α	1		春学期	矢野　磯乃	春学期	火	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 12　α	1		春学期	新井　巧磨	春学期	金	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 13　α	1		春学期	マスワナ　紗矢子	春学期	火	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 14　α	1		春学期	伏野　久美子	春学期	金	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 18　α	1		春学期	三好　力	春学期	水	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 20　α	1		春学期	宮崎　瑞之	春学期	火	5時限	1700	1840
	英語上級コミュニケーション 23　α	1		春学期	小川　喜正	春学期	月	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 25　α	1		春学期	バックハウス　ペート	春学期	火	1時限	850	1030
	英語上級コミュニケーション 29　α	1		春学期	市川　純	春学期	月	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 32　α	1		春学期	小宮山　貴教	春学期	金	2時限	1040	1220
	英語上級コミュニケーション 33　α	1		春学期	スタナム　マシュー　ジェイムズ	春学期	金	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 34　α	1		春学期	寺澤　由紀子	春学期	金	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 37　α	1		春学期	伊藤　健一郎	春学期	木	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 39　α	1		春学期	伊藤　尽	春学期	金	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 40　α	1		春学期	ジェームズ　アンドリュー　スタンレー	春学期	月	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 41　α	1		【休講】						
	英語上級コミュニケーション 43　α	1		春学期	ジェームズ　アンドリュー　スタンレー	春学期	月	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 44　α	1		春学期	河内山　晶子	春学期	水	2時限	1040	1220
	英語上級コミュニケーション 47　α	1		【休講】						
	英語上級コミュニケーション 48　α	1		春学期	金森　強	春学期	金	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 49　α	1		春学期	伏野　久美子	春学期	金	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 50　α	1		春学期	増井　志津代	春学期	木	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 51　α	1		春学期	スタナム　マシュー　ジェイムズ	春学期	金	5時限	1700	1840
	英語上級コミュニケーション 52　α	1		春学期	ポッペ・クレメンス	春学期	水	2時限	1040	1220
	英語上級コミュニケーション 53　α	1		春学期	フェアバンクス　香織	春学期	月	1時限	850	1030
	英語上級コミュニケーション 54　α	1		春学期	平倉　菜摘子	春学期	金	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 55　α	1		春学期	トクマ　ウォン	春学期	木	2時限	1040	1220
	英語上級コミュニケーション 56　α	1		春学期	トクマ　ウォン	春学期	水	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 57　α	1		春学期	伊藤　健一郎	春学期	木	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 58　α	1		【休講】						
	英語上級コミュニケーション 59　α	1		春学期	河内山　晶子	春学期	水	1時限	850	1030
	英語上級コミュニケーション 60　α	1		春学期	松岡　里枝子	春学期	金	1時限	850	1030
	英語上級コミュニケーション 62　α	1		【休講】						
	英語上級コミュニケーション 63　α	1		春学期	虹林　慶	春学期	水	4時限	1505	1645

英 語

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	英語上級コミュニケーション 1 β	1		秋学期	新川 清治	秋学期	月	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 2 β	1		秋学期	オオガ・ボールドウィン ウィリアム	秋学期	水	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 3 β	1		秋学期	志野 文乃	秋学期	木	2時限	1040	1220
	英語上級コミュニケーション 4 β	1		秋学期	伊藤 尽	秋学期	金	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 5 β	1		【休講】						
	英語上級コミュニケーション 6 β	1		秋学期	守屋 亮	秋学期	金	5時限	1700	1840
	英語上級コミュニケーション 8 β	1		秋学期	相原 雅子	秋学期	水	1時限	850	1030
	英語上級コミュニケーション 9 β	1		秋学期	宮﨑 瑞之	秋学期	土	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 10 β	1		秋学期	矢野 磯乃	秋学期	火	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 12 β	1		秋学期	新井 巧磨	秋学期	金	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 13 β	1		秋学期	マスワナ 紗矢子	秋学期	火	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 14 β	1		秋学期	伏野 久美子	秋学期	金	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 18 β	1		秋学期	三好 力	秋学期	水	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 20 β	1		秋学期	宮﨑 瑞之	秋学期	火	5時限	1700	1840
	英語上級コミュニケーション 23 β	1		秋学期	小川 喜正	秋学期	月	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 25 β	1		秋学期	バックハウス ベート	秋学期	火	1時限	850	1030
	英語上級コミュニケーション 29 β	1		秋学期	市川 純	秋学期	月	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 32 β	1		秋学期	小宮山 貴教	秋学期	金	2時限	1040	1220
	英語上級コミュニケーション 33 β	1		秋学期	スタナム マシュー ジェイムズ	秋学期	金	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 34 β	1		秋学期	寺澤 由紀子	秋学期	金	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 37 β	1		秋学期	伊藤 健一郎	秋学期	木	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 39 β	1		秋学期	伊藤 尽	秋学期	金	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 40 β	1		秋学期	ジェームズ アンドリュー スタンレー	秋学期	月	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 41 β	1		秋学期						
	英語上級コミュニケーション 43 β	1		秋学期	ジェームズ アンドリュー スタンレー	秋学期	月	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 44 β	1		秋学期	河内山 晶子	秋学期	水	2時限	1040	1220
	英語上級コミュニケーション 47 β	1		秋学期	土屋 慶子	秋学期	火	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 48 β	1		秋学期	金森 強	秋学期	金	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 49 β	1		秋学期	伏野 久美子	秋学期	金	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 50 β	1		秋学期	増井 志津代	秋学期	木	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 51 β	1		秋学期	スタナム マシュー ジェイムズ	秋学期	金	5時限	1700	1840
	英語上級コミュニケーション 52 β	1		秋学期	ポッペ・クレメンス	秋学期	水	2時限	1040	1220
	英語上級コミュニケーション 53 β	1		秋学期	フェアバンクス 香織	秋学期	月	1時限	850	1030
	英語上級コミュニケーション 54 β	1		秋学期	平倉 菜摘子	秋学期	金	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 55 β	1		秋学期	トクマ ウォン	秋学期	木	2時限	1040	1220
	英語上級コミュニケーション 56 β	1		秋学期	トクマ ウォン	秋学期	水	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 57 β	1		秋学期	伊藤 健一郎	秋学期	木	3時限	1310	1450
	英語上級コミュニケーション 58 β	1		秋学期	田ノ口 正悟	秋学期	水	4時限	1505	1645
	英語上級コミュニケーション 59 β	1		秋学期	河内山 晶子	秋学期	水	1時限	850	1030
	英語上級コミュニケーション 60 β	1		秋学期	松岡 里枝子	秋学期	金	1時限	850	1030
	英語上級コミュニケーション 62 β	1		【休講】						
	英語上級コミュニケーション 63 β	1		秋学期	小川 喜正	秋学期	月	2時限	1040	1220
	英語上級コミュニケーション 64 β	1		秋学期	伏野 久美子	秋学期	金	2時限	1040	1220

※2018年度より基礎充実英語を除く一般英語科目が半期化されましたが、2017年以前に修得済みの一般英語科目との前提条件はありません。2017年以前に修得した科目であっても再度履修できます。

ドイツ語

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	ドイツ語の基礎	4	A	【休講】						
			B	通年	髙木　葉子	通年	月	2時限	1040	1220
					髙木　葉子	通年	木	1時限	0850	1030
			C	通年	眞岩　啓子	通年	金	2時限	1040	1220
					眞岩　啓子	通年	火	1時限	0850	1030
			D	通年	眞岩　啓子	通年	月	1時限	0850	1030
					眞岩　啓子	通年	木	2時限	1040	1220
			E	通年	上村　敏郎	通年	水	2時限	1040	1220
					上村　敏郎	通年	金	1時限	0850	1030
			F	通年	関根　裕子	通年	水	1時限	0850	1030
					関根　裕子	通年	金	2時限	1040	1220
			G	通年	秋野　有紀	通年	月	1時限	0850	1030
					秋野　有紀	通年	木	2時限	1040	1220
			H	通年	眞岩　啓子	通年	木	1時限	0850	1030
					眞岩　啓子	通年	月	2時限	1040	1220
	ドイツ語のコミュニケーションの基礎	2	A	【休講】						
			B	通年	J・バルチュ	通年	土	1時限	0850	1030
			C	通年	J・バルチュ	通年	水	1時限	0850	1030
			D	通年	J・バルチュ	通年	火	1時限	0850	1030
			E	【休講】						
			F	【休講】						
			G	【休講】						
			H	通年	J・バルチュ	通年	月	5時限	1700	1840
2～4	ドイツ語演習I1（文化の諸相）	2	A	春学期	クラウス　マヌエル　フィリップ	春学期	火	2時限	1040	1220
			B	春学期	髙木　葉子	春学期	木	2時限	1040	1220
	ドイツ語演習I2（文学テクストを読む）	2		春学期	上村　敏郎	春学期	金	2時限	1040	1220
	ツールとしてのドイツ語I	2	A	春学期	J・バルチュ	春学期	水	2時限	1040	1220
			B	【休講】						
	ドイツ語演習II1（文化の諸相）	2		秋学期	秋野　有紀	秋学期	月	2時限	1040	1220
	ドイツ語演習II2（文化の諸相）	2		秋学期	クラウス　マヌエル　フィリップ	秋学期	火	2時限	1040	1220
	ツールとしてのドイツ語II	2	A	秋学期	J・バルチュ	秋学期	水	2時限	1040	1220
			B	【休講】						
3～4	ドイツ語演習III（言語を知る）	2		春学期	秋野　有紀	春学期	木	1時限	0850	1030
	ツールとしてのドイツ語III	2		春学期	関根　裕子	春学期	水	2時限	1040	1220
	ドイツ語演習IV（文化の諸相）	2		秋学期	上村　敏郎	秋学期	金	2時限	1040	1220
	ツールとしてのドイツ語IV	2		秋学期	J・バルチュ	秋学期	木	4時限	1505	1645
4	ツールとしてのドイツ語V	2		春学期	J・バルチュ	春学期	金	5時限	1700	1840

※「ドイツ語の基礎」は、1つの組に授業が週2回あります。
※「ドイツ語演習Ⅰ～Ⅳ」を履修するためには「ドイツ語の基礎」の単位を修得していなければなりません。
※「ツールとしてのドイツ語Ⅰ～Ⅴ」を履修するためには「ドイツ語の基礎」及び「ドイツ語のコミュニケーションの基礎」の単位を修得していなければなりません。
※「ドイツ語演習」「ツールとしてのドイツ語」のⅡレベル以上の科目は各自のレベルに合わせて履修してください。
※ 複合文化学科の方が「ドイツ語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのドイツ語Ⅰ～Ⅱ」を履修した場合、専門必修科目となり、「ツールとしてのドイツ語Ⅲ～Ⅴ」を履修した場合、専門選択科目となります。
※複合文化学科の方が「ドイツ語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのドイツ語Ⅰ～Ⅴ」を履修する場合、以下の前提条件があります。
　Ⅱレベルを履修するにはⅠレベルを修得済みであること。
　Ⅲレベルを履修するにはⅡレベルを修得済みであること。
　Ⅳレベルを履修するにはⅢレベルを修得済みであること。
　Ⅴレベルを履修するにはⅣレベルを修得済みであること。

フランス語

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	フランス語の基礎	4	A	通年	竹田　千穂	通年	月	1時限	0850	1030
					竹田　千穂	通年	木	2時限	1040	1220
			B	【休講】						
			C	通年	岡本　健	通年	月	1時限	0850	1030
					三宅　京子	通年	木	2時限	1040	1220
			D	【休講】						
			E	通年	丸川　誠司	通年	月	2時限	1040	1220
					丸川　誠司	通年	木	1時限	0850	1030
			F	通年	野澤　丈二	通年	水	1時限	0850	1030
					野澤　丈二	通年	金	2時限	1040	1220
			G	通年	竹田　千穂	通年	水	1時限	0850	1030
					片山　幹生	通年	金	2時限	1040	1220
			H	通年	福田　育弘	通年	水	2時限	1040	1220
					福田　育弘	通年	金	1時限	0850	1030
	フランス語のコミュニケーションの基礎	2	A	通年	ヴァンシンテヤン　カティ	通年	月	1時限	0850	1030
			B	通年	クロズ・山口　エリアンヌ	通年	月	5時限	1700	1840
			C	通年	伊東　イザベル	通年	水	1時限	0850	1030
			D	通年	クロズ・山口　エリアンヌ	通年	火	5時限	1700	1840
			E	【休講】						
			F	通年	フェノ　マルタン	通年	木	5時限	1700	1840
			G	【休講】						
			H	【休講】						
2～4	フランス語演習I1（文化の諸相）	2	A	春学期	福田　育弘	春学期	木	2時限	1040	1220
			B	春学期	竹田　千穂	春学期	水	2時限	1040	1220
	フランス語演習I2（文学テクストを読む）	2		春学期	ル・ルー清野　ブレンダン	春学期	月	2時限	1040	1220
	ツールとしてのフランス語I	2	A	春学期	ヴァンシンテヤン　カティ	春学期	月	2時限	1040	1220
			B	春学期	F・ルーセル	春学期	火	2時限	1040	1220
	フランス語演習II1（文化の諸相）	2		秋学期	山根　祐佳	秋学期	金	2時限	1040	1220
	フランス語演習II2（文学テクストを読む）	2		秋学期	野澤　丈二	秋学期	火	2時限	1040	1220
	ツールとしてのフランス語II	2	A	秋学期	ヴァンシンテヤン　カティ	秋学期	月	2時限	1040	1220
			B	秋学期	F・ルーセル	秋学期	火	2時限	1040	1220
3～4	フランス語演習III（文化の諸相）	2		春学期	福田　育弘	春学期	金	2時限	1040	1220
	ツールとしてのフランス語III	2		春学期	丸川　誠司	春学期	火	2時限	1040	1220
	フランス語演習IV（言語を知る）	2		秋学期	福島　知己	秋学期	火	2時限	1040	1220
	ツールとしてのフランス語IV	2		秋学期	伊東　イザベル	秋学期	水	2時限	1040	1220
4	ツールとしてのフランス語V	2		春学期	伊東　イザベル	春学期	水	2時限	1040	1220

※「フランス語の基礎」は、1つの組に授業が週2回あります。
※「フランス語演習Ⅰ～Ⅳ」を履修するためには「フランス語の基礎」の単位を修得していなければなりません。
※「ツールとしてのフランス語Ⅰ～Ⅴ」を履修するためには「フランス語の基礎」及び「フランス語のコミュニケーションの基礎」の単位を修得していなければなりません。
※「フランス語演習」「ツールとしてのフランス語」のⅡレベル以上の科目は各自のレベルに合わせて履修してください。
※ 複合文化学科の方が「フランス語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのフランス語Ⅰ～Ⅱ」を履修した場合、専門必修科目となり、「ツールとしてのフランス語Ⅲ～Ⅴ」を履修した場合、専門選択科目となります。
※複合文化学科の方が「フランス語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのフランス語Ⅰ～Ⅴ」を履修する場合、以下の前提条件があります。
　Ⅱレベルを履修するにはⅠレベルを修得済みであること。
　Ⅲレベルを履修するにはⅡレベルを修得済みであること。
　Ⅳレベルを履修するにはⅢレベルを修得済みであること。
　Ⅴレベルを履修するにはⅣレベルを修得済みであること。

中国語

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	中国語の基礎	4	A	通年	西　暢子	通年	木	2時限	1040	1220
					中原　裕貴	通年	月	1時限	0850	1030
			B	通年	張　剣波	通年	木	1時限	0850	1030
					村上　公一	通年	月	2時限	1040	1220
			C	通年	西　暢子	通年	金	1時限	0850	1030
					李　雪	通年	水	2時限	1040	1220
			D	通年	中原　裕貴	通年	月	2時限	1040	1220
					清水　賢一郎	通年	木	1時限	0850	1030
			E	通年	張　剣波	通年	火	1時限	0850	1030
					松尾　幸忠	通年	土	2時限	1040	1220
			F	通年	氷野　善寛	通年	火	1時限	0850	1030
					廉　舒	通年	土	2時限	1040	1220
			G	通年	張　剣波	通年	火	2時限	1040	1220
					松尾　幸忠	通年	土	1時限	0850	1030
			H	通年	氷野　善寛	通年	火	2時限	1040	1220
					李　棋	通年	土	1時限	0850	1030
			I	通年	山村　敏江	通年	水	1時限	0850	1030
					温　琳	通年	金	2時限	1040	1220
			J	通年	大野　広之	通年	水	1時限	0850	1030
					中原　裕貴	通年	金	2時限	1040	1220
			K	通年	土屋　文子	通年	水	2時限	1040	1220
					中原　裕貴	通年	金	1時限	0850	1030
			L	通年	山村　敏江	通年	水	2時限	1040	1220
					温　琳	通年	金	1時限	0850	1030
			M	通年	馮　超鴻	通年	月	1時限	0850	1030
					川田　健	通年	木	2時限	1040	1220
			N	通年	川田　健	通年	木	1時限	0850	1030
					馮　超鴻	通年	月	2時限	1040	1220
			O	通年	梅田　雅子	通年	火	1時限	0850	1030
					李　棋	通年	土	2時限	1040	1220
	中国語のコミュニケーションの基礎	2	A	通年	梅田　雅子	通年	金	5時限	1700	1840
			B	通年	土屋　文子	通年	水	1時限	0850	1030
			C	通年	馮　超鴻	通年	火	4時限	1505	1645
			D	通年	李　雪	通年	月	5時限	1700	1840
			E	通年	稲葉　明子	通年	水	5時限	1700	1840
			F	通年	稲葉　明子	通年	水	4時限	1505	1645
			G	通年	馮　超鴻	通年	火	5時限	1700	1840
			H	通年	山村　敏江	通年	水	4時限	1505	1645
			I	通年	李　雪	通年	月	4時限	1505	1645
			J	通年	廉　舒	通年	土	1時限	0850	1030
			K	通年	西　暢子	通年	木	1時限	0850	1030
			L	通年	村上　公一	通年	月	1時限	0850	1030
			M	通年	李　雪	通年	水	1時限	0850	1030
			N	通年	廉　舒	通年	土	3時限	1310	1450
2～4	中国語演習I1（言語を知る）	2	A	【休講】						
			B	春学期	大野　広之	春学期	水	2時限	1040	1220
			C	春学期	松尾　幸忠	春学期	月	1時限	0850	1030
	中国語演習I2（文学テクストを読む）	2	A	春学期	梅田　雅子	春学期	火	2時限	1040	1220
			B	春学期	清水　賢一郎	春学期	木	2時限	1040	1220
	ツールとしての中国語I	2	A	春学期	西　暢子	春学期	金	2時限	1040	1220
			B	春学期	王　棟	春学期	月	2時限	1040	1220
			C	春学期	村上　公一	春学期	火	2時限	1040	1220
	ツールとしての中国語I	2	D	春学期	張　剣波	春学期	木	2時限	1040	1220
	中国語演習II1（言語を知る）	2	A	【休講】						
			B	秋学期	大野　広之	秋学期	水	2時限	1040	1220
			C	秋学期	松尾　幸忠	秋学期	月	1時限	0850	1030
	中国語演習II2（文学テクストを読む）	2	A	秋学期	梅田　雅子	秋学期	火	2時限	1040	1220
			B	秋学期	清水　賢一郎	秋学期	木	2時限	1040	1220
	ツールとしての中国語II	2	A	秋学期	西　暢子	秋学期	金	2時限	1040	1220
			B	秋学期	王　棟	秋学期	月	2時限	1040	1220
			C	秋学期	村上　公一	秋学期	火	2時限	1040	1220

中国語

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
3～4	中国語演習Ⅲ（文化の諸相）	2	A	春学期	清水　賢一郎	春学期	水	2時限	1040	1220
			B	春学期	松尾　幸忠	春学期	月	2時限	1040	1220
	ツールとしての中国語Ⅲ	2		春学期	胡　杰	春学期	金	2時限	1040	1220
	中国語演習Ⅳ（文化の諸相）	2	A	秋学期	清水　賢一郎	秋学期	水	2時限	1040	1220
			B	秋学期	松尾　幸忠	秋学期	月	2時限	1040	1220
	ツールとしての中国語Ⅳ	2		秋学期	胡　杰	秋学期	金	2時限	1040	1220
4	ツールとしての中国語Ⅴ	2		春学期	江　秀華	春学期	水	3時限	1310	1450

※「中国語の基礎」は、1つの組に授業が週2回あります。
※「中国語演習Ⅰ～Ⅳ」を履修するためには「中国語の基礎」の単位を修得していなければなりません。
※「ツールとしての中国語Ⅰ～Ⅴ」を履修するためには「中国語の基礎」及び「中国語のコミュニケーションの基礎」の単位を修得していなければなりません。
※「中国語演習」「ツールとしての中国語」のⅡレベル以上の科目は各自のレベルに合わせて履修してください。
※ 複合文化学科の方が「中国語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしての中国語Ⅰ～Ⅱ」を履修した場合、専門必修科目となり、「ツールとしての中国語Ⅲ～Ⅴ」を履修した場合、専門選択科目となります。
※複合文化学科の方が「中国語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしての中国語Ⅰ～Ⅴ」を履修する場合、以下の前提条件があります。
　Ⅱレベルを履修するにはⅠレベルを修得済みであること。
　Ⅲレベルを履修するにはⅡレベルを修得済みであること。
　Ⅳレベルを履修するにはⅢレベルを修得済みであること。
　Ⅴレベルを履修するにはⅣレベルを修得済みであること。

ロシア語

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	ロシア語の基礎	4	A	通年	鴻野　わか菜	通年	木	2時限	1040	1220
					粕谷　典子	通年	月	1時限	0850	1030
			B	通年	生熊　源一	通年	火	1時限	0850	1030
					鴻野　わか菜	通年	金	2時限	1040	1220
	ロシア語のコミュニケーションの基礎	2	A	通年	ウジーニン　エフゲーニー	通年	金	1時限	0850	1030
			B	通年	ヴァレリー・グレチュコ	通年	金	5時限	1700	1840
2～4	ロシア語演習I1（文化の諸相）	2		春学期	粕谷　典子	春学期	月	2時限	1040	1220
	ロシア語演習I2（言語を知る）	2		春学期	鴻野　わか菜	春学期	火	2時限	1040	1220
	ツールとしてのロシア語I	2		春学期	ウジーニン　エフゲーニー	春学期	金	2時限	1040	1220
	ロシア語演習II1（文化の諸相）	2		秋学期	粕谷　典子	秋学期	月	2時限	1040	1220
	ロシア語演習II2（文化の諸相）	2		秋学期	鴻野　わか菜	秋学期	火	2時限	1040	1220
	ツールとしてのロシア語II	2		秋学期	守屋　愛	秋学期	金	2時限	1040	1220
3～4	ロシア語演習III（文化の諸相）	2		春学期	奈倉　有里	春学期	水	2時限	1040	1220
	ツールとしてのロシア語III	2		春学期	守屋　愛	春学期	金	2時限	1040	1220
	ロシア語演習IV（文学テクストを読む）	2		秋学期	奈倉　有里	秋学期	水	2時限	1040	1220
	ツールとしてのロシア語IV	2		秋学期	ウジーニン　エフゲーニー	秋学期	金	2時限	1040	1220
4	ツールとしてのロシア語V	2		秋学期	鴻野　わか菜	秋学期	木	1時限	0850	1030

※「ロシア語の基礎」は、1つの組に授業が週2回あります。
※「ロシア語演習Ⅰ～Ⅳ」を履修するためには「ロシア語の基礎」の単位を修得していなければなりません。
※「ツールとしてのロシア語Ⅰ～Ⅴ」を履修するためには「ロシア語の基礎」及び「ロシア語のコミュニケーションの基礎」の単位を修得していなければなりません。
※「ロシア語演習」「ツールとしてのロシア語」のⅡレベル以上の科目は各自のレベルに合わせて履修してください。
※ 複合文化学科の方が「ロシア語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのロシア語Ⅰ～Ⅱ」を履修した場合、専門必修科目となり、「ツールとしてのロシア語Ⅲ～Ⅴ」を履修した場合、専門選択科目となります。
※複合文化学科の方が「ロシア語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのロシア語Ⅰ～Ⅴ」を履修する場合、以下の前提条件があります。
　Ⅱレベルを履修するにはⅠレベルを修得済みであること。
　Ⅲレベルを履修するにはⅡレベルを修得済みであること。
　Ⅳレベルを履修するにはⅢレベルを修得済みであること。
　Ⅴレベルを履修するにはⅣレベルを修得済みであること。

スペイン語

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	スペイン語の基礎	4	A	【休講】						
			B	通年	後藤　雄介	通年	木	1時限	0850	1030
					後藤　雄介	通年	月	2時限	1040	1220
			C	通年	藤本　愛	通年	木	1時限	0850	1030
					藤本　愛	通年	月	2時限	1040	1220
			D	通年	増山　久美	通年	火	1時限	0850	1030
					増山　久美	通年	土	2時限	1040	1220
			E	通年	金澤　直也	通年	水	2時限	1040	1220
					金澤　直也	通年	金	1時限	0850	1030
			F	通年	佐藤　麻里乃	通年	水	2時限	1040	1220
					佐藤　麻里乃	通年	金	1時限	0850	1030
			G	通年	福田　大治	通年	火	1時限	0850	1030
					福田　大治	通年	土	2時限	1040	1220
			H	通年	田中　理恵子	通年	火	1時限	0850	1030
					田中　理恵子	通年	土	2時限	1040	1220
			I	通年	高際　裕哉	通年	水	2時限	1040	1220
					高際　裕哉	通年	金	1時限	0850	1030
			J	通年	高畠　理恵	通年	月	2時限	1040	1220
					高畠　理恵	通年	木	1時限	0850	1030
	スペイン語のコミュニケーションの基礎	2	A	通年	J・O・セグ	通年	金	5時限	1700	1840
			B	通年	J・O・セグ	通年	金	6時限	1855	2035
			C	通年	M・S・アロンソ	通年	木	5時限	1700	1840
			D	通年	M・S・アロンソ	通年	木	4時限	1505	1645
			E	通年	N・ロペス	通年	水	5時限	1700	1840
			F	通年	N・ロペス	通年	水	4時限	1505	1645
			G	【休講】						
			H	通年	J・C・ブルゴス	通年	水	1時限	0850	1030
			I	通年	I・オスノ	通年	木	1時限	0850	1030
2～4	スペイン語演習I1（文化の諸相）	2	A	春学期	後藤　雄介	春学期	火	2時限	1040	1220
			B	春学期	藤本　愛	春学期	金	2時限	1040	1220
			C	【休講】						
	スペイン語演習I2（言語を知る）	2		春学期	高澤　美由紀	春学期	木	1時限	0850	1030
	ツールとしてのスペイン語I	2	A	春学期	J・O・セグ	春学期	火	1時限	0850	1030
			B	春学期	J・C・ブルゴス	春学期	水	2時限	1040	1220
			C	春学期	I・オスノ	春学期	木	2時限	1040	1220
	スペイン語演習II1（文化の諸相）	2		秋学期	田中　理恵子	秋学期	火	2時限	1040	1220
	スペイン語演習II2（言語を知る）	2		秋学期	高澤　美由紀	秋学期	木	1時限	0850	1030
	ツールとしてのスペイン語II	2	A	秋学期	高畠　理恵	秋学期	月	1時限	0850	1030
			B	秋学期	佐藤　麻里乃	秋学期	金	2時限	1040	1220
			C	【休講】						
3～4	スペイン語演習III（文学テクストを読む）	2		春学期	後藤　雄介	春学期	木	2時限	1040	1220
	ツールとしてのスペイン語III	2		春学期	高畠　理恵	春学期	月	1時限	0850	1030
	スペイン語演習IV（文学テクストを読む）	2		秋学期	久野　量一	秋学期	火	2時限	1040	1220
	ツールとしてのスペイン語IV	2		秋学期	J・C・ブルゴス	秋学期	水	2時限	1040	1220
4	ツールとしてのスペイン語V	2		春学期	J・O・セグ	春学期	火	2時限	1040	1220

※「スペイン語の基礎」は、1つの組に授業が週2回あります。
※「スペイン語演習Ⅰ～Ⅳ」を履修するためには「スペイン語の基礎」の単位を修得していなければなりません。
※「ツールとしてのスペイン語Ⅰ～Ⅴ」を履修するためには「スペイン語の基礎」及び「スペイン語のコミュニケーションの基礎」の単位を修得していなければなりません。
※「スペイン語演習」「ツールとしてのスペイン語」のⅡレベル以上の科目は各自のレベルに合わせて履修してください。
※ 複合文化学科の方が「スペイン語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのスペイン語Ⅰ～Ⅱ」を履修した場合、専門必修科目となり、「ツールとしてのスペイン語Ⅲ～Ⅴ」を履修した場合、専門選択科目となります。
※複合文化学科の方が「スペイン語演習Ⅰ～Ⅳ」「ツールとしてのスペイン語Ⅰ～Ⅴ」を履修する場合、以下の前提条件があります。
　Ⅱレベルを履修するにはⅠレベルを修得済みであること。
　Ⅲレベルを履修するにはⅡレベルを修得済みであること。
　Ⅳレベルを履修するにはⅢレベルを修得済みであること。
　Ⅴレベルを履修するにはⅣレベルを修得済みであること。

授業時間割
【教育学科教育学専攻教育学専修】

１．廃止・新設の専門教育科目（旧科目を履修済の方は、新科目を履修できません）

（新）科目	←　（旧）科目	変更年度
ー	肢体不自由者の心理・生理・病理Ⅰ	2025年度
ー	特別支援教育におけるIT実践演習	2022年度
政治学Ⅰ※	ー	2019年度
政治学ⅠⅠ※	ー	
法律学※	ー	
社会学（教職）※	ー	
経済学Ⅰ※	ー	
経済学ⅠⅠ※	ー	
現代の教育課題Ⅰ	教育学プレゼミⅢ	2018年度
現代の教育課題Ⅱ		
現代の教育課題Ⅲ	教育学プレゼミⅣ	
現代の教育課題Ⅳ		
教育学概論Ⅰ　A	教育学概論　A	2017年度
教育学概論Ⅱ　A		
教育学研究法Ⅰ	教育学プレゼミⅠ	
教育学研究法Ⅱ		
教育学研究法Ⅲ	教育学プレゼミⅡ	
教育学研究法Ⅳ		
社会教育課題研究Ⅰ－１	社会教育課題研究Ⅰ	
社会教育課題研究Ⅰ－２		
社会教育課題研究Ⅰ－１	社会教育課題研究Ⅱ	
社会教育課題研究Ⅰ－２		
教育心理学概説Ⅰ	教育心理学概説	2016年度
教育心理学概説Ⅱ		
ー	道徳・シティズンシップ教育	

※教科に関する科目です。教員免許取得を目指す方のみ履修してください。

２．科目名が変更になった専門選択科目（旧科目を履修済みの方は、新科目を履修できません。）

（新）科目	←　（旧）科目	変更年度
知的障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	発達障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	2024年度
知的障害者教育(障害者・障害児心理学)	発達障害者教育(障害者・障害児心理学)	
発達障害者教育(障害者・障害児心理学)	発達障害者教育	2021年度
教育制度概論	教育学概論ⅠⅠ	2019年度
教育思想研究１	教育思想研究	2016年度
特別支援教育総論Ⅰ	障害児教育総論Ⅰ	2014年度
特別支援教育総論Ⅱ	障害児教育総論Ⅱ	
特別支援教育総論Ⅲ	障害児教育総論Ⅲ	
教育社会学テーマ研究	教育社会学テーマ研究Ⅰ	
学校教育活動論	教育社会学テーマ研究Ⅱ	

３．時間割の変更情報について

担当教員の都合等で時間割が変更される場合があります。
科目登録申請の際には、教育学部ホームページに掲載される「正誤表」を併せて確認してください。
https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/
（早稲田大学教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞授業ガイド）

教育学専攻教育学専修・専門必修科目

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1	日本教育史I	2		春学期	三上　敦史	春学期	水	5時限	1700	1840
	日本教育史II	2		秋学期	柏木　敦	秋学期	水	2時限	1040	1220
	教育学研究法I	1		春クォーター	坂倉　裕治	春クォーター	木	1時限	0850	1030
	教育学研究法II	1		夏クォーター	三尾　忠男	夏クォーター	木	1時限	0850	1030
	教育学研究法III	1		秋クォーター	藤本　啓寛	秋クォーター	月	4時限	1505	1645
	教育学研究法IV	1		冬クォーター	野口　穂高	冬クォーター	木	1時限	0850	1030
	教育学概論I	2	A	春学期	藤井　千春	春学期	月	2時限	1040	1220
	教育制度概論	2		秋学期	鴨川　明子	秋学期	月	5時限	1700	1840
2	西洋教育史I	2		春学期	大川　洋	春学期	木	5時限	1700	1840
	西洋教育史II	2		秋学期	藤井　千春	秋学期	月	2時限	1040	1220
	現代の教育課題I	1		春クォーター	鴨川　明子	春クォーター	木	3時限	1310	1450
	現代の教育課題II	1		夏クォーター	阿内　春生	夏クォーター	木	3時限	1310	1450
	現代の教育課題III	1		冬クォーター	三上　敦史	冬クォーター	木	3時限	1310	1450
	現代の教育課題IV	1		秋クォーター	根津　朋実	秋クォーター	木	3時限	1310	1450
	教育心理学概説I	2		春学期	中本　敬子	春学期	金	4時限	1505	1645
	教育心理学概説II	2		秋学期	河村　茂雄	秋学期	火	2時限	1040	1220
	教育社会学	2	A	春学期	仁平　典宏	春学期	火	2時限	1040	1220
3	教育行政学	2		春学期	阿内　春生	春学期	水	3時限	1310	1450
	比較教育学	2		秋学期	鴨川　明子	秋学期	月	4時限	1505	1645
	教育哲学	2		春学期	坂倉　裕治	春学期	木	4時限	1505	1645
	教育課程論	2		春学期	根津　朋実	春学期	水	2時限	1040	1220
	教育方法学	2		秋学期	三尾　忠男	秋学期	木	4時限	1505	1645
	教育学演習I	4	A	通年	阿内　春生	通年	木	2時限	1040	1220
			B	通年	鴨川　明子	通年	木	2時限	1040	1220
			C	通年	三上　敦史	通年	木	2時限	1040	1220
			D	通年	藤井　千春	通年	木	2時限	1040	1220
			E	通年	坂倉　裕治	通年	木	2時限	1040	1220
			F	通年	野口　穂高	通年	木	2時限	1040	1220
			G	通年	菊地　栄治	通年	木	2時限	1040	1220
			I	通年	根津　朋実	通年	木	2時限	1040	1220
			J	通年	三尾　忠男	通年	木	2時限	1040	1220
4	教育学演習II	4	A	通年	阿内　春生	通年	木	2時限	1040	1220
			B	通年	鴨川　明子	通年	木	2時限	1040	1220
			C	通年	三上　敦史	通年	木	2時限	1040	1220
			D	通年	藤井　千春	通年	木	2時限	1040	1220
			E	通年	坂倉　裕治	通年	木	2時限	1040	1220
			F	通年	野口　穂高	通年	木	2時限	1040	1220
			G	通年	菊地　栄治	通年	木	2時限	1040	1220
			I	通年	根津　朋実	通年	木	2時限	1040	1220
			J	通年	三尾　忠男	通年	木	2時限	1040	1220
	卒業論文	8		通年		通年	無	その他		

教育学専攻教育学専修・専門選択科目（主選択）

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
2〜4	生徒指導研究	2		秋学期	中井　大介	秋学期	水	2時限	1040	1220
	教育哲学研究1	2		秋学期	坂倉　裕治	秋学期	水	3時限	1310	1450
	教育哲学研究2	2		春学期	池田　全之	春学期	金	2時限	1040	1220
	日本教育史研究I	2		秋学期	大岡　紀理子	秋学期	水	4時限	1505	1645
					ママトクロヴァ　ニルファル	秋学期	水	4時限	1505	1645
	日本教育史研究II	2		春学期	三上　敦史	春学期	木	5時限	1700	1840
	教材開発論	2		春学期	大村　龍太郎	春学期	日	7時限	2045	2135
	カリキュラム研究	2		秋学期	緩利　誠	秋学期	金	1時限	0850	1030
	教育思想研究1	2		春学期	藤井　千春	春学期	月	4時限	1505	1645
	教育思想研究2	2		秋学期	鵜海　未祐子	秋学期	月	5時限	1700	1840
	教育法研究	2		春学期	谷口　聡	春学期	金	2時限	1040	1220
	スクールマネイジメント研究	2		春学期	阿内　春生	春学期	木	1時限	0850	1030
	教育政策・教育計画論	2		春学期	下岡　有希子	春学期	土	4時限	1505	1645
	教育行財政研究	2		春学期	小野　まどか	春学期	金	5時限	1700	1840
	比較・国際教育研究I	2		春学期	日暮　トモ子	春学期	火	4時限	1505	1645
	比較・国際教育研究II	2		秋学期	立花　有希	秋学期	木	1時限	0850	1030
	教育社会学テーマ研究	2		【休講】						
	学校教育活動論	2		秋学期	野口　穂高	秋学期	月	4時限	1505	1645
	教師教育論	2		【休講】						
	教育理論原典講読	2		秋学期	阿内　春生	秋学期	水	2時限	1040	1220
	教育情報学	2		秋学期	三尾　忠男	秋学期	水	2時限	1040	1220
	国際理解教育	2		秋学期	須藤　玲	秋学期	火	5時限	1700	1840

教育学専攻教育学専修・専門選択科目（副選択）

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	成人教育論	2		【休講】						
	青少年教育論	2		秋学期	矢口　徹也	秋学期	水	4時限	1505	1645
	家庭教育論	2		【休講】						
	女性教育論	2		【休講】						
	障害者教育原論(障害者・障害児心理学)	2		春学期	梅永　雄二	春学期	水	3時限	1310	1450
	知的障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	2		春学期	坂爪　一幸	春学期	水	4時限	1505	1645
	肢体不自由者の心理・生理・病理II	2		秋学期	米山　明	秋学期	木	2時限	1040	1220
	病弱者の心理・生理・病理	2		春学期	加藤　洋一	春学期	金	1時限	0850	1030
	知的障害者教育(障害者・障害児心理学)	2		春学期	本田　恵子	春学期	金	1時限	0850	1030
	肢体不自由者教育	2		夏季集中	北川　貴章	夏季集中	無	その他		
	病弱者教育	2		夏季集中	土屋　忠之	夏季集中	無	その他		
	知的障害教育論I	2		春学期	梅永　雄二	春学期	水	4時限	1505	1645
	知的障害教育論II	2		秋学期	梅永　雄二	秋学期	水	4時限	1505	1645
	重複障害・LD等教育総論	2		秋学期	齊藤　宇開	秋学期	火	6時限	1855	2035
	特別支援教育総論I	2		秋学期	梅永　雄二	秋学期	水	3時限	1310	1450
	特別支援教育総論II	1		夏季集中	佐島　毅	夏季集中	無	その他		
	特別支援教育総論III	1		夏季集中	長南　浩人	夏季集中	無	その他		
	教育リテラシー	2		秋学期	大泉　義一	秋学期	火	4時限	1505	1645
					岡本　隆司	秋学期	火	4時限	1505	1645
					折井　麻美子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					金井　景子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					熊谷　善彰	秋学期	火	4時限	1505	1645
					桑子　利男	秋学期	火	4時限	1505	1645
					幸田　国広	秋学期	火	4時限	1505	1645
					髙橋　あつ子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					田辺　智子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					福田　育弘	秋学期	火	4時限	1505	1645
					本田　恵子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					松木　正恵	秋学期	火	4時限	1505	1645
					宮川　健	秋学期	火	4時限	1505	1645
					山内　昌和	秋学期	火	4時限	1505	1645
	指導者養成講座I（心理学的支援法）	2		夏ｸｫｰﾀｰ	岩谷　由起	夏ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					鈴村　眞理	夏ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					塚原　望	夏ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					本田　恵子	夏ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					渡邉　歩	夏ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
	倫理学概論	4		通年	平野　明彦	春学期	月	3時限	1310	1450
					小林　亜津子	秋学期	月	3時限	1310	1450
	哲学研究	4		通年	伊藤　功	春学期	月	2時限	1040	1220
					平野　明彦	秋学期	月	2時限	1040	1220
	社会教育課題研究I-1	2		【休講】						
	社会教育課題研究I-2	2		秋学期	太田　知彩	秋学期	木	5時限	1700	1840
	社会教育課題研究II-1	2		春学期	米村　健司	春学期	金	2時限	1040	1220
	社会教育課題研究II-2	2		【休講】						
	科学思想史I	2		春学期	篠田　真理子	春学期	月	3時限	1310	1450
	科学思想史II	2		秋学期	柿原　泰	秋学期	月	4時限	1505	1645
	文化人類学研究I	2		春学期	吉村　郊子	春学期	木	2時限	1040	1220
	文化人類学研究II	2		秋学期	吉村　郊子	秋学期	木	2時限	1040	1220
	古典語（ギリシャ）	4		通年	兼利　琢也	通年	金	4時限	1505	1645
	古典語（ラテン）	4		通年	兼利　琢也	通年	火	4時限	1505	1645
	宗教研究I	2	A	秋学期	鈴木　昇司	秋学期	火	3時限	1310	1450
			B	秋学期	鈴木　昇司	秋学期	水	3時限	1310	1450
	宗教研究II	2	A	春学期	阿部　善彦	春学期	火	3時限	1310	1450
			B	秋学期	阿部　善彦	秋学期	火	3時限	1310	1450
	生涯学習概論I	2	A	【休講】						
			B	春学期	松山　鮎子	春学期	木	4時限	1505	1645
	生涯学習概論II	2	A	【休講】						
			B	秋学期	長岡　智寿子	秋学期	月	2時限	1040	1220
	図書館概論	2	A	春学期	田辺　智子	春学期	無	ﾌﾙｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	0000	
			B	秋学期	田辺　智子	秋学期	無	ﾌﾙｵﾝﾃﾞﾏﾝﾄﾞ	0000	
	生涯スポーツ・レクリエーション論	2		春学期	小川　かをり	春学期	火	4時限	1505	1645
	博物館概論	2	A	春学期	齋藤　慎一	春学期	金	1時限	0850	1030
			B	秋学期	齋藤　慎一	秋学期	金	1時限	0850	1030

教育学専攻教育学専修・専門選択科目（副選択）

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
2～4	臨床心理学特論I（精神疾患とその治療）	4		【休講】						
	臨床心理学特論II（健康・医療心理学）	4		通年	宇佐見　和哉	通年	木	2時限	1040	1220
					宇佐美　尋子	通年	木	2時限	1040	1220
					笹原　信一朗	通年	木	2時限	1040	1220
					吉野　聡	通年	木	2時限	1040	1220
	臨床心理学特論III（司法・犯罪心理学）	4		通年	青木　佑太郎	通年	木	1時限	0850	1030
					本田　恵子	通年	木	1時限	0850	1030
					吉村　幸司	通年	木	1時限	0850	1030
	社会心理学特論I（産業・組織心理学）	4		【休講】						
	社会心理学特論II	4		通年	吉川　肇子	通年	月	4時限	1505	1645
	発達心理学特論I	4		通年	上淵　寿	通年	金	3時限	1310	1450
	実験心理学特論I（学習・言語心理学）	4		通年	飯田　成敏	通年	木	3時限	1310	1450
	教授・学習心理学	4		【休講】						
	家族理解と福祉工学	2		冬ｸｫｰﾀｰ	岩谷　由起	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					金森　克浩	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					小西　好彦	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					本田　恵子	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					松本　政悦	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
	政治学I　※1	2	A	春学期	土屋　彰久	春学期	土	4時限	1505	1645
			B	秋学期	土屋　彰久	秋学期	土	4時限	1505	1645
	政治学II　※1	2	A	春学期	面　一也	春学期	月	2時限	1040	1220
			B	秋学期	面　一也	秋学期	月	2時限	1040	1220
	法律学　※1	2	A	春学期	北山　雅昭	春学期	木	4時限	1505	1645
			B	秋学期	北山　雅昭	秋学期	木	4時限	1505	1645
	経済学I　※1	2	A	春学期	八木　尚志	春学期	水	6時限	1855	2035
			B	秋学期	八木　尚志	秋学期	水	5時限	1700	1840
	経済学II　※1	2	A	春学期	八木　尚志	春学期	水	5時限	1700	1840
			B	秋学期	八木　尚志	秋学期	水	6時限	1855	2035
	社会学（教職）　※1	2	A	春学期	鈴木　健之	春学期	木	5時限	1700	1840
			B	秋学期	鈴木　無二	秋学期	月	5時限	1700	1840
3～4	インクルーシブ教育における学級経営（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2		夏季集中	井芹　まい	夏季集中	無	その他		
					河村　昭博	夏季集中	無	その他		
					河村　茂雄	夏季集中	無	その他		
					熊谷　圭二郎	夏季集中	無	その他		
					齊藤　勝	夏季集中	無	その他		
	脳科学を活かしたインクルーシブ教育	2		秋学期	荒川　信行	秋学期	金	1時限	0850	1030
					藤井　ひとみ	秋学期	金	1時限	0850	1030
	私学における特別支援教育	2		冬季集中	一ノ瀬　秀司	冬季集中	無	その他		
					草間　浩一	冬季集中	無	その他		
					佐久間　道則	冬季集中	無	その他		
					髙橋　あつ子	冬季集中	無	その他		
	指導者養成講座II	2		夏季集中	鈴村　眞理	夏季集中	無	その他		
					本田　恵子	夏季集中	無	その他		
4	特別支援学校実習	3		通年	坂爪　一幸	通年	水	5時限	1700	1840

※1　これらの科目は教職用教科に関する科目です。教員免許取得を目指す方のみ履修するようにしてください。
※2　集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

授業時間割
【教育学科教育学専攻生涯教育学専修】

１．廃止・新設の専門教育科目（旧科目を履修済の方は、新科目を履修できません）

（新）科目	←　（旧）科目	変更年度
質的調査法III		2025年度
量的調査法III		
―	肢体不自由者の心理・生理・病理Ⅰ	
リカレント教育論Ⅳ（ダイバーシティ＆インクルージョン）	―	2024年度
質的調査法I	―	
質的調査法II	―	
テキストマイニング入門	―	
―	教育工学研究	
―	社会教育方法論　※	2023年度
―	特別支援教育におけるIT実践演習	2022年度
社会教育課題研究Ⅲ-1	―	2021年度
社会教育課題研究Ⅲ-2	―	
―	社会教育研究　※	
―	社会教育行財政Ⅰ	
生涯学習基礎演習	社会教育実習Ⅰ	2020年度
	社会教育実習Ⅱ	
現代社会と行政	行政学I	
行政活動と行政改革	行政学Ⅱ	
生涯学習支援論Ⅰ	―	
生涯学習支援論Ⅱ	―	
社会教育経営論Ⅰ	―	
社会教育経営論Ⅱ	―	
社会教育施設実習	―	
日本史Ⅰ		2019年度 ※「日本史Ⅰ」～「地誌Ⅱ」は教科に関する科目です。教員免許取得を目指す方のみ履修してください。
日本史Ⅱ		
外国史Ⅰ		
外国史Ⅱ		
外国史Ⅲ		
地理Ⅰ		
地理Ⅱ		
地理Ⅲ		
地誌Ⅰ		
地誌Ⅱ		
教育学概論Ⅰ　B	教育学概論　B	2017年度
教育の制度と経営		
社会教育演習Ⅰ－１	社会教育演習Ⅰ	
社会教育演習Ⅰ－２		
社会教育演習Ⅱ－１	社会教育演習Ⅱ	
社会教育演習Ⅱ－２		
社会教育行財政Ⅰ	社会教育行財政	
社会教育行財政Ⅱ		
社会教育課題研究Ⅰ－１	社会教育課題研究Ⅰ	
社会教育課題研究Ⅰ－２		
社会教育課題研究Ⅱ－１	社会教育課題研究Ⅱ	
社会教育課題研究Ⅱ－２		
教育心理学概説Ⅰ	教育心理学概説	2016年度
教育心理学概説Ⅱ		

※2019年度以前入学者の専門必修科目のため、単位未修得の場合は代替科目を科目登録し、教育学部事務所で手続きを行ってください。詳細は卒業要件のページをご確認ください。

２．科目区分が変更された専門教育科目

科目名	（新）区分	←　（旧）区分	変更年度
社会教育方法論 ※	専門選択	専門必修（３年）	2022年度

※2019年度以前入学者の3年必修から専門選択への区分変更に伴い、配当年次も3年次から1年次以上と変更になります。

３．科目名が変更になった専門教育科目（旧科目を履修済みの方は、新科目を履修できません）

（新）科目	←　（旧）科目	変更年度
リカレント教育論I（キャリアデザイン）	企業内教育	2025年度
リカレント教育論III（人的資源管理）	経営教育論	
知的障害者の心理・生理・病理（障害者・障害児心理学）	発達障害者の心理・生理・病理（障害者・障害児心理学）	2024年度
知的障害者教育（障害者・障害児心理学）	発達障害者教育（障害者・障害児心理学）	
発達障害者教育（障害者・障害児心理学）	発達障害者教育	2021年度

教育の制度と経営	教育学概論Ⅱ	2019年度
道徳教育の理論と実践	道徳教育研究	

４．時間割の変更情報について

担当教員の都合等で時間割が変更される場合があります。
科目登録申請の際には、教育学部ホームページに掲載される「正誤表」を併せて確認してください。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/
（早稲田大学教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞授業ガイド）

教育学専攻生涯教育学専修・専門必修科目

2020年度以降入学者

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1	教育学概論I	2	B	春学期	山本　正身	春学期	火	5時限	1700	1840
	教育の制度と経営	2	B	秋学期	藤本　啓寛	秋学期	月	5時限	1700	1840
	生涯学習基礎演習	2	A	春学期	田辺　智子	春学期	月	3時限	1310	1450
			B	春学期	松山　鮎子	春学期	月	3時限	1310	1450
			C	春学期	坂内　夏子	春学期	月	3時限	1310	1450
					万　静嫻	春学期	月	3時限	1310	1450
	生涯学習概論I	2	B	春学期	松山　鮎子	春学期	木	4時限	1505	1645
	生涯学習概論II	2	B	秋学期	長岡　智寿子	秋学期	月	2時限	1040	1220
2	教育社会学	2	B	春学期	吉田　文	春学期	水	3時限	1310	1450
	博物館情報・メディア論	2	F	春学期	矢口　徹也	春学期	水	4時限	1505	1645
			G	春学期	川原　健太郎	春学期	月	1時限	0850	1030
	社会教育史I	2		春学期	小林　敦子	春学期	火	2時限	1040	1220
	社会教育史II	2		秋学期	小林　敦子	秋学期	火	2時限	1040	1220
3	生涯教育研究	2		春学期	濱中　淳子	春学期	金	2時限	1040	1220
	教育調査I	2	A	春学期	山田　寛邦	春学期	月	3時限	1310	1450
			B	春学期	武藤　浩子	春学期	月	4時限	1505	1645
	教育調査II	2	A	秋学期	山田　寛邦	秋学期	月	3時限	1310	1450
			B	秋学期	沈　雨香	秋学期	月	4時限	1505	1645
	社会教育演習I-1	2	A	春学期	米村　健司	春学期	木	2時限	1040	1220
			B	春学期	田辺　智子	春学期	木	2時限	1040	1220
			C	春学期	松山　鮎子	春学期	木	2時限	1040	1220
			D	春学期	小林　敦子	春学期	木	2時限	1040	1220
			E	春学期	濱中　淳子	春学期	木	2時限	1040	1220
			F	春学期	矢口　徹也	春学期	木	2時限	1040	1220
			G	春学期	坂内　夏子	春学期	木	2時限	1040	1220
			H	春学期	吉田　文	春学期	木	2時限	1040	1220
	社会教育演習I-2	2	A	秋学期	米村　健司	秋学期	木	2時限	1040	1220
			B	秋学期	田辺　智子	秋学期	木	2時限	1040	1220
			C	秋学期	松山　鮎子	秋学期	木	2時限	1040	1220
			D	秋学期	小林　敦子	秋学期	木	2時限	1040	1220
			E	秋学期	前田　崇	秋学期	木	2時限	1040	1220
			F	秋学期	矢口　徹也	秋学期	木	2時限	1040	1220
			G	秋学期	坂内　夏子	秋学期	木	2時限	1040	1220
			H	秋学期	吉田　文	秋学期	木	2時限	1040	1220
4	社会教育演習II-1	2	A	春学期	米村　健司	春学期	木	3時限	1310	1450
			B	春学期	田辺　智子	春学期	木	3時限	1310	1450
			C	春学期	松山　鮎子	春学期	木	3時限	1310	1450
			D	春学期	小林　敦子	春学期	木	3時限	1310	1450
			E	春学期	濱中　淳子	春学期	木	3時限	1310	1450
			F	春学期	矢口　徹也	春学期	木	3時限	1310	1450
			G	春学期	坂内　夏子	春学期	木	3時限	1310	1450
			H	春学期	吉田　文	春学期	木	3時限	1310	1450
	社会教育演習II-2	2	A	秋学期	米村　健司	秋学期	木	3時限	1310	1450
			B	秋学期	田辺　智子	秋学期	木	3時限	1310	1450
			C	秋学期	松山　鮎子	秋学期	木	3時限	1310	1450
			D	秋学期	小林　敦子	秋学期	木	3時限	1310	1450
			E	秋学期	遠藤　健	秋学期	木	3時限	1310	1450
			F	秋学期	矢口　徹也	秋学期	木	3時限	1310	1450
			G	秋学期	坂内　夏子	秋学期	木	3時限	1310	1450
			H	秋学期	吉田　文	秋学期	木	3時限	1310	1450
	卒業論文	8		通年		通年	無	その他		

教育学専攻生涯教育学専修・専門必修科目

2019年度以前入学者

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1	教育学概論I	2	B	春学期	山本　正身	春学期	火	5時限	1700	1840
	教育の制度と経営	2	B	秋学期	藤本　啓寛	秋学期	月	5時限	1700	1840
	生涯学習基礎演習	2	A	春学期	田辺　智子	春学期	月	3時限	1310	1450
			B	春学期	松山　鮎子	春学期	月	3時限	1310	1450
			C	春学期	坂内　夏子	春学期	月	3時限	1310	1450
					万　静嫺	春学期	月	3時限	1310	1450
	生涯学習概論I	2	B	春学期	松山　鮎子	春学期	木	4時限	1505	1645
	生涯学習概論II	2	B	秋学期	長岡　智寿子	秋学期	月	2時限	1040	1220
2	教育社会学	2	B	春学期	吉田　文	春学期	水	3時限	1310	1450
	博物館情報・メディア論	2	F	春学期	矢口　徹也	春学期	水	4時限	1505	1645
			G	春学期	川原　健太郎	春学期	月	1時限	0850	1030
	社会教育史I	2		春学期	小林　敦子	春学期	火	2時限	1040	1220
	社会教育史II	2		秋学期	小林　敦子	秋学期	火	2時限	1040	1220
	社会教育研究	2	※廃止。単位未修得の場合は代替科目を履修してください。							
3	生涯教育研究	2		春学期	濱中　淳子	春学期	金	2時限	1040	1220
	教育調査I	2	A	春学期	山田　寛邦	春学期	月	3時限	1310	1450
			B	春学期	武藤　浩子	春学期	月	4時限	1505	1645
	教育調査II	2	A	秋学期	山田　寛邦	秋学期	月	3時限	1310	1450
			B	秋学期	沈　雨香	秋学期	月	4時限	1505	1645
	社会教育演習I-1	2	A	春学期	米村　健司	春学期	木	2時限	1040	1220
			B	春学期	田辺　智子	春学期	木	2時限	1040	1220
			C	春学期	松山　鮎子	春学期	木	2時限	1040	1220
			D	春学期	小林　敦子	春学期	木	2時限	1040	1220
			E	春学期	濱中　淳子	春学期	木	2時限	1040	1220
			F	春学期	矢口　徹也	春学期	木	2時限	1040	1220
			G	春学期	坂内　夏子	春学期	木	2時限	1040	1220
			H	春学期	吉田　文	春学期	木	2時限	1040	1220
	社会教育演習I-2	2	A	秋学期	米村　健司	秋学期	木	2時限	1040	1220
			B	秋学期	田辺　智子	秋学期	木	2時限	1040	1220
			C	秋学期	松山　鮎子	秋学期	木	2時限	1040	1220
			D	秋学期	小林　敦子	秋学期	木	2時限	1040	1220
			E	秋学期	前田　崇	秋学期	木	2時限	1040	1220
			F	秋学期	矢口　徹也	秋学期	木	2時限	1040	1220
			G	秋学期	坂内　夏子	秋学期	木	2時限	1040	1220
			H	秋学期	吉田　文	秋学期	木	2時限	1040	1220
	社会教育方法論	2	※廃止。単位未修得の場合は代替科目を履修してください。							
4	社会教育演習II-1	2	A	春学期	米村　健司	春学期	木	3時限	1310	1450
			B	春学期	田辺　智子	春学期	木	3時限	1310	1450
			C	春学期	松山　鮎子	春学期	木	3時限	1310	1450
			D	春学期	小林　敦子	春学期	木	3時限	1310	1450
			E	春学期	濱中　淳子	春学期	木	3時限	1310	1450
			F	春学期	矢口　徹也	春学期	木	3時限	1310	1450
			G	春学期	坂内　夏子	春学期	木	3時限	1310	1450
			H	春学期	吉田　文	春学期	木	3時限	1310	1450
	社会教育演習II-2	2	A	秋学期	米村　健司	秋学期	木	3時限	1310	1450
			B	秋学期	田辺　智子	秋学期	木	3時限	1310	1450
			C	秋学期	松山　鮎子	秋学期	木	3時限	1310	1450
			D	秋学期	小林　敦子	秋学期	木	3時限	1310	1450
			E	秋学期	遠藤　健	秋学期	木	3時限	1310	1450
			F	秋学期	矢口　徹也	秋学期	木	3時限	1310	1450
			G	秋学期	坂内　夏子	秋学期	木	3時限	1310	1450
			H	秋学期	吉田　文	秋学期	木	3時限	1310	1450
	卒業論文	8	A	通年	米村　健司	通年	無	その他		

教育学専攻生涯教育学専修・専門選択科目

2020年度以降入学者
2019年度以前入学者

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	生涯学習支援論I	2		春学期	松山　鮎子	春学期	金	3時限	1310	1450
	生涯学習支援論II	2		秋学期	堀本　麻由子	秋学期	金	2時限	1040	1220
	社会教育経営論I	2	A	春学期	髙井　正	春学期	木	2時限	1040	1220
			B	春学期	髙井　正	春学期	木	3時限	1310	1450
	社会教育経営論II	2	A	秋学期	梶野　光信	秋学期	月	3時限	1310	1450
			B	秋学期	福井　庸子	秋学期	木	2時限	1040	1220
	道徳教育の理論と実践	2		【休講】						
	学校開放論	2		【休講】						
	リカレント教育論I(キャリアデザイン)	2		秋学期	古屋　星斗	秋学期	火	5時限	1700	1840
	リカレント教育論III(人的資源管理)	2		秋学期	西村　純	秋学期	金	2時限	1040	1220
	リカレント教育論IV(ダイバーシティ＆インクルージョン)	2		秋学期	中村　天江	秋学期	月	2時限	1040	1220
	高齢者教育論	2		春学期	堀　薫夫	春学期	水	3時限	1310	1450
	女性史	2		秋学期	天童　睦子	秋学期	金	3時限	1310	1450
	多文化教育論	2		秋学期	米村　健司	秋学期	金	2時限	1040	1220
	成人教育論	2		【休講】						
	青少年教育論	2		秋学期	矢口　徹也	秋学期	水	4時限	1505	1645
	教育福祉論	2		【休講】						
	環境教育論	2		【休講】						
	家庭教育論	2		【休講】						
	女性教育論	2		【休講】						
	社会福祉論	2		秋学期	山田　恵子	秋学期	火	1時限	0850	1030
	児童福祉論	2		【休講】						
	NPO・NGO論とボランティア	2		【休講】						
	消費者教育	2		【休講】						
	子ども論	2		秋学期	天童　睦子	秋学期	金	4時限	1505	1645
	障害者教育原論(障害者・障害児心理学)	2		春学期	梅永　雄二	春学期	水	3時限	1310	1450
	知的障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	2		春学期	坂爪　一幸	春学期	水	4時限	1505	1645
	肢体不自由者の心理・生理・病理II	2		秋学期	米山　明	秋学期	木	2時限	1040	1220
	病弱者の心理・生理・病理	2		春学期	加藤　洋一	春学期	金	1時限	0850	1030
	知的障害者教育(障害者・障害児心理学)	2		春学期	本田　恵子	春学期	金	1時限	0850	1030
	肢体不自由者教育	2		夏季集中	北川　貴章	夏季集中	無	その他		
	病弱者教育	2		夏季集中	土屋　忠之	夏季集中	無	その他		
	知的障害教育論I	2		春学期	梅永　雄二	春学期	水	4時限	1505	1645
	知的障害教育論II	2		秋学期	梅永　雄二	秋学期	水	4時限	1505	1645
	重複障害・LD等教育総論	2		秋学期	齊藤　宇開	秋学期	火	6時限	1855	2035
	特別支援教育総論I	2		秋学期	梅永　雄二	秋学期	水	3時限	1310	1450
	特別支援教育総論II	1		夏季集中	佐島　毅	夏季集中	無	その他		
	特別支援教育総論III	1		夏季集中	長南　浩人	夏季集中	無	その他		
	教育リテラシー	2		秋学期	大泉　義一	秋学期	火	4時限	1505	1645
					岡本　隆司	秋学期	火	4時限	1505	1645
					折井　麻美子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					金井　景子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					熊谷　善彰	秋学期	火	4時限	1505	1645
					桑子　利男	秋学期	火	4時限	1505	1645
					幸田　国広	秋学期	火	4時限	1505	1645
					髙橋　あつ子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					田辺　智子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					福田　育弘	秋学期	火	4時限	1505	1645
					本田　恵子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					松木　正恵	秋学期	火	4時限	1505	1645
					宮川　健	秋学期	火	4時限	1505	1645
					山内　昌和	秋学期	火	4時限	1505	1645
	指導者養成講座I(心理学的支援法)	2		夏クォーター	岩谷　由起	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					鈴村　眞理	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					塚原　望	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					本田　恵子	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					渡邉　歩	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
	倫理学概論	4		通年	平野　明彦	春学期	月	3時限	1310	1450
					小林　亜津子	秋学期	月	3時限	1310	1450
	哲学研究	4		通年	伊藤　功	春学期	月	2時限	1040	1220
					平野　明彦	秋学期	月	2時限	1040	1220
	社会教育課題研究I-1	2		【休講】						
	社会教育課題研究I-2	2		秋学期	太田　知彩	秋学期	木	5時限	1700	1840
	社会教育課題研究II-1	2		春学期	米村　健司	春学期	金	2時限	1040	1220
	社会教育課題研究II-2	2		【休講】						
	社会教育課題研究III-1	2		春学期	蘇　佩怡	春学期	木	4時限	1505	1645
	社会教育課題研究III-2	2		【休講】						

1～4	科学思想史I	2		春学期	篠田　真理子	春学期	月	3時限	1310	1450
	科学思想史II	2		秋学期	柿原　泰	秋学期	月	4時限	1505	1645
	文化人類学研究I	2		春学期	吉村　郊子	春学期	木	2時限	1040	1220
	文化人類学研究II	2		秋学期	吉村　郊子	秋学期	木	2時限	1040	1220
	生涯スポーツ・レクリエーション論	2		春学期	小川　かをり	春学期	火	4時限	1505	1645
	博物館概論	2	A	春学期	齋藤　慎一	春学期	金	1時限	0850	1030
			B	秋学期	齋藤　慎一	秋学期	金	1時限	0850	1030
	宗教研究I	2	A	秋学期	鈴木　昇司	秋学期	火	3時限	1310	1450
			B	秋学期	鈴木　昇司	秋学期	水	3時限	1310	1450
	宗教研究II	2	A	春学期	阿部　善彦	春学期	火	3時限	1310	1450
			B	秋学期	阿部　善彦	秋学期	火	3時限	1310	1450
	図書館概論	2	A	春学期	田辺　智子	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
			B	秋学期	田辺　智子	秋学期	無	フルオンデマンド	0000	
	質的調査法I	2		春学期	栗原　和樹	春学期	月	5時限	1700	1840
	質的調査法II	2		秋学期	藤本　真	秋学期	金	4時限	1505	1645
	質的調査法III	2		夏クォーター	濱中　淳子	夏クォーター	金	4時限～5時限	1505	1840
	量的調査法III	2		秋学期	牧野　直道	秋学期	水	2時限	1040	1220
	テキストマイニング入門	2		秋学期	武藤　浩子	秋学期	火	4時限	1505	1645
2～4	現代社会と行政	2		春学期	松田　憲忠	春学期	月	2時限	1040	1220
	行政活動と行政改革	2		秋学期	松田　憲忠	秋学期	火	2時限	1040	1220
	教育心理学概説I	2		春学期	中本　敬子	春学期	金	4時限	1505	1645
	教育心理学概説II	2		秋学期	河村　茂雄	秋学期	火	2時限	1040	1220
	教育思想研究1	2		春学期	藤井　千春	春学期	月	4時限	1505	1645
	教育思想研究2	2		秋学期	鵜海　未祐子	秋学期	月	5時限	1700	1840
	教育哲学研究2	2		春学期	池田　全之	春学期	金	2時限	1040	1220
	臨床心理学特論I（精神疾患とその治療）	4		【休講】						
	臨床心理学特論II（健康・医療心理学）	4		通年	宇佐見　和哉	通年	木	2時限	1040	1220
					宇佐美　尋子	通年	木	2時限	1040	1220
					笹原　信一朗	通年	木	2時限	1040	1220
					吉野　聡	通年	木	2時限	1040	1220
	臨床心理学特論III（司法・犯罪心理学）	4		通年	青木　佑太郎	通年	木	1時限	0850	1030
					本田　恵子	通年	木	1時限	0850	1030
					吉村　幸司	通年	木	1時限	0850	1030
	社会心理学特論II	4		通年	吉川　肇子	通年	月	4時限	1505	1645
	実験心理学特論I（学習・言語心理学）	4		通年	飯田　成敏	通年	木	3時限	1310	1450
	家族理解と福祉工学	2		冬クォーター	岩谷　由起	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					金森　克浩	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					小西　好彦	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					本田　恵子	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					松本　政悦	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
	日本史I ※1	2	A	春学期	亀谷　弘明	春学期	金	4時限	1505	1645
			B	秋学期	大橋　幸泰	秋学期	月	3時限	1310	1450
	日本史II ※1	2	A	春学期	今井　修	春学期	火	5時限	1700	1840
			B	秋学期	今井　修	秋学期	火	5時限	1700	1840
	外国史I ※1	2	A	春学期	堀越　宏一	春学期	月	5時限	1700	1840
			B	秋学期	堀越　宏一	秋学期	月	4時限	1505	1645
	外国史II ※1	2	A	春学期	岡本　隆司	春学期	水	1時限	0850	1030
			B	秋学期	岡本　隆司	秋学期	水	1時限	0850	1030
	外国史III ※1	2	A	春学期	石川　寛	春学期	木	5時限	1700	1840
			B	秋学期	石川　寛	秋学期	木	5時限	1700	1840
	地理I ※1	2	A	春学期	宋　苑瑞	春学期	火	5時限	1700	1840
			B	秋学期	宋　苑瑞	秋学期	火	5時限	1700	1840
	地理II ※1	2	A	春学期	加賀美　雅弘	春学期	水	2時限	1040	1220
			B	秋学期	加賀美　雅弘	秋学期	火	2時限	1040	1220
	地理III ※1	2	A	春学期	市川　康夫	春学期	火	1時限	0850	1030
			B	秋学期	市川　康夫	秋学期	火	1時限	0850	1030
	地誌I ※1	2	A	春学期	川元　豊和	春学期	水	6時限	1855	2035
			B	秋学期	川元　豊和	秋学期	水	6時限	1855	2035
	地誌II ※1	2	A	春学期	池田　真利子	春学期	金	5時限	1700	1840
			B	秋学期	池田　真利子	秋学期	金	5時限	1700	1840

3～4	インクルーシブ教育における学級経営（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2		夏季集中	井芹　まい	夏季集中	無	その他		
					河村　昭博	夏季集中	無	その他		
					河村　茂雄	夏季集中	無	その他		
					熊谷　圭二郎	夏季集中	無	その他		
					齊藤　勝	夏季集中	無	その他		
	脳科学を活かしたインクルーシブ教育	2		秋学期	荒川　信行	秋学期	金	1時限	0850	1030
					藤井　ひとみ	秋学期	金	1時限	0850	1030
	私学における特別支援教育	2		冬季集中	一ノ瀬　秀司	冬季集中	無	その他		
					草間　浩一	冬季集中	無	その他		
					佐久間　道則	冬季集中	無	その他		
					髙橋　あつ子	冬季集中	無	その他		
	指導者養成講座II	2		夏季集中	鈴村　眞理	夏季集中	無	その他		
					本田　恵子	夏季集中	無	その他		
	社会教育施設実習	1	A	秋学期	松山　鮎子	秋学期	金	3時限	1310	1450
			B	秋学期	矢口　徹也	秋学期	金	3時限	1310	1450
			C	秋学期	坂内　夏子	秋学期	月	3時限	1310	1450
			D	秋学期	田辺　智子	秋学期	月	3時限	1310	1450
4	特別支援学校実習	3		通年	坂爪　一幸	通年	水	5時限	1700	1840

※1　これらの科目は教職用教科に関する科目です。教員免許取得を目指す方のみ履修するようにしてください。
※2　集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

授業時間割
【教育学科教育学専攻教育心理学専修】

１．廃止・新設の専門教育科目（旧科目を履修済の方は、新科目を履修できません）

（新）科目名	←　（旧）科目名	変更年度
―	肢体不自由者の心理・生理・病理Ⅰ	2025年度
―	特別支援教育におけるIT実践演習	2022年度
政治学Ⅰ　※	―	2019年度
政治学Ⅱ　※	―	
法律学　※	―	
社会学（教職）※	―	
経済学Ⅰ　※	―	
経済学Ⅱ　※	―	
―	教育心理学実験演習Ⅰ	2018年度
―	教育心理学実験演習Ⅱ	
―	発達心理学特論Ⅱ	
心理学実験演習Ⅰ	―	
心理学実験演習Ⅱ	―	
公認心理師の職責	―	
福祉心理学	―	
公認心理師関係行政論	―	
公認心理師心理実習	―	
公認心理師心理演習	―	
人体の構造と機能および疾病	―	
教育学概論Ⅰ　A	教育学概論　A	2017年度
教育学概論Ⅱ　A		

※これらは教科に関する科目です。教員免許取得を目指す方のみ履修してください。

２．科目名が変更になった専門選択科目（旧科目を履修済みの方は、新科目を履修できません。）

（新）科目名	←　（旧）科目名	変更年度
知的障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	発達障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	2024年度
知的障害者教育(障害者・障害児心理学)	発達障害者教育(障害者・障害児心理学)	
発達障害者教育(障害者・障害児心理学)	発達障害者教育	2021年度
教育相談及び生徒・進路指導論（教育・学校心理学）	教育・学校心理学	2019年度
教育制度概論	教育学概論Ⅱ	
心理学研究法Ⅰ　（心理学統計法）	教育心理学研究法Ⅰ　（統計法）	2018年度
心理学概論Ⅱ（感情・人格心理学）	心理学概論Ⅱ	
社会心理学概論（社会・集団・家族心理学）	社会心理学概論	
心理学研究法Ⅲ（調査法・観察法）	教育心理学研究法Ⅲ（調査法）	
心理学研究法Ⅳ（心理的アセスメント）	教育心理学研究法Ⅳ（検査法）	
認知心理学概論（知覚・認知心理学）	認知心理学概論	
臨床心理学特論Ⅰ（精神疾患とその治療）	臨床心理学特論Ⅰ	
臨床心理学特論Ⅱ（健康・医療心理学）	臨床心理学特論Ⅱ	
臨床心理学特論Ⅲ（司法・犯罪心理学）	臨床心理学特論Ⅲ	
社会心理学特論Ⅰ（産業・組織心理学）	社会心理学特論Ⅰ	
実験心理学特論Ⅰ（学習・言語心理学）	実験心理学特論Ⅰ（学習）	
実験心理学特論Ⅱ（神経・生理心理学）	実験心理学特論Ⅱ（脳神経・生理）	
実験心理学特論Ⅲ（知覚）（知覚・認知心理学）	実験心理学特論Ⅲ（知覚）	
教授・学習心理学	教授心理学	
心理学研究法Ⅴ（測定法）	教育心理学研究法Ⅴ（測定法）	
心理学研究法Ⅵ（情報処理）	教育心理学研究法Ⅵ（情報処理）	
教育・学校心理学※	学校心理学（教育相談・生徒指導・進路指導の理論と方法）	
障害者教育原論(障害者・障害児心理学)	障害者教育原論	
発達障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	発達障害者の心理・生理・病理	
指導者養成講座Ⅰ（心理学的支援法）	指導者養成講座Ⅰ	

※：2010年度以前入学者は専門選択科目（主選択）

３．時間割の変更情報について

担当教員の都合等で時間割が変更される場合があります。
科目登録申請の際には、教育学部ホームページに掲載される「正誤表」を併せて確認してください。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/
（早稲田大学教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞授業ガイド）

教育学専攻教育心理学専修・専門必修科目

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1	心理学概論I	4		通年	坂爪　一幸	通年	水	3時限	1310	1450
	心理学概論II(感情・人格心理学)	4		通年	加藤　篤士	通年	月	3時限	1310	1450
	心理学研究法I（心理学統計法）	4		通年	椎名　乾平	通年	木	3時限	1310	1450
	発達心理学概論	4		通年	阪脇　孝子	通年	火	3時限	1310	1450
	臨床心理学概論	4		通年	堀　正士	通年	月	2時限	1040	1220
2	社会心理学概論(社会・集団・家族心理学)	4		通年	安達　智子	通年	木	2時限	1040	1220
	認知心理学概論(知覚・認知心理学)	4		通年	中村　國則	通年	木	4時限	1505	1645
	教育心理学概論	4		通年	上淵　寿	通年	水	4時限	1505	1645
	教育相談及び生徒・進路指導論(教育・学校心理学)	4		通年	本田　恵子	通年	月	1時限	0850	1030
	心理学実験演習I	2		通年	安達　智子	通年	木	5時限～6時限	1700	2035
					上田　卓司	通年	木	5時限～6時限	1700	2035
					大津　嘉代子	通年	木	5時限～6時限	1700	2035
					椎名　乾平	通年	木	5時限～6時限	1700	2035
					髙木　幸子	通年	木	5時限～6時限	1700	2035
					東垣内　徹生	通年	木	5時限～6時限	1700	2035
					中村　國則	通年	木	5時限～6時限	1700	2035

教育学専攻教育心理学専修・専門選択科目（主選択）

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	心理学史	4		【休講】						
	福祉心理学	2		春学期	梅永　雄二	春学期	木	2時限	1040	1220
2～4	心理学研究法II(実験法)	4		通年	鵜沼　秀行	通年	金	3時限	1310	1450
	心理学研究法III(調査法・観察法)	4		通年	坂田　成輝	通年	木	3時限	1310	1450
	心理学研究法IV(心理的アセスメント)	4		通年	青木　佑太郎	通年	火	1時限	0850	1030
					本田　恵子	通年	火	1時限	0850	1030
	心理学研究法V(測定法)	4		通年	荘島　宏二郎	通年	木	2時限	1040	1220
	心理学研究法VI(情報処理)	4		通年	上田　卓司	通年	木	4時限	1505	1645
	臨床心理学特論I(精神疾患とその治療)	4		【休講】						
	臨床心理学特論II(健康・医療心理学)	4		通年	宇佐見　和哉	通年	木	2時限	1040	1220
					宇佐美　尋子	通年	木	2時限	1040	1220
					笹原　信一朗	通年	木	2時限	1040	1220
					吉野　聡	通年	木	2時限	1040	1220
	臨床心理学特論III(司法・犯罪心理学)	4		通年	青木　佑太郎	通年	木	1時限	0850	1030
					本田　恵子	通年	木	1時限	0850	1030
					吉村　幸司	通年	木	1時限	0850	1030
	社会心理学特論I(産業・組織心理学)	4		【休講】						
	社会心理学特論II	4		通年	吉川　肇子	通年	月	4時限	1505	1645
	実験心理学特論I(学習・言語心理学)	4		通年	飯田　成敏	通年	木	3時限	1310	1450
	実験心理学特論II(神経・生理心理学)	4		【休講】						
	実験心理学特論III(知覚)(知覚・認知心理学)	4		通年	鵜沼　秀行	通年	金	4時限	1505	1645
	発達心理学特論I	4		通年	上淵　寿	通年	金	3時限	1310	1450
	発達心理学特論III	4		【休講】						
	教授・学習心理学	4		【休講】						
3～4	心理学実験演習II	2	A	通年	椎名　乾平	通年	金	5時限～6時限	1700	2035
			B	通年	飯田　成敏	通年	木	1時限～2時限	0850	1220
			C	通年	安達　智子	通年	水	3時限～4時限	1310	1645
	教育心理学演習I	4	A	通年	上淵　寿	通年	水	3時限	1310	1450
			B	通年	坂爪　一幸	通年	木	3時限	1310	1450
			C	通年	梅永　雄二	通年	木	3時限	1310	1450
			D	通年	椎名　乾平	通年	金	3時限	1310	1450
			E	通年	本田　恵子	通年	月	3時限	1310	1450
			F	通年	堀　正士	通年	月	5時限	1700	1840
			G	通年	安達　智子	通年	水	2時限	1040	1220
4	教育心理学演習II	4	A	通年	上淵　寿	通年	水	3時限	1310	1450
			B	通年	坂爪　一幸	通年	木	3時限	1310	1450
			C	通年	梅永　雄二	通年	木	3時限	1310	1450
			D	通年	椎名　乾平	通年	金	3時限	1310	1450
			E	通年	本田　恵子	通年	月	3時限	1310	1450
			F	通年	堀　正士	通年	月	5時限	1700	1840
			G	通年	安達　智子	通年	水	2時限	1040	1220
	卒業論文	8		通年		通年	無	その他		

教育学専攻教育心理学専修・専門選択科目（副選択）

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	教育学概論I	2	A	春学期	藤井　千春	春学期	月	2時限	1040	1220
	教育制度概論	2		秋学期	鴨川　明子	秋学期	月	5時限	1700	1840
	障害者教育原論(障害者・障害児心理学)	2		春学期	梅永　雄二	春学期	水	3時限	1310	1450
	知的障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	2		春学期	坂爪　一幸	春学期	水	4時限	1505	1645
	肢体不自由者の心理・生理・病理II	2		秋学期	米山　明	秋学期	木	2時限	1040	1220
	病弱者の心理・生理・病理	2		春学期	加藤　洋一	春学期	金	1時限	0850	1030
	知的障害者教育(障害者・障害児心理学)	2		春学期	本田　恵子	春学期	金	1時限	0850	1030
	公認心理師の職責	2		春学期	梅永　雄二	春学期	火	5時限	1700	1840
					越川　房子	春学期	火	5時限	1700	1840
					藤掛　友希	春学期	火	5時限	1700	1840
					堀　正士	春学期	火	5時限	1700	1840
					本田　恵子	春学期	火	5時限	1700	1840
	肢体不自由者教育	2		夏季集中	北川　貴章	夏季集中	無	その他		
	病弱者教育	2		夏季集中	土屋　忠之	夏季集中	無	その他		
	知的障害教育論I	2		春学期	梅永　雄二	春学期	水	4時限	1505	1645
	知的障害教育論II	2		秋学期	梅永　雄二	秋学期	水	4時限	1505	1645
	重複障害・LD等教育総論	2		秋学期	齊藤　宇開	秋学期	火	6時限	1855	2035
	特別支援教育総論I	2		秋学期	梅永　雄二	秋学期	水	3時限	1310	1450
	特別支援教育総論II	1		夏季集中	佐島　毅	夏季集中	無	その他		
	特別支援教育総論III	1		夏季集中	長南　浩人	夏季集中	無	その他		
	教育リテラシー	2		秋学期	大泉　義一	秋学期	火	4時限	1505	1645
					岡本　隆司	秋学期	火	4時限	1505	1645
					折井　麻美子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					金井　景子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					熊谷　善彰	秋学期	火	4時限	1505	1645
					桑子　利男	秋学期	火	4時限	1505	1645
					幸田　国広	秋学期	火	4時限	1505	1645
					髙橋　あつ子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					田辺　智子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					福田　育弘	秋学期	火	4時限	1505	1645
					本田　恵子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					松木　正恵	秋学期	火	4時限	1505	1645
					宮川　健	秋学期	火	4時限	1505	1645
					山内　昌和	秋学期	火	4時限	1505	1645
	指導者養成講座I（心理学的支援法）	2		夏クォーター	岩谷　由起	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					鈴村　眞理	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					塚原　望	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					本田　恵子	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					渡邉　歩	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
	倫理学概論	4		通年	平野　明彦	春学期	月	3時限	1310	1450
					小林　亜津子	秋学期	月	3時限	1310	1450
	哲学研究	4		通年	伊藤　功	春学期	月	2時限	1040	1220
					平野　明彦	秋学期	月	2時限	1040	1220
	古典語（ギリシャ）	4		通年	兼利　琢也	通年	金	4時限	1505	1645
	古典語（ラテン）	4		通年	兼利　琢也	通年	火	4時限	1505	1645
	宗教研究I	2	A	秋学期	鈴木　昇司	秋学期	火	3時限	1310	1450
		2	B	秋学期	鈴木　昇司	秋学期	水	3時限	1310	1450
	宗教研究II	2	A	春学期	阿部　善彦	春学期	火	3時限	1310	1450
		2	B	秋学期	阿部　善彦	秋学期	火	3時限	1310	1450
2～4	公認心理師関係行政論	2		冬クォーター	五十嵐　実保子	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					江夏　大樹	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					大磯　義一郎	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					荒神　裕之	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
	人体の構造と機能及び疾病	2		秋クォーター	岩﨑　信明	秋クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					野口　英一郎	秋クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					堀　正士	秋クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					渡辺　重行	秋クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					渡邉　秀樹	秋クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
	教育哲学研究2	2		春学期	池田　全之	春学期	金	2時限	1040	1220
	家族理解と福祉工学	2		冬クォーター	岩谷　由起	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					金森　克浩	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					小西　好彦	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					本田　恵子	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					松本　政悦	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840

2～4	政治学I	2	A	春学期	土屋　彰久	春学期	土	4時限	1505	1645
			B	秋学期	土屋　彰久	秋学期	土	4時限	1505	1645
	政治学II	2	A	春学期	面　一也	春学期	月	2時限	1040	1220
			B	秋学期	面　一也	秋学期	月	2時限	1040	1220
	法律学	2	A	春学期	北山　雅昭	春学期	木	4時限	1505	1645
			B	秋学期	北山　雅昭	秋学期	木	4時限	1505	1645
	経済学I	2	A	春学期	八木　尚志	春学期	水	6時限	1855	2035
			B	秋学期	八木　尚志	秋学期	水	5時限	1700	1840
	経済学II	2	A	春学期	八木　尚志	春学期	水	5時限	1700	1840
			B	秋学期	八木　尚志	秋学期	水	6時限	1855	2035
	社会学（教職）	2	A	春学期	鈴木　健之	春学期	木	5時限	1700	1840
			B	秋学期	鈴木　無二	秋学期	月	5時限	1700	1840
3～4	公認心理師心理実習	4		通年	梅永　雄二	通年	無	その他		
					河村　茂雄	通年	無	その他		
					坂爪　一幸	通年	無	その他		
					堀　正士	通年	無	その他		
					本田　恵子	通年	無	その他		
					越川　房子	秋学期	無	その他		
					髙橋　あつ子	秋学期	無	その他		
					平田　郁絵	秋学期	無	その他		
					青木　佑太郎	通年	月	2時限	1040	1220
					鎌田　晴美	通年	月	2時限	1040	1220
					本田　恵子	通年	月	2時限	1040	1220
					渡邉　歩	通年	月	2時限	1040	1220
	インクルーシブ教育における学級経営（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2		夏季集中	井芹　まい	夏季集中	無	その他		
					河村　昭博	夏季集中	無	その他		
					河村　茂雄	夏季集中	無	その他		
					熊谷　圭二郎	夏季集中	無	その他		
					齊藤　勝	夏季集中	無	その他		
	脳科学を活かしたインクルーシブ教育	2		秋学期	荒川　信行	秋学期	金	1時限	0850	1030
					藤井　ひとみ	秋学期	金	1時限	0850	1030
	私学における特別支援教育	2		冬季集中	一ノ瀬　秀司	冬季集中	無	その他		
					草間　浩一	冬季集中	無	その他		
					佐久間　道則	冬季集中	無	その他		
					髙橋　あつ子	冬季集中	無	その他		
	指導者養成講座II	2		夏季集中	鈴村　眞理	夏季集中	無	その他		
					本田　恵子	夏季集中	無	その他		
4	特別支援学校実習	3		通年	坂爪　一幸	通年	水	5時限	1700	1840

※ 集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

授業時間割
【教育学科初等教育学専攻】

１．廃止・新設となった専門科目

（新）科目名	←　（旧）科目名	変更年度
―	肢体不自由者の心理・生理・病理Ⅰ	2025年度
教育におけるＩＣＴ活用（小）	―	2023年度
―	特別支援教育におけるIT実践演習	2022年度
初等英語科教育法	－	2019年度
初等教科専門英語	－	
総合的な学習研究原論	－	
特別支援教育原論	－	
心理学統計法	－	
心理学実験演習	－	
－	初等英語教育	
教育哲学研究１	－	2016年度
初等教育学概論Ⅰ	初等教育学概論	
初等教育学概論Ⅱ		
－	初等自然科学教育教材実習	
－	初等音楽基礎実技	
－	初等体育基礎実技	

２．科目名が変更になっている専門科目（旧科目を履修済の方は、新科目を履修できません。）

（新）科目名	←　（旧）科目名	変更年度
知的障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	発達障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	2024年度
知的障害者教育(障害者・障害児心理学)	発達障害者教育(障害者・障害児心理学)	
発達障害者教育(障害者・障害児心理学)	発達障害者教育	2021年度
教育の制度と経営（小）	初等教育学概論Ⅱ	2019年度
教育相談及び生徒・進路指導論（教育・学校心理学）	教育・学校心理学	
教育・学校心理学	学校心理学（教育相談・生徒指導・進路指導の理論と方法）	2018年度
教授・学習心理学	教授心理学	
発達障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	発達障害者の心理・生理・病理	
臨床心理学特論Ⅰ（精神疾患とその治療）	臨床心理学特論Ⅰ	
臨床心理学特論Ⅲ（司法・犯罪心理学）	臨床心理学特論Ⅲ	

３．配当年次が変更となっている専門科目

科目名	（新）配当年次	（旧）配当年次	変更年度
特別支援教育原論	１～４	３～４	2020年度
総合的な学習研究原論			
発達障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	１～４	２～４	2019年度
肢体不自由者の心理・生理・病理Ⅰ			
肢体不自由者の心理・生理・病理Ⅱ			
病弱者の心理・生理・病理			
発達障害者教育			
肢体不自由者教育			
病弱者教育			
知的障害教育論Ⅰ			
知的障害教育論Ⅱ			
重複障害・ＬＤ等教育総論			
特別支援教育総論Ⅰ	１～４	３～４	
特別支援教育総論Ⅱ			
特別支援教育総論Ⅲ			

４．時間割の変更情報について

担当教員の都合等で時間割が変更される場合があります。
科目登録申請の際には、教育学部ホームページに掲載される「正誤表」を併せて確認してください。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/
（早稲田大学教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞授業ガイド）

初等教育学専攻・専門必修科目

2022年度以降入学者

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1	教職原論	2		春学期	佐藤　寛之	春学期	木	5時限	1700	1840
	子ども理解と授業	2		秋学期	大村　龍太郎	秋学期	火	2時限	1040	1220
	道徳教育原論	2		春学期	宮古　紀宏	春学期	月	5時限	1700	1840
	特別活動原論	2		秋学期	井口　武俊	秋学期	月	5時限	1700	1840
					井芹　まい	秋学期	月	5時限	1700	1840
					河村　昭博	秋学期	月	5時限	1700	1840
					河村　茂雄	秋学期	月	5時限	1700	1840
					藤原　寿幸	秋学期	月	5時限	1700	1840
	教育心理学原論	2		秋学期	井芹　まい	秋学期	火	1時限	0850	1030
					河村　茂雄	秋学期	火	1時限	0850	1030
	生徒指導・進路指導原論	2		夏季集中	小野寺　正己	夏季集中	無	その他		
	初等教育学概論I	2		春学期	上坂　保仁	春学期	金	3時限	1310	1450
	教育の制度と経営（小）	2		秋学期	鵜海　未祐子	秋学期	月	2時限	1040	1220
					佐藤　寛之	秋学期	月	2時限	1040	1220
	初等教育学基礎演習I	2		春学期	大泉　義一	春学期	金	2時限	1040	1220
	初等教育学基礎演習II	2		秋学期	佐藤　寛之	秋学期	木	3時限	1310	1450
2	教育相談原論	2		春学期	井芹　まい	春学期	火	1時限	0850	1030
					河村　茂雄	春学期	火	1時限	0850	1030
	教育方法原論	2		秋学期	大村　龍太郎	秋学期	月	4時限	1505	1645
	子どもの生活と福祉	2		春学期	小野寺　正己	春学期	水	4時限	1505	1645
	初等生活科教育法	2		秋学期	佐藤　寛之	秋学期	月	3時限	1310	1450
	初等社会科教育法	2		春学期	大村　龍太郎	春学期	月	4時限	1505	1645
	初等国語科教育法	2		秋学期	中村　和弘	秋学期	金	5時限	1700	1840
	初等算数科教育法	2		春学期	石井　勉	春学期	月	2時限	1040	1220
	初等理科教育法	2		春学期	佐藤　寛之	春学期	木	4時限	1505	1645
	初等教育学基礎演習III	2		春学期	大泉　義一	春学期	火	2時限	1040	1220
	初等教育学基礎演習IV	2		秋学期	大泉　義一	秋学期	水	2時限	1040	1220
	教育におけるICT活用（小）	1		夏季集中	佐藤　寛之	夏季集中	無	その他		
3	障害者教育原論(障害者・障害児心理学)	2		春学期	梅永　雄二	春学期	水	3時限	1310	1450
	初等体育科教育法	2		春学期	吉村　茜	春学期	月	3時限	1310	1450
	初等音楽科教育法	2		秋学期	稲生　涼子	秋学期	火	4時限	1505	1645
	初等図画工作科教育法	2		秋学期	大泉　義一	秋学期	金	2時限	1040	1220
	初等家庭科教育法	2		春学期	和田　早苗	春学期	金	3時限	1310	1450

※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

初等教育学専攻・専門必修科目

2021年度以前入学者

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1	教職原論	2		春学期	佐藤　寛之	春学期	木	5時限	1700	1840
	子ども理解と授業	2		秋学期	大村　龍太郎	秋学期	火	2時限	1040	1220
	道徳教育原論	2		春学期	宮古　紀宏	春学期	月	5時限	1700	1840
	特別活動原論	2		秋学期	井口　武俊	秋学期	月	5時限	1700	1840
					井芹　まい	秋学期	月	5時限	1700	1840
					河村　昭博	秋学期	月	5時限	1700	1840
					河村　茂雄	秋学期	月	5時限	1700	1840
					藤原　寿幸	秋学期	月	5時限	1700	1840
	教育心理学原論	2		秋学期	井芹　まい	秋学期	火	1時限	0850	1030
					河村　茂雄	秋学期	火	1時限	0850	1030
	生徒指導・進路指導原論	2		夏季集中	小野寺　正己	夏季集中	無	その他		
	初等教育学概論I	2		春学期	上坂　保仁	春学期	金	3時限	1310	1450
	教育の制度と経営（小）	2		秋学期	鵜海　未祐子	秋学期	月	2時限	1040	1220
					佐藤　寛之	秋学期	月	2時限	1040	1220
	初等教育学基礎演習I	2		春学期	大泉　義一	春学期	金	2時限	1040	1220
	初等教育学基礎演習II	2		秋学期	佐藤　寛之	秋学期	木	3時限	1310	1450
2	教育相談原論	2		春学期	井芹　まい	春学期	火	1時限	0850	1030
					河村　茂雄	春学期	火	1時限	0850	1030
	教育方法原論	2		秋学期	大村　龍太郎	秋学期	月	4時限	1505	1645
	子どもの生活と福祉	2		春学期	小野寺　正己	春学期	水	4時限	1505	1645
	初等生活科教育法	2		秋学期	佐藤　寛之	秋学期	月	3時限	1310	1450
	初等社会科教育法	2		春学期	大村　龍太郎	春学期	月	4時限	1505	1645
	初等国語科教育法	2		秋学期	中村　和弘	秋学期	金	5時限	1700	1840
	初等算数科教育法	2		春学期	石井　勉	春学期	月	2時限	1040	1220
	初等理科教育法	2		春学期	佐藤　寛之	春学期	木	4時限	1505	1645
	初等教育学基礎演習III	2		春学期	大泉　義一	春学期	火	2時限	1040	1220
	初等教育学基礎演習IV	2		秋学期	大泉　義一	秋学期	水	2時限	1040	1220
3	障害者教育原論(障害者・障害児心理学)	2		春学期	梅永　雄二	春学期	水	3時限	1310	1450
	初等体育科教育法	2		春学期	吉村　茜	春学期	月	3時限	1310	1450
	初等音楽科教育法	2		秋学期	稲生　涼子	秋学期	火	4時限	1505	1645
	初等図画工作科教育法	2		秋学期	大泉　義一	秋学期	金	2時限	1040	1220
	初等家庭科教育法	2		春学期	和田　早苗	春学期	金	3時限	1310	1450

※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

初等教育学専攻・専門選択科目（主選択）

2022年度以降入学者
2021年度以前入学者

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	初等教科専門社会	2		春学期	池　俊介	春学期	月	4時限	1505	1645
	初等教科専門算数	2		春学期	宮川　健	春学期	月	3時限	1310	1450
	初等教科専門理科	2		秋学期	佐藤　寛之	秋学期	木	2時限	1040	1220
	初等教科専門生活	2		秋学期	木村　光男	秋学期	水	2時限	1040	1220
	初等教科専門音楽	2		春学期	稲生　涼子	春学期	火	4時限	1505	1645
	初等教科専門図画工作	2		春学期	大泉　義一	春学期	水	2時限	1040	1220
	初等教科専門家庭	2		秋学期	和田　早苗	秋学期	火	5時限	1700	1840
	初等教科専門体育	2		秋学期	吉村　茜	秋学期	月	3時限	1310	1450
	特別支援教育原論	2		夏季集中	伊佐　貢一	夏季集中	無	その他		
					井芹　まい	夏季集中	無	その他		
					河村　昭博	夏季集中	無	その他		
					河村　茂雄	夏季集中	無	その他		
					高橋　幾	夏季集中	無	その他		
	総合的な学習研究原論	2		夏季集中	井芹　まい	夏季集中	無	その他		
					河村　昭博	夏季集中	無	その他		
					河村　茂雄	夏季集中	無	その他		
					齊藤　勝	夏季集中	無	その他		
2～4	初等教科専門国語（書写を含む）	2		春学期	財前　謙	春学期	火	2時限	1040	1220
					宮川　健郎	春学期	火	2時限	1040	1220
	初等教科専門英語	2		春学期	オオガ・ボールドウィン　ウィリアム	春学期	水	1時限	0850	1030
	心理学統計法	2		春学期	河村　昭博	春学期	月	1時限	0850	1030
	心理学実験演習	2		秋学期	河村　昭博	秋学期	月	1時限	0850	1030
3～4	初等教育学演習Ⅰ	4	A	通年	今尾　佳生	通年	火	2時限	1040	1220
			B	通年	河村　茂雄	通年	土	6時限	1855	2035
			C	通年	大村　龍太郎	通年	月	5時限	1700	1840
			D	通年	佐藤　寛之	通年	火	2時限	1040	1220
			E	通年	大泉　義一	通年	水	4時限	1505	1645
4	初等教育学演習Ⅱ	4	A	通年	今尾　佳生	通年	火	2時限	1040	1220
			B	通年	河村　茂雄	通年	土	6時限	1855	2035
			C	通年	大村　龍太郎	通年	月	5時限	1700	1840
			D	通年	佐藤　寛之	通年	火	2時限	1040	1220
			E	通年	大泉　義一	通年	水	4時限	1505	1645
	卒業論文	8		通年		通年	無	その他		

※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

初等教育学専攻・専門選択科目（主選択）　A群　1領域

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
2〜4	日本教育史II	2		秋学期	柏木　敦	秋学期	水	2時限	1040	1220
	西洋教育史II	2		秋学期	藤井　千春	秋学期	月	2時限	1040	1220
	教育社会学	2	A	春学期	仁平　典宏	春学期	火	2時限	1040	1220
	教材開発論	2		春学期	大村　龍太郎	春学期	日	7時限	2045	2135
	教師教育論	2		【休講】						
	教育法研究	2		春学期	谷口　聡	春学期	金	2時限	1040	1220
	スクールマネイジメント研究	2		春学期	阿内　春生	春学期	木	1時限	0850	1030
	教育情報学	2		秋学期	三尾　忠男	秋学期	水	2時限	1040	1220
	教育政策・教育計画論	2		春学期	下岡　有希子	春学期	土	4時限	1505	1645
3〜4	教育行政学	2		春学期	阿内　春生	春学期	水	3時限	1310	1450
	比較教育学	2		秋学期	鴨川　明子	秋学期	月	4時限	1505	1645
	教育哲学	2		春学期	坂倉　裕治	春学期	木	4時限	1505	1645
	教育課程論	2		春学期	根津　朋実	春学期	水	2時限	1040	1220

初等教育学専攻・専門選択科目（主選択）　A群　2領域

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1〜4	児童福祉論	2		【休講】						
2〜4	学校開放論	2		【休講】						
	子ども論	2		秋学期	天童　睦子	秋学期	金	4時限	1505	1645
	家庭教育論	2		【休講】						
	青少年教育論	2		秋学期	矢口　徹也	秋学期	水	4時限	1505	1645
	生涯学習概論I	2	A	【休講】						
			B	春学期	松山　鮎子	春学期	木	4時限	1505	1645
	生涯学習概論II	2	A	【休講】						
			B	秋学期	長岡　智寿子	秋学期	月	2時限	1040	1220

初等教育学専攻・専門選択科目（主選択）　A群　3領域

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1〜4	知的障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	2		春学期	坂爪　一幸	春学期	水	4時限	1505	1645
	知的障害者教育(障害者・障害児心理学)	2		春学期	本田　恵子	春学期	金	1時限	0850	1030
	知的障害教育論I	2		春学期	梅永　雄二	春学期	水	4時限	1505	1645
	知的障害教育論II	2		秋学期	梅永　雄二	秋学期	水	4時限	1505	1645
2〜4	教育相談及び生徒・進路指導論(教育・学校心理学)	4		通年	本田　恵子	通年	月	1時限	0850	1030
	教授・学習心理学	4		【休講】						

初等教育学専攻・専門選択科目（主選択）　A群　4領域

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1〜4	文化人類学研究I	2		春学期	吉村　郊子	春学期	木	2時限	1040	1220
	文化人類学研究II	2		秋学期	吉村　郊子	秋学期	木	2時限	1040	1220
	消費者教育	2		【休講】						
2〜4	生活科・総合的学習特論	2		【休講】						
	多文化教育論	2		秋学期	米村　健司	秋学期	金	2時限	1040	1220
	環境教育論	2		【休講】						
	初等自然科学教育フィールドワーク	2		【休講】						
	初等英語科教育法	2		秋学期	オオガ・ボールドウィン　ウィリアム	秋学期	水	1時限	0850	1030

Ｂ群　１領域　（国語国文学科設置科目）

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
2～4	日本文学史Ⅰ(古代) ※1	2	A	春学期	福家　俊幸	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
					松本　直樹	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
			B	秋学期	福家　俊幸	秋学期	無	フルオンデマンド	0000	
					松本　直樹	秋学期	無	フルオンデマンド	0000	
	日本文学史Ⅱ(中世) ※1	2	A	秋学期	海野　圭介	秋学期	火	2時限	1040	1220
					田渕　句美子	秋学期	火	2時限	1040	1220
			B	春学期	海野　圭介	春学期	火	2時限	1040	1220
					田渕　句美子	春学期	火	2時限	1040	1220
	日本文学史Ⅲ(近世) ※1	2	A	春学期	天野　聡一	春学期	木	2時限	1040	1220
			B	秋学期	鈴木　久美	秋学期	木	2時限	1040	1220
	日本文学史Ⅳ(近代) ※1	2	A	秋学期	大原　祐治	秋学期	月	2時限	1040	1220
			B	春学期	五味渕　典嗣	春学期	木	2時限	1040	1220
	中国文学基礎講読 ※1	4	A	通年	阿部　光麿	通年	金	5時限	1700	1840
			B	通年	柴田　寿真	通年	月	4時限	1505	1645
			C	通年	柴田　寿真	通年	木	4時限	1505	1645
	国語表現論	4	A	通年	北島　咲江	通年	金	4時限	1505	1645
			B	通年	菊野　雅之	通年	月	3時限	1310	1450
	書道(書写)	4	A	通年	財前　謙	通年	金	4時限	1505	1645
			B	通年	宮﨑　肇	通年	水	4時限	1505	1645
			C	通年	財前　謙	通年	金	5時限	1700	1840
			D	通年	宮﨑　肇	通年	水	5時限	1700	1840
	国語教育史	2		秋学期	宮川　健郎	秋学期	火	2時限	1040	1220
	児童文学Ⅰ(なりたち)	2		春学期	藤本　恵	春学期	木	4時限	1505	1645
	児童文学Ⅱ(展開)	2		秋学期	藤本　恵	秋学期	木	4時限	1505	1645
	中国文学基礎演習Ⅰ ※1	2	A	秋学期	松浦　智子	秋学期	月	4時限	1505	1645
			B	春学期	松浦　智子	春学期	月	4時限	1505	1645
			C	秋学期	柴田　寿真	秋学期	月	5時限	1700	1840
3～4	日本語学	4	A	通年	松木　正恵	通年	木	3時限	1310	1450
			B	通年	松木　正恵	通年	木	4時限	1505	1645

※1：B群1領域選択者のみ履修可能

Ｂ群　２領域　（社会科設置科目）

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
2～4	日本史I	2	A	春学期	亀谷　弘明	春学期	金	4時限	1505	1645
			B	秋学期	大橋　幸泰	秋学期	月	3時限	1310	1450
	日本史II	2	A	春学期	今井　修	春学期	火	5時限	1700	1840
			B	秋学期	今井　修	秋学期	火	5時限	1700	1840
	外国史I	2	A	春学期	堀越　宏一	春学期	月	5時限	1700	1840
			B	秋学期	堀越　宏一	秋学期	月	4時限	1505	1645
	地理I	2	A	春学期	宋　苑瑞	春学期	火	5時限	1700	1840
			B	秋学期	宋　苑瑞	秋学期	火	5時限	1700	1840
	地理II	2	A	春学期	加賀美　雅弘	春学期	水	2時限	1040	1220
			B	秋学期	加賀美　雅弘	秋学期	火	2時限	1040	1220
	地誌I	2	A	春学期	川元　豊和	春学期	水	6時限	1855	2035
			B	秋学期	川元　豊和	秋学期	水	6時限	1855	2035
	法律学	2	A	春学期	北山　雅昭	春学期	木	4時限	1505	1645
			B	秋学期	北山　雅昭	秋学期	木	4時限	1505	1645
	政治学I	2	A	春学期	土屋　彰久	春学期	土	4時限	1505	1645
			B	秋学期	土屋　彰久	秋学期	土	4時限	1505	1645
	政治学II	2	A	春学期	面　一也	春学期	月	2時限	1040	1220
			B	秋学期	面　一也	秋学期	月	2時限	1040	1220
	社会学（教職）	2	A	春学期	鈴木　健之	春学期	木	5時限	1700	1840
			B	秋学期	鈴木　無二	秋学期	月	5時限	1700	1840
	経済学I	2	A	春学期	八木　尚志	春学期	水	6時限	1855	2035
			B	秋学期	八木　尚志	秋学期	水	5時限	1700	1840
	経済学II	2	A	春学期	八木　尚志	春学期	水	5時限	1700	1840
			B	秋学期	八木　尚志	秋学期	水	6時限	1855	2035
	哲学研究	4		通年	伊藤　功	春学期	月	2時限	1040	1220
					平野　明彦	秋学期	月	2時限	1040	1220
	倫理学概論	4		通年	平野　明彦	春学期	月	3時限	1310	1450
					小林　亜津子	秋学期	月	3時限	1310	1450
	外国史II	2	A	春学期	岡本　隆司	春学期	水	1時限	0850	1030
			B	秋学期	岡本　隆司	秋学期	水	1時限	0850	1030
	地誌II	2	A	春学期	池田　真利子	春学期	金	5時限	1700	1840
			B	秋学期	池田　真利子	秋学期	金	5時限	1700	1840
	外国史III	2	A	春学期	石川　寛	春学期	木	5時限	1700	1840
			B	秋学期	石川　寛	秋学期	木	5時限	1700	1840
	地理III	2	A	春学期	市川　康夫	春学期	火	1時限	0850	1030
			B	秋学期	市川　康夫	秋学期	火	1時限	0850	1030
	宗教研究I	2	A	秋学期	鈴木　昇司	秋学期	火	3時限	1310	1450
			B	秋学期	鈴木　昇司	秋学期	水	3時限	1310	1450
	宗教研究II	2	A	春学期	阿部　善彦	春学期	火	3時限	1310	1450
			B	秋学期	阿部　善彦	秋学期	火	3時限	1310	1450

B群　3領域　（数学科設置科目）

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
2〜4	微積分1 ※1	4	A	春学期	新井　仁之	春学期	水	3時限	1310	1450
					新井　仁之	春学期	水	4時限	1505	1645
			B	春学期	高木　悟	春学期	月	3時限	1310	1450
					高木　悟	春学期	月	4時限	1505	1645
	線形代数1 ※1	4	A	春学期	松崎　克彦	春学期	木	2時限	1040	1220
					松崎　克彦	春学期	金	2時限	1040	1220
			B	春学期	安福　悠	春学期	水	1時限	0850	1030
					安福　悠	春学期	水	2時限	1040	1220
	代数1－1 ※1	2	A	春学期	村井　聡	春学期	金	2時限	1040	1220
			B	春学期	衛藤　和文	春学期	月	2時限	1040	1220
	代数1－2 ※1	2	A	秋学期	村井　聡	秋学期	金	2時限	1040	1220
			B	秋学期	衛藤　和文	秋学期	月	2時限	1040	1220
	解析学1－1 ※1	2	A	春学期	戸松　玲治	春学期	火	2時限	1040	1220
			B	春学期	曽布川　拓也	春学期	金	1時限	0850	1030
	解析学1－2 ※1	2	A	秋学期	戸松　玲治	秋学期	火	2時限	1040	1220
			B	秋学期	曽布川　拓也	秋学期	金	1時限	0850	1030
	複素解析1－1 ※1	2	A	春学期	田辺　正晴	春学期	金	4時限	1505	1645
			B	春学期	町原　秀二	春学期	水	2時限	1040	1220
	複素解析1－2 ※1	2	A	秋学期	田辺　正晴	秋学期	金	4時限	1505	1645
			B	秋学期	町原　秀二	秋学期	水	2時限	1040	1220
	幾何1	2		春学期	谷山　公規	春学期	水	2時限	1040	1220
	幾何2	2		秋学期	谷山　公規	秋学期	水	2時限	1040	1220
	統計入門	2		春学期	長山　いづみ	春学期	水	5時限	1700	1840
	統計数学	2		秋学期	長山　いづみ	秋学期	月	2時限	1040	1220
	情報数学1	2	A	春学期	大池　浩一	春学期	月	4時限	1505	1645
			B	【休講】						
			C	春学期	多田　武丸	春学期	水	3時限	1310	1450
	情報数学2	2	A	秋学期	大池　浩一	秋学期	月	4時限	1505	1645
			B	【休講】						
			C	秋学期	多田　武丸	秋学期	水	3時限	1310	1450
	情報数学3	2		春学期	谷　誠一郎	春学期	月	4時限	1505	1645
	情報数学4	2		秋学期	谷　誠一郎	秋学期	月	4時限	1505	1645
3〜4	幾何3	2		春学期	谷山　公規	春学期	金	4時限	1505	1645
	幾何4	2		秋学期	谷山　公規	秋学期	金	4時限	1505	1645
	確率論1	2		春学期	畑　宏明	春学期	火	3時限	1310	1450
	確率論2	2		秋学期	畑　宏明	秋学期	火	3時限	1310	1450

※1：B群3領域選択者のみ履修可能

Ｂ群　４領域　（理学科設置科目）

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
2～4	物理学実験I	2		春学期	伊藤　悦朗	春学期	木	1時限～2時限	0850	1220
	物理学実験II	2		秋学期	伊藤　悦朗	秋学期	木	1時限～2時限	0850	1220
	物理学I−1	2		春学期	伊藤　悦朗	春学期	火	1時限	0850	1030
	物理学I−2	2		秋学期	喜古　正士	秋学期	火	5時限	1700	1840
	物理学II（電磁気学）	2		春学期	喜古　正士	春学期	火	5時限	1700	1840
	化学I	4		通年	中尾　愛子	通年	金	1時限	0850	1030
	化学II	4		通年	中野　善夫	通年	月	4時限	1505	1645
	生態学・実習 ※1	2		夏季集中	墨野倉　伸彦	夏季集中	無	その他		
					吉竹　晋平	夏季集中	無	その他		
	化学実験I ※1	2	A	春学期	大江　親臣	春学期	水	3時限～4時限	1310	1645
			B	春学期	安井　万奈	春学期	水	1時限～2時限	0850	1220
	化学実験II ※1	2	A	秋学期	大江　親臣	秋学期	水	3時限～4時限	1310	1645
			B	秋学期	安井　万奈	秋学期	水	1時限～2時限	0850	1220
	地学通論I	2		春学期	川辺　文久	春学期	土	3時限	1310	1450
	地学通論II	2		秋学期	川辺　文久	秋学期	土	3時限	1310	1450
	地学通論実験I	1		春学期	大森　聡一	春学期	木	5時限～6時限	1700	2035
	地学通論実験II	1		秋学期	上田　裕尋	秋学期	木	5時限～6時限	1700	2035
					清家　一馬	秋学期	木	5時限～6時限	1700	2035
					永冶　方敬	秋学期	木	5時限～6時限	1700	2035
	生物学通論I	2		春学期	川原　玄理	春学期	月	2時限	1040	1220
	生物学通論II	2		秋学期	青木　誠志郎	秋学期	水	2時限	1040	1220
	生物学通論実験I	1		春学期	林　良信	春学期	月	1時限～2時限	0850	1220
	生物学通論実験II	1		秋学期	富永　基樹	秋学期	月	1時限～2時限	0850	1220

※1：B群4領域選択者のみ履修可能

Ｂ群　５領域　（英語英文学科設置科目）

年次	科　　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
2～4	アメリカ文化史 ※1	2		春学期	佐久間　由梨	春学期	水	2時限	1040	1220
	British Cultural History ※1	2		春学期	三好　力	春学期	木	3時限	1310	1450
	米文学史I ※1	2	A	春学期	田ノ口　正悟	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
	米文学史II ※1	2	A	秋学期	佐久間　由梨	秋学期	無	フルオンデマンド	0000	
	Communicative English I ※1、※2	2	A	春学期	オオガ・ボールドウィン　ウィリアム	春学期	水	2時限	1040	1220
	Communicative English II ※1、※2	2	A	秋学期	佐々木　みゆき	秋学期	金	2時限	1040	1220
	英語音声学I ※1	2	A	春学期	折井　麻美子	春学期	金	2時限	1040	1220
			B	春学期	折井　麻美子	春学期	金	3時限	1310	1450
	英語音声学II ※1、※3	2	A	秋学期	折井　麻美子	秋学期	金	3時限	1310	1450
	英文学史I ※1	2		春学期	桑子　利男	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
					新川　清治	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
					三好　力	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
					吉田　雅之	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
	英文学史II ※1	2		秋学期	筒井　瑞貴	秋学期	無	フルオンデマンド	0000	
					虹林　慶	秋学期	無	フルオンデマンド	0000	
					松永　典子	秋学期	無	フルオンデマンド	0000	
					三好　力	秋学期	無	フルオンデマンド	0000	
	言語学入門 ※1	2		春学期	久野　正和	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
					原田　哲男	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
					ポッペ・クレメンス	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
	応用言語学入門 ※1	2		秋学期	オオガ・ボールドウィン　ウィリアム	秋学期	金	3時限	1310	1450
					木村　大輔	秋学期	金	3時限	1310	1450
					佐々木　みゆき	秋学期	金	3時限	1310	1450
					澤木　泰代	秋学期	金	3時限	1310	1450
					バックハウス　ペート	秋学期	金	3時限	1310	1450
					マキュワン　麻哉	秋学期	金	3時限	1310	1450
	Intercultural Communication ※1、※4	2		春学期	マキュワン　麻哉	春学期	金	2時限	1040	1220
	Introduction to Second Language Acquisition ※1、※4	2	A	春学期	マキュワン　麻哉	春学期	木	3時限	1310	1450
			B	秋学期	マキュワン　麻哉	秋学期	金	2時限	1040	1220

※1：B群5領域選択者のみ履修可能
※2：2015年度以前入学者が履修する場合、単位数は1です。
※3：2016年度以降入学者は履修することができません。
※4：2015年度以前入学者は履修することができません。

初等教育学専攻・専門選択科目（副選択）

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	日本教育史I	2		春学期	三上　敦史	春学期	水	5時限	1700	1840
	成人教育論	2		【休講】						
	教育課程編成原論	1		春クォーター	今尾　佳生	春クォーター	火	3時限	1310	1450
	生涯スポーツ・レクリエーション論	2		春学期	小川　かをり	春学期	火	4時限	1505	1645
	教育リテラシー	2		秋学期	大泉　義一	秋学期	火	4時限	1505	1645
					岡本　隆司	秋学期	火	4時限	1505	1645
					折井　麻美子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					金井　景子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					熊谷　善彰	秋学期	火	4時限	1505	1645
					桑子　利男	秋学期	火	4時限	1505	1645
					幸田　国広	秋学期	火	4時限	1505	1645
					髙橋　あつ子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					田辺　智子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					福田　育弘	秋学期	火	4時限	1505	1645
					本田　恵子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					松木　正恵	秋学期	火	4時限	1505	1645
					宮川　健	秋学期	火	4時限	1505	1645
					山内　昌和	秋学期	火	4時限	1505	1645
	指導者養成講座I（心理学的支援法）	2		夏クォーター	岩谷　由起	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					鈴村　眞理	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					塚原　望	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					本田　恵子	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					渡邉　歩	夏クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
	重複障害・LD等教育総論	2		秋学期	齊藤　宇開	秋学期	火	6時限	1855	2035
	肢体不自由者教育	2		夏季集中	北川　貴章	夏季集中	無	その他		
	病弱者教育	2		夏季集中	土屋　忠之	夏季集中	無	その他		
	肢体不自由者の心理・生理・病理II	2		秋学期	米山　明	秋学期	木	2時限	1040	1220
	病弱者の心理・生理・病理	2		春学期	加藤　洋一	春学期	金	1時限	0850	1030
	特別支援教育総論I	2		秋学期	梅永　雄二	秋学期	水	3時限	1310	1450
	特別支援教育総論II	1		夏季集中	佐島　毅	夏季集中	無	その他		
	特別支援教育総論III	1		夏季集中	長南　浩人	夏季集中	無	その他		
2～4	西洋教育史I	2		春学期	大川　洋	春学期	木	5時限	1700	1840
	教育行財政研究	2		春学期	小野　まどか	春学期	金	5時限	1700	1840
	カリキュラム研究	2		秋学期	緩利　誠	秋学期	金	1時限	0850	1030
	教育理論原典講読	2		秋学期	阿内　春生	秋学期	水	2時限	1040	1220
	臨床心理学特論I（精神疾患とその治療）	4		【休講】						
	臨床心理学特論II（健康・医療心理学）	4		通年	宇佐見　和哉	通年	木	2時限	1040	1220
					宇佐美　尋子	通年	木	2時限	1040	1220
					笹原　信一朗	通年	木	2時限	1040	1220
					吉野　聡	通年	木	2時限	1040	1220
	臨床心理学特論III（司法・犯罪心理学）	4		通年	青木　佑太郎	通年	木	1時限	0850	1030
					本田　恵子	通年	木	1時限	0850	1030
					吉村　幸司	通年	木	1時限	0850	1030
	発達心理学特論I	4		通年	上淵　寿	通年	金	3時限	1310	1450
	教育哲学研究1	2		秋学期	坂倉　裕治	秋学期	水	3時限	1310	1450
	教育哲学研究2	2		春学期	池田　全之	春学期	金	2時限	1040	1220
	家族理解と福祉工学	2		冬クォーター	岩谷　由起	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					金森　克浩	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					小西　好彦	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					本田　恵子	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840
					松本　政悦	冬クォーター	土	3時限～5時限	1310	1840

3～4	インクルーシブ教育における学級経営（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2		夏季集中	井芹　まい	夏季集中	無	その他		
					河村　昭博	夏季集中	無	その他		
					河村　茂雄	夏季集中	無	その他		
					熊谷　圭二郎	夏季集中	無	その他		
					齊藤　勝	夏季集中	無	その他		
	脳科学を活かしたインクルーシブ教育	2		秋学期	荒川　信行	秋学期	金	1時限	0850	1030
					藤井　ひとみ	秋学期	金	1時限	0850	1030
	私学における特別支援教育	2		冬季集中	一ノ瀬　秀司	冬季集中	無	その他		
					草間　浩一	冬季集中	無	その他		
					佐久間　道則	冬季集中	無	その他		
					髙橋　あつ子	冬季集中	無	その他		
	指導者養成講座II	2		夏季集中	鈴村　眞理	夏季集中	無	その他		
					本田　恵子	夏季集中	無	その他		
	公認心理師心理実習	4		通年	梅永　雄二	通年	無	その他		
					河村　茂雄	通年	無	その他		
					坂爪　一幸	通年	無	その他		
					堀　正士	通年	無	その他		
					本田　恵子	通年	無	その他		
					越川　房子	秋学期	無	その他		
					髙橋　あつ子	秋学期	無	その他		
					平田　郁絵	秋学期	無	その他		
					青木　佑太郎	通年	月	2時限	1040	1220
					鎌田　晴美	通年	月	2時限	1040	1220
					本田　恵子	通年	月	2時限	1040	1220
					渡邉　歩	通年	月	2時限	1040	1220
	教育実習演習（小）	5	A	春学期	大村　龍太郎	春学期	火	3時限	1310	1450
			B	春学期	大泉　義一	春学期	火	3時限	1310	1450
			C	夏秋期	大村　龍太郎	夏秋期	火	2時限	1040	1220
4	特別支援学校実習	3		通年	坂爪　一幸	通年	水	5時限	1700	1840
	教職実践演習（小）	2	A	秋学期	大村　龍太郎	秋学期	火	3時限	1310	1450

※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

授業時間割

【他学科他専修聴講可能科目】

・講義内容はWebシラバスを参照してください。

・科目によっては、自学科・自専修の専門選択科目としても配当されていることがあるので注意してください。その場合、他学科他専修科目としては履修できません。

・担当教員の都合等で時間割が変更される場合があります。科目登録申請の際には、教育学部ホームページに掲載される「正誤表」を併せて確認してください。

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/
（早稲田大学教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録＞授業ガイド）

［授業ガイド］は学科ごとに分冊になっています。

［授業ガイド］教育学科編
［授業ガイド］国語国文学科編
［授業ガイド］英語英文学科編
［授業ガイド］社会科編
［授業ガイド］理学科編
［授業ガイド］数学科編
［授業ガイド］複合文化学科編

教育学専攻教育学専修・他学科他専修聴講可能科目

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	倫理学概論	4		通年	平野　明彦	春学期	月	3時限	1310	1450
					小林　亜津子	秋学期	月	3時限	1310	1450
	哲学研究	4		通年	伊藤　功	春学期	月	2時限	1040	1220
					平野　明彦	秋学期	月	2時限	1040	1220
	科学思想史I	2		春学期	篠田　真理子	春学期	月	3時限	1310	1450
	科学思想史II	2		秋学期	柿原　泰	秋学期	月	4時限	1505	1645
	古典語(ギリシャ)	4		通年	兼利　琢也	通年	金	4時限	1505	1645
	古典語(ラテン)	4		通年	兼利　琢也	通年	火	4時限	1505	1645
	宗教研究I	2	A	秋学期	鈴木　昇司	秋学期	火	3時限	1310	1450
			B	秋学期	鈴木　昇司	秋学期	水	3時限	1310	1450
	宗教研究II	2	A	春学期	阿部　善彦	春学期	火	3時限	1310	1450
			B	秋学期	阿部　善彦	秋学期	火	3時限	1310	1450
	生涯学習概論I	2	A	【休講】						
	生涯学習概論II	2	A	【休講】						
2～4	生徒指導研究	2		秋学期	中井　大介	秋学期	水	2時限	1040	1220
	日本教育史研究I	2		秋学期	大岡　紀理子	秋学期	水	4時限	1505	1645
				秋学期	ママトクロヴァ　ニルファル	秋学期	水	4時限	1505	1645
	日本教育史研究II	2		春学期	三上　敦史	春学期	木	5時限	1700	1840
	教材開発論	2		春学期	大村　龍太郎	春学期	日	7時限	2045	2135
	カリキュラム研究	2		秋学期	緩利　誠	秋学期	金	1時限	0850	1030
	教育思想研究1	2		春学期	藤井　千春	春学期	月	4時限	1505	1645
	教育法研究	2		春学期	谷口　聡	春学期	金	2時限	1040	1220
	スクールマネイジメント研究	2		春学期	阿内　春生	春学期	木	1時限	0850	1030
	教育思想研究2	2		秋学期	鵜海　未祐子	秋学期	月	5時限	1700	1840
	教育政策・教育計画論	2		春学期	下岡　有希子	春学期	土	4時限	1505	1645
	教育行財政研究	2		春学期	小野　まどか	春学期	金	5時限	1700	1840
	比較・国際教育研究I	2		春学期	日暮　トモ子	春学期	火	4時限	1505	1645
	比較・国際教育研究II	2		秋学期	立花　有希	秋学期	木	1時限	0850	1030
	教育社会学テーマ研究	2		【休講】						
	学校教育活動論	2		秋学期	野口　穂高	秋学期	月	4時限	1505	1645
	教師教育論	2		【休講】						
	教育理論原典講読	2		秋学期	阿内　春生	秋学期	水	2時限	1040	1220
	教育情報学	2		秋学期	三尾　忠男	秋学期	水	2時限	1040	1220
	国際理解教育	2		秋学期	須藤　玲	秋学期	火	5時限	1700	1840
	政治学I　※1	2	A	春学期	土屋　彰久	春学期	土	4時限	1505	1645
			B	秋学期	土屋　彰久	秋学期	土	4時限	1505	1645
	政治学II　※1	2	A	春学期	面　一也	春学期	月	2時限	1040	1220
			B	秋学期	面　一也	秋学期	月	2時限	1040	1220
	法律学　※1	2	A	春学期	北山　雅昭	春学期	木	4時限	1505	1645
			B	秋学期	北山　雅昭	秋学期	木	4時限	1505	1645
	経済学I　※1	2	A	春学期	八木　尚志	春学期	水	6時限	1855	2035
			B	秋学期	八木　尚志	秋学期	水	5時限	1700	1840
	経済学II　※1	2	A	春学期	八木　尚志	春学期	水	5時限	1700	1840
			B	秋学期	八木　尚志	秋学期	水	6時限	1855	2035
	社会学(教職)　※1	2	A	春学期	鈴木　健之	春学期	木	5時限	1700	1840
			B	秋学期	鈴木　無二	秋学期	月	5時限	1700	1840

※1　生涯教育学専修の学生のみ履修可能です。

教育学専攻生涯教育学専修・他学科他専修聴講可能科目

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜	時限	開始時間	終了時間
1～4	生涯学習支援論I	2		春学期	松山　鮎子	春学期	金	3時限	1310	1450
	生涯学習支援論II	2		秋学期	堀本　麻由子	秋学期	金	2時限	1040	1220
	社会教育経営論I	2	A	春学期	髙井　正	春学期	木	2時限	1040	1220
			B	春学期	髙井　正	春学期	木	3時限	1310	1450
	社会教育経営論II	2	A	秋学期	梶野　光信	秋学期	月	3時限	1310	1450
			B	秋学期	福井　庸子	秋学期	木	2時限	1040	1220
	社会教育課題研究III-1	2		春学期	蘇　佩怡	春学期	木	4時限	1505	1645
	社会教育課題研究III-2	2		【休講】						
	リカレント教育論IV（ダイバーシティ＆インクルージョン）	2		秋学期	中村　天江	秋学期	月	2時限	1040	1220
	質的調査法I	2		春学期	栗原　和樹	春学期	月	5時限	1700	1840
	質的調査法II	2		秋学期	藤本　真	秋学期	金	4時限	1505	1645
	テキストマイニング入門	2		秋学期	武藤　浩子	秋学期	火	4時限	1505	1645
	道徳教育の理論と実践	2		【休講】						
	学校開放論	2		【休講】						
	高齢者教育論	2		春学期	堀　薫夫	春学期	水	3時限	1310	1450
	女性史	2		秋学期	天童　睦子	秋学期	金	3時限	1310	1450
	多文化教育論	2		秋学期	米村　健司	秋学期	金	2時限	1040	1220
	成人教育論	2		【休講】						
	青少年教育論	2		秋学期	矢口　徹也	秋学期	水	4時限	1505	1645
	教育福祉論	2		【休講】						
	環境教育論	2		【休講】						
	家庭教育論	2		【休講】						
	女性教育論	2		【休講】						
	社会福祉論	2		秋学期	山田　恵子	秋学期	火	1時限	0850	1030
	児童福祉論	2		【休講】						
	NPO・NGO論とボランティア	2		【休講】						
	リカレント教育論I(キャリアデザイン)	2		秋学期	古屋　星斗	秋学期	火	5時限	1700	1840
	リカレント教育論III(人的資源管理)	2		秋学期	西村　純	秋学期	金	2時限	1040	1220
	消費者教育	2		【休講】						
	子ども論	2		秋学期	天童　睦子	秋学期	金	4時限	1505	1645
	社会教育課題研究I-1	2		【休講】						
	社会教育課題研究I-2	2		秋学期	太田　知彩	秋学期	木	5時限	1700	1840
	社会教育課題研究II-1	2		春学期	米村　健司	春学期	金	2時限	1040	1220
	社会教育課題研究II-2	2		【休講】						
	生涯スポーツ・レクリエーション論	2		春学期	小川　かをり	春学期	火	4時限	1505	1645
	生涯学習概論I	2	B	春学期	松山　鮎子	春学期	木	4時限	1505	1645
	生涯学習概論II	2	B	秋学期	長岡　智寿子	秋学期	月	2時限	1040	1220
2～4	日本史I　※1	2	A	春学期	亀谷　弘明	春学期	金	4時限	1505	1645
			B	秋学期	大橋　幸泰	秋学期	月	3時限	1310	1450
	日本史II　※1	2	A	春学期	今井　修	春学期	火	5時限	1700	1840
			B	秋学期	今井　修	秋学期	火	5時限	1700	1840
	外国史I　※1	2	A	春学期	堀越　宏一	春学期	月	5時限	1700	1840
			B	秋学期	堀越　宏一	秋学期	月	4時限	1505	1645
	外国史II　※1	2	A	春学期	岡本　隆司	春学期	水	1時限	0850	1030
			B	秋学期	岡本　隆司	秋学期	水	1時限	0850	1030
	外国史III　※1	2	A	春学期	石川　寛	春学期	木	5時限	1700	1840
			B	秋学期	石川　寛	秋学期	木	5時限	1700	1840
	地理I　※1	2	A	春学期	宋　苑瑞	春学期	火	5時限	1700	1840
			B	秋学期	宋　苑瑞	秋学期	火	5時限	1700	1840
	地理II　※1	2	A	春学期	加賀美　雅弘	春学期	水	2時限	1040	1220
			B	秋学期	加賀美　雅弘	秋学期	火	2時限	1040	1220
	地理III　※1	2	A	春学期	市川　康夫	春学期	火	1時限	0850	1030
			B	秋学期	市川　康夫	秋学期	火	1時限	0850	1030
	地誌I　※1	2	A	春学期	川元　豊和	春学期	水	6時限	1855	2035
			B	秋学期	川元　豊和	秋学期	水	6時限	1855	2035
	地誌II　※1	2	A	春学期	池田　真利子	春学期	金	5時限	1700	1840
			B	秋学期	池田　真利子	秋学期	金	5時限	1700	1840
3～4	社会教育施設実習	1	A	秋学期	松山　鮎子	秋学期	金	3時限	1310	1450
			B	秋学期	矢口　徹也	秋学期	金	3時限	1310	1450
			C	秋学期	坂内　夏子	秋学期	月	3時限	1310	1450
			D	秋学期	田辺　智子	秋学期	月	3時限	1310	1450

※1　教育学専修および教育心理学専修の学生のみ履修可能です。

教育学専攻教育心理学専修・他学科他専修聴講可能科目

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	心理学史	4		【休講】						
	知的障害者の心理・生理・病理(障害者・障害児心理学)	2		春学期	坂爪　一幸	春学期	水	4時限	1505	1645
	肢体不自由者の心理・生理・病理II	2		秋学期	米山　明	秋学期	木	2時限	1040	1220
	病弱者の心理・生理・病理	2		春学期	加藤　洋一	春学期	金	1時限	0850	1030
	知的障害者教育(障害者・障害児心理学)	2		春学期	本田　恵子	春学期	金	1時限	0850	1030
	肢体不自由者教育	2		夏季集中	北川　貴章	夏季集中	無	その他		
	病弱者教育	2		夏季集中	土屋　忠之	夏季集中	無	その他		
	知的障害教育論I	2		春学期	梅永　雄二	春学期	水	4時限	1505	1645
	知的障害教育論II	2		秋学期	梅永　雄二	秋学期	水	4時限	1505	1645
	重複障害・LD等教育総論	2		秋学期	齊藤　宇開	秋学期	火	6時限	1855	2035
	特別支援教育総論I	2		秋学期	梅永　雄二	秋学期	水	3時限	1310	1450
	特別支援教育総論II	1		夏季集中	佐島　毅	夏季集中	無	その他		
	特別支援教育総論III	1		夏季集中	長南　浩人	夏季集中	無	その他		
	教育リテラシー	2		秋学期	大泉　義一	秋学期	火	4時限	1505	1645
					岡本　隆司	秋学期	火	4時限	1505	1645
					折井　麻美子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					金井　景子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					熊谷　善彰	秋学期	火	4時限	1505	1645
					桑子　利男	秋学期	火	4時限	1505	1645
					幸田　国広	秋学期	火	4時限	1505	1645
					髙橋　あつ子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					田辺　智子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					福田　育弘	秋学期	火	4時限	1505	1645
					本田　恵子	秋学期	火	4時限	1505	1645
					松木　正恵	秋学期	火	4時限	1505	1645
					宮川　健	秋学期	火	4時限	1505	1645
					山内　昌和	秋学期	火	4時限	1505	1645
	指導者養成講座I（心理学的支援法）	2		夏ｸｫｰﾀｰ	岩谷　由起	夏ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					鈴村　眞理	夏ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					塚原　望	夏ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					本田　恵子	夏ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					渡邉　歩	夏ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
	公認心理師の職責	2		春学期	梅永　雄二	春学期	火	5時限	1700	1840
					越川　房子	春学期	火	5時限	1700	1840
					藤掛　友希	春学期	火	5時限	1700	1840
					堀　正士	春学期	火	5時限	1700	1840
					本田　恵子	春学期	火	5時限	1700	1840
	福祉心理学	2		春学期	梅永　雄二	春学期	木	2時限	1040	1220
2～4	心理学研究法II（実験法）	4		通年	鵜沼　秀行	通年	金	3時限	1310	1450
	心理学研究法III（調査法・観察法）	4		通年	坂田　成輝	通年	木	3時限	1310	1450
	心理学研究法IV（心理的アセスメント）	4		通年	青木　佑太郎	通年	火	1時限	0850	1030
					本田　恵子	通年	火	1時限	0850	1030
	臨床心理学特論I（精神疾患とその治療）	4		【休講】						
	臨床心理学特論II（健康・医療心理学）	4		通年	宇佐見　和哉	通年	木	2時限	1040	1220
					宇佐美　尋子	通年	木	2時限	1040	1220
					笹原　信一朗	通年	木	2時限	1040	1220
					吉野　聡	通年	木	2時限	1040	1220
	臨床心理学特論III（司法・犯罪心理学）	4		通年	青木　佑太郎	通年	木	1時限	0850	1030
					本田　恵子	通年	木	1時限	0850	1030
					吉村　幸司	通年	木	1時限	0850	1030
	社会心理学特論I（産業・組織心理学）	4		【休講】						
	社会心理学特論II	4		通年	吉川　肇子	通年	月	4時限	1505	1645
	実験心理学特論III（知覚）（知覚・認知心理学）	4		通年	鵜沼　秀行	通年	金	4時限	1505	1645
	実験心理学特論II（神経・生理心理学）	4		【休講】						
	発達心理学特論I	4		通年	上淵　寿	通年	金	3時限	1310	1450
	実験心理学特論I（学習・言語心理学）	4		通年	飯田　成敏	通年	木	3時限	1310	1450
	教授・学習心理学	4		【休講】						
	心理学研究法V（測定法）	4		通年	荘島　宏二郎	通年	木	2時限	1040	1220
	発達心理学特論III	4		【休講】						
	家族理解と福祉工学	2		冬ｸｫｰﾀｰ	岩谷　由起	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					金森　克浩	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					小西　好彦	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					本田　恵子	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					松本　政悦	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840

2～4	公認心理師関係行政論	2		冬ｸｫｰﾀｰ	五十嵐　実保子	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					江夏　大樹	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					大磯　義一郎	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					荒神　裕之	冬ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
	人体の構造と機能及び疾病	2		秋ｸｫｰﾀｰ	岩﨑　信明	秋ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					野口　英一郎	秋ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					堀　正士	秋ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					渡辺　重行	秋ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
					渡邉　秀樹	秋ｸｫｰﾀｰ	土	3時限～5時限	1310	1840
3～4	インクルーシブ教育における学級経営（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2		夏季集中	井芹　まい	夏季集中	無	その他		
					河村　昭博	夏季集中	無	その他		
					河村　茂雄	夏季集中	無	その他		
					熊谷　圭二郎	夏季集中	無	その他		
					齊藤　勝	夏季集中	無	その他		
	脳科学を活かしたインクルーシブ教育	2		秋学期	荒川　信行	秋学期	金	1時限	0850	1030
					藤井　ひとみ	秋学期	金	1時限	0850	1030
	私学における特別支援教育	2		冬季集中	一ノ瀬　秀司	冬季集中	無	その他		
					草間　浩一	冬季集中	無	その他		
					佐久間　道則	冬季集中	無	その他		
					髙橋　あつ子	冬季集中	無	その他		
	指導者養成講座II	2		夏季集中	鈴村　眞理	夏季集中	無	その他		
					本田　恵子	夏季集中	無	その他		

※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

初等教育学専攻・他学科他専修聴講可能科目（履修許可者のみ履修可能）

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	初等教科専門生活	2		秋学期	木村　光男	秋学期	水	2時限	1040	1220
	初等教科専門図画工作	2		春学期	大泉　義一	春学期	水	2時限	1040	1220
	初等教科専門家庭	2		秋学期	和田　早苗	秋学期	火	5時限	1700	1840
	道徳教育原論	2		春学期	宮古　紀宏	春学期	月	5時限	1700	1840
	特別活動原論	2		秋学期	井口　武俊	秋学期	月	5時限	1700	1840
					井芹　まい	秋学期	月	5時限	1700	1840
					河村　昭博	秋学期	月	5時限	1700	1840
					河村　茂雄	秋学期	月	5時限	1700	1840
					藤原　寿幸	秋学期	月	5時限	1700	1840
	生徒指導・進路指導原論	2		夏季集中	小野寺　正己	夏季集中	無	その他		
	初等教科専門社会	2		春学期	池　俊介	春学期	月	4時限	1505	1645
	初等教科専門算数	2		春学期	宮川　健	春学期	月	3時限	1310	1450
	初等教科専門理科	2		秋学期	佐藤　寛之	秋学期	木	2時限	1040	1220
	初等教科専門音楽	2		春学期	稲生　涼子	春学期	火	4時限	1505	1645
	初等教科専門体育	2		秋学期	吉村　茜	秋学期	月	3時限	1310	1450
	教育課程編成原論	1		春クォーター	今尾　佳生	春クォーター	火	3時限	1310	1450
	特別支援教育原論	2		夏季集中	伊佐　貢一	夏季集中	無	その他		
					井芹　まい	夏季集中	無	その他		
					河村　昭博	夏季集中	無	その他		
					河村　茂雄	夏季集中	無	その他		
					高橋　幾	夏季集中	無	その他		
	総合的な学習研究原論	2		夏季集中	井芹　まい	夏季集中	無	その他		
					河村　昭博	夏季集中	無	その他		
					河村　茂雄	夏季集中	無	その他		
					齊藤　勝	夏季集中	無	その他		
2～4	初等生活科教育法	2		秋学期	佐藤　寛之	秋学期	月	3時限	1310	1450
	初等理科教育法	2		春学期	佐藤　寛之	春学期	木	4時限	1505	1645
	初等社会科教育法	2		春学期	大村　龍太郎	春学期	月	4時限	1505	1645
	教育相談原論	2		春学期	井芹　まい	春学期	火	1時限	0850	1030
					河村　茂雄	春学期	火	1時限	0850	1030
	初等国語科教育法	2		秋学期	中村　和弘	秋学期	金	5時限	1700	1840
	初等算数科教育法	2		春学期	石井　勉	春学期	月	2時限	1040	1220
	教育方法原論	2		秋学期	大村　龍太郎	秋学期	月	4時限	1505	1645
	初等教科専門国語（書写を含む）	2		春学期	財前　謙	春学期	火	2時限	1040	1220
					宮川　健郎	春学期	火	2時限	1040	1220
	生活科・総合的学習特論	2		【休講】						
	初等自然科学教育フィールドワーク	2		【休講】						
	初等教科専門英語	2		春学期	オオガ-ボールドウィン　ウィリアム	春学期	水	1時限	0850	1030
	初等英語科教育法	2		秋学期	オオガ-ボールドウィン　ウィリアム	秋学期	水	1時限	0850	1030
3～4	初等体育科教育法	2		春学期	吉村　茜	春学期	月	3時限	1310	1450
	初等音楽科教育法	2		秋学期	稲生　涼子	秋学期	火	4時限	1505	1645
	教育実習演習（小）	5	A	春学期	大村　龍太郎	春学期	火	3時限	1310	1450
			B	春学期	大泉　義一	春学期	火	3時限	1310	1450
			C	夏秋期	大村　龍太郎	夏秋期	火	2時限	1040	1220
	初等図画工作科教育法	2		秋学期	大泉　義一	秋学期	金	2時限	1040	1220
	初等家庭科教育法	2		春学期	和田　早苗	春学期	金	3時限	1310	1450
4	教職実践演習（小）	2	A	秋学期	大村　龍太郎	秋学期	火	3時限	1310	1450

※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

国語国文学科・他学科他専修聴講可能科目

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	授業に活かす朗読講座	2		春学期	内木　明子	春学期	金	6時限	1855	2035
					宗我部　義則	春学期	金	6時限	1855	2035
	届く声を育てるワークショップ	2		冬季集中	野﨑　美子	冬季集中	無	その他		
	書道（書写）	4	A	通年	財前　謙	通年	金	4時限	1505	1645
			B	通年	宮﨑　肇	通年	水	4時限	1505	1645
			C	通年	財前　謙	通年	金	5時限	1700	1840
			D	通年	宮﨑　肇	通年	水	5時限	1700	1840
	日本語教授法入門	2		春学期	飽本　弘平	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
	日本語教育演習I（基礎）	2		春学期	山内　薫	春学期	金	4時限	1505	1645
	日本語教育演習II（応用）	2		秋学期	山内　薫	秋学期	金	4時限	1505	1645
	日本語の諸相	2		秋学期	永谷　直子	秋学期	月	4時限	1505	1645
	児童文学I（なりたち）	2		春学期	藤本　恵	春学期	木	4時限	1505	1645
	児童文学II（展開）	2		秋学期	藤本　恵	秋学期	木	4時限	1505	1645
	劇文学I（能・狂言）	2		【休講】						
	劇文学II（歌舞伎・浄瑠璃）	2		秋学期	原田　真澄	秋学期	無	フルオンデマンド	0000	
	文学理論I（古典）	2		春学期	斉藤　昭子	春学期	月	3時限	1310	1450
	文学理論II（近代）	2		秋学期	石原　千秋	秋学期	月	2時限	1040	1220
	中国文学史I（詩歌）	2		春学期	谷口　高志	春学期	金	3時限	1310	1450
	中国文学史II（小説・戯曲）	2		春学期	松浦　智子	春学期	月	5時限	1700	1840
	東アジアの思想と文化I（古代）	2		春学期	阿部　光麿	春学期	金	4時限	1505	1645
	東アジアの思想と文化II（近世）	2		秋学期	阿部　光麿	秋学期	金	4時限	1505	1645
	日中比較文学I（説話・物語）	2		春学期	馮　超鴻	春学期	水	5時限	1700	1840
	日中比較文学II（詩歌）	2		秋学期	濱田　寛	秋学期	火	3時限	1310	1450
	出版文化史I（近世）	2		春学期	福田　安典	春学期	月	3時限	1310	1450
	出版文化史II（近代）	2		秋学期	掛野　剛史	秋学期	月	1時限	0850	1030
	近世の制度と文化	2		秋学期	牧野　悟資	秋学期	水	3時限	1310	1450
	日本文学と書画	2		【休講】						
	日本文学と宗教	2		春学期	門屋　温	春学期	火	3時限	1310	1450
2～4	授業に活かすマルチメディア	2		春学期	奥泉　香	春学期	木	5時限	1700	1840
	国語教育史	2		秋学期	宮川　健郎	秋学期	火	2時限	1040	1220
	国語表現論	4	A	通年	北島　咲江	通年	金	4時限	1505	1645
			B	通年	菊野　雅之	通年	月	3時限	1310	1450
	日本詩歌史I（古典）	2		【休講】						
	日本詩歌史II（近現代）	2		秋学期	加藤　邦彦	秋学期	金	2時限	1040	1220
	編集の理論と実践	2		春学期	横山　建城	春学期	火	5時限	1700	1840
	評論教材の研究	2		秋学期	美谷島　秀明	秋学期	火	4時限	1505	1645
	日本語史I（古代語）	2		【休講】						
	日本語史II（近代語）	2		秋学期	池上　尚	秋学期	月	2時限	1040	1220
	書誌学・文献学	2		秋学期	田代　圭一	秋学期	木	5時限	1700	1840
	創作演習I（随筆・小説）	2		秋学期	廣岡　祐	秋学期	月	4時限	1505	1645
	創作演習II（随筆・現代詩）	2		【休講】						
	創作演習III（短歌）	2		秋学期	奥田　亡羊	秋学期	火	4時限	1505	1645
	創作演習IV（俳句）	2		【休講】						
	日本文学とメディア	2		春学期	田中　祐介	春学期	金	2時限	1040	1220
	上代文学I	2	A	春学期	松本　直樹	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
			B	春学期	工藤　浩	春学期	水	3時限	1310	1450
	上代文学II	2	A	秋学期	松本　直樹	秋学期	無	フルオンデマンド	0000	
			B	秋学期	工藤　浩	秋学期	水	3時限	1310	1450
	中古文学I	2	A	春学期	福家　俊幸	春学期	水	3時限	1310	1450
			B	春学期	新美　哲彦	春学期	水	2時限	1040	1220
	中古文学II	2	A	秋学期	佐竹　知佳	秋学期	水	2時限	1040	1220
			B	秋学期	栗山　元子	秋学期	水	2時限	1040	1220
	中世文学I	2	A	春学期	田口　暢之	春学期	火	4時限	1505	1645
			B	春学期	海野　圭介	春学期	水	2時限	1040	1220
	中世文学II	2	A	秋学期	田口　暢之	秋学期	火	4時限	1505	1645
			B	秋学期	海野　圭介	秋学期	水	2時限	1040	1220

2～4	近世文学I	2	A	【休講】						
			B	春学期	天野　聡一	春学期	月	2時限	1040	1220
	近世文学II	2	A	【休講】						
			B	秋学期	天野　聡一	秋学期	月	2時限	1040	1220
	近代文学I	2	A	秋学期	五味渕　典嗣	秋学期	水	2時限	1040	1220
			B	【休講】						
	近代文学II	2		春学期	石原　千秋	春学期	水	2時限	1040	1220
	近代文学III	2		春学期	吉田　司雄	春学期	水	4時限	1505	1645
	中国文学I	2		春学期	濱田　寛	春学期	火	4時限	1505	1645
	中国文学II	2		秋学期	鎌田　出	秋学期	金	4時限	1505	1645

※「授業に活かす朗読講座」「届く声を育てるワークショップ」「授業に活かすマルチメディア」については、中学校または高等学校の国語科教諭免許状および小学校教諭免許状の取得希望者に限り申請により履修可能。
※ 集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

英語英文学科・他学科他専修聴講可能科目

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始	終了
									時間	時間
1～4	聖書入門I	2		春学期	増井　志津代	春学期	木	2時限	1040	1220
	イギリス小説研究	2		秋学期	筒井　瑞貴	秋学期	木	2時限	1040	1220
	アメリカ小説研究	2		秋学期	田ノ口　正悟	秋学期	水	2時限	1040	1220
	アメリカ映画研究	2		【休講】						
	イギリス映画研究	2		春学期	桑子　利男	春学期	木	4時限	1505	1645
	言語統計入門	2		秋学期	印南　洋	秋学期	金	4時限	1505	1645
	Current Affairs in English	2		秋学期	吉田　雅之	秋学期	無	フルオンデマンド	0000	
	Developing Skills for Learning English	2		秋学期	安田　利典	秋学期	木	4時限	1505	1645
	Debate in English	2		秋学期	鈴木　健	秋学期	木	3時限	1310	1450
	Advanced Preparation for TOEFL	2	A	春学期	戸田　博之	春学期	金	1時限	0850	1030
			B	秋学期	澤木　泰代	秋学期	月	5時限	1700	1840
	Preparation for TOEFL	2	A	春学期	戸田　博之	春学期	金	2時限	1040	1220
			B	秋学期	戸田　博之	秋学期	金	2時限	1040	1220
	外国文学研究	2		春学期	桑子　利男	春学期	木	2時限	1040	1220
	アメリカ詩研究	2		春学期	佐久間　由梨	春学期	火	1時限	0850	1030
	イギリス詩研究	2		秋学期	虹林　慶	秋学期	水	4時限	1505	1645
	イギリス演劇研究	2		秋学期	三好　力	秋学期	木	3時限	1310	1450
	アメリカ演劇研究	2		【休講】						
	文学批評理論I	2		春学期	筒井　瑞貴	春学期	木	2時限	1040	1220
	文学批評理論II	2		【休講】						
	英語文学とジェンダー・マイノリティ	2		春学期	松永　典子	春学期	月	4時限	1505	1645
	統語論基礎	2		【休講】						
	統語論研究	2		【休講】						
	意味論基礎	2		春学期	久野　正和	春学期	月	3時限	1310	1450
	意味論研究	2		秋学期	久野　正和	秋学期	月	3時限	1310	1450
2～4	Language and Society	2		秋学期	バックハウス　ペート	秋学期	月	1時限	0850	1030
	聖書入門II	2		秋学期	増井　志津代	秋学期	木	2時限	1040	1220
	Introduction to British Culture	2		秋学期	西野　方子	秋学期	火	5時限	1700	1840
	Introduction to American Culture	2		秋学期	佐久間　由梨	秋学期	火	1時限	0850	1030
	英語表現研究	2		春学期	吉田　雅之	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
	音韻論	2		【休講】						
	形態論	2		春学期	ポッペ・クレメンス	春学期	木	3時限	1310	1450
	Content and Language Integrated Learning	2		【休講】						
	Bilingualism and Bilingual Education	2		【休講】						
	Foreign Language in the Elementary School (FLES)	2		春学期	オオガ・ボールドウィン　ウィリアム	春学期	月	3時限	1310	1450
	認知言語学	2		秋学期	ポッペ・クレメンス	秋学期	木	3時限	1310	1450
	マルティメディア言語教育	2		春学期	下山　幸成	春学期	水	4時限	1505	1645
	コーパス言語学	2		秋学期	下山　幸成	秋学期	水	4時限	1505	1645
	Language Assessment for Classroom Teachers	2		秋学期	澤木　泰代	秋学期	月	2時限	1040	1220
	英語圏文学	2		秋学期	関野　佳苗	秋学期	月	3時限	1310	1450
	Discourse, Culture and Communication	2		春学期	木村　大輔	春学期	水	3時限	1310	1450
	Language, Culture and Cognition	2		【休講】						
	中世英語I	2		春学期	吉田　雅之	春学期	無	フルオンデマンド	0000	
	中世英語II	2		秋学期	吉田　雅之	秋学期	無	フルオンデマンド	0000	
	実験音声学	2		秋学期	原田　哲男	秋学期	水	2時限	1040	1220
	Advanced Phonetics	2		春学期	半沢　蛍子	春学期	月	3時限	1310	1450
	英語圏文化論I	2		春学期	虹林　慶	春学期	水	2時限	1040	1220
	英語圏文化論II	2		秋学期	虹林　慶	秋学期	水	2時限	1040	1220
	第二言語ライティング論	2		秋学期	佐々木　みゆき	秋学期	木	2時限	1040	1220
3～4	Pragmatics and Discourse Analysis	2		【休講】						
	Teaching Practicum	2		秋学期	オオガ・ボールドウィン　ウィリアム	秋学期	月	3時限	1310	1450
	カリキュラム・教材開発	2		【休講】						
	Teaching English for Communication	2		秋学期	折井　麻美子	秋学期	木	3時限	1310	1450
	英語史研究I	2		春学期	新川　清治	春学期	月	4時限	1505	1645
	英語史研究II	2		秋学期	新川　清治	秋学期	月	4時限	1505	1645
	Special Topics in Literature and Culture	2		秋学期	桑子　利男	秋学期	木	2時限	1040	1220
	Advanced Second Language Acquisition	2		【休講】						
	Special Topics in Applied Linguistics	2		秋学期	原田　哲男	秋学期	木	2時限	1040	1220
	Special Topics in Linguistics	2		【休講】						

地理歴史専修・他学科他専修聴講可能科目

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	民俗学I	2		春学期	橋村　修	春学期	木	4時限	1505	1645
	民俗学II	2		秋学期	橋村　修	秋学期	金	3時限	1310	1450
	文化遺産研究I	2		春学期	藤島　幸彦	春学期	月	2時限	1040	1220
	文化遺産研究II	2		秋学期	藤島　幸彦	秋学期	月	2時限	1040	1220
	文化人類学研究I	2		春学期	吉村　郊子	春学期	木	2時限	1040	1220
	文化人類学研究II	2		秋学期	吉村　郊子	秋学期	木	2時限	1040	1220
	考古学研究I－1	2		春学期	佐藤　兼理	春学期	月	5時限	1700	1840
	考古学研究I－2	2		秋学期	佐藤　兼理	秋学期	月	5時限	1700	1840
	考古学研究II－1	2		春学期	山形　眞理子	春学期	火	4時限	1505	1645
	考古学研究II－2	2		秋学期	山形　眞理子	秋学期	火	4時限	1505	1645
2～4	経済地理学I	2		春学期	鎌倉　夏来	春学期	月	2時限	1040	1220
	経済地理学II	2		秋学期	箸本　健二	秋学期	月	2時限	1040	1220
	自然地理学研究1	2		【休講】						
	自然地理学研究2	2		【休講】						
	自然地理学研究3	2		春学期	高橋　日出男	春学期	火	5時限	1700	1840
	自然地理学研究4	2		秋学期	高橋　日出男	秋学期	火	5時限	1700	1840
	地誌学研究1	2		春学期	小野寺　淳	春学期	水	2時限	1040	1220
	地誌学研究2	2		秋学期	小野寺　淳	秋学期	水	2時限	1040	1220
	地誌学研究3	2		春学期	市川　康夫	春学期	火	2時限	1040	1220
	地誌学研究4	2		秋学期	市川　康夫	秋学期	火	2時限	1040	1220
	地図情報学	2		秋学期	岩井　優祈	秋学期	火	2時限	1040	1220
	文化地理学	2		春学期	松井　圭介	春学期	月	4時限	1505	1645
	地誌学研究5	2		秋学期	佐藤　英人	秋学期	月	1時限	0850	1030
	都市地理学	2		春学期	佐藤　英人	春学期	月	1時限	0850	1030
	地図学	2		春学期	宇根　寛	春学期	月	4時限	1505	1645
	歴史地理学	2		春学期	髙橋　珠州彦	春学期	土	2時限	1040	1220
	地理学特殊講義1	2		【休講】						
	地理学特殊講義2	2		【休講】						
	地理学特殊講義3	2		【休講】						
	地理学特殊講義4	2		秋学期	植木　岳雪	秋学期	金	5時限	1700	1840
	アーカイブズ学概論	2		春学期	三村　昌司	春学期	水	4時限	1505	1645
	歴史学と歴史教育	2		秋学期	大橋　幸泰	秋学期	金	4時限	1505	1645
	数量経済史	2		【休講】						
	市民の権利と地方自治	2		秋学期	村山　貴子	秋学期	水	2時限	1040	1220
	日本史研究(近世)I	2		春学期	大橋　幸泰	春学期	金	4時限	1505	1645
	日本史研究(近世)II	2		秋学期	久保　貴子	秋学期	水	2時限	1040	1220
	日本史研究(近代)I	2		春学期	高木　重治	春学期	火	2時限	1040	1220
	日本史研究(近代)II	2		秋学期	三村　昌司	秋学期	火	1時限	0850	1030
	日本史研究(古代)I	2		春学期	岩本　健寿	春学期	月	2時限	1040	1220
	日本史研究(古代)II	2		秋学期	岩本　健寿	秋学期	月	2時限	1040	1220
	日本史研究(中世)I	2		春学期	高木　徳郎	春学期	金	3時限	1310	1450
	日本史研究(中世)II	2		秋学期	朝比奈　新	秋学期	金	2時限	1040	1220
	西洋史研究(近代)I	2		春学期	小森　宏美	春学期	木	4時限	1505	1645
	西洋史研究(近代)II	2		秋学期	齋藤　正樹	秋学期	木	4時限	1505	1645
	西洋史研究(古代)I	2		春学期	松原　俊文	春学期	月	3時限	1310	1450
	西洋史研究(古代)II	2		秋学期	松原　俊文	秋学期	月	3時限	1310	1450
	西洋史研究(中世)I	2		春学期	高山　博	春学期	水	4時限	1505	1645
	西洋史研究(中世)II	2		秋学期	高山　博	秋学期	水	4時限	1505	1645
	東洋史研究(近代)I	2		春学期	小松　香織	春学期	水	2時限	1040	1220
	東洋史研究(近代)II	2		秋学期	小松　香織	秋学期	水	2時限	1040	1220
	東洋史研究(古代)I	2		春学期	石川　寛	春学期	木	4時限	1505	1645
	東洋史研究(古代)II	2		秋学期	石川　寛	秋学期	木	4時限	1505	1645
	東洋史研究(中世)I	2		春学期	岡本　隆司	春学期	月	1時限	0850	1030
	東洋史研究(中世)II	2		秋学期	石濱　裕美子	秋学期	金	3時限	1310	1450
	日本史史料研究I(古代)	2		秋学期	亀谷　弘明	秋学期	水	2時限	1040	1220
	日本史史料研究II(中世)	2		春学期	高木　徳郎	春学期	月	3時限	1310	1450
	日本史史料研究III(近世)	2		春学期	清水　詩織	春学期	火	4時限	1505	1645
	日本史史料研究IV(近現代)	2		秋学期	高木　重治	秋学期	火	3時限	1310	1450
	現代史研究I－1	2		春学期	石濱　裕美子	春学期	木	3時限	1310	1450
	現代史研究I－2	2		秋学期	石濱　裕美子	秋学期	木	3時限	1310	1450
	現代史研究II－1	2		春学期	小嶋　栄一	春学期	金	6時限	1855	2035
	現代史研究II－2	2		秋学期	小森　宏美	秋学期	月	5時限	1700	1840
	現代史研究III－1	2		春学期	小沢　節子	春学期	水	3時限	1310	1450
	現代史研究III－2	2		秋学期	小沢　節子	秋学期	水	3時限	1310	1450

公共市民学専修・他学科他専修聴講可能科目

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	憲法概論	2		秋学期	玉蟲　由樹	秋学期	水	5時限	1700	1840
2～4	メディア文化論	2		春学期	大久保　遼	春学期	月	4時限	1505	1645
	西洋政治思想史II	2		秋学期	福島　弦	秋学期	火	3時限	1310	1450
	ポストモダン社会論	2		春学期	北嶋　健治	春学期	火	4時限	1505	1645
	メディア市民学I	2		春学期	新藤　雄介	春学期	木	3時限	1310	1450
	メディア市民学II	2		秋学期	新藤　雄介	秋学期	水	4時限	1505	1645
	自己の社会理論	2		春学期	鈴木　無二	春学期	月	4時限	1505	1645
	コミュニケーションと社会	2		秋学期	鈴木　無二	秋学期	月	4時限	1505	1645
	EU論	2		秋学期	小林　正英	秋学期	水	1時限	0850	1030
					小森　宏美	秋学期	水	1時限	0850	1030
	日本の金融市場と金融論入門	2		春学期	熊谷　善彰	春学期	金	2時限	1040	1220
	地域経済論	2		春学期	劉　迪	春学期	金	3時限	1310	1450
	財政学	2		春学期	寺田　和之	春学期	水	3時限	1310	1450
	家族の中のジェンダー	2		春学期	今井　千恵	春学期	水	2時限	1040	1220
	社会の中のジェンダー	2		秋学期	今井　千恵	秋学期	水	2時限	1040	1220
	日本経済史	2		秋学期	藤井　典子	秋学期	火	3時限	1310	1450
	経済データ分析	2		春学期	西村　仁憲	春学期	金	5時限	1700	1840
	情報をめぐる法と政治	2		秋学期	大田　貴昭	秋学期	無	フルオンデマンド	0000	
	西洋政治思想史I	2		春学期	福島　弦	春学期	火	3時限	1310	1450
	統治の制度と市民I	2		春学期	遠藤　美奈	春学期	木	2時限	1040	1220
	統治の制度と市民II	2		秋学期	遠藤　美奈	秋学期	木	2時限	1040	1220
	市民社会の法と権利I	2		春学期	鈴木　美弥子	春学期	木	5時限	1700	1840
	市民社会の法と権利II	2		秋学期	鈴木　美弥子	秋学期	木	5時限	1700	1840
	民法I	2		春学期	北山　雅昭	春学期	木	2時限	1040	1220
	民法II	2		秋学期	北山　雅昭	秋学期	木	2時限	1040	1220
	国際関係の成立と展開	2		春学期	坪内　淳	春学期	水	4時限	1505	1645
	国際関係の理論と課題	2		秋学期	坪内　淳	秋学期	水	3時限	1310	1450
	日本の労働市場と労働経済学入門	2		春学期	茂木　洋之	春学期	金	5時限	1700	1840
	労働市場の基礎と応用	2		秋学期	孫　亜文	秋学期	火	5時限	1700	1840
	働く女性の法と権利	2		春学期	新村　響子	春学期	水	2時限	1040	1220
	グローバル社会論	2		春学期	秋元　健太郎	春学期	木	2時限	1040	1220
					門田　健一	春学期	木	2時限	1040	1220
					崎濱　紗奈	春学期	木	2時限	1040	1220
					若林　幹夫	春学期	木	2時限	1040	1220
	金融市場の基礎と応用	2		秋学期	熊谷　善彰	秋学期	金	2時限	1040	1220
	公共市民学研究（ジャーナリズム実践論）	2		秋学期	澤　康臣	秋学期	金	2時限	1040	1220
	公共市民学特殊講義（調査報道研究）	2		秋学期	澤　康臣	秋学期	木	2時限	1040	1220
	経営学への招待	2		春学期	佐々木　秀綱	春学期	木	3時限	1310	1450
	現代日本の政治	2		【休講】						
	数量経済史	2		【休講】						
	市民の権利と地方自治	2		秋学期	村山　貴子	秋学期	水	2時限	1040	1220

生物学専修・他学科他専修聴講可能科目

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	基礎免疫学	2		秋学期	廣井　隆親	秋学期	水	1時限	0850	1030
	地学通論I	2		春学期	川辺　文久	春学期	土	3時限	1310	1450
	地学通論II	2		秋学期	川辺　文久	秋学期	土	3時限	1310	1450
	化学II	4		通年	中野　善夫	通年	月	4時限	1505	1645
2～4	地学通論実験I	1		春学期	大森　聡一	春学期	木	5時限～6時限	1700	2035
	地学通論実験II	1		秋学期	上田　裕尋	秋学期	木	5時限～6時限	1700	2035
					清家　一馬	秋学期	木	5時限～6時限	1700	2035
					永冶　方敬	秋学期	木	5時限～6時限	1700	2035
	植物生理学I	2		秋学期	舘野　正樹	秋学期	月	1時限	0850	1030
	生態学I	2		春学期	吉竹　晋平	春学期	水	5時限	1700	1840
	進化生物学II	2		秋学期	細　将貴	秋学期	木	2時限	1040	1220
	遺伝学	2		春学期	松本　隆	春学期	月	4時限	1505	1645
	生物学史	2		春学期	河野　俊哉	春学期	木	1時限	0850	1030
	生命科学探索法	2		秋学期	加藤　尚志	秋学期	水	5時限	1700	1840
	微生物学	2		春学期	堀内　裕之	春学期	水	2時限	1040	1220
	神経生理学	2		春学期	黒川　信	春学期	月	3時限	1310	1450
	生態学・実習	2		夏季集中	墨野倉　伸彦	夏季集中	無	その他		
					吉竹　晋平	夏季集中	無	その他		
	地学通論実験I	1		春学期	大森　聡一	春学期	木	5時限～6時限	1700	2035
	地学通論実験II	1		秋学期	上田　裕尋	秋学期	木	5時限～6時限	1700	2035
					清家　一馬	秋学期	木	5時限～6時限	1700	2035
					永冶　方敬	秋学期	木	5時限～6時限	1700	2035

※総合科学プログラム対象科目です。
※生態学・実習：8月上旬実施予定
※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

地球科学専修・他学科他専修聴講可能科目

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	地質学入門－地球の物質	2		春学期	鈴木　由希	春学期	木	3時限	1310	1450
					田口　知樹	春学期	木	3時限	1310	1450
	地質学入門－地球の歴史	2		秋学期	太田　亨	秋学期	木	3時限	1310	1450
					守屋　和佳	秋学期	木	3時限	1310	1450
	惑星地球の変動と進化	2		秋学期	飯塚　理子	秋学期	金	3時限	1310	1450
					永冶　方敬	秋学期	金	3時限	1310	1450
	惑星地球科学入門	2		春学期	奥村　大河	春学期	金	3時限	1310	1450
					田中　優作	春学期	金	3時限	1310	1450
	物理学I-1	2		春学期	伊藤　悦朗	春学期	火	1時限	0850	1030
	物理学I-2	2		秋学期	喜古　正士	秋学期	火	5時限	1700	1840
	気象の基礎物理	2		春学期	伊賀　啓太	春学期	火	2時限	1040	1220
	大気の運動と気象システム	2		秋学期	伊賀　啓太	秋学期	火	2時限	1040	1220
	情報地球科学	2		春学期	田中　優作	春学期	火	3時限	1310	1450
	生物学通論I	2		春学期	川原　玄理	春学期	月	2時限	1040	1220
	生物学通論II	2		秋学期	青木　誠志郎	秋学期	水	2時限	1040	1220
	環境化学	2		秋学期	田中　伸幸	秋学期	水	4時限	1505	1645
	鉱物学	2		秋学期	清田　馨	秋学期	金	4時限	1505	1645
	アメリカ西部地質巡検	2		【休講】						
2～4	生物学通論実験II	1		秋学期	富永　基樹	秋学期	月	1時限～2時限	0850	1220
	地史学I	2		春学期	守屋　和佳	春学期	木	4時限	1505	1645
	地史学II	2		秋学期	守屋　和佳	秋学期	木	4時限	1505	1645
	構造地質学	2		秋学期	永冶　方敬	秋学期	金	2時限	1040	1220
	天体物理学I	2		秋学期	矢治　健太郎	秋学期	土	2時限	1040	1220
	地球物理学	2		春学期	馬塲　久紀	春学期	土	3時限	1310	1450
	地震学	2		秋学期	馬塲　久紀	秋学期	土	3時限	1310	1450
	古生物学I	2		春学期	守屋　和佳	春学期	火	2時限	1040	1220
	古生物学II	2		秋学期	守屋　和佳	秋学期	木	2時限	1040	1220
	分析化学実験	2		【休講】						
	地形解析法	2		【休講】						
	堆積学I	2		春学期	太田　亨	春学期	月	5時限	1700	1840
	堆積学II	2		秋学期	太田　亨	秋学期	月	5時限	1700	1840
	衛星地球観測学	2		秋学期	田中　優作	秋学期	火	3時限	1310	1450
	変動地形学	2		春学期	渡辺　満久	春学期	木	4時限	1505	1645
	地球化学	2		秋学期	飯塚　理子	秋学期	木	5時限	1700	1840
	物理学II（電磁気学）	2		春学期	喜古　正士	春学期	火	5時限	1700	1840
	物理学III（量子力学入門）	2		秋学期	笹川　幸則	秋学期	木	3時限	1310	1450
	鉱床学	2		秋学期	村上　浩康	秋学期	土	4時限	1505	1645
	地質図学演習	2		秋学期	太田　亨	秋学期	水	3時限～4時限	1310	1645
					永冶　方敬	秋学期	水	3時限～4時限	1310	1645
	固体機器分析学	2		春学期	奥村　大河	春学期	水	3時限	1310	1450
	地球システム科学	2		秋学期	安井　万奈	秋学期	火	1時限	0850	1030
3～4	天体物理学II	2	（西早稲田）	春学期	辻川　信二	春学期	月	4時限	1505	1645
					山田　章一	春学期	月	4時限	1505	1645
	石油地球化学	2		秋学期	早稲田　周	秋学期	金	4時限	1505	1645
	構造地質学特論	2		春学期	永冶　方敬	春学期	金	3時限	1310	1450
	石油地質学	2		【休講】						
	地質工学	2		春学期	宇田川　義夫	春学期	土	3時限	1310	1450
	岩石成因論	2		春学期	田口　知樹	春学期	火	1時限	0850	1030
	地球物質科学	2		秋学期	田口　知樹	秋学期	火	1時限	0850	1030
	結晶化学熱力学	2		【休講】						
	結晶化学	2		【休講】						
	物理探鉱法	2		春学期	馬塲　久紀	春学期	土	4時限	1505	1645
	地球テクトニクス	2		秋学期	山野　誠	秋学期	火	4時限	1505	1645
	海洋科学	2		春学期	小松　幸生	春学期	木	1時限	0850	1030
					道田　豊	春学期	木	1時限	0850	1030
	海洋底ダイナミックス	2		秋学期	黒田　潤一郎	秋学期	木	1時限	0850	1030
					山口　飛鳥	秋学期	木	1時限	0850	1030
	同位体地球化学	2		春学期	飯塚　理子	春学期	木	2時限	1040	1220

※集中授業の実施方法、授業日程、教室等の詳細はWEBシラバスを参照してください。

数学科・他学科他専修聴講可能科目

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
2〜4	統計入門	2		春学期	長山 いづみ	春学期	水	5時限	1700	1840
	統計数学	2		秋学期	長山 いづみ	秋学期	月	2時限	1040	1220
	幾何1	2		春学期	谷山 公規	春学期	水	2時限	1040	1220
	幾何2	2		秋学期	谷山 公規	秋学期	水	2時限	1040	1220
	微積分3	2		春学期	丹羽 典朗	春学期	水	3時限	1310	1450
	実解析学	2		春学期	安藤 浩志	春学期	火	3時限	1310	1450
	応用数学1	2		春学期	髙島 克幸	春学期	木	2時限	1040	1220
	応用数学2	2		秋学期	髙島 克幸	秋学期	木	2時限	1040	1220
	応用数学3	2		春学期	谷 誠一郎	春学期	月	3時限	1310	1450
	応用数学4	2		秋学期	谷 誠一郎	秋学期	月	3時限	1310	1450
	応用数学5	2		秋学期	安藤 浩志	秋学期	火	3時限	1310	1450
	応用数学6	2		秋学期	柳田 英二	秋学期	木	4時限	1505	1645
	情報数学1	2	A	春学期	大池 浩一	春学期	月	4時限	1505	1645
			B	【休講】						
			C	春学期	多田 武丸	春学期	水	3時限	1310	1450
	情報数学2	2	A	秋学期	大池 浩一	秋学期	月	4時限	1505	1645
			B	【休講】						
			C	秋学期	多田 武丸	秋学期	水	3時限	1310	1450
	情報数学3	2		春学期	谷 誠一郎	春学期	月	4時限	1505	1645
	情報数学4	2		秋学期	谷 誠一郎	秋学期	月	4時限	1505	1645
	情報数学5	2		春学期	髙島 克幸	春学期	金	2時限	1040	1220
	情報数学6	2		秋学期	髙島 克幸	秋学期	金	2時限	1040	1220
	情報システム1	2		春学期	諸橋 玄武	春学期	木	4時限	1505	1645
	情報システム2	2		秋学期	諸橋 玄武	秋学期	木	4時限	1505	1645
	情報通信ネットワーク1	2		【休講】						
	情報通信ネットワーク2	2		【休講】						
	マルチメディア基礎と応用I	2		春学期	前野 譲二	春学期	月	2時限	1040	1220
	マルチメディア基礎と応用II	2		秋学期	前野 譲二	秋学期	月	2時限	1040	1220
	数理科学1	2		春学期	新井 仁之	春学期	金	3時限	1310	1450
3〜4	フーリエ解析	2		秋学期	戸松 玲治	秋学期	金	3時限	1310	1450
	数学基礎論1	2		春学期	桔梗 宏孝	春学期	月	1時限	0850	1030
	数学基礎論2	2		秋学期	桔梗 宏孝	秋学期	月	1時限	0850	1030
	代数2	2		春学期	桑田 孝泰	春学期	水	3時限	1310	1450
	代数3	2		秋学期	安福 悠	秋学期	水	4時限	1505	1645
	代数4	2		春学期	大野 真裕	春学期	金	3時限	1310	1450
	代数5	2		秋学期	大野 真裕	秋学期	金	3時限	1310	1450
	代数6	2		秋学期	安福 悠	秋学期	水	3時限	1310	1450
	代数7	2		【休講】						
	代数8	2		【休講】						
	幾何3	2		春学期	谷山 公規	春学期	金	4時限	1505	1645
	幾何4	2		秋学期	谷山 公規	秋学期	金	4時限	1505	1645
	幾何5	2		春学期	雪田 友成	春学期	金	3時限	1310	1450
	幾何6	2		秋学期	雪田 友成	秋学期	金	3時限	1310	1450
	多様体論1	2		春学期	渡邊 展也	春学期	月	4時限	1505	1645
	多様体論2	2		秋学期	渡邊 展也	秋学期	月	4時限	1505	1645
	確率論1	2		春学期	畑 宏明	春学期	火	3時限	1310	1450
	確率論2	2		秋学期	畑 宏明	秋学期	火	3時限	1310	1450
	複素解析2	2		春学期	横川 光司	春学期	月	2時限	1040	1220
	複素解析3	2		秋学期	横川 光司	秋学期	月	2時限	1040	1220
	関数解析	2		秋学期	森 迪也	秋学期	火	2時限	1040	1220
	微分方程式と数理モデル	2		春学期	森 迪也	春学期	水	2時限	1040	1220
	関数方程式	2		春学期	柳田 英二	春学期	木	4時限	1505	1645
	現代数学教育	2		春学期	宮川 健	春学期	水	5時限	1700	1840
	数学特論1	2		秋学期	長山 いづみ	秋学期	月	4時限	1505	1645
	数学特論2	2		春学期	多田 輝夫	春学期	火	2時限	1040	1220
	数学特論3	2		秋学期	多田 輝夫	秋学期	火	2時限	1040	1220
	数学特論4	2		春学期	小沢 誠	春学期	金	3時限	1310	1450
	数学特論5	2		春学期	大久保 潤	春学期	月	5時限	1700	1840
	数学特論6	2		秋学期	大久保 潤	秋学期	月	5時限	1700	1840
	数学特論7	2		秋学期	小沢 誠	秋学期	金	3時限	1310	1450
	数学特論8	2		秋学期	戸松 玲治	秋学期	金	2時限	1040	1220
	数学特論9	2		秋学期	宮川 健	秋学期	水	5時限	1700	1840

複合文化学科・他学科他専修聴講可能科目

年次	科　目	単位	組名	学期	担当教員	担当学期	曜日	時限	開始時間	終了時間
1～4	ネットワーク論I（社会）	2		秋学期	橋本　典明	秋学期	火	2時限	1040	1220
	マルチメディア論I（産業・技術）	2		【休講】						
	マルチメディア論II（社会）	2		【休講】						
	メディア・コミュニケーション論（情報メディア）	2		【休講】						
2～4	複合文化学の道具箱I	2		春学期	近藤　宏	春学期	月	4時限	1505	1645
					福田　育弘	春学期	月	4時限	1505	1645
					村上　公一	春学期	月	4時限	1505	1645
					柳橋　大輔	春学期	月	4時限	1505	1645
	複合文化学の道具箱II	2		春学期	上村　敏郎	春学期	木	4時限	1505	1645
					鴻野　わか菜	春学期	木	4時限	1505	1645
					野澤　丈二	春学期	木	4時限	1505	1645
					福田　育弘	春学期	木	4時限	1505	1645
	複合文化学特論1	2		【休講】						
	複合文化学特論2	2		【休講】						
	複合文化学特論3	2		【休講】						
	複合文化学特論4	2		秋学期	清水　賢一郎	秋学期	水	3時限	1310	1450
	複合文化学特論5	2		【休講】						
	複合文化学特論6	2		【休講】						
	複合文化学特論7	2		春学期	鴻野　わか菜	春学期	火	3時限	1310	1450
	複合文化学特論8	2		【休講】						
	複合文化学特論9	2		春学期	大寺　眞輔	春学期	火	3時限	1310	1450
	複合文化学特論11	2		【休講】						
	複合文化学特論13	2		秋学期	藤本　愛	秋学期	金	2時限	1040	1220
	複合文化学特論14	2		【休講】						
	複合文化学特論15	2		秋学期	礒貝　日月	秋学期	月	3時限	1310	1450
					福田　育弘	秋学期	月	3時限	1310	1450
					三村　一郎	秋学期	月	3時限	1310	1450
					吉川　成美	秋学期	月	3時限	1310	1450
	複合文化学特論16	2		【休講】						
	複合文化学特論17	2		【休講】						
	複合文化学特論18	2		【休講】						
	複合文化学特論19	2		秋学期	福田　育弘	秋学期	金	3時限	1310	1450
	複合文化学特論20	2		秋学期	向後　恵里子	秋学期	火	4時限	1505	1645
	複合文化学特論21	2		春学期	安田　慎	春学期	木	3時限	1310	1450
	複合文化学特論22	2		【休講】						
	ドイツ語圏の社会と文化	2		春学期	大宮　勘一郎	春学期	金	2時限	1040	1220
	フランス語圏の社会と文化	2		秋学期	福田　育弘	秋学期	金	4時限	1505	1645
	中国語圏の社会と文化	2		春学期	村上　公一	春学期	水	3時限	1310	1450
	スペイン語圏の社会と文化	2		秋学期	後藤　雄介	秋学期	火	2時限	1040	1220
	ドイツ語圏の文学	2		【休講】						
	フランス語圏の文学	2		秋学期	丸川　誠司	秋学期	木	3時限	1310	1450
	中国語圏の文学	2		春学期	梅田　雅子	春学期	火	3時限	1310	1450
	スペイン語圏の文学	2		春学期	久野　量一	春学期	火	5時限	1700	1840
	海外でのドイツ語研修I	2		夏季集中	上村　敏郎	夏季集中	無	その他		
	海外でのフランス語研修I	2		夏季集中	野澤　丈二	夏季集中	無	その他		
					福田　育弘	夏季集中	無	その他		
	海外での中国語研修I	2		夏季集中	清水　賢一郎	夏季集中	無	その他		
					村上　公一	夏季集中	無	その他		
	海外でのロシア語研修I	2		夏季集中	鴻野　わか菜	夏季集中	無	その他		
	海外でのスペイン語研修I	2		夏季集中	後藤　雄介	夏季集中	無	その他		
	海外でのドイツ語研修II	2		春季集中	上村　敏郎	春季集中	無	その他		
	海外でのフランス語研修II	2		春季集中	野澤　丈二	春季集中	無	その他		
					福田　育弘	春季集中	無	その他		
	海外での中国語研修II	2		春季集中	清水　賢一郎	春季集中	無	その他		
					村上　公一	春季集中	無	その他		
	海外でのロシア語研修II	2		春季集中	鴻野　わか菜	春季集中	無	その他		
	海外でのスペイン語研修II	2		春季集中	後藤　雄介	春季集中	無	その他		
	ドイツ語研究	2		秋学期	関根　裕子	秋学期	水	2時限	1040	1220
	フランス語研究	2		秋学期	山根　祐佳	秋学期	火	4時限	1505	1645
	中国語研究	2		秋学期	大野　広之	秋学期	水	3時限	1310	1450
	スペイン語研究	2		秋学期	佐藤　麻里乃	秋学期	水	1時限	0850	1030

2～4	ネットワーク技術1	2		春学期	前野　譲二	春学期	月	3時限	1310	1450
	ネットワーク技術2	2		秋学期	前野　譲二	秋学期	月	3時限	1310	1450
	情報技術の応用と職業	2		春学期	楠元　範明	春学期	木	3時限	1310	1450
	情報社会・情報倫理	2		秋学期	楠元　範明	秋学期	木	3時限	1310	1450
	複合文化学特論10	2		春学期	丸川　誠司	春学期	木	2時限	1040	1220
	複合文化学特論12	2		【休講】						
	複合文化学の組立方	2		秋学期	上村　敏郎	秋学期	木	4時限	1505	1645
					梶山　祐治	秋学期	木	4時限	1505	1645
					鴻野　わか菜	秋学期	木	4時限	1505	1645
					近藤　宏	秋学期	木	4時限	1505	1645
					野澤　丈二	秋学期	木	4時限	1505	1645
					福田　育弘	秋学期	木	4時限	1505	1645

Ⅳ 付　録

※教員連絡先一覧は MyWaseda 上に掲載します。

教育学部ホームページ＞在学生の方へ＞科目登録・授業ガイド

https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/registration/

上記のページにリンクを掲載しています。

レポートの作成・提出について

教育学部で課されるレポートの作成・提出にあたっては、学部要項、および次の HP を熟読してください。

教育学部 HP＞在学生の方へ＞試験・レポートと成績
https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/record/

授業欠席の取り扱いについて

授業欠席の取り扱いについては、学部要項、および次の HP を参照してください。

教育学部 HP＞在学生の方へ＞授業・休講・補講
https://www.waseda.jp/fedu/edu/students/class/